図面番号	意匠　図面名称	図面番号	意匠　図面名称	図面番号	機械設備　図面名称
A － 1	図面リスト	A － 41	管理教室棟１　便所アルミサッシ平面詳細図	A － 81	外部足場立面図１
A － 2	特記仕様書 － １	A － 42	管理教室棟１　便所アルミサッシ断面詳細図	A － 82	外部足場立面図２
A － 3	特記仕様書 － ２	A － 43	管理教室棟２　現況 1階平面図	A － 83	外部足場詳細図１
A － 4	特記仕様書 － ３	A － 44	管理教室棟２　現況 2階平面図	A － 84	外部足場詳細図２
A － 5	特記仕様書 － ４	A － 45	管理教室棟２　現況 3階平面図		
A － 6	特記仕様書 － ５	A － 46	管理教室棟２　現況 4階平面図		
A － 7	特記仕様書 － ６	A － 47	管理教室棟２　現況 R階平面図		
A － 8	設計概要書	A － 48	管理教室棟２　改修後 1階平面図		
A － 9	現況・改修後　仕上表	A － 49	管理教室棟２　改修後 2階平面図		
A － 10	案内図・配置図	A － 50	管理教室棟２　改修後 3階平面図		
A － 11	管理教室棟１　現況 1階・2階平面図	A － 51	管理教室棟２　改修後 4階平面図	M － 1	機械設備工事仕様書 － 1
A － 12	管理教室棟１　現況 3階・4階平面図	A － 52	管理教室棟２　改修後 R階平面図	M － 2	機械設備工事仕様書 － 2
A － 13	管理教室棟１　現況 R階平面図	A － 53	管理教室棟２　現況 立面図	M － 3	案内図・配置図
A － 14	管理教室棟１　改修後 1階・2階平面図	A － 54	管理教室棟２　改修後 立面図	M － 4	現況 1階・2階平面図
A － 15	管理教室棟１　改修後 3階・4階平面図	A － 55	管理教室棟２　現況 矩計図	M － 5	現況 3階・4階平面図
A － 16	管理教室棟１　改修後 R階平面図	A － 56	管理教室棟２　改修後 矩計図	M － 6	改修後 1階・2階平面図
A － 17	管理教室棟１　現況 立面図	A － 57	管理教室棟２　1階建具符号図	M － 7	改修後 3階・4階平面図
A － 18	管理教室棟１　改修後 立面図	A － 58	管理教室棟２　2階建具符号図	M － 8	撤去・改修後 部分詳細図
A － 19	管理教室棟１　現況 矩計図	A － 59	管理教室棟２　3階建具符号図		
A － 20	管理教室棟１　改修後 矩計図	A － 60	管理教室棟２　4階建具符号図		
A － 21	管理教室棟１　1階・2階建具符号図	A － 61	管理教室棟２　R階建具符号図		
A － 22	管理教室棟１　3階・4階建具符号図	A － 62	管理教室棟２　現況 建具表		
A － 23	管理教室棟１　R階建具符号図	A － 63	管理教室棟２　改修後 建具表		
A － 24	管理教室棟１　現況 建具表１	A － 64	管理教室棟２　防水収まり図（屋上屋根）１		
A － 25	管理教室棟１　現況 建具表２	A － 65	管理教室棟２　防水収まり図（屋上屋根）２		
A － 26	管理教室棟１　改修後 建具表１	A － 66	管理教室棟２　防水収まり図（PH屋根）		
A － 27	管理教室棟１　改修後 建具表２	A － 67	管理教室棟２　防水収まり図（庇）		
A － 28	管理教室棟１　防水収まり図（屋上屋根）１	A － 68	管理教室棟２　防水収まり図（バルコニー）		
A － 29	管理教室棟１　防水収まり図（屋上屋根）２	A － 69	管理教室棟２　防水収まり図（渡り廊下屋根）１		
A － 30	管理教室棟１　防水収まり図（PH屋根）	A － 70	管理教室棟２　防水収まり図（渡り廊下屋根）２		
A － 31	管理教室棟１　防水収まり図（庇）	A － 71	管理教室棟２　防水収まり図（渡り廊下庇）		
A － 32	管理教室棟１　防水収まり図（給食室屋根）	A － 72	管理教室棟２　普通教室アルミサッシ平面詳細図		
A － 33	管理教室棟１　防水収まり図（玄関屋根）	A － 73	管理教室棟２　普通教室アルミサッシ断面詳細図		
A － 34	管理教室棟１　防水収まり図（バルコニー）	A － 74	管理教室棟２　普通教室アルミサッシ（掃出し）平面詳細図		
A － 35	管理教室棟１　普通教室アルミサッシ平面詳細図	A － 75	管理教室棟２　普通教室アルミサッシ（掃出し）断面詳細図		
A － 36	管理教室棟１　普通教室アルミサッシ断面詳細図	A － 76	管理教室棟２　廊下アルミサッシ平面詳細図		
A － 37	管理教室棟１　普通教室アルミサッシ（掃出し）平面詳細図	A － 77	管理教室棟２　廊下アルミサッシ断面詳細図		
A － 38	管理教室棟１　普通教室アルミサッシ（掃出し）断面詳細図	A － 78	管理教室棟２　便所アルミサッシ平面詳細図		
A － 39	管理教室棟１　廊下アルミサッシ平面詳細図	A － 79	管理教室棟２　便所アルミサッシ断面詳細図		
A － 40	管理教室棟１　廊下アルミサッシ断面詳細図	A － 80	外部足場平面図		

一級建築士事務所　新潟県知事登録　（リ）１３５９号
株式会社　関矢設計事務所
郵便番号　946-0111　新潟県魚沼市並柳182番地　℡　025-799-2122
管理建築士
一級建築士　第228811号
関　矢　茂　信

工事名称	4学工第12号　広神中学校校舎外部改修工事	日付	2022年3月
図面名称	図面リスト	縮尺	FREE

A-1

印刷時は、レイヤAを閉鎖する。

4学工第12号　広神中学校校舎外部改修工事

令和　4年3月（全92枚）

仕　様　書

Ⅰ　共通仕様

1.本共通仕様及び特記仕様に記載されていない事項は、「国土交通省大臣官房官庁営繕部監修　公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）」（以下「改修標仕」という。）により、改修標仕に記載されていない事項は、「国土交通省大臣官房官庁営繕部監修　公共建築工事標準仕様書（建築工事編）」（以下「標仕」という。）による。

2.改修標仕に用いられている用語を、次のとおり読み替える。
(1)「工事請負契約書」を「魚沼市財務規則(平成16年11月1日　規則第49号)別記(第167条関係)建設工事請負基準約款」（以下「約款」という。）に読み替える。
(2)「監督職員」を「監督員」に読み替える。
(3)「特記仕様書」を「特記仕様」に読み替える。

3.次の各号に該当する改修標仕の項目について、改修標仕の規定を別表に置き換えて適用する。
(1) 1章　1.1.2用語の定義の(ｱ)、(ｴ)及び(ｵ)
(2) 〃　1.4.2材料の品質等の(1)及び(2)
(3) 〃　1.4.4材料の検査等の(1)
(4) 〃　1.7.1工事検査の(2)及び(3)

4.改修標仕の次の項目の規定は適用しない。
1章　1.1.2　用語の定義の(ｺ)
〃　1.7.2　技術検査

別　表（建築改修工事）

号	項　目	置き換え後の改修標仕の規定
	1章　一般共通事項	
(1)	1.1.2　用語の定義	(ｱ)「監督員」とは、約款第10条に基づき受注者に通知された者をいう。
		(ｴ)「書面」とは発行年月日が記載され、署名又は押印された文書、及び新潟県CALSシステム上で電子決済処理された電磁的記録をいう。
		(ｵ)「工事検査」とは、約款に基づく次の各事項の確認をするために発注者又は検査職員が行う検査をいい、工事の施工体制、施工状況、出来形、品質及び出来ばえの検査を含む。(ただし、②に係る検査を除く。) ①工事の完成(約款第32条) ②部分払の請求に係る出来形部分又は部分払指定工事材料等(約款第38条) ③部分引渡しの指定部分に係る工事の完成(約款第39条) ④契約の解除時における出来形部分(約款第48条) ⑤必要があると認めたときの臨時検査(約款第50条)
(2)	1.4.2材料の品質等	(1)工事に使用する材料は、「建築材料・設備機材等品質性能評価事業建築材料等評価名簿（一般社団法人公共建築協会）契約時の最新版」の名簿に記載されている品目については、当該名簿に記載されている材料又は製造所の製品とするほか、設計図書に定める品質及び性能を有するものとし、新品とする。ただし、設計図書に定めのある場合は、この限りでない。 なお、「新品」とは、品質及び性能が製造所から出荷された状態であるものを指し、製造者による使用期限等の定めがある場合を除き、製造後一定期間以内であることを条件とするものではない。
		(2)使用する材料が設計図書に定める品質及び性能を有することの証明となる資料を、監督員に提出する。 ただし、設計図書に定めるＪＩＳ又はＪＡＳの材料で、ＪＩＳ又はＪＡＳのマーク表示のあるものを使用する場合又はあらかじめ監督員の承諾を受けた場合(次の(ｱ)から(ｳ)のいずれかに該当する材料を使用する場合は、あらかじめ監督員の承諾を受けたとみなすことができる。)は、この限りでない。 (ｱ)建築基準法その他の認定品で、マーク等の確認ができる材料 (ｲ)建築材料・設備機材等品質性能評価事業建築材料等評価名簿に記載されている材料又は製造所の製品（特記で改修標仕及び標仕の規定に基づく品質及び性能以外を規定した場合を除く。） (ｳ)特記により指定された材料又は製造者の製品
(3)	1.4.4　材料の検査等	(1)工事現場に搬入した材料は、種別ごとに監督員の検査を受ける。ただし、次の(ｱ)若しくは(ｲ)に該当する場合又はあらかじめ監督員の承諾を受けた場合は、この限りでない。 (ｱ)工事完成検査時又は工事写真で、ＪＩＳ若しくはＪＡＳのマークを確認できる場合 (ｲ)建築基準法その他の認定品と指定された材料で、工事完成検査時又は工事写真で品質、性能を証明するマーク等を確認できる場合
(4)	1.7.1　工事検査	(2)約款に基づく部分払を請求する場合は、当該請求に係る出来形部分等の算出方法について監督員の指示を受けるものとする。
		(3)(1)の通知又は(2)の請求に基づく検査及び約款第48条及び第50条に規定する検査は、発注者から通知された検査日に受ける。

Ⅱ　特記仕様

1.項目は、番号に ◯ 印の付いたものを適用する。
2.特記事項は、⊙印の付いたものを適用する。
⊙印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。
⊙印と⊗印の付いた場合は、共に適用する。
3.特記事項の記載の[　.　.　]内表示番号は、改修標仕の当該項目、当該図又は当該表を示す。
特記事項に記載の(　.　.　)内表示番号は、標仕の当該項目、当該図または当該表を示す。
4.製造所名は、五十音順とし「株式会社」等の記載は省略する。また（　）内は製品名を示す。

章	項　目	特　記　事　項
①各章共通事項	① 工事実績情報サービス(CORINS)への登録	※請負工事費500万円以上の場合、登録する　[1.1.4]
	2 概成工期	※無し　・有(工期　令和　年　月　日)　[1.2.1]
	3 内部の工事期間等	※着手　令和　年　月　日 ～ 終了　令和　年　月　日までとする。 ※工事請負約款第34条に基づき、部分使用承諾書により、施設内部の使用を開始する。 ※次の作業は内部工事着手前に行える。ただし、着手日、作業箇所は施設及び監督員と協議のうえ決定する。 ※外部足場組等の仮設工事 ※工場制作のための現場寸法調査
	4 品質計画等	建築基準法に基づき指定する条件　[1.2.2] ・地区の区分に応じた風速（Vo（m／sec））　・３０　・３２ ・地表面粗度区分　・Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ ・多雪地域の指定　積雪区分　建告示第１４５５号　別表（　）
	⑤ 監理技術者の要件	※建築工事に係る監理技術者証を有するもので、次のいずれかの要件を満たす監理技術者を専任で配置できること。 1　建築工事の施工に関し、１０年以上の実務経験を有すること。 2　一級建築士又は一級建築施工管理技士の資格取得後４年以上の実務経験を有すること。
	6 電気保安技術者	※要　[1.3.3]
	⑦ 発生材の処理等	１０追加特記　7「発生材の処理等」による。　[1.3.12]
	⑧ 特別な材料の工法	改修標仕及び標仕に記載されていない特別な材料の工法は、材料製造所の指定工法による。
	⑨ 施工数量調査の方法	目視及び打診(必要に応じて破壊)による調査を行う。調査範囲及び調査内容は各章による。　[1.5.2]
	⑩ 技能士	[1.6.2] 適用工事種別 ／ 技能検定の職種 防水改修工事 ／ ・ｱｽﾌｧﾙﾄ防水工事作業　⊙合成ｺﾞﾑ系ｼｰﾄ防水工事作業　⊙塗膜防水工事作業　⊙ｼｰﾘﾝｸﾞ防水工事作業　⊙左官　・建築板金(内外装板金作業) 外壁改修工事 ／ ・左官　・ﾀｲﾙ張り　⊙塗装(建築塗装作業)　⊙樹脂接着剤注入施工 建具改修工事 ／ ⊙ｻｯｼ施工　⊙ｶﾞﾗｽ施工 内装改修工事 ／ ・建築大工　・左官　・表装(壁装作業)　・内装仕上げ施工　(・ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ系床仕上げ　・ﾎﾞｰﾄﾞ仕上げ　・鋼製下地工事)　・ﾀｲﾙ張り 塗装改修工事 ／ ・塗装(建築塗装作業) 耐震改修工事 ／ ・とび　・型枠施工　・鉄筋施工 環境配慮改修工事 ／ ・防水施工(ｱｽﾌｧﾙﾄ防水工事作業)　・ｶﾞﾗｽ施工　・造園 ﾌﾞﾛｯｸ、ALCﾊﾟﾈﾙ工事 ／ ・ﾌﾞﾛｯｸ建築　・ＡＬＣﾊﾟﾈﾙ施工 石工事 ／ ・石材施工(石張り施工) ・
	11 見本施工	※実施する　[1.6.5]
	12 化学物質の濃度測定	１０追加特記　8「化学物質の濃度測定」による。　[1.6.9]
	⑬ 完成図等	※下記のものを作成し提出する。なお、作成方法等は、監督員の指示による。 ⊙案内図及び配置図　⊙平面図　・立面図　・断面図　[1.8.1～1.8.3] ⊙仕上表　⊙建物の保全に関する説明書(取扱説明書を含む。)　⊙その他図面 ※竣工図　(A1　2部　A3　2部)　⊙ＣＡＤデータ
	⑭ 施工図等の取扱	施工図等の著作権に係わる当該建築物に限る使用権は、発注者に委譲するものとする。
	⑮ 工事完成写真	※同一箇所の改修前と改修後が比較出来るように整理のうえ監督員に提出する。 ※提出部数　部
	⑯ 工事施工状況写真	※工事施工状況写真の撮影は、工事に係る材料、施工及び品質管理の状況が確認できるように行うものとし、「国土交通省大臣官房官庁営繕部監修　営繕工事写真撮影要領(平成28年版)による工事写真撮影ガイドブック建築工事編及び解体工事編(平成30年版)」を参考に、撮影計画書を作成して、監督員に提出する。ただし、あらかじめ監督員の承諾を受けた場合は、撮影計画書の作成を省略できる。 ※提出部数　1部（データは2部）
	17 設備工事との取合い	１０追加特記　6「工事区分表」による。

章	項　目	特　記　事　項
②仮設工事	1 騒音・粉じん等の対策	・防音パネル　・防音シート　[2.1.3] 防音パネル等を取り付ける足場等の設置範囲：
	② 監督員事務所等	・監督員事務所　・10　・20　・35　・65　・　㎡程度を設ける。　[2.4.1] ⊙仮設事務所の中に監督員用空間を　6㎡程度確保する。 ・監督員が使用できる備品として、下記のものを工事期間中現場に用意し、貸与する。 ⊙保護帽　2ケ　⊙雨具　2着　⊙長靴　2足　⊙安全帯　2組
	③ 工事用水	構内既存の施設　・利用できない　※利用できる（※有償　・無償）
	④ 工事用電力	構内既存の施設　・利用できない　※利用できる（※有償　・無償）
	⑤ 仮設建物等	現場事務所、倉庫、下小屋等の仮設建物の位置はあらかじめ監督員の承諾を受ける。
	⑥ 足場	「手すり先行工法に関するｶﾞｲﾄﾞﾗｲﾝ」に基づく足場の設置に当たっては、　[2.2.1] 同ｶﾞｲﾄﾞﾗｲﾝの別紙１「手すり先行工法による足場の組立等に関する基準」における2の(2)手すり据置き方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行う。 外部足場　⊗枠組足場（設置範囲：⊙工事に必要な範囲　・　） ・ 内部足場　・架台足場　・枠組棚足場
	⑦ 養生	既存部分の養生　⊗ﾋﾞﾆｰﾙｼｰﾄ、合板等　[2.3.1] 既存家具等の養生　※ﾋﾞﾆｰﾙｼｰﾄ等　・　[2.3.1] 備品等の移動　[2.3.1] ※監督員の指示による施設内移動とする。(対象備品の移動先は、図示による) ・行わない
	8 仮設間仕切り	仮設間仕切り等の種別　[2.3.2][表2.3.1] 種別 ／ 下地 ／ 仕上げ材(厚さmm) ／ 充填材(mm) ／ 塗装 ・A種 ／ ※軽量鉄骨 ／ ※せっこうﾎﾞｰﾄﾞ(※9.5　・　) ／ 厚さ(　) ／ ※無し ※B種 ／ ・木造 ／ ・合板(※9　・　) ／ ／ ・片面 ・C種 ／ 単管 ／ 防炎シート ／ ／ 仮設扉 ／ ※木製扉 ／ 合板張り程度 ／ ・行う　厚さ(　) ／ ※無し　・片面 ・
③防水改修工事	① 施工数量調査	[1.5.2] 下記の調査結果について、施工方法、施工箇所、施工数量等をまとめた施工数量調査報告書を提出し、監督員の承諾を得て施工する。 調査範囲 屋根、庇等の防水改修工事の対象となる既存ｺﾝｸﾘｰﾄ面、ﾓﾙﾀﾙ面等 調査内容 ひび割れの幅及び長さを屋根面等に図示する。 浮き部分、欠損部を屋根面等に表示する。また、脆弱部を調査する。 部分的な水はけ不良部や勾配不良の箇所を屋根面等に表示する。
	② 防水の保証等	※防水工事は、新潟県防水工事業協同組合員の施工とし、受注者は新潟県防水工事業協同組合と連名の保証書を提出する。ただし、県が認めた場合は、組合員外の施工とすることができる。この場合は、受注者と施工者との連名の保証書とする。 工法種別 ／ 施工箇所 ／ 保証期間 ⊙塩ビシート防水　工法 ／ 平面、立面 ／ １０年間 ⊙ウレタン塗膜防止工法 ／ 平面、立面 ／ １０年間 ・　工法 ／ ／ １０年間
	3 アスファルト防水	[3.1.4][表3.1.1][3.3.3][表3.3.3～表3.3.10] 防水改修工法の種類 ／ 施工箇所 ／ 新規防水工法の種別 保護防水 ／ ・Ｐ１Ｂ ／ ／ ・B-1　・B-2 ・Ｐ１Ｂ Ｉ・Ｔ１Ｂ Ｉ ／ ／ ・ＢＩ-1　・ＢＩ-2 ・Ｐ２Ａ Ｉ ／ ／ ・ＡＩ-1　・ＡＩ-2 ・Ｐ２Ａ ／ ／ ・A-1　・A-2 露出防水 ／ ・Ｍ４Ｃ ／ ／ ・C-1　・C-2 ・Ｐ０Ｄ　・Ｍ３Ｄ ／ ／ ・D-1　・D-2 ・Ｐ０Ｄ Ｉ ／ ／ ・ＤＩ-1　・ＤＩ-2 ・Ｍ３Ｄ Ｉ ／ ／ 仕上げ塗料塗り ・Ｍ４Ｄ Ｉ ／ ／ ※有り（・ｼﾙﾊﾞｰ　・ｶﾗｰ） 使用量は製造所標準仕様 屋内防水 ／ ・Ｐ１Ｅ　・Ｐ２Ｅ ／ ／ ・E-1　・E-2 アスファルトの種類　※３種　・　[3.2.2][3.3.2] ・二重ドレンの設置（・POD工法　・PODI工法）　[3.2.5] ・既存露出防水層表面の仕上げ塗装の除去（M4C工法、M4DI工法）　[3.2.6] ・粘着層付改質ｱｽﾌｧﾙﾄﾙｰﾌｨﾝｸﾞ　厚さ(mm)　※1.5以上　・　[3.3.2] ・改質ｱｽﾌｧﾙﾄﾙｰﾌｨﾝｸﾞ　厚さ(mm)　※3.0以上　・　[3.3.2] ・断熱材（屋根保護又は露出防水断熱工法）　[3.3.2] 厚さ（mm）　※25　・ 材質　屋根保護防水断熱工法　・押出法ﾎﾟﾘｽﾁﾚﾝﾌｫｰﾑ断熱材3種bAｽｷﾝ層付き（JIS A 9521 建築用断熱材） 材質　屋根露出防水断熱工法　・ﾋﾞｰｽﾞ法ﾎﾟﾘｽﾁﾚﾝﾌｫｰﾑ断熱材 ・押出法ﾎﾟﾘｽﾁﾚﾝﾌｫｰﾑ断熱材 ・硬質ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ断熱材（2種1号又は2号の場合、透湿係数を除くJIS A 9521の規格に準ずるもの） ・ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝﾌｫｰﾑ断熱材 ・ﾌｪﾉｰﾙﾌｫｰﾑ断熱材
③防水改修工事	3 アスファルト防水	乾式保護材の材料　[3.3.2] 種類 ／ 寸法(mm)：厚さ×幅 ／ 摘要 ・押出成型ｾﾒﾝﾄ板(窯業系ﾊﾟﾈﾙ) ／ ※Ⅰ類　※15　× ／ ・無石綿に限る ・Ⅱ種　・　× ／ ・金属複合板 ／ ※12　× ／ ｺﾝｸﾘｰﾄ仕上がりの平たんさ　・a種　・b種　・c種　[3.3.5][表8.1.5]
	4 改質ｱｽﾌｧﾙﾄｼｰﾄ防水	[3.1.4][表3.1.1][3.4.2][3.4.3][表3.4.1～表3.4.3] 防水改修工法の種類 ／ 施工箇所 ／ 新規防水層の種別 ／ シートの厚さ（mm） 密着工法 ／ ・Ｍ４ＡＳ ／ ／ ・AS-T1 ／ 下層用　※2.5以上　・ 上層用　※3.0以上　・ ・AS-T2 ／ ※4.0以上　・ ・AS-J2 ／ ※3.0以上　・ 絶縁工法 ／ ・Ｍ３ＡＳ　・ＰＯＡＳ ／ ／ ・AS-T3 ／ 下層用　※1.5以上　・ 上層用　※3.0以上　・ ・AS-T4 ／ ※4.0以上　・ ・AS-J1 ／ ※1.5以上　・ ※2.0以上　・ ・AS-J3 ／ ※3.0以上　・ 断熱工法 ／ ・Ｍ３ＡＳＩ　・Ｍ４ＡＳＩ　・ＰＯＡＳＩ ／ ／ ・ASI-T1 ／ 下層用　※1.5以上　・ 上層用　※3.0以上　・ ・ASI-J1 ／ 下層用　※1.5以上　・ 上層用　※2.0以上　・ ・二重ドレンの設置（POAS工法及びPOASI工法の場合）　[3.2.5] ・既存露出防水層表面の仕上げ塗装の除去（M4AS工法及びM4ASI工法）　[3.2.6] ・断熱工法の断熱材　厚さ(mm)・　材質・　[3.4.2] ・下地に部分的に密着又は接着を行う工法　※製造所の標準仕様　・　[3.4.4]
	⑤ 合成高分子系ﾙｰﾌｨﾝｸﾞｼｰﾄ防水	[3.1.4][表3.1.1][3.5.2][3.5.3][表3.5.1]～[表3.5.3] 防水改修工法の種類 ／ 施工箇所 ／ 新規防水層の種別(塗装(mm)) ／ 備考：脱気装置 ／ 備考：二重ﾄﾞﾚﾝ ・ＰＯＳ工法 ⊙ＳＡＳ工法 ／ ／ ・S-F1(※1.2　・　) ⊙S-F2(※2.0　・　) ・S-M1(※1.5　・　) ⊙S-M2(※1.5　⊙2.0) ・S-M3(※1.2　・　) ／ POS工法・設ける ／ POS工法・設ける ・ＳＳＳ工法 ／ ／ ・S-F1(※1.2　・　) ・S-F2(※2.0　・　) ／ ・設ける ／ ・Ｍ４Ｓ工法 ／ ／ ・S-M1(※1.5　・　) ・S-M2(※1.5　・　) ・S-M3(※1.2　・　) ／ ／ 断熱工法 ／ ・ＰＯＳＩ　・ＳＡＳＩ ／ ／ ・SI-F1(※1.2　・　) ・SI-F2(※2.0　・　) ・SI-M1(※1.5　・　) ・SI-M2(※1.5　・　) ／ POSI工法・設ける ／ POSI工法・設ける ・ＳＳＳＩ ／ ／ ・SI-F1(※1.2　・　) ・SI-F2(※2.0　・　) ／ ・設ける ／ ・Ｍ４ＳＩ ／ ／ ・SI-M1(※1.5　・　) ・SI-M2(※1.5　・　) ／ ／ ・Ｐ１Ｓ工法 ／ ／ ・S-C1(※1.0　・　) ／ ／ 仕上げ塗料塗り（S-F1,SI-F1,S-M1,SI-M1の場合）　・ｼﾙﾊﾞｰ　・ｶﾗｰ 新規防水層の使用分類　※非歩行　・軽歩行 断熱工法の断熱材　厚さ(mm)・　材質・　[3.5.2] ﾌﾞﾚｷｬｽﾄｺﾝｸﾘｰﾄ部材下地　[3.5.4] 目地処理（接着工法）　※図示 入隅部の増張り（種別S-F1、SI-F1の場合）　・行う（幅　mm程度）
	⑥ 塗膜防水	[3.1.4][表3.1.1][3.6.3][表3.6.1][表3.6.2] 防水改修工法の種類 ／ 施工箇所 ／ 新規防水層の種別 ／ 仕上げ塗料塗り ⊙ＰＯＸ ／ ／ ※X-1　⊙X-2 ／ ・ｼﾙﾊﾞｰ ・Ｌ４Ｘ ／ ／ ・X-1　※X-2 ／ ・ｶﾗｰ ・Ｐ１Ｙ ／ ／ ※Y-2 ／ ・Ｐ２Ｙ ／ ／ ※Y-2 ／ ・二重ﾄﾞﾚﾝの設置（POX工法の場合）　[3.2.5] ・既存塗膜防水層表面仕上げ塗装の除去（L4X工法の場合）　[3.2.6] ・保護層　・設ける（P1Y、P2Y工法の場合）　[3.6.3]
	7 脱気装置	[3.3.3][表3.3.8][表3.3.9][3.4.3][表3.4.2][表3.4.3][3.5.3][3.6.3] 種類 ／ 仕様 ／ 材料 ・平面部脱気型 ／ ※製造所標準仕様（立上り型）・ ／ ※ｱﾙﾐ鋳造製・ｽﾃﾝﾚｽ製 ・立上り部脱気型 ／ ※製造所標準仕様・ ／ ・ ※設置数量は製造所指定数量による。

仕様書(そのⅠ)
Ver.020401

変更

一級建築士事務所　新潟県知事登録　(り) １３５９号
株式会社　関矢設計事務所
郵便番号　946-0111　新潟県魚沼市並柳182番地　℡　025-799-2122
管理建築士
一級建築士　第228811号
関　矢　茂　信

工事名称	4学工第12号　広神中学校校舎外部改修工事
年月日	2022年3月
図面番号	A-2
図面名称	仕様書(そのⅠ)
縮尺	A1版 FREE　A3版 FREE
㊞	電　構　機

③ 防水改修工事

⑧ シーリング [3.1.4][表3.1.2][3.7.4～3.7.7]

改修工法の種類	施工箇所
⊙ｼｰﾘﾝｸﾞ充填工法	図示による
⊙ｼｰﾘﾝｸﾞ再充填工法	
・拡幅ｼｰﾘﾝｸﾞ再充填工法	
・ﾌﾞﾘｯｼﾞ工法	

ｼｰﾘﾝｸﾞ材の種類及び施工箇所 [3.7.2][表3.7.1]

※下表以外は、改修標仕表3.7.1を標準とする

施工箇所	ｼｰﾘﾝｸﾞ材の種類（記号）

接着性試験 [3.7.8]

※簡易接着性試験　・引張接着性試験（対象施工部位　　）

ただし試験成績書を監督員に提出し、承諾を得た場合は試験を省略できる

撤去既存ｼｰﾘﾝｸﾞの処理

事前調査等　・行う（下記の要領で分析する）　・行わない

現場においてｻﾝﾌﾟﾙを採集し、専門分析機関で分析を行う。

採取個所　※外壁目地　・建具周囲目地　・図示

採取個所数　・部材が異なる毎に1箇所　・図示

分析によりPCBの含有が確認された場合は、下記により施工調査等を行い、適切に処理を行う

調査範囲　※今回改修工事範囲全て　・図示

調査内容　ｼｰﾘﾝｸﾞ使用部位及び長さの確認

施工範囲と工事監理区分の確認

仮設計画

廃棄物等の搬出方法

⑨ とい 材種 [3.8.2][表3.8.1]

・配管用鋼管　※硬質塩化ﾋﾞﾆﾙ管　・ﾘｻｲｸﾙ硬質ﾎﾟﾘ塩化ﾋﾞﾆﾙ発泡三層管

多雪地域の軒どい取付け間隔 [3.8.2]

・適用する（0.5m以下）　・適用しない

鋼管製といの防露 [3.8.3][表3.8.4]

※改修標仕表3.8.4による　・

たてどい受け金物の取付け　※図示　⊙標仕13.5.3(4)(ｲ)による [3.8.3](13.5.3)

⑩ ｱﾙﾐﾆｳﾑ製笠木 ｱﾙﾐﾆｳﾑ製笠木の種類 [3.9.2][3.9.3][表3.9.1]

形式	種類	幅(mm)	板厚(mm)	表面処理・色合い	固定間隔	下地補修
オープン	・250形		1.6以上	・ＢＡ－１	建築基準法に基づく指定する条件により定める	※行う（図示）
	・300形		1.8以上	・ＢＡ－２		
	・350形		2.0以上	・		
	・板材折曲げ形	・	・2.0 ・	・ｸﾞﾗｳﾝ系 ・ﾌﾞﾗｯｸ ・ｽﾃﾝｶﾗｰ		・行わない
シール	・板材折曲げ形	・	・2.0 ・			

板材折曲げ形ｱﾙﾐﾆｳﾑ製笠木の取付工法

笠木の固定金具は改修標仕3.9.3(2)(ｱ)とし、それ以外の取付方法は図示による

4-1 外壁改修工事共通事項

① 施工数量調査 [1.5.2]

下記の劣化状況調査の結果について、施工方法、施工箇所、施工数量等をまとめた施工数量調査報告書を提出し、監督員の承諾を得て施工する。

調査範囲

仕上塗材仕上げの下地となる外壁、庇等の躯体ｺﾝｸﾘｰﾄ面、既存ﾓﾙﾀﾙ、ﾀｲﾙ等の面

調査内容

ひび割れの幅及び長さを壁面等に図示する。

ひび割れ部の挙動の有無、漏水の有無及び錆汁の流出の有無を調査する。

浮き部分を壁面に表示する。また、ﾓﾙﾀﾙの剥離・剥落など欠陥部分を調査する。

ｺﾝｸﾘｰﾄの表面の剥がれ及び剥落部を壁面に表示する。

仕上塗材等の劣化部分、剥落部等を壁面に表示する。

新規仕上塗材の美観に影響を与えるおそれのある段差部等を壁面に表示する。

② 外壁改修の保証等 ※外壁改修工事(劣化状況調査、劣化部補修及び下地処理、ｼｰﾘﾝｸﾞ、仕上塗材仕上)は、新潟県外壁補修工事業協同組合員(以下、「組合員」という。)の施工とする。ただし、やむを得ない場合は、劣化部補修を組合員以外の施工とすることができる。その場合は、組合員の施工指示による。

※外壁改修工事について、受注者は新潟県外壁補修工事業協同組合と連名の保証書を提出する。 ※ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸ造の外壁は保証対象範囲外

種類	保証範囲	保証期間
防水型複層塗材E (JIS-A6909)	外壁下地・塗装面	１０年
外装薄塗材E (JIS-A6909)	外壁下地のみ	１０年

4-2 コンクリート打放し仕上げ外壁改修工事

① ひび割れ部改修工法

・樹脂注入工法 [4.1.4][4.3.4]

注入工法の種類	ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入量(ml/m)
※自動式低圧ｴﾎﾟｷｼ	0.2以上～1.0以下	※200～300	※130
樹脂注入工法		・	・
・手動式ｴﾎﾟｷｼ	0.2以上～0.3以下	※50～100	※40　・
樹脂注入工法	0.3超え～0.5以下	※100～200	※70　・
・機械式ｴﾎﾟｷｼ	0.5超え～1.0以下	※150～250	※130　・
樹脂注入工法		・	・

注入材料 [4.2.2]

※建築補修用及び建築補強用ｴﾎﾟｷｼ樹脂(JIS A6024低粘度形又は中粘度形)

・

検査（ｺｱ抜取り） [4.3.4]

※行わない

・行う　抜取り部の補修方法

※充填工法（・ｴﾎﾟｷｼ樹脂ﾓﾙﾀﾙ　・ﾎﾟﾘﾏｰｾﾒﾝﾄﾓﾙﾀﾙ） [4.3.7]

・Uｶｯﾄｼｰﾙ材充填工法 [4.1.4][4.2.2][4.3.5]

充填材料	種別	備考
・ｼｰﾘﾝｸﾞ材	※1成分形又は2成分形 ﾎﾟﾘｳﾚﾀﾝ系ｼｰﾘﾝｸﾞ材 ・	ﾎﾟﾘﾏｰｾﾒﾝﾄﾓﾙﾀﾙの充填 ※行わない　・行う
・可とう性ｴﾎﾟｷｼ樹脂		

・ｼｰﾙ工法 [4.1.4][4.2.2][4.3.6]

ｼｰﾙ材料

・ﾊﾟﾃ状ｴﾎﾟｷｼ樹脂

・可とう性ｴﾎﾟｷｼ樹脂

※改修標仕4.3.6(2)(ｳ)を「ﾌﾟﾗｲﾏｰを塗布したのち、ｼｰﾙ材をﾊﾟﾃへら等でｸﾗｯｸに押し込み、周囲と平滑に仕上げる。」と読み替える。

② 欠損部改修工法 ※充填工法 [4.1.4][4.2.2][4.3.7]

充填材料

・ｴﾎﾟｷｼ樹脂ﾓﾙﾀﾙ

※ﾎﾟﾘﾏｰｾﾒﾝﾄﾓﾙﾀﾙの塗り厚が20mmを超える場合、または現状成形が不可能な場合は監督員と協議すること。

4-3 モルタル塗り仕上げ外壁改修工事

1 既存モルタル塗りの撤去

・行う（※全面　・図示の範囲）

2 ひび割れ部改修工法

・既存ﾓﾙﾀﾙ撤去工法（範囲は図示　撤去部分の補修は３.欠損部改修工法による）

・樹脂注入工法 [4.1.4][4.3.4][4.4.2][4.4.5]

注入工法の種類	ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入量(ml/m)
※自動式低圧ｴﾎﾟｷｼ	0.2以上～1.0以下	※200～300	※130
樹脂注入工法		・	・
・手動式ｴﾎﾟｷｼ	0.2以上～0.3以下	※50～100	※40　・
樹脂注入工法	0.3超え～0.5以下	※100～200	※70　・
・機械式ｴﾎﾟｷｼ	0.5超え～1.0以下	※150～250	※130　・
樹脂注入工法		・	・

注入材料 [4.2.2]

※建築補修用及び建築補強用ｴﾎﾟｷｼ樹脂(JIS A6024低粘度形又は中粘度形)

・

検査（ｺｱ抜取り） [4.3.4][4.4.5]

※行わない

・行う　抜取り部の補修方法

※充填工法（・ｴﾎﾟｷｼ樹脂ﾓﾙﾀﾙ　・ﾎﾟﾘﾏｰｾﾒﾝﾄﾓﾙﾀﾙ） [4.3.7]

・Uｶｯﾄｼｰﾙ材充填工法 [4.1.4][4.2.2][4.3.5][4.4.6]

充填材料	種別	備考
・ｼｰﾘﾝｸﾞ材	※1成分形又は2成分形 ﾎﾟﾘｳﾚﾀﾝ系ｼｰﾘﾝｸﾞ材 ・	ﾎﾟﾘﾏｰｾﾒﾝﾄﾓﾙﾀﾙの充填 ※行わない　・行う
・可とう性ｴﾎﾟｷｼ樹脂		

・ｼｰﾙ工法 [4.1.4][4.2.2][4.3.6][4.4.7]

ｼｰﾙ材料

・ﾊﾟﾃ状ｴﾎﾟｷｼ樹脂

・可とう性ｴﾎﾟｷｼ樹脂

改修標仕4.3.6(2)(ｳ)を「ﾌﾟﾗｲﾏｰを塗布したのち、ｼｰﾙ材をﾊﾟﾃへら等でｸﾗｯｸに押し込み、周囲と平滑に仕上げる。」と読み替える。

3 欠損部改修工法

・充填工法 [4.1.4][4.2.2][4.3.7][4.4.8]

充填材料　※ﾎﾟﾘﾏｰｾﾒﾝﾄﾓﾙﾀﾙ

・ﾓﾙﾀﾙ塗替え工法 [4.1.4][4.2.2][4.4.9]

・現場調合材料

（ｾﾒﾝﾄは本特記仕様書8-1、8-2「セメントの種類」による）

・既調合材料（　　）

仕上げ厚又は全塗り厚が25mmを超える場合の処置

※ｽﾃﾝﾚｽ製ｱﾝｶｰﾋﾟﾝを縦横200mm程度の間隔に打ち込み、ｽﾃﾝﾚｽﾗｽ等を張る。

・図示

既製目地材　・適用する（形状　※図示　・　　） [4.2.2]

4 浮き部改修工法

ﾓﾙﾀﾙを撤去しない場合 [4.1.4][4.2.2][4.4.10]～[4.4.15][表4.4.3][表4.4.4]

改修工法の種類	ｱﾝｶｰﾋﾟﾝの本数(本/㎡) 一般部	ｱﾝｶｰﾋﾟﾝの本数(本/㎡) 指定部	注入口の箇所数(箇所/㎡) 一般部	注入口の箇所数(箇所/㎡) 指定部	注入量(mL/箇所)
・ｱﾝｶｰﾋﾟﾝﾆﾝｸﾞ部分ｴﾎﾟｷｼ樹脂注入工法	※16 ・	※25 ・			※25 ・
・ｱﾝｶｰﾋﾟﾝﾆﾝｸﾞ全面ｴﾎﾟｷｼ樹脂注入工法	※13 ・	※20 ・	※12 ・	※20 ・	※25 ・
・ｱﾝｶｰﾋﾟﾝﾆﾝｸﾞ全面ﾎﾟﾘﾏｰｾﾒﾝﾄｽﾗﾘｰ注入工法	※13 ・	※20 ・	※12 ・	※20 ・	※50 ・
・	・	・	・	・	・

ｱﾝｶｰﾋﾟﾝ [4.2.2]

材質　※ｽﾃﾝﾚｽSUS304、呼び径4mmの丸棒で全ﾈｼﾞ切り加工したもの

・

4-4 タイル張り仕上げ外壁改修工事

1 既存ﾀｲﾙ張りの撤去

・外壁ﾀｲﾙ張り全面　・図示の範囲

撤去範囲　※下地ﾓﾙﾀﾙまで　・張付けﾓﾙﾀﾙまで

2 ひび割れ部改修工法

改修箇所　※既存ﾀｲﾙ張り面

・既存ﾀｲﾙ撤去面（・ｺﾝｸﾘｰﾄ面　・ﾓﾙﾀﾙ面）

・樹脂注入工法 [4.1.4][4.3.4][4.5.2][4.5.5]

注入工法の種類	ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入量(ml/m)
※自動式低圧ｴﾎﾟｷｼ	0.2以上～1.0以下	※200～300	※130
樹脂注入工法		・	・
・手動式ｴﾎﾟｷｼ	0.2以上～0.3以下	※50～100	※40　・
樹脂注入工法	0.3超え～0.5以下	※100～200	※70　・
・機械式ｴﾎﾟｷｼ	0.5超え～1.0以下	※150～250	※130　・
樹脂注入工法		・	・

注入材料 [4.2.2]

※建築補修用及び建築補強用ｴﾎﾟｷｼ樹脂(JIS A6024低粘度形又は中粘度形)

・

検査（ｺｱ抜取り） [4.3.4][4.5.5]

※行わない

・行う　抜取り部の補修方法

※充填工法（・ｴﾎﾟｷｼ樹脂ﾓﾙﾀﾙ　・ﾎﾟﾘﾏｰｾﾒﾝﾄﾓﾙﾀﾙ） [4.3.7]

・Uｶｯﾄｼｰﾙ材充填工法 [4.1.4][4.2.2][4.3.5][4.5.6]

充填材料	種別	備考
・ｼｰﾘﾝｸﾞ材	※1成分形又は2成分形 ﾎﾟﾘｳﾚﾀﾝ系ｼｰﾘﾝｸﾞ材 ・	ﾎﾟﾘﾏｰｾﾒﾝﾄﾓﾙﾀﾙの充填 ※行わない　・行う
・可とう性ｴﾎﾟｷｼ樹脂		

3 欠損部改修工法

・ﾀｲﾙ部分張替え工法 [4.1.4][4.5.7]

接着材の種類 [4.2.2]

※ﾎﾟﾘﾏｰｾﾒﾝﾄﾓﾙﾀﾙ

・ﾀｲﾙ張替え用ｴﾎﾟｷｼ樹脂

・ｼﾘｺﾝ樹脂

・ﾀｲﾙ張替え工法 [4.1.4][4.5.8]

伸縮調整目地及び、ひび割れ誘発目地 [4.5.8][表4.5.1]

位置　※改修標仕表4.5.1による　・図示

4 浮き部改修工法

ﾀｲﾙを撤去しない場合 [4.1.4][4.2.2][4.4.10～4.4.15][5.4.4][表4.4.3][表4.4.4]

改修工法の種類	ｱﾝｶｰﾋﾟﾝの本数(本/㎡) 一般部	ｱﾝｶｰﾋﾟﾝの本数(本/㎡) 指定部	注入口の箇所数(箇所/㎡) 一般部	注入口の箇所数(箇所/㎡) 指定部	注入量(mL/箇所)
・ｱﾝｶｰﾋﾟﾝﾆﾝｸﾞ部分ｴﾎﾟｷｼ樹脂注入工法	※16 ・	※25 ・			※25 ・
・ｱﾝｶｰﾋﾟﾝﾆﾝｸﾞ全面ｴﾎﾟｷｼ樹脂注入工法	※13 ・	※20 ・	※12 ・	※20 ・	※25 ・
・ｱﾝｶｰﾋﾟﾝﾆﾝｸﾞ全面ﾎﾟﾘﾏｰｾﾒﾝﾄｽﾗﾘｰ注入工法	※13 ・	※20 ・	※12 ・	※20 ・	※50 ・
・	・	・	・	・	・

ｱﾝｶｰﾋﾟﾝ [4.2.2]

材質　※ｽﾃﾝﾚｽSUS304、呼び径4mmの丸棒で全ﾈｼﾞ切り加工したもの

・

5 ﾀｲﾙ張り

ﾀｲﾙの種類 [4.2.2][4.5.7][4.5.8]

施工場所・用途	形状寸法(mm)	耐凍害性 あり	耐凍害性 なし	うわぐすり 施釉	うわぐすり なし	役物 あり	役物 なし	色 標準	色 特注	備考
		・	・	・	・	・	・	・	・	
		・	・	・	・	・	・	・	・	

備考欄に記載された商品名等は、品質の程度を示すための参考商品名である。

役物：標準的な曲がり（小口、標準、二丁、屏風）の役物は一体成形とする

ﾀｲﾙの見本焼き　※行わない　・行う [4.2.2]

壁ﾀｲﾙ張りの工法 [4.5.8][表4.5.4]

外装ﾀｲﾙ　・密着張り　・改良積上げ張り　・改良圧着張り

ﾕﾆｯﾄﾀｲﾙ　・ﾏｽｸ張り　・ﾓｻﾞｲｸﾀｲﾙ張り

ﾀｲﾙの試験張り　※行わない　・行う [4.2.2]

6 目地改修工法

・目地ひび割れ部改修工法 [4.1.4][4.5.16]

・伸縮調整目地改修工法 [4.1.4][4.5.16]

伸縮調整目地の位置及び寸法　・図示　・

4-5 塗り仕上げ外壁改修工事

① 既存塗膜等の除去及び下地処理

既存塗膜劣化部の除去、下地処理の工法 [4.6.3][表4.6.2～表4.6.5]

工法	処理範囲	下地ひび割れ部等の補修
・ｻﾝﾀﾞｰ工法	※既存仕上げ面全体　・	・ひび割れ部改修工法 ・浮き部改修工法 ・欠損部改修工法
※高圧水洗工法	※既存外装薄塗材仕上げ面 30Mpa ※既存防水型複層塗材仕上げ面 15Mpa	
・塗膜はく離剤工法	※既存仕上げ面全体　・	
・水洗い工法	※上記処理範囲以外の既存仕上面全体 ・	

2 下地調整 ※下地調整塗材 [4.2.2][4.6.3]

・ﾎﾟﾘﾏｰｾﾒﾝﾄﾓﾙﾀﾙ

4-5 塗り仕上げ外壁改修工事

③ 仕上げ塗材

種類、仕上げの形状、工法 [4.1.5][4.2.2][表4.2.4][表4.2.5]

種類	呼び名	仕上げの形状
⊙薄付け仕上塗材	※外装薄塗材E	※砂壁状　・着色骨材砂壁状
	・	
⊙複層仕上塗材	・複層塗材CE	・ゆず肌状　・凸部処理　※凹凸状
	・複層塗材E	耐候性　※耐候形３種　・耐候形２種
	⊙複層塗材RE	上塗材
	※防水形複層塗材E	溶媒　※水系　・溶剤形
	・	樹脂　※ｱｸﾘﾙ系　・ﾎﾟﾘｳﾚﾀﾝ系
	・	外観　※つやあり　・つやなし　・ﾒﾀﾘｯｸ
	・	防水形の増塗材　※行う

防火材料　・建築基準法に基づく指定又は認定を受けた材料とする。 [4.2.2]

4 外壁用塗膜防水材塗り

外壁用塗膜防水塗り [4.1.5][4.2.2][4.8.2][表4.2.6]

仕上げの形状　・　　工法　・

外壁用仕上塗材の耐候性　※JIS A 6909の耐候形１種相当　・

下地挙動緩衝材の適用　・適用する　・適用しない

吹付け工法の模様材の種類　・　・所要量　[kg/㎡]

外壁用仕上塗料の種類　・　・所要量　[kg/㎡]

ｺﾝｸﾘｰﾄ面のひび割れ部及び欠損部の処理は、本特記仕様書4-2による

ﾓﾙﾀﾙ面のひび割れ部、欠損部及び浮き部の処理は、本特記仕様書4-3による

既存塗膜等の除去、下地処理及び下地調整は、本特記仕様書4-5による

⑤ 建具改修工事

① 改修工法 [5.1.3]

改修工法	適用箇所
⊙かぶせ工法	※建具表による
・撤去工法	※建具表による

2 見本の製作等

・見本の製作　（建具番号　　） [5.1.5]

・特殊な建具の仮組　（建具番号　　）

3 防犯建物部品 ※適用する（適用部品及び適用位置は図示による） [5.1.7]

④ ｱﾙﾐﾆｳﾑ製建具

外部に面する建具の性能等級 [5.2.2][5.2.4][表5.2.1]

種別	耐風圧性	気密性	水密性	枠見込み(mm)	施工箇所
・Ａ種	Ｓ－４	※Ａ－３	※Ｗ－４	※７０	
※Ｂ種	Ｓ－５	・	・	・	
・Ｃ種	Ｓ－６	Ａ－４	Ｗ－５	・	

表面処理 [5.2.4][表5.2.2]

施工箇所	種別	色合い等
外部建具	※ＢＢ－１種	無着色
	・ＢＢ－２種	標準色（・ﾌﾞﾗｳﾝ系　・ﾌﾞﾗｯｸ　・ｽﾃﾝｶﾗｰ）
	・	・
内部建具	※ＢＣ－１種	無着色
	・ＢＣ－２種	標準色（・ﾌﾞﾗｳﾝ系　・ﾌﾞﾗｯｸ　・ｽﾃﾝｶﾗｰ）
	・	・

⑤ 網戸

防虫網 [5.2.3]

材質　※合成樹脂製　・ｶﾞﾗｽ繊維入り合成樹脂製　・ｽﾃﾝﾚｽ(SUS316)製

線経　※0.25mm以上　・

網目　※16～18メッシュ　・

形式　・外部可動式　・固定式　・図示

6 樹脂製建具

外部に面する建具の性能等級 [5.3.2][5.3.4][表5.3.1]

種別	耐風圧性	気密性	水密性	枠見込み(mm)	施工箇所
・Ａ種	Ｓ－４	Ａ－４	※Ｗ－４	・	
※Ｂ種	Ｓ－５		・Ｗ－５		
・Ｃ種	Ｓ－６				

外部に面する建具の遮音性能等級 [5.3.2][5.3.4][表5.3.2]

種別	遮音性能	施工箇所
・Ｔ－Ａ種	・Ｔ－１	
・Ｔ－Ｂ種	・Ｔ－２	

外部に面する建具の断熱性能等級 [5.3.2][5.3.4][表5.3.3]

種別	断熱性能	熱貫流率(W/(㎡･K))	施工箇所
・Ｈ－Ａ種	・Ｈ－４	2.91以下	
・Ｈ－Ｂ種	・Ｈ－５	2.33以下	
・Ｈ－Ｃ種	・Ｈ－６	1.90以下	

ガラス　※複層ガラス　・ [5.3.3]

表面色　標準色（・ﾌﾞﾗｳﾝ系　・ﾌﾞﾗｯｸ　・ｽﾃﾝｶﾗｰ） [5.3.4]

水切り　※図示 [5.3.5]

7 鋼製建具（標準型鋼製建具を含む）

簡易気密扉の簡易気密型ﾄﾞｱｾｯﾄ性能値 [5.4.2][5.4.6][表5.4.1]

※適用する（適用箇所は建具表による）

外部に面する建具の耐風圧性 [5.4.2][5.4.6][表5.2.1]

・Ｓ－４　・Ｓ－５　・Ｓ－６

鋼板類の厚さ（1枚戸の有効開口幅950mm又は有効高さ2,100mmを超える場合）

※下表以外は表5.4.2による [5.4.4][表5.4.2]

区分		使用箇所	厚さ(mm)
窓	枠類	外部の下枠、水切り板	2.3
出入口	枠類	外部に面するスイングドアの建具	2.3
	戸	中骨	2.3

・図示

仕様書(そのⅡ)

Ver.020401

一級建築士事務所　新潟県知事登録　（り）１３５９号

株式会社　関矢設計事務所

郵便番号　946-0111　新潟県魚沼市並柳182番地　TEL　025-799-2122

管理建築士　一級建築士　第228811号　関矢茂信

工事名称	年月日	図面番号
4学工第12号　広神中学校校舎外部改修工事	2022年3月	A-3

図面名称：仕様書（そのⅡ）

縮尺　Ａ１版 FREE　Ａ３版 FREE

㊞　電　構　機

⑤ 建具改修工事

8 鋼製軽量建具（標準型鋼製軽量建具を含む）

簡易気密型ﾄﾞｱｾｯﾄの性能値の適用は建具表による [5.5.2][5.5.6]
鋼板類の種類 [5.5.3]
・亜鉛めっき鋼板 ・ﾋﾞﾆﾙ被覆鋼板 ・ｶﾗｰ鋼板 ・ｽﾃﾝﾚｽ鋼板

9 ｽﾃﾝﾚｽ製建具

簡易気密型ﾄﾞｱｾｯﾄの性能値の適用は建具表による [5.4.2][5.6.2][表5.4.1]
外部に面する建具の耐風圧性 [5.4.2][5.6.2][表5.2.1]
・S－4 ・S－5 ・S－6

10 木製建具

かまち戸の樹種 かまち（ ） 鏡板（ ） (16.7.2)
ふすまの種別 ・Ⅰ類 ・Ⅱ類 (表16.7.3)
ふすまの上張り ※新鳥の子又はﾋﾞﾆﾙ紙程度 ・鳥の子 (表16.7.3)
ふすまの縁の仕上げ ・塗り縁 ・生地縁 (表16.7.10)

11 建具用金具

ﾏｽﾀｰｷｰ ・製作する（ 本） ※製作しない [5.7.4]
鍵札数量 ※錠前１組に２枚とする ・錠前１組に 枚とする
かぎ箱 市販品 形式 ・30組用 ・60組用 ・120組用 ・

12 自動ﾄﾞｱ開閉装置

自動ﾄﾞｱの開閉機構 [5.8.3][表5.8.4]

開閉方法	引き戸用検出装置の種類
ｽｲﾃﾞｨﾝｸﾞﾄﾞｱ ・ｽｲﾝｸﾞﾄﾞｱ	・電子ﾏｯﾄｽｲｯﾁ ・ﾀｯﾁｽｲｯﾁ ※光線(反射)ｾﾝｻｰ ・音波ｾﾝｻｰ ・熱線ｾﾝｻｰ ・光電ｾﾝｻｰ ・押しﾎﾞﾀﾝｽｲｯﾁ ・多機能ﾄｲﾚｽｲｯﾁ

凍結防止措置 ※行わない ・行う（ ） [5.8.3]

13 自閉式上吊り引戸装置

※適用する（適用建具及び適用位置は図示による） [5.9.1]

14 重量ｼｬｯﾀｰ

外部に面するｼｬｯﾀｰの耐風圧強度（ ）N/m² [5.10.2]
開閉機能 ※上部電動式(手動併用) ・上部手動式 [5.10.2][表5.10.1]
二重ﾁｪｰﾝ、急降下制動装置、急降下停止装置等を設けた電動ｼｬｯﾀｰの設置箇所 ・図示 ・ [5.10.2]
障害物感知装置を設けた電動ｼｬｯﾀｰの設置箇所 ・図示 ・
屋内用防火ｼｬｯﾀｰ若しくは防煙ｼｬｯﾀｰの危害防止機構
・設ける（設置箇所：・図示 ・ ）
一般重量ｼｬｯﾀｰのｼｬｯﾀｰｹｰｽ ※設ける ・設けない [5.10.2]

15 軽量ｼｬｯﾀｰ

開閉形式 ※手動式 ・上部手動式（手動併用） [5.11.2][表5.11.1]
外部に面するｼｬｯﾀｰの耐風圧強度（ ）N/m² [5.11.2]
スラット 厚さ(mm) ・0.5 ・0.6 ・0.8 ・1.0 [表5.11.2]
材質 ※塗装溶融亜鉛めっき鋼板又は鋼帯 [5.11.3]
形状 ※ｲﾝﾀｰﾛｯｷﾝｸﾞ形 ・ｵｰﾊﾞｰﾗｯﾋﾟﾝｸﾞ形 [5.11.4]
ｶﾞｲﾄﾞﾚｰﾙ等 ※鋼板製 ・ｽﾃﾝﾚｽ製SUS304(厚さ1.5mm) [表5.11.2]
ｼｬｯﾀｰｹｰｽ 厚さ(mm) ・0.4 ・0.8 [表5.11.2]

16 ｵｰﾊﾞｰﾍｯﾄﾞﾄﾞｱ

[5.12.2][5.12.3][表5.12.1]

セクション材料	開閉方式	収納形式	ｶﾞｲﾄﾞﾚｰﾙ
※スチールタイプ ・アルミニウムタイプ ・ファイバーグラスタイプ	※ﾊﾞﾗﾝｽ式 ・ﾁｪｰﾝ式 ・電動式	・ｽｶﾝﾀﾞｰﾄﾞ形 ・ﾛｰﾍｯﾄﾞ形 ・ﾊｲﾘﾌﾄ形 ・ﾊﾞｰﾁｶﾙ形	・溶融亜鉛ﾒｯｷ鋼板 ※ｽﾃﾝﾚｽ鋼板(SUS304)

耐風圧性能による区分 ・５０ ・７５ ・１００ ・１２５ [5.12.2]

⑰ ｶﾞﾗｽ

下記以外は、建具表による [5.13.2]
・合わせガラス
特性による種類 ※ Ⅱ-1類
・強化ガラス

材料板ｶﾞﾗｽによる種類	特性による種類
・ﾌﾛｰﾄ強化ｶﾞﾗｽ ・型板ｶﾞﾗｽ	Ⅲ類（曲面はⅠ類）

・熱線吸収板ガラス

材料板ｶﾞﾗｽによる種類	色調
・熱線吸収ﾌﾛｰﾄ板ｶﾞﾗｽ ・熱線吸収網入り磨き板ｶﾞﾗｽ	・ﾌﾞﾙｰ ・ｸﾞﾚｰ ・ﾌﾞﾛﾝｽﾞ ・ｸﾞﾘｰﾝ

・複層ガラス
材料板ｶﾞﾗｽの種類及び厚さの組合せ並びに複層ｶﾞﾗｽの厚さ ・建具表による
耐熱性による区分 ・Ｔ１ ・Ｔ２ ・Ｔ３ ・Ｔ４ ・Ｔ５ ・Ｔ６
日射取得性、日射遮へい性による区分 ・Ｇ ・Ｓ
乾燥気体の種類 ・空気 ・
・熱線反射ガラス

品質	反射皮膜面	材料板ｶﾞﾗｽの種類	映像調整
※熱線反射ｶﾞﾗｽ	※内面 ・外面	・ﾌﾛｰﾄ板ｶﾞﾗｽ	※行わない
・高性能熱線反射ｶﾞﾗｽ	・内面	・熱線吸収ﾌﾛｰﾄ板ｶﾞﾗｽ ・強化ｶﾞﾗｽ ・倍強度ｶﾞﾗｽ	・行う

・倍強度ガラス

材料板ｶﾞﾗｽによる種類の名称	色調
※ﾌﾛｰﾄ倍強度ｶﾞﾗｽ	
・熱線吸収倍強度ｶﾞﾗｽ	・ｸﾞﾚｰ ・ﾌﾞﾙｰ ・ﾌﾞﾛﾝｽﾞ ・

⑱ ｶﾞﾗｽ留め材

[5.13.2][表3.7.1]

建具の種類	種類
アルミニウム製及び樹脂製	・ｼｰﾘﾝｸﾞ材 ※ｶﾞｽｹｯﾄ(FIX部はｼｰﾘﾝｸﾞ材)
鋼製及び軽量鋼製	※ｼｰﾘﾝｸﾞ材
ステンレス製	※ｼｰﾘﾝｸﾞ材

5 建具改修工事

19 ｶﾞﾗｽﾌﾞﾛｯｸ積み

ｶﾞﾗｽﾌﾞﾛｯｸ [5.13.5]

寸法(mm) 呼び寸法	厚さ	表面形状 色調	パターン	性能等 防火性能	耐火性能
		※クリア ・		※無し ・	※無し ・

壁用金属枠及び補強材

壁用金属枠の種類	規格及び補強材等
※アルミニウム製 ・	・標仕16.2.3のｱﾙﾐﾆｳﾑ製建具の材料による ・

化粧目地モルタルの色 ※モルタル色 ・
シーリング材料
下表以外は改修標仕表3.7.1による [5.13.5][3.7.2][表3.7.1]

被着体の組合せ	シーリング材の種別 記号	主成分による区分	耐久性による区分

20 ガラス用フィルム

名称	種類	張り面	性能値
※ｶﾞﾗｽ飛散防止ﾌｨﾙﾑ	第２種	※内張り ・外張り	飛散防止率 95%以上
・			

品質 JIS A 5759による

6 内装改修工事

1 基本要求品質

[6.1.2]
特記以外の建物内部に使用する内装改修工事の既製品等の品質、又は製品を構成する材料及び接着剤のﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞの放散量はＦ☆☆☆☆を基本とする。なお、該当する材料等がない場合において、Ｆ☆☆☆☆以外の材料等を使用する場合は監督員の承諾を受けること。

2 改修範囲

・既存壁の撤去に伴う当該壁の取合う天井、壁、床の改修範囲 [6.1.3]
※壁厚程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う
・図示の範囲
・天井内の既存壁の撤去に伴う当該壁の取合う天井の改修範囲 [6.1.3]
※壁面より両側600mm程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う
・図示の範囲
・天井の撤去に伴う取合部の壁面の改修 [6.1.3]
※既存のまま
・図示の範囲

3 施工数量調査

[1.5.2]
下記の調査結果について、施工方法、施工箇所、施工数量等をまとめた施工数量調査報告書を提出し、監督員の承諾を得て施工する。
・内部床、壁、天井等の改修後に見え掛りとなる既存のｺﾝｸﾘｰﾄ、ﾓﾙﾀﾙ、ﾀｲﾙ、ﾌﾞﾗｽﾀｰ、ﾎﾞｰﾄﾞ等の面
調査内容
ひび割れの幅及び長さを壁面等に図示する。
ﾓﾙﾀﾙ、ﾀｲﾙ、ﾌﾞﾗｽﾀｰの浮き部分を壁面に表示する。また、ﾓﾙﾀﾙの欠陥部分(ﾓﾙﾀﾙ目地を含む。)を調査する。
仕上材の欠損部、腐朽部、脆弱部を壁面に表示する。
・ｶﾊﾞｰ工法による床・壁・天井改修箇所の下地材
調査内容
既存下地材の不陸、脆弱部、欠損部を調査する。
天井下地組の強度、腐朽状況を調査する
・改修工事後も使用する建具(枠、額縁を含む。)
調査内容
建具の建付け状況、建具金物の不具合の有無、仕上げ材の欠損部、腐朽部を調査する。
・設備工事及び既存部分と改修部分との取合い部の整合を調査する。
・造り付けの実験台、作業台、流し及び黒板等で監督員が指示したものについて、欠陥部分不具合の有無を調査する。

4 既存床の撤去及び下地補修

・ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ等の撤去 [6.2.2]
※仕上げ材のみ(接着剤とも)
・下地ﾓﾙﾀﾙとも(※図示の範囲)
・行わない(※図示の範囲)
・合成樹脂塗り床の材の除去工法 [6.2.2]
・機械的除去工法
※目荒工法
改修後の床の清掃範囲 ※改修箇所の室内 ・ [6.2.2]

5 既存壁の撤去並びに下地補修

間仕切壁撤去に伴う他の構造体の補修 [6.3.2][4.4.9]
※図示
・[4.4.9]ﾓﾙﾀﾙ塗替え工法
仕上げ厚又は全塗厚が25mmを超える場合の処置
※ｽﾃﾝﾚｽ製ｱﾝｶｰﾋﾟﾝを縦横200mm程度の間隔に打ち込み、ｽﾃﾝﾚｽﾗｽ等を張る。
・図示

6 木下地等

表面仕上げ [6.5.1][表6.5.2]

表面仕上げの種別		適用箇所
機械加工	・Ａ種	
	・Ｂ種	
	・Ｃ種	
手加工	・Ｈ－Ａ種	
	・Ｈ－Ｂ種	
	・Ｈ－Ｃ種	

6 内装改修工事

6 木下地等

「製材の日本農林規格」による製材 [6.5.2]

品名	樹種	寸法(mm)	等級	形状	含水率	保存処理
・下地用針葉樹製材			※２級 ・		※A種 ・B種 ・	
・造作用針葉樹製材			・上小節 ・小節以上		※A種 ・B種 ・	
・広葉樹製材			※１等 ・		※10%以下 ・A種 ・B種 ・	

「製材の日本農林規格」以外の製材 [6.5.2]

施工箇所	樹種	寸法(mm)	材面の品質	防虫処理	含水率
・			（ ） 造作材の場合 (※A種 ・B種)	・適用する ・適用しない	※A種 ・B種 ・

・樹種のうち杉は、県産材を使用する

7 集成材

造作用集成材等 [6.5.2]

品名	規格・品質	心材の樹種	化粧単板の樹種	見付け材面数
・造作用集成材	※１等 ・２等		・	・
・化粧ばり造作用集成材	※１等 ・２等	・	・	・
・化粧ばり構造用集成柱	・１等 ・２等	・	・	
・	・	・	・	・

直交集成板 [6.5.2]

品名	強度等級	種別	接着性能(使用環境)	樹種
・異等級構成直交集成板	・	・Ａ種 ・Ｂ種	・Ａ ・Ｂ ・Ｃ	・
・同一等級構成直交集成板	・	・Ａ種 ・Ｂ種	・Ａ ・Ｂ ・Ｃ	・
・	・	・	・	・

8 合板等

合板等 [6.5.2]

品名	板厚	接着の程度	樹種	防虫処理
・普通合板	※5.5mm ・	※１類 ・２類	・	・適用する
・構造用合板	※12mm ・	・特類 ※１類	・	・適用する
・化粧ばり構造用合板	・	・特類 ・１類	・	・適用する
・天然木化粧合板	・	・１類 ・２類	・	・適用する
・	・	・	・	・

9 防腐・防蟻処理

防腐処理 ※行う(適用範囲 ※改修標仕6.5.5(1)による ・図示) [6.5.5]
防蟻処理 ・行う(適用範囲) [6.5.5]
防腐・防蟻剤はｸﾛﾙﾋﾟﾘﾎｽ等を含まない非有機ﾘﾝ系の表面処理用木材保存剤とし、種類及び品質等が確認できる資料を監督員に提出し承諾を受ける。
防腐・防蟻処理の方法
工場における加圧式とし、十分に乾燥を行う。
ただし、現場における加工が生じた場合には、加工した箇所に対し、現場にて表面処理用木材保存剤を塗布することとする。
薬剤の加圧注入による防腐・防蟻処理

適用部材	保存処理性能区分
	・Ｋ２ ・Ｋ３ ・Ｋ４
	・Ｋ２ ・Ｋ３ ・Ｋ４

10 軽量鉄骨天井下地

屋外の場合の形式及び寸法 [6.6.3][表6.6.2]
※下表以外は、改修標仕6.6.3及び表6.6.2による

下地材の間隔(mm) 野縁受、吊りﾎﾞﾙﾄ、ｲﾝｻｰﾄ 中央部	周辺部	野縁	施工箇所

ただし、建築基準法に基づき指定する条件により、定まる風圧力に対応した工法を改修標仕1.2.2[施工計画書]による品質計画で定める。

既存の埋込ｲﾝｻｰﾄ ・使用する ・使用しない [6.6.4]
あと施工ｱﾝｶｰの引抜き試験 ・行う ・行わない [6.6.4]
屋外の場合の試験
荷重 ・400N ・
箇所数 ・当該階において3箇所程度 ・図示
ふところが3mを超える場合の補強 ※図示 ・ [6.6.4]
屋外の天井の補強 ※図示 ・改修標仕6.6.4(11)による [6.6.4]

11 ビニル床シート張り

[6.8.2]

種類	JISの記号	色柄	厚さ(mm)
※発泡層のないもの	※ＦＳ ・	※無地 ・ﾏｰﾌﾞﾙ柄	※2.0
・発泡層のあるもの		※柄物 ・無地	
・			

工法 ※熱溶接工法 ・突付け（施工箇所 ） [6.8.3]

12 ビニル床タイル張り

[6.8.2]

種類	JISの記号	厚さ(mm)	備考
※ｺﾝﾎﾟｼｼｮﾝﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙ	ＫＴ	※2.0	
・単層ﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙ	ＴＴ	・	
・複層ﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙ	ＦＴ	・	
・置敷きﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙ	ＦＯＡ	・	
・薄型置敷きﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙ	ＦＯＢ	・	

6 内装改修工事

13 帯電防止床ﾀｲﾙ張り

[6.8.2]

種類	厚さ(mm)	性能
・ｺﾝﾎﾟｼｼｮﾝﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙ	※2.0 ・	体積抵抗値(JIS K 6911による) 1.0×10^{9} Ω以下、又は、 漏洩抵抗値(JIS A 1454による) 1.0×10^{10} Ω未満
・ﾎﾓｼﾞﾆｱｽﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙ	※4.0又は4.5	
・	・	
・	・	

14 誘導用、注意喚起用床材

視覚障害者用ﾀｲﾙ [6.8.2]

適用箇所	種類	寸法(mm)	形状
屋内	・塩化ﾋﾞﾆﾙ系	※300×300 ・	ﾌﾞﾛｯｸﾊﾟﾀｰﾝ JIS T 9251 による
	・ﾚｼﾞﾝｺﾝｸﾘｰﾄ系	※300×300 ・	
	・磁器又はせっ器ﾀｲﾙ	・	
屋外	・ｺﾝｸﾘｰﾄ系	※300×300×60 ・300×300×30	
	・磁器又はせっ器ﾀｲﾙ	・	

15 ビニル幅木

高さ(mm) ※60 ・75 ・100 [6.8.2]

16 カーペット敷き

・織じゅうたん [6.9.1][6.9.2][表6.9.1]

種別	織り方	ﾊﾟｲﾙ形状	帯電性	色・柄等
・Ａ種 ・Ｂ種 ・Ｃ種	・ｳｨﾙﾄﾝｶｰﾍﾟｯﾄ ・ﾀﾞﾌﾞﾙﾌｪｰｽｶｰﾍﾟｯﾄ ・ｱｷｽﾐﾝｽﾀｰｶｰﾍﾟｯﾄ	・ｶｯﾄﾊﾟｲﾙ ・ﾙｰﾌﾟﾊﾟｲﾙ ・ｶｯﾄ、ﾙｰﾌﾟ併用	人体帯電圧 ※3kV以下 ・	※単一色(無地) ・柄物(標準品)

・タフテッドカーペット [6.9.2][6.9.3][表6.9.2]

ﾊﾟｲﾙ形状	ﾊﾟｲﾙ長(mm)	工法	帯電性
・ｶｯﾄﾊﾟｲﾙ	※5.0～7.0 ・	※全面接着工法 ・ｸﾞﾘｯﾊﾟｰ工法	人体帯電圧 ※3Kv以下 ・
・ﾏﾙﾁﾚﾍﾞﾙﾙｰﾌﾟ	※4.0～6.0 ・		
・ﾚﾍﾞﾙﾙｰﾌﾟﾊﾟｲﾙ	※4.0		
・ｶｯﾄ、ﾙｰﾌﾟ併用	・		

・タイルカーペット [6.9.2]

種別	ﾊﾟｲﾙ形状	電気抵抗値(Ω)	施工箇所
※第一種	※ﾙｰﾌﾟﾊﾟｲﾙ	※適用しない	
・	・ｶｯﾄﾊﾟｲﾙ	・10^{9}Ω以下	

17 合成樹脂塗床

[6.10.3][表6.10.4～表6.10.8]

種別	仕上げの種類
・弾性ウレタン樹脂塗床材	※平滑仕上 ・防滑仕上 ・つや消し仕上げ
・エポキシ樹脂塗床材	※薄膜流しのべ仕上げ（※平滑 ・防滑）
	・厚膜流しのべ仕上げ（※平滑 ・防滑）
	・樹脂モルタル仕上げ（※平滑 ・防滑）
	・薄膜型塗床

18 フローリング張り

[6.11.2][6.11.3][6.11.4][6.11.5][6.11.6][表6.11.1～表6.11.6]

品名	樹種	等級・種別	板厚	工法	仕上塗装
・ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞﾎﾞｰﾄﾞ1等	・なら ・	・1等	※15 ・	・釘留め工法 ・接着工法	・塗装品 ・無塗装品
・ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞﾌﾞﾛｯｸ1等	・なら ・	・1等	※15 ・	・ﾓﾙﾀﾙ埋込工法 ・接着工法	・ ・
・天然木化粧複合ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ	・ ・	・Ａ種 ・Ｂ種 ・Ｃ種	・ ・	※釘留め工法 ・接着工法	※塗装品 ・無塗装品
・複合ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ(大型積層型式)	・かば ・		※18 ・	※のりくぎ併用 ・ビス留め	・塗装品 ※無塗装品

現場塗装仕上げ ・行う(塗料：) ・行わない [6.11.6]

19 畳敷き

[6.12.2][表6.5.10][表6.12.1]

適用箇所	畳の種別
改修標仕表6.5.10による床組	・Ａ種 ・Ｂ種 ・Ｃ種 ・Ｄ種(※KT-Ⅲ・)
ﾎﾟﾘｽﾁﾚﾝﾌｫｰﾑ床下地	・Ｃ種 ・Ｄ種(※KT-Ⅲ・)

20 せっこうﾎﾞｰﾄﾞその他のﾎﾞｰﾄﾞ張り

[6.13.2][表6.13.1]

種類	厚さ(mm)・規格等
・硬質木毛ｾﾒﾝﾄ板	・15 ・20 ・25
・普通木毛ｾﾒﾝﾄ板	・15 ・20 ・25
・けい酸ｶﾙｼｳﾑ板	ﾀｲﾌﾟ2(無石綿)
・ﾛｯｸｳｰﾙ化粧吸音板	※ﾌﾗｯﾄﾀｲﾌﾟ(※9.0 ・12.0 ・) ・凹凸ﾀｲﾌﾟ(※12.0 ・15.0) ((個)不燃)
・せっこうﾎﾞｰﾄﾞ	・9.5(準不燃) ・12.5(不燃)
・不燃積層せっこうﾎﾞｰﾄﾞ	9.5(不燃) ・化粧無(下地張り用) ・化粧有(ﾄﾗﾊﾞｰﾁﾝ模様)
・ｼｰｼﾞﾝｸﾞせっこうﾎﾞｰﾄﾞ	・9.5(準不燃) ・12.5(準不燃)
・強化せっこうﾎﾞｰﾄﾞ	・12.5(不燃) ・15.0(不燃)
・難燃合板	
・普通合板	表板の樹種・ 板面の品質・ 厚さ ※図示 接着の程度・1種 ・2種 防虫処理・行う ・行わない
・	

軽量鉄骨下地ﾎﾞｰﾄﾞ遮音壁の遮音ｼｰﾙ材 [6.13.2]
※適用する ・適用しない
・せっこうﾎﾞｰﾄﾞの継目処理 [6.13.3][表6.13.5]

目地工法の種類	せっこうボードのエッジの種類	施工箇所
・継目処理工法	・ﾃｰﾊﾟｰ ・ﾍﾞﾍﾞﾙ	
・突付け工法	・ﾍﾞﾍﾞﾙ ・ｽｸｴｱ	
・目透かし工法	・ﾍﾞﾍﾞﾙ ・ｽｸｴｱ	

仕様書(そのⅢ)

Ver.020401

一級建築士事務所 新潟県知事登録 （り）１３５９号
株式会社 関矢設計事務所
〒946-0111 新潟県魚沼市並柳182番地 TEL 025-799-2122
管理建築士 一級建築士 第228811号 関矢茂信

工事名	年月日	図面番号
4学工第12号 広神中学校校舎外部改修工事	2022年3月	A-4
図面名称：仕様書（そのⅢ）	縮尺 A１版 FREE A３版 FREE	㊞ 電 構 機

6 内装改修工事

21 吸音材 [表6.13.1]

種類	記号	厚さ(mm)
・ﾛｯｸｳｰﾙ吸音ﾎﾞｰﾄﾞ1号	ＲＷ－Ｂ	※25 ・
※ｸﾞﾗｽｳｰﾙ吸音ﾎﾞｰﾄﾞ32K	ＧＷ－Ｂ	※25 ・

22 壁紙張り [6.14.2]

施工箇所	壁紙の種類 紙製	織物	ﾋﾞﾆﾙ	化学繊維	無機質	防火性能の級別	備考
	・	・	・	・	・	※不燃・準不燃・難燃	
	・	・	・	・	・	※不燃・準不燃・難燃	

ﾓﾙﾀﾙ、ﾌﾟﾗｽﾀｰ面等の下地調整 [6.14.3][7.2.5][7.2.6][表7.2.4][表7.2.5]
※RB種 ・RA種(施工箇所：)
せっこうﾎﾞｰﾄﾞ面の下地調整 [6.14.3][7.2.7][表7.2.7]

23 ﾓﾙﾀﾙ塗り
モルタル ・現場調合材料 [6.15.3]
(ｾﾒﾝﾄは本特記仕様書8-1、8-2「セメントの種類」による)
・既調合材料
既製目地材 ※適用しない ・適用する(形状は図示による) [6.15.3]
仕上げ厚又は全塗厚が25mmを超える場合の処置 [6.15.5][4.4.9]
・

24 ﾀｲﾙ
ﾀｲﾙの種類 [6.16.3]

施工場所・用途	形状寸法(mm)	耐凍害性 あり	なし	うわぐすり 施釉	無釉	役物 あり	なし	色 標準	特注	備考
		・	・	・	・	・	・	・	・	
		・	・	・	・	・	・	・	・	
		・	・	・	・	・	・	・	・	
		・	・	・	・	・	・	・	・	

ﾀｲﾙの試験張り ※行わない ・行う [6.16.3]
ﾀｲﾙの見本焼き ※行わない ・行う [6.16.3]
ｺﾝｸﾘｰﾄ素地面の処理 ・目荒しｴ法 ・ [6.16.3]
壁ﾀｲﾙ張りの工法 [6.15.5][表6.16.4][表6.16.6]
内装ﾀｲﾙ ※ﾀｲﾙ接着剤張り ・積上げ張り

25 ﾌﾘｰｱｸｾｽﾌﾛｱ (20.2.2)

施工箇所	構法	仕上り高(mm)	適用地震時水平力	耐荷重性能 (注1)	表面仕上げ材 (注2)
	・ﾊﾟﾈﾙ構法	・	・1.0G	・3,000N	・帯電防止床ﾀｲﾙ
	・溝構法	※50未満	・0.6G	・5,000N	・ﾀｲﾙｶｰﾍﾟｯﾄ
	・ﾊﾟﾈﾙ構法	・	・1.0G	・3,000N	・帯電防止床ﾀｲﾙ
	・溝構法	※50未満	・0.6G	・5,000N	・ﾀｲﾙｶｰﾍﾟｯﾄ

注1：耐荷重性能5,000Nについては、国土交通省の建設技術評価「耐震型ﾌﾘｰｱｸｾｽﾌﾛｱの開発」において評価を取得したもの又は同等のものとする。
注2：表面仕上げ材の品質・規格等は、13 帯電防止床ﾀｲﾙ張り、16 ｶｰﾍﾟｯﾄ敷きによる。

ｽﾛｰﾌﾟ及びﾎﾟｰﾀﾞｰ
※製造所の標準仕様(ただし、構成材は標仕20.2.2(2)(ｲ)による)
・図示
ｺﾝｾﾝﾄ等の取付け対応
仕様 ※製造所の標準仕様(ｺﾝｾﾝﾄ本数は別途設備工事)
ｺﾝｾﾝﾄの箇所数 ※10～15㎡ に1箇所程度
配線取出しﾊﾟﾈﾙ
ﾌﾘｰｱｸｾｽﾌﾛｱ全体面積に対する設置割合 ※20～30%
配線取り出し開口 ※40mm×80mm程度の開口
空調用吹き出しﾊﾟﾈﾙ
※無し
・有り(※固定式 ・可動式 ：施工箇所は図示)

26 可動間仕切 (20.2.3)

構造形式	ﾊﾟﾈﾙ部の総厚さ(mm)	表面材種 厚さ(mm)	ﾊﾟﾈﾙ表面仕上げ	遮音性(JISによる記号)
※ﾊﾟﾈﾙ式 ・ｽﾀｯﾄﾞ式 ・ｽﾀｯﾄﾞﾊﾟﾈﾙ式	・	※鋼板 (※0.6 ・0.8) ・	・ﾒﾗﾐﾝ樹脂焼付け ・ｱｸﾘﾙ樹脂焼付け ・	・有り

不燃材料の認定 ・有り

27 移動間仕切 (20.2.4)

遮音性能による区分	厚さ(mm)	表面材	表面仕上げ	操作方法
・一般ﾀｲﾌﾟ		※鋼板	・焼付け塗装	・手動式 ・電動式 ・部分電動式
・遮音ﾀｲﾌﾟ		※鋼板	・焼付け塗装	・手動式 ・電動式 ・部分電動式

表面仕上げの壁紙張りの品質 22壁紙張りによる。
遮音性能 ※36dB/500Hz以上 ・36dB/500Hz未満
パネル圧接装置操作方法 ※製造所標準仕様 ・

28 トイレブース
表面仕上げ材 ・ﾒﾗﾐﾝ樹脂系化粧板(標準色 ｱﾙﾐ製ｺｰﾅｰｴｯｼﾞ付き) (20.2.5)
・ﾎﾟﾘｴｽﾃﾙ樹脂系化粧板(標準色 ｱﾙﾐ製ｺｰﾅｰｴｯｼﾞ付き)
脚部(ｽﾃﾝﾚｽ製) ※幅木ﾀｲﾌﾟ ・支柱ﾀｲﾌﾟ
ﾄﾞｱｴｯｼﾞ ※曲面形 ・ﾌﾗｯﾄ形 ・製造所の仕様

29 階段滑止め
材種 ※ｽﾃﾝﾚｽ(SUS304) ・ｱﾙﾐﾆｳﾑ ・黄銅 (20.2.6)
形状 ※ﾋﾞﾆﾙﾀｲﾔ入り
両端ﾌﾗｯﾄｴﾝﾄﾞ ※有り(・ｽﾃﾝﾚｽ製 ※ﾋﾞﾆﾙ製) ・無し
・ﾋﾞﾆﾙﾀｲﾔ無し
幅(mm) ・50 ・65 ・75 ・
取付け工法 ※接着工法 ・埋込み工法

6 内装改修工事

30 階段手すり

種類	施工箇所
※集成材ｸﾘｱﾗｯｶｰ仕上げ(市販品 径 約45mm又は約60mm)	
・ﾋﾞﾆﾙ製ﾊﾝﾄﾞﾚｰﾙ(幅 約50mm)	
・	

31 黒板及びホワイトボード (20.2.8)

種類	区分	種類	寸法(mm)	備考
・黒板	※焼付け ・	・鋼製 ・ほうろう		※平面 ・曲面 ・ｽｸﾘｰﾝ付引分
・ﾎﾜｲﾄﾎﾞｰﾄﾞ	・	・		※平面 ・曲面 ・ｽｸﾘｰﾝ付引分

32 室名札 (20.2.10)

材種	寸法(mm)	突出型	面付型	文字形式	受金具
※塩化ﾋﾞﾆｰﾙ製	※260×80×5	ヶ所	ヶ所	・文字書込み	※ｽﾃﾝﾚｽ(SUS304)
・ｱｸﾘﾙ樹脂製	・	ヶ所	ヶ所	・文字彫込み	・
・県産杉板材	※260×80×12	ヶ所	ヶ所	・ｶｯﾃｨﾝｸﾞｼｰﾄ	

33 ブラインド
・既存再使用する(養生方法：) [2.3.1][5.1.6]
・新設する (20.2.12)

形式	種類	ｽﾗｯﾄの材質	ｽﾗｯﾄの幅(mm)
※横形	※ｷﾞｱ式 ・ｺｰﾄﾞ式 ・操作棒式	※ｱﾙﾐﾆｳﾑ合金製 ・樹脂製 ・木製	※25 ・35 ・100
・縦形	・1本操作ｺｰﾄﾞ ※2本操作ｺｰﾄﾞ	・焼付け塗装仕上げのｱﾙﾐｽﾗｯﾄ ・特殊防炎加工のｸﾛｽｽﾗｯﾄ	・80 ・100

34 ﾌﾞﾗｲﾝﾄﾞﾎﾞｯｸｽ及びｶｰﾃﾝﾎﾞｯｸｽ
・既存再使用する [5.1.6]
・新設する
※市販品(ｱﾙﾐﾆｳﾑ製 押出し型材)

使用区分	溝幅×深さ(mm)
・横形ﾌﾞﾗｲﾝﾄﾞ	※90×150 ・120×150 ・
・縦形ﾌﾞﾗｲﾝﾄﾞ	※120×80 ・150×80 ・
・ｶｰﾃﾝ(又はﾚｰｽ共)	※150×80 ・180×80 ・
・ｶｰﾃﾝ＋横形ﾌﾞﾗｲﾝﾄﾞ	※180×150 ・

色彩 ・Ｂ－１ ・Ｂ－２(・ﾌﾞﾗｳﾝ系 ・ﾌﾞﾗｯｸ ・ｽﾃﾝｶﾗｰ)
・図示

35 ロールスクリーン (20.2.13)

操作方法	幅及び高さ	材種	品質等
・ｽﾌﾟﾘﾝｸﾞ式	・	・ｶﾞﾗｽ繊維製	
・ｺｰﾄﾞ式(ﾁｪｰﾝ式)	・	・合成・天然繊維製	
・電動式	・	・木製	

巻取りﾊﾟｲﾌﾟ、ｳｪｲﾄﾊﾞｰ、操作ｺｰﾄﾞ、操作ﾁｪｰﾝの材料
※製造所の仕様 ・

36 カーテン及びカーテンレール
カーテン
・既存再利用する(養生方法：) [2.3.1][5.1.6]
・新設する (20.2.14)(表20.2.1)

取付箇所	形式	開閉操作方式	ひだの種類	きれ地の種別、品質、特殊加工品
・ ・	・ｼﾝｸﾞﾙ ・ﾀﾞﾌﾞﾙ	・片引き ・引分け	・手引き ・ひも引き ・電動	・ﾌﾗﾝｽひだ ・箱ひだ、つまひだ ・ﾌﾟﾚｰﾝひだ、片ひだ	・ ・

暗幕用ｶｰﾃﾝの両端、上部及び召合せの重なり ※300mm以上 ・
カーテンレール
・既存再使用する [5.1.6]
・新設する (20.2.14)

強さによる区分	材料	仕上げ	形状
※10-90	※ｱﾙﾐﾆｳﾑ製	※ｱﾙﾏｲﾄ	※角形
・	・ｽﾃﾝﾚｽ製	・	・

37 天井点検口

目地形状	適用箇所	寸法(mm)
・額縁ﾀｲﾌﾟ	下記以外全て	※450×450
・目地ﾀｲﾌﾟ	※図示 ・天井仕上げ材がDRの範囲	・600×600

38 床点検口

本体の材質	目地の材質	適用箇所	寸法(mm)
※ｱﾙﾐ製	※ｱﾙﾐ ・ｽﾃﾝﾚｽ ・黄銅	下記以外全て	※600×600
・ｽﾃﾝﾚｽ製			・

39 くつふきマット
市販品 材質 ・塩化ﾋﾞﾆﾙ製(ｺｲﾙ状、ｽﾃﾝﾚｽ製受枠)
・ﾋﾞﾆﾙ製(ｽﾃﾝﾚｽ製受枠)
・硬質ｱﾙﾐﾆｳﾑ製(受枠とも)
・ｽﾃﾝﾚｽ製(受枠とも)

41 人研ぎ製流し等
※ｻﾝﾀﾞｰ掛け目荒らし後、ｸﾗｯｸ等をｴﾎﾟｷｼ系ﾊﾟﾃ処理し、ｴﾎﾟｷｼ樹脂系塗床材を厚さ1.0mm塗布し仕上げる。
・再研ぎ出し(図示による)

6 内装改修工事

41 屋内掲示板

改修工法	枠の材質	表面の材質	下地
・かぶせ工法 ・撤去工法	※ｱﾙﾐﾆｳﾑ製 ・	※特殊発砲ﾋﾞﾆｰﾙ張り ・	・図示による ・

42 しっくい塗り
※施工箇所

室名	部位

※左官業者
新潟県左官業協同組合(平成26年12月31日に解散した新潟県左官同業会を含む。以下、同様。)主催の「漆喰塗り技能者資格講習会」の修了者立ち会いのもとで施工すること。ただし、これによることができない場合は、理由及び施工者を明らかにした書面を提出し、監督員の承諾を受けて施工するものとする。
※材料、下地、調合、塗り厚、工程及び工法
使用する材料については、材料の品質が確認できる品質規格票(証明書)等を監督員へ提出し、承諾を得たものとする。
上記以外については、「既調合しっくい塗り標準仕様書」(新潟県土木部都市局営繕課)による。

7 塗装改修工事

1 塗装業者 ※(社)日本塗装工業会の会員 ・監督員の承諾する業者

2 材料
屋内の壁及び天井仕上げ材は、建築基準法に基づき指定又は認定を受けた防火材料とする。 [7.1.3]

3 下地調整 [7.2.1～7.2.7]

種別	施工箇所
・ＲＡ種	・図示による
※ＲＢ種	※ＲＡ種、ＲＣ種以外の全て(内部) ・図示による
・ＲＣ種	・図示による

既存ﾓﾙﾀﾙ下地面等のひび割れ部の補修 [表7.2.4～表7.2.6]
※行う(補修範囲及び補修方法は監督員の指示による) ・行わない

4 錆止め塗料塗り [7.3.2][7.3.3][表7.3.1]～[表7.3.4]

下地の種類	錆止め塗料の種別	塗替えの種別	新規塗りの種別
鉄鋼面	※Ａ種 ・Ｂ種	・Ａ種 ・Ｂ種 ※Ｃ種	見掛かり部分 ※Ａ種 ・Ｂ種 見隠れ部分 ・Ａ種 ※Ｂ種
亜鉛めっき面	※Ａ種 ・Ｂ種 ・Ｃ種	・Ａ種 ・Ｂ種 ※Ｃ種	新規鋼製建具等※Ａ種 ・Ｂ種 その他 ・Ａ種 ※Ｂ種

5 合成樹脂調合ﾍﾟｲﾝﾄ塗り(SOP) [7.4.3]～[7.4.5][表7.4.1]～[表7.4.3]

下地の種類		塗替えの種別	新規塗りの種別	
木部		・Ａ種 ※Ｂ種 ・Ｃ種	・Ａ種 ・Ｂ種	下地調整は各表の注意書きによる
鋼製建具	※亜鉛めっき面 ・鉄鋼面	※Ａ種 ・Ｂ種 ・Ｃ種 ・Ａ種 ※Ｂ種 ・Ｃ種	・Ａ種 ※Ｂ種 ・Ａ種 ・Ｂ種	
その他	※亜鉛めっき面 ※鉄鋼面	・Ａ種 ※Ｂ種 ・Ｃ種 ・Ａ種 ※Ｂ種 ・Ｃ種	・Ａ種 ※Ｂ種 ・Ａ種 ・Ｂ種	

6 ｸﾘｱﾗｯｶｰ塗り(CL) 塗替えの種別 ・Ａ種 ※Ｂ種 [7.5.2][表7.5.1]
新規塗りの種別 ・Ａ種 ※Ｂ種

7 ｱｸﾘﾙ樹脂系非水分散系塗料(NAD) [7.7.2][表7.7.1]

下地の種類	工程等	塗替えの種別	新規塗りの種別
ｺﾝｸﾘｰﾄ、ﾓﾙﾀﾙ面等	下地調整	・ＲＡ種 ※ＲＢ種 ・ＲＣ種	「塗料その他」の欄による
	塗り種別	・Ａ種 ※Ｂ種	・Ａ種 ※Ｂ種

8 耐候性塗料塗り(DP) [7.8.2]～[7.8.4][表7.8.1]～[表7.8.3]

下地の種類	塗替えの種別	新規塗りの種別	上塗り
鉄鋼面	・Ａ種 ・Ｂ種 ・Ｃ種	※Ａ種	・１級 ・２級 ・３級
亜鉛めっき鋼面	・Ａ種 ・Ｂ種 ・Ｃ種	※Ａ種	・１級 ・２級 ・３級
ｺﾝｸﾘｰﾄ面及び押出成形ｾﾒﾝﾄ板面	・Ａ－１種 ・Ａ－２種 ・Ｂ－１種 ・Ｂ－２種 ・Ｃ－１種 ・Ｃ－２種	・Ａ－１種 ・Ｂ－１種 ・Ｃ－１種	

9 つや有合成樹脂ｴﾏﾙｼｮﾝﾍﾟｲﾝﾄ塗り(EP-G) [7.9.2]～[7.9.5][表7.9.1]～[表7.9.4]

下地の種類	塗替えの種別	新規塗りの種別
ｺﾝｸﾘｰﾄ面、ﾓﾙﾀﾙ面等	・Ａ種 ※Ｂ種 ・Ｃ種	・Ａ種 ※Ｂ種
木部	・Ａ種 ※Ｂ種 ・Ｃ種	※Ａ種 ・Ｂ種 ・Ｃ種
鉄鋼面	・Ａ種 ※Ｂ種 ・Ｃ種	・Ａ種 ※Ｂ種
亜鉛めっき面	・Ａ種 ※Ｂ種 ・Ｃ種	・Ａ種 ※Ｂ種

10 合成樹脂ｴﾏﾙｼｮﾝﾍﾟｲﾝﾄ塗り(EP) 塗替えの種別 ・Ａ種 ※Ｂ種 ・Ｃ種 [7.10.2][表7.10.1]
新規塗りの種別 ・Ａ種 ※Ｂ種

7 塗装改修工事

11 合成樹脂ｴﾏﾙｼｮﾝ模様塗料塗り(EP-T) [7.11.2][表7.11.1]

塗替えの場合 下地調整	塗替えの種別	新規塗りの種別
ＲＢ種の場合	※Ａ種 ・Ｂ種 ・Ｃ種	・Ａ種 ※Ｂ種 下地調整は表の注意書きによる

12 ｳﾚﾀﾝ樹脂ﾜﾆｽ塗り(UC) 塗替えの種別 ・Ａ種 ※Ｂ種 [7.12.2][表7.12.1]
新規塗りの種別 ・Ａ種 ※Ｂ種

13 ｵｲﾙｽﾃｲﾝ塗り(OS) [7.13.2][表7.13.1]

適用箇所	塗料
・	・油性 ・水性
・	・油性 ・水性

14 木材保護塗料塗り(WP) 塗替えの種別 ・Ａ種 ※Ｂ種 [7.14.2][表7.14.1]
新規塗りの種別 ・Ａ種 ※Ｂ種

8-1 耐震改修範囲以外の躯体改修工事

1 ｺﾝｸﾘｰﾄの類別及び強度、品質
レディーミクストコンクリートの類別 [8.1.3][表8.1.1]
※Ⅰ類 ・Ⅱ類
普通ｺﾝｸﾘｰﾄの設計基準強度 [8.1.3][8.1.4]

設計基準強度Fc(N/mm²)	適用箇所	スランプ
※２１	・	・
・１８	・	・

ｺﾝｸﾘｰﾄの仕上りの平たんさ ・a種 ・b種 ・c種 [8.1.4][表8.1.5]

2 鉄筋の種類 [8.2.1][表8.2.1]

種類の記号	呼び名(mm)
・ＳＤ２９５Ａ	・Ｄ１６以下
・ＳＤ３４５	・Ｄ１９以上
・	

3 あと施工ｱﾝｶｰ
あと施工ｱﾝｶｰの材料 [8.2.4]
・金属拡張ｱﾝｶｰ
※接着系ｱﾝｶｰ ｶﾌﾟｾﾙの種類 ※有機系

4 セメントの種類
※普通ﾎﾟﾙﾄﾗﾝﾄﾞｾﾒﾝﾄ、高炉ｾﾒﾝﾄＡ種、ｼﾘｶｾﾒﾝﾄＡ種又は [8.2.5][表8.2.3]
ﾌﾗｲｱｯｼｭｾﾒﾝﾄＡ種
・普通エコセメント
・高炉セメントＢ種( )
普通ﾎﾟﾙﾄﾗﾝﾄﾞｾﾒﾝﾄの品質は、JIS R 5210に示された規定の他、次の規定の全てに適合するものとする。ただし、無筋ｺﾝｸﾘｰﾄに用いる場合を除く。

水和熱	７ｄ	352J/g以下
	２８ｄ	402J/g以下

5 骨材の品質
ｱﾙｶﾘｼﾘｶ反応性による区分 [8.2.5]
・Ａ
※Ｂ(ｺﾝｸﾘｰﾄ中のｱﾙｶﾘ総量Rt=3.0kg/m³)

6 混和材料の種別 ※混和剤 ・混和材 [8.2.5]

7 鉄筋の継手 ※重ね継手 ・ [8.3.4][表8.3.3]

8 鉄筋の最小かぶり厚さ
最小かぶり厚さは、目地底から算定する。 [8.3.5][表8.3.6]
・耐久性上不利な箇所の鉄筋のかぶり厚さは下表による。

施工箇所	改修標仕表8.3.6の値に加える寸法(mm)
柱、梁、壁及び庇などの外気に接する打放し面	※１０ ・

9 鉄骨の工作図
高力ボルト及び普通ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等 [8.13.2]
※建築工事監理指針による ・図示

仕様書(そのⅣ)
Ver.020401

一級建築士事務所 新潟県知事登録 (リ)１３５９号
株式会社 関矢設計事務所
郵便番号 946-0111 新潟県魚沼市並柳182番地 TEL 025-799-2122
管理建築士
一級建築士 第228811号
関矢 茂信

工事名称	4学工第12号 広神中学校校舎外部改修工事	年月日 2022年3月	図面番号 A-5
図面名称	仕様書(そのⅣ)	縮尺 A1版 FREE A3版 FREE	意 電 構 機

8-2 耐震改修工事

1 ｺﾝｸﾘｰﾄの類別及び強度、品質

レディーミクストコンクリートの類別 [8.1.3][表8.1.1]
※Ⅰ類 ・Ⅱ類
普通ｺﾝｸﾘｰﾄの設計基準強度 [8.1.3][8.1.4]
※普通ｺﾝｸﾘｰﾄの強度は構造標準図による
ｺﾝｸﾘｰﾄの仕上りの平たんさ ・a種 ・b種 ・c種 [8.1.4][表8.1.5]

2 鉄骨製作工場

・監督員の承諾する製作工場 [8.1.5]
・建築基準法第７７条の４５第１項に基づき国土交通大臣から性能評価機関として認可を受けた ㈱日本鉄骨評価センター又は ㈱全国鉄骨評価機構の「鉄骨製作工場の性能評価基準」に定める「 グレード」として国土交通大臣から認定を受けた工場又は同等以上の能力のある工場

3 施工管理技術者

※適用する [8.1.6]

4 鉄筋の種類

[8.2.1][表8.2.1]

種類の記号	呼 び 名 (mm)
・ＳＤ２９５Ａ	・Ｄ１６以下
・ＳＤ３４５	・Ｄ１９以上
・	

5 溶接金網

網目の形状、寸法及び鉄線の径 [8.2.2]

網目の形状、寸法(たて×よこ)	鉄線の径または呼び(mm)
※100×100	※6.0
・	・

6 あと施工ｱﾝｶｰの材料

あと施工ｱﾝｶｰの材料 [8.2.4]
・金属拡張ｱﾝｶｰ
※接着系ｱﾝｶｰ ｶﾌﾟｾﾙの種類 ※有機系

7 セメントの種類

※普通ﾎﾟﾙﾄﾗﾝﾄﾞｾﾒﾝﾄ、高炉ｾﾒﾝﾄＡ種、ｼﾘｶｾﾒﾝﾄＡ種又は [8.2.5][表8.2.3]
ﾌﾗｲｱｯｼｭｾﾒﾝﾄＡ種
・普通エコセメント
・高炉セメントＢ種（ ）
普通ﾎﾟﾙﾄﾗﾝﾄﾞｾﾒﾝﾄの品質は、JIS R 5210に示された規定の他、次の規定の全てに適合するものとする。ただし、無筋ｺﾝｸﾘｰﾄに用いる場合を除く。

水和熱		
	７ｄ	352J/g以下
	２８ｄ	402J/g以下

8 骨材の品質

ｱﾙｶﾘｼﾘｶ反応性による区分 [8.2.5]
・Ａ
※Ｂ（ｺﾝｸﾘｰﾄ中のｱﾙｶﾘ総量Rt=3.0kg/m³）

9 混和材料の種別

※混和剤 [8.2.5]
・混和材(※JIS A 6202による膨張材 ・)

10 型枠

ｽﾘｰﾌﾞの材料、規格等 ・図示 [8.2.7]

11 鋼材

鋼材の材質 [8.2.8][表8.2.7]

種類の記号	適 用 箇 所	規 格 等
・SS400		※JIS規格による
・SN400B		※JIS規格による
		※JIS規格による

12 高力ボルト

高力ボルトの適用 [8.2.9]
※ﾄﾙｼｱ形高力ﾎﾞﾙﾄ ・JIS形高力ﾎﾞﾙﾄ ・溶融亜鉛めっき高力ﾎﾞﾙﾄ

13 モルタル及びグラウト材

柱底均しモルタル [8.2.12]
※無収縮モルタル
・
グラウト材 [8.2.12]
※無収縮グラウト材
※プレミックス形 ・現場調合形

無収縮モルタルの品質及び試験方法 [表8.2.10]
※圧縮強度試験は、公的機関で行う。

ﾌﾞﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞ	・練混ぜ２時間後のﾌﾞﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞ率：2.0%以下
無収縮性	・材齢 ７日：収縮しない
圧縮強度	・材齢 ３日： N/mm²以上
	・材齢２８日： N/mm²以上
ｺﾝｼｽﾃﾝｼｰ	・J_{14}ロートによる流動時間 ８±２秒

・供試体は、JIS A 1132(ｺﾝｸﾘｰﾄの強度試験用供試体の作り方)に準じて、直径50mm、高さ100mmの円柱とする。圧縮試験は、JIS A 1108(圧縮強度の試験方法)により行う。
・図示による。

14 連続繊維ｼｰﾄ巻き

材料・形状 [8.2.13]
採用した工法の規定を満足するもの
材質
引張り強度(含浸硬化後)
・2500N/mm² 以上
・3000N/mm² 以上
ヤング係数(含浸硬化後)
・2.35×10⁵ N/mm² 程度
・2.00×10⁵ N/mm² 以上
工法 [8.2.13]
※(財)日本建築防災協会の評価を受けた工法
・
下地調整
仕上げﾓﾙﾀﾙの除去 ※行う ・行わない
柱及び梁の隅角部の面取り [8.24.6]
※工法の評価内容による
・

15 鉄筋の継手

継手工法 [8.3.4]

継手方法	呼び名(mm)	適 用 箇 所
・ガス圧接		
・重ね継手		
・		

柱の配筋 [8.3.4][各部配筋参考図]
帯筋の組立ての形
※各部配筋参考図2.2による
種別 ※Ｈ形 ・W-Ｉ形
・図示

16 鉄筋の最小かぶり厚さ

最小かぶり厚さは、目地底から算定する。 [8.3.5][表8.3.6]
・耐久性上不利な箇所の鉄筋のかぶり厚さは下表による。

施 工 箇 所	改修標仕表8.3.6の値に加える寸法(mm)
柱、梁、壁及び庇などの外気に接する打放し面	※１０ ・

17 打増し壁に用いるｼｱｺﾈｸﾀ

現場打ちｺﾝｸﾘｰﾄ壁の打増し部に用いる既存部とのｼｱｺﾈｸﾀ [8.3.7]
種類 ※「6 あと施工ｱﾝｶｰの材料」による
間隔(mm) ※500×500 ・図示

18 圧接完了後の試験

圧接部の確認試験 [8.3.8]
※超音波探傷試験
・引張試験

19 あと施工ｱﾝｶｰの施工

穿孔前の埋込み配管等の探査方法 [8.12.4]
※電磁波レーダー法
・電磁誘導法
・Ｘ線法

20 あと施工ｱﾝｶｰの施工確認試験

※全数の打音検査 [8.12.7]
※引抜き耐力試験
範囲 ※改修標仕8.12.7による
・補強壁１枚あたり３本(梁下・柱・床(または梁上)各１本)以上
確認強度
※あと施工ｱﾝｶｰの確認強度は構造標準図による

21 鉄骨の工作図

高力ボルト及び普通ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等 [8.13.2]
※建築工事監理指針による ・図示

22 鉄骨工作仮組

※行う [8.13.10]

23 開先形状

※鉄骨工事技術指針による ・図示 [8.15.4]

24 スカラップ

※図示による ・監督員の指示による [8.15.7]

25 溶接部の試験

完全溶込み溶接部の超音波探傷試験 [8.15.12]
※行う

26 錆止め塗料

※工場１回塗り、工事現場１回塗り [8.17.2]～[8.17.4]
・工場２回塗り
耐火被覆材の接着する面の塗装
・行う(塗装範囲：※図示 ・ 塗料種別：)
※行わない
上記以外 ※改修標仕8.17.2(1)による ・図示
塗料種別 ※Ａ種 ・Ｂ種

8-2 耐震改修工事

27 耐火被覆

[8.18.2]

種 別		所要性能及び適用構造区分
・耐火材吹付け	・乾式吹付けﾛｯｸｳｰﾙ	
	・半乾式吹付けﾛｯｸｳｰﾙ	
	・湿式ﾛｯｸｳｰﾙ	
	・	
・耐火板張り		
・耐火材巻付け		
・ﾗｽ張りﾓﾙﾀﾙ塗り		
・耐火塗料		

耐火性能 [8.18.3]
※建築基準法の規定に基づく所定の性能を有すること。

28 溶融亜鉛メッキ高力ボルト接合

摩擦面の処理 [8.20.5]
※ブラスト処理
・りん酸塩処理

29 既存ｺﾝｸﾘｰﾄ面の目荒し

目荒らしの程度 [8.21.3]
※柱・梁面 打継ぎ面の15～30%程度
※増打ち壁増設 既存壁打継ぎ面の10～15%程度
※平均深さ2～5mm(最大5～7mm)程度の凹部を施す
・監督員の指示による

30 増設・補強工事のｺﾝｸﾘｰﾄの打込み

工法の種類 [8.21.8][8.23.5]
※流し込み工法
・圧入工法

31 柱補強

溶接金網巻き工法及び溶接閉鎖フープ巻き工法 [8.23.5]
柱頭柱脚の隙間部間の型枠
※ポリスチレンフォーム保温材等を埋込む ・図示

32 スリットの施工

幅 ※30mm～50mm程度 ・ 長さ ※300mm以上 [8.25.2]
形状 ※完全スリット(※既存鉄筋切断 ・既存鉄筋を 本残す)
・部分スリット(既存コンクリートを厚さ50mm程度残す)
撤去部の補修 ・撤去材と同一材
※無収縮ﾓﾙﾀﾙ（圧縮強度30N/mm² 以上）

9 環境配慮改修工事

① 石綿含有建材の処理

施工調査 [9.1.1]
石綿含有建材の事前調査
工事着手に先立ち、目視及び貸与する設計図書等により石綿を含有している吹付け材、成形版、建築材料等の使用の有無について調査する
調査範囲 ・ ・図示
貸与資料 ・

分析による石綿含有建材の調査 ・行う ・行わない
分析方法

材 料 名	定性分析方法	定量分析方法
	JIS A 1481-1または JIS A 1481-2	JIS A 1481-3または JIS A 1481-4
	・ 箇所	・ 箇所
	・ 箇所	・ 箇所
	・ 箇所	・ 箇所

石綿粉じん濃度測定 ・行う ・行わない [9.1.1]
測定時期、場所及び測定点

適用	測定名称	測定時期	測定場所	測定箇所数(各処理作業室ごと)
・	測定 1	処理作業前	処理作業室内	・( )点
・	測定 2		施工区画周辺又は敷地境界	・4方向各1点 ・( )点
・	測定 3	処理作業中	処理作業室内	・( )点
・	測定 4		ｾｷｭﾘﾃｨｿﾞｰﾝ入口	・( )点
・	測定 5		集じん・排気装置の排出口(処理作業室外の場合)	・出口吹出し風量 1m/s以下の位置各1点 ・( )点
・	測定 6		施工区画周辺又は敷地境界	・4方向各1点 ・( )点
・	測定 7	処理作業後	処理作業室内	・( )点
・	測定 8	(隔離ｼｰﾄ撤去前)	施工区画周辺又は敷地境界	・4方向各1点 ・( )点

測定方法
・自動測定器による測定

測定名称	測定方法
・測定 4 ・測定 5	粉じん相対濃度(ﾃﾞｼﾞﾀﾙ粉じん)計、ﾊﾟｰﾃｨｸﾙｶｳﾝﾀｰ、繊維状粒子自動測定器(ﾘｱﾙﾀｲﾑﾌｧｲﾊﾞｰﾓﾆﾀｰ)等の粉じんを迅速に測定できる機器を用いた測定

・JIS K 3850-1に基づいた測定

測定名称	ﾒﾝﾌﾞﾚﾝﾌｨﾙﾀ直径(mm)	試料の吸引流量(L/min)	試料の吸引時間(min)
・測定 4 ・測定 5 ・	25	5	30
・測定 ・	47	10	120
・測定 ・	47	10	240
・測定 ・			

9 環境配慮改修工事

① 石綿含有建材の処理

※建築物の解体工事、アスベスト除去について、以下の基準を適用する。
・建築物等の解体等の作業及び労働者が石綿等にばく露するおそれがある建築物等における業務での労働者の石綿ばく露防止に関する技術上の指針
(平成26年3月31日付け 技術上の指針公示第21号)
・石綿飛散漏洩防止対策徹底マニュアル[2.20版] 平成30年3月
(厚生労働省)
・建築物の解体工事における石綿粉じんへのばく露防止マニュアル
(建設労働災害防止協会)
・建築物の解体等に係る石綿飛散防止対策マニュアル2014.6
(環境省水・大気環境局大気環境課)
・石綿含有仕上塗材の除去等作業における石綿飛散防止対策について
(平成29年5月30日付け 環水大大発第1705301号)

2 石綿含有吹付け材の除去

除去工法 [9.1.3]
※改修標仕9.1.3による。

3 石綿含有保温材等の除去

除去工法 [9.1.4]
※粉じん飛散抑制剤等による湿潤化の後、手ばらしで行う。
・掻き落し・破砕・切断等による除去を行う。
※9.1.3［石綿含有吹付け材の除去］により、作業場を隔離する。

4 石綿含有成形板の除去

養生等 [9.1.5]
建物内部で除去を行う場合、除去作業場所と他の場所を隔てるため、開閉部位（出入口、換気口、窓等）は閉とし、ガラスの破損箇所等で開となっている部位を養生ｼｰﾄ等で塞ぐ。
石綿含有成形板の種類

材 料 名	使 用 部 位	厚さ(mm)	備 考

※上記以外にアスベスト含有が疑われる建材があった場合は、速やかに監督員と協議すること。

5 除去した石綿等の処分等

除去した石綿等の処理 [9.1.3][9.1.4][9.1.5]
※各種廃棄物分類に応じた最終処分場で埋立処分
・中間処理
・アスベストの中間処理に適する溶融施設において溶融処理
・大臣認定を受けた無害化処理施設において無害化処理

6 断熱ｱｽﾌｧﾙﾄ防水改修

[9.2.3]

工法の種類	施 工 箇 所
・Ｐ１ＢＩ	
・Ｐ２ＡＩ	
・Ｐ０ＤＩ	
・Ｔ１ＢＩ	
・Ｍ３ＤＩ	
・Ｍ４ＤＩ	

7 外断熱改修

[9.3.2]

外装材の種類	施 工 箇 所	防火性能	備 考

既存外壁材の撤去 ・行う ・行わない [9.3.3]
下地面の清掃 ・行う ・行わない [9.3.3]
断熱材を設置する部分の下地に欠損部がある場合 [9.3.3]
※4.1.4［外壁改修工法の種類］による
建築基準法に基づき指定する条件により、定まる風圧力に対応した工法を改修標仕1.2.2[施工計画書]による品質計画で定める。 [9.3.4]
不陸等の下地調整 ・
断熱材の施工 ・断熱材製造所の仕様による ・
外装材の施工 ・外装材製造所の仕様による ・
通気層 ・設ける（厚さ： mm） ・設けない
外装材の外壁への取付け ・図示 ・

8 ガラス改修

本特記仕様 5 建具改修 17 ガラスによる [9.4.2]

9 断熱・防露改修

断熱材打込み工法の材料 [9.5.2]
・ﾋﾞｰｽﾞ法ﾎﾟﾘｽﾁﾚﾝﾌｫｰﾑ断熱材 ・硬質ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ断熱材
・押出法ﾎﾟﾘｽﾁﾚﾝﾌｫｰﾑ断熱材 ・ﾌｪﾉｰﾙﾌｫｰﾑ断熱材 ・ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝﾌｫｰﾑ断熱材
断熱材現場発泡工法の材料 [9.5.3]
※Ａ種１又はＡ種１Ｈとし、難燃性を有するものとする。 吹付け厚さ mm

10 屋上緑化改修

工法 [9.6.3]
※「屋根ふき材及び屋外に面する帳壁の風圧に対する構造耐力上の安全性を確かめるための構造計算の基準を定める件」(平成12年5月31日付 建設省告示第1458号)による風圧力に対応した固定工法を改修標仕1.2.2[施工計画]で定める。
かん水装置 ・設置する（図示による） ・設置しない [9.6.3]
既存保護層等の撤去 ・行う ・行わない [9.6.3]
枯補償及び枯損処理 [9.6.4]
※引渡しの日から1年間 ・ 年間 ・ 年 月 日まで

11 透水性ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装改修

既存舗装の撤去 [9.7.2]

舗 装 撤 去 箇 所	再 利 用 す る 層

仕様書(そのⅤ)

Ver.020401

一級建築士事務所 新潟県知事登録 （り）１３５９号
株式会社 関矢設計事務所
郵便番号 946-0111 新潟県魚沼市並柳182番地 ℡ 025-799-2122
管理建築士
一級建築士 第228811号
関 矢 茂 信

工事名称	年月日	図面番号
4学工第12号 広神中学校校舎外部改修工事	2022年3月	A-6
図面名称：仕様書（そのⅤ）	縮尺 A１版 FREE A３版 FREE	意 電 構 機

⑩ 追加特記

① 公共事業労務費調査への協力　※協力する

2 工事監理方式　共同監理　・有り　・無し

3 適用基準等　・営繕工事電子納品要領（国土交通省大臣官房官庁営繕部整備課施設評価室）
※工事運行マニュアル

4 総合図　※作成する

⑤ 工事成績評定　※受注者は、工事成績評定の対象となる工事施工において、自ら立案し実施した創意工夫や工事特性に関する項目、または地域社会への貢献として評価できる項目に関する事項について、工事完了までに所定の様式により提出することができる。
（様式等は、工事運行マニュアルによる。）

⑥ 工事区分表

注）原則○印を適用する。ただし、複数記載してある項目についての区分はその項目を必要とする施工者に適用する。

項目		建	電	空	衛	昇	備考
躯体関係							
1.RC造(梁･壁･床)の貫通孔･開口部	貫通ｽﾘｰﾌﾞ材及び取付け	○	○	○	○	○	
	補強を要する型枠材及び取付け	○					
	補強を要しない型枠材及び取付け	○	○	○	○	○	防火区画、防煙区画
	貫通孔・開口部の墨出し	○	○	○	○	○	防火区画、防煙区画
	貫通孔・開口部の補強	○					
	ｽﾘｰﾌﾞ・型枠の穴埋め	○	○	○	○	○	
2.S･SRC造･はり貫通口	S・SRC造貫通鋼管鋼管ｽﾘｰﾌﾞ・補強	○					
	使用されたｽﾘｰﾌﾞの穴埋め	○	○	○	○	○	
	予備ｽﾘｰﾌﾞの穴埋め	○	○	○	○	○	
3.設備機器の基礎	建築設計図に記入のあるもの	○					
	室内の基礎（建築設計図に記入のないもの）		○	○	○		
	屋外・屋上の基礎	○					
	屋上基礎で押さえｺﾝｸﾘｰﾄにｱﾝｶｰしない軽微なもの		○	○	○		
	機器取付け用ｱﾝｶｰ・架台		○	○	○		
	屋内受水ﾀﾝｸ用の基礎	○					
仕上げ関係							
軽鉄天井･壁下地	補強を用するﾎﾞｰﾄﾞの切り込み及び下地の補強	○					
	補強を要しないﾎﾞｰﾄﾞの切り込み		○	○	○		
	開口部の墨出し		○	○	○		
電気関係							
電気配管配線	機器付属の制御盤以降の配管配線(接地線共)			○	○		二次側
	機器付属の制御盤への電源供給配管配線		○				一次側
	機器付属操作スイッチの取付及び渡り配管配線			○	○		
その他（工事区分を特に間違えやすい項目）							
天井材	取外し再取付(各種配管配線作業用)	○	△	△	△		小規模は要協議
床はつり補修	各種配管配線作業用	○	△	△	△		小規模は要協議
流し台、ガス台		○					
便所手洗いｶｳﾝﾀｰ		○					衛生陶器は衛生設備
洗面化粧台					○		
ガス漏れ警報器					○		
24H換気扇	機器納入				○		取付は電気設備
連動スイッチ	取付		○				機器納入は衛生設備
湯沸器	機器納入				○		取付は電気設備
連動スイッチ	取付		○				機器納入は衛生設備

7 発生材の処理等　[1.3.12]

1 再生資材の利用

下記資材の使用に際し、再生資材を利用すること。

再生資材名	規格	使用箇所	再資源化施設名・所在地	備考
再生クラッシャラン	C-40		桜井石材/魚沼市下倉	

2 建設発生土の利用

盛土等に使用する発生土は、下記の工事からの建設発生土を利用すること。

発注機関	工事名	発生場所	施工会社名・連絡先	備考

3 建設発生土の搬出

工事の施工により発生する建設発生土は、下記の場所に搬出すること。

受入工事名／施設名称	
工事場所／施設所在地	
連絡先	
仮置場所の有無	
備考	

⑩ 追加特記

④ 建設廃棄物の搬出

工事の施工により発生する廃棄物は、下記の場所に搬出するものとし積算している。

搬出する廃棄物名	金属くず	アスファルト防水撤去材	廃プラ、ガラス陶磁器
処理施設名称	㈲渡辺鋼鉄店	魚沼環境㈱	㈱小出環境サービス
施設所在地	魚沼市四日町381-1	魚沼市青島764-1	魚沼市七日市416-1
連絡先	025-792-6140	025-792-1895	025-792-0208
備考			

上表は積算上の条件であり、処理施設を指定するものではない。なお、受注者の提示する施設と異なる場合においても設計変更の対象としない。ただし、現場条件や数量の変更等、受注者の責によるものでない事項についてはこの限りではない。

⑤ 建築リサイクル法の対象建設工事は工事の規模に関係なくすべてを対象おする。
発注者への説明、書面の交付、届出の提出等を行う
建設リサイクル法の対象建設工事において、特定建設資材廃棄物の再資源化等が完了したときは、同法第１８条に基づき再資源化等完了報告書を提出すること。

⑥ 自ら産業廃棄物を運搬・処分する以外は、委託契約書の写しを提出すること。

⑦ 再生資源利用計画書の必要の有無　（有）実施書は完了時にＦＤで提出すること
再生資源利用促進計画書の必要の有無　（有）実施書は完了時にＦＤで提出すること

⑧ 協議について
建設工事発注後に明らかになったやむを得ない事情により、上記の指定や条件によりがたい場合は、速やかに監督員に報告し、協議すること。

9 化学物質の濃度測定

1)測定時期　[1.6.9]

測定時期は家具設置等の別途工事が行われる前とする。ただし、内装又は塗装等の施工が終了し、その後十分な換気が行われていること、及び中央式空気調和設備のように換気を行いながら空気調和を行う設備がある場合は、設備の試運転が終了していることとする。

測定時期は工事完了時とする。なお、内部工事期間等が特記されている場合は、内部工事完了時とする。

※　測定時期の決定は、測定結果が指針値を超えた場合に、6）の措置を講じる時間を見込むこと。

2)測定対象物質

※ホルムアルデヒド　（指定値0.08ppm以下）
※トルエン　（指定値0.07ppm以下）
※キシレン　（指定値0.05ppm以下）
※エチルベンゼン　（指定値0.88ppm以下）
※スチレン　（指定値0.05ppm以下）
・パラジクロロベンゼン　（指定値0.04ppm以下）

3)測定室

・　・　室　（測定箇所　箇所）
・　・　室　（測定箇所　箇所）
・　・　室　（測定箇所　箇所）
・　・　室　（測定箇所　箇所）
・　・　室　（測定箇所　箇所）

4)測定方法

測定機器

※パッシブ型採取機器　・監督員の承諾する機器

測定要領（パッシブ型測定法の場合）

※ 測定前の措置
測定を開始する前に、測定対象室のすべての窓及び扉（造りつけ家具、押入等の収納部分の扉を含む。）を開放し、３０分間換気する。その後、測定対象室のすべての窓及び扉を５時間閉鎖する。ただし、造りつけ家具、押入等の収納部分の扉は開放したままとする。

※ 測定は次のイ～ハによる。
イ 上記測定前の措置の状態のままで測定する。
ロ 測定時間は、原則として２４時間とする。ただし、工程等の都合により、２４時間測定が行えない場合は、８時間測定とする。なお、８時間測定の場合は、午後２時～３時が測定時間帯の中央となるよう１０時３０分から１８時３０分までの時間帯で測定する。
ハ 測定回数は１回とし、複数回の測定は不要とする。

※ その他
上記測定前の措置及び測定においては、換気設備又は空気調和設備は稼働させたままとする。ただし、局所的な換気扇等で常時稼働させないものは停止させたままとする。

※ 測定結果の分析
測定対象化学物質を採取したパッシブ型採取機器を分析機関に送付し濃度を測定する。

5)測定結果が指針値を超えた場合の措置

※測定結果が厚生労働省の指針値を超えていた場合は、発散源を特定し、換気等の措置を講じた後、再度4）、5）により、測定を行う。

6)報告書の提出

※完了検査日までに報告書を提出する。なお、内部工事期間等が特記されている場合は、内部工事完了までに測定結果速報を監督員に提出する。

⑩ 有価物について

当該工事における、有価物については下記の通り取り扱う。
（1）有価物は原則として工事費（積算）に含めない
（2）鉄くず等金属類及び電線等は有価物として有価物引取り業者に持ち込むこと
（3）有価物引取り業者は計量伝票を建設工事受注業者に発行する
（4）建設工事受注業者は軽量伝票を根拠に有価物売り払い金清算を完了する
（5）有価物売り払い金清算完了後、計量伝票を発注担当部署へ一括引き渡す
（6）発注担当部署は納入通知書を建設工事受注業者に発行し納めていただく

11 追加特記

参考メーカー及び商品名

軒天	コンクリート面	水性反応硬化形軒天上専用仕上塗材	ノキフレッシュ	エスケー化研（株） 同等品
コンクリート打ち放し面仕上塗材	可とう形改修塗材ＲＥ	水性ソフトサーフエポ下塗り	スーパーセラタイトF	エスケー化研（株） 同等品
既存鋼材亜鉛メッキ処理面塗装仕上	耐候性塗料塗り（ＤＰ）	フロンティアＨＧ		神東塗料（株） 同等品

屋上防水	2階屋上・ベランダ	平面	ウレタン塗膜防水（X-1)工法	（株）ダイフレックス	同等品
		立上り	ウレタン塗膜防水（X-2)工法	（株）ダイフレックス	同等品
		笠木廻り	ウレタン塗膜防水（X-2)工法	（株）ダイフレックス	同等品
	屋上	平面	塩ビシート防水t=2.0　絶縁工法	アーキヤマデ（株）	同等品
		立上り	塩ビシート防水t=2.0　密着工法	アーキヤマデ（株）	同等品
		笠木廻り	ウレタン塗膜防水（X-2)工法	（株）ダイフレックス	同等品

一級建築士事務所　新潟県知事登録　（リ）１３５９号
株式会社　関矢設計事務所
郵便番号　946-0111　新潟県魚沼市並柳182番地　℡　025-799-2122
管理建築士
一級建築士　第228811号
関矢茂信

工事名称	4学工第12号　広神中学校校舎外部改修工事	年月日	2022年3月
図面番号	A-7	図面名称	仕様書（そのＶ）
縮尺	A１版 FREE　A３版 FREE	意匠 / 電 / 構 / 機	

設　計　概　要　書

◆　建　築　主

住　所　新潟県魚沼市

氏　名　魚沼市長

◆　工事種別　外部改修工事

◆　工事期間　着工　年　月　日　竣工　年　月　日

◆　敷地概要

1．　地名地番　新潟県魚沼市田尻　３２０－１

（住居表示）

2．＊面　　積　31,402.00　m²

3．　道　　路　北東側　８．０Ｍ

4．　敷地状況

5．　用途地域　指定無し

6．　防火地域　指定無し

7．　その他の指定　指定無し

◆　建物概要

1．　主要用途　校舎、渡り廊下棟

2．＊階　　数　地下　—　地上　４階

3．　建築物の高さ　最高の高さ（地盤面より）　倉庫棟　１８．２００m

最高の軒の高さ（地盤面より）　１５．１１８m

4．　面　　積

	校舎	渡り廊下	合　計
＊建築面積（Ａ）	1,304.44　㎡	64.00　㎡	1,368.44　㎡
＊延べ面積（Ｂ）	4,400.54　㎡	128.00　㎡	4,528.54　㎡
駐車施設の床面積（Ｃ）			
容積対象面積（Ｂ－Ｃ）			

建蔽率（Ａ／敷地面積）

容積率（Ｂ－Ｃ／敷地面積）

付置義務駐車台数　台

5．床面積表

階別	校舎	渡り廊下		合　計
PH階	58.00　㎡			58.00　㎡
４階	1,012.77　㎡			1,012.77　㎡
３階	1,012.77　㎡			1,012.77　㎡
２階	1,012.56　㎡	64.00　㎡		1,076.56　㎡
１階	1,304.44　㎡	64.00　㎡		1,368.44　㎡
合　計	4,400.54　㎡	128.00　㎡		4,528.54　㎡

◆　構造概要

1．　主要構造　RC造

2．　杭　地　業

3．　基　　礎

4．　構造材料　構造図参照

5．　そ　の　他

◆　設備概要

（該当文字を○で囲む　追加項目・特記事項は余白に記入する）

1．　衛生設備

・給水（市水・井水）　・　給湯（中央・局所）　・　排水（合流・分流）　・　ガス（市ガス・プロパン）　・

消火（消火器・屋内消火栓・スプリンクラー・水噴霧・屋外消火栓）　・　消雪（井水・電気）　・（撤去・バルブ止め）

排水処理（単独処理・合併処理・生放流）

※　消火器：建築工事　ＡＢＣ10号　簡易スタンド共　16＋９ヶ

2．　空調設備

直暖（蒸気・温水）　・　温風暖房　・　空調（冷房・暖房）　・　換気（中央・局所）　・　排煙

3．　電気設備

変電　・　自家発電　・　蓄電池　・　幹線　・　電灯　・　コンセント　・　屋外照明　・　建物照明　・

ネオン広告塔　・　動力　・　電話配管　・　電気時計　・　放送　・　ＢＧＭ　・

ＴＶ共同聴視　・　非常警報　・　自動火災報知　・　誘導灯　・　非常照明　・

インターホン　・　電鈴　・　駐車場管理　・　避雷　・　特殊用途電源

◆　工事範囲

本工事の範囲は本設計図書に示された範囲とする

◆　外　　構

◆　別途工事

1．　屋　　内

2．　屋　　外

変更

一級建築士事務所　新潟県知事登録　（リ）１３５９号

株式会社　関矢設計事務所

郵便番号　946-0111　新潟県魚沼市並柳182番地　℡　025-799-2122

管理建築士　一級建築士　第228811号　関矢茂信

工事名称	年月日	図面番号
4学工第12号　広神中学校校舎外部改修工事	2022年3月	A-8
図面名称：設計概要書	縮尺　A１版 FREE　A３版 FREE	衛 構 電 機

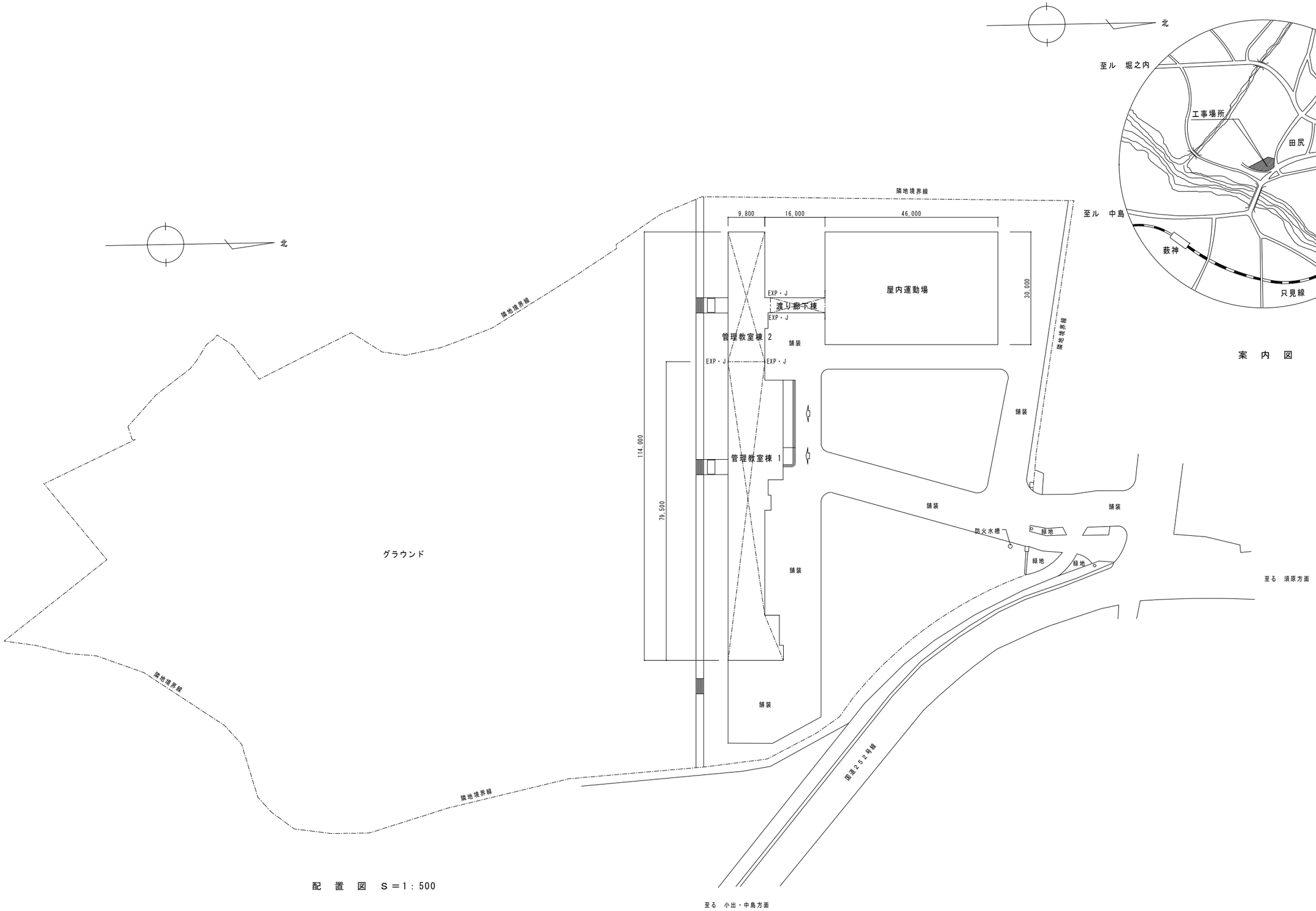
外 部 仕 上 表

部　位	改修前後	仕　様	備　考
管理教室棟１			
屋 上（平 面）	現 況	改質アスファルト防水 トーチ工法 撤去　鋳物ドレン φ100 ﾀﾃ型 撤去	
	改修後	塩ビシート防水(絶縁工法) t=2.0　塩ビ鋼板取付　樹脂モルタル補修(1.68kg/㎡)　高圧水洗浄　塩ビ改修ドレン取付(φ100 ﾀﾃ型)	
屋 上（立 上 り）	現 況	改質アスファルト防水 トーチ工法 撤去　防水端末シーリング撤去　防水端末アルミアングル撤去	
	改修後	塩ビシート防水(接着工法) t=2.0　樹脂モルタル補修(1.68kg/㎡)　高圧水洗浄　防水端末シーリング充填　防水端末アルミアングル取付	
PH屋 上（平 面）	現 況	改質アスファルト防水 トーチ工法 撤去　鋳物ドレン φ100 ﾀﾃ型 撤去	
	改修後	塩ビシート防水(絶縁工法) t=2.0　塩ビ鋼板取付　樹脂モルタル補修(1.68kg/㎡)　高圧水洗浄　塩ビ改修ドレン取付(φ100 ﾀﾃ型)	
PH屋 上（立 上 り）	現 況	改質アスファルト防水 トーチ工法 撤去　防水端末シーリング撤去　防水端末アルミアングル撤去	
	改修後	塩ビシート防水(接着工法) t=2.0　樹脂モルタル補修(1.68kg/㎡)　高圧水洗浄　防水端末シーリング充填　防水端末アルミアングル取付	
給食室屋根（平面）	現 況	改質アスファルト防水 トーチ工法 撤去　鋳物ドレン φ100 ﾀﾃ型 撤去	
	改修後	塩ビシート防水(絶縁工法) t=2.0　塩ビ鋼板取付　樹脂モルタル補修(1.68kg/㎡)　高圧水洗浄　塩ビ改修ドレン取付(φ100 ﾀﾃ型)	
給食室屋根（立上り）	現 況	改質アスファルト防水 トーチ工法 撤去　防水端末シーリング撤去　防水端末アルミアングル撤去	
	改修後	塩ビシート防水(接着工法) t=2.0　樹脂モルタル補修(1.68kg/㎡)　高圧水洗浄　防水端末シーリング充填　防水端末アルミアングル取付	
玄関屋根（平面）	現 況	改質アスファルト防水 トーチ工法 撤去　鋳物ドレン φ100 ﾀﾃ型 撤去	
	改修後	塩ビシート防水(絶縁工法) t=2.0　塩ビ鋼板取付　樹脂モルタル補修(1.68kg/㎡)　高圧水洗浄　塩ビ改修ドレン取付(φ100 ﾀﾃ型)	
玄関屋根（立上り）	現 況	改質アスファルト防水 トーチ工法 撤去　防水端末シーリング撤去　防水端末アルミアングル撤去	
	改修後	塩ビシート防水(接着工法) t=2.0　樹脂モルタル補修(1.68kg/㎡)　高圧水洗浄　防水端末シーリング充填　防水端末アルミアングル取付	
バルコニー（平面）	現 況	モルタル金コテ塗り t=30　誘発目地Ｕカット(10*10程度) 撤去	
	改修後	ウレタン塗膜防水(密着工法) t=2.0　高圧水洗浄　誘発目地シーリング(10*10程度)	
バルコニー（立上り）	現 況	モルタル金コテ塗り t=30	
	改修後	ウレタン塗膜防水(密着工法) t=2.0　高圧水洗浄	
外　壁	現 況	下地調整弾性フィラー・吹付タイル　水性シリコン吹付	
	改修後	微弾性フィラー・超耐候低汚染型変性無機塗料 ２回塗り仕上　高圧洗浄 210kg/cm2 防音型　外壁 クラック 低圧注入　外壁 欠損部 鉄筋防錆処理 樹脂モルタル整型	
軒　天	現 況	浸透型エポキシ塗布　下地調整弾性フィラー・吹付リシン仕上	
	改修後	浸透性無機コート仕上　高圧洗浄 210kg/cm2 防音型	
庇	現 況	ウレタン塗膜防水　防水端末シーリング 撤去	
	改修後	ウレタン塗膜防水(密着工法) t=2.0　高圧水洗浄　防水端末シーリング(15*10程度)	
管理教室棟２			
屋 上（平 面）	現 況	改質アスファルト防水 トーチ工法 撤去　鋳物ドレン φ100 ﾀﾃ型 撤去	
	改修後	塩ビシート防水(絶縁工法) t=2.0　塩ビ鋼板取付　樹脂モルタル補修(1.68kg/㎡)　高圧水洗浄　塩ビ改修ドレン取付(φ100 ﾀﾃ型)	
屋 上（立 上 り）	現 況	改質アスファルト防水 トーチ工法 撤去　防水端末アルミアングル撤去	
	改修後	塩ビシート防水(接着工法) t=2.0　樹脂モルタル補修(1.68kg/㎡)　高圧水洗浄　防水端末シーリング充填　防水端末アルミアングル取付	
PH屋 上（平 面）	現 況	改質アスファルト防水 トーチ工法 撤去　鋳物ドレン φ100 ﾀﾃ型 撤去	
	改修後	塩ビシート防水(絶縁工法) t=2.0　塩ビ鋼板取付　樹脂モルタル補修(1.68kg/㎡)　高圧水洗浄　塩ビ改修ドレン取付(φ100 ﾀﾃ型)	
PH屋 上（立 上 り）	現 況	改質アスファルト防水 トーチ工法 撤去　防水端末シーリング撤去　防水端末アルミアングル撤去	
	改修後	塩ビシート防水(接着工法) t=2.0　樹脂モルタル補修(1.68kg/㎡)　高圧水洗浄　防水端末シーリング充填　防水端末アルミアングル取付	
バルコニー（平面）	現 況	モルタル金コテ塗り t=30　誘発目地Ｕカット(10*10程度) 撤去	
	改修後	ウレタン塗膜防水(密着工法) t=2.0　高圧水洗浄　誘発目地シーリング(10*10程度)	
バルコニー（立上り）	現 況	モルタル金コテ塗り t=30	
	改修後	ウレタン塗膜防水(密着工法) t=2.0　高圧水洗浄	
外　壁	現 況	下地調整弾性フィラー・吹付タイル　水性シリコン吹付	
	改修後	微弾性フィラー・超耐候低汚染型変性無機塗料 ２回塗り仕上　高圧洗浄 210kg/cm2 防音型　外壁 クラック 低圧注入　外壁 欠損部 鉄筋防錆処理 樹脂モルタル整型	
軒　天	現 況	浸透型エポキシ塗布　下地調整弾性フィラー・吹付リシン仕上	
	改修後	浸透性無機コート仕上　高圧洗浄 210kg/cm2 防音型	
庇	現 況	ウレタン塗膜防水　防水端末シーリング 撤去	
	改修後	ウレタン塗膜防水(密着工法) t=2.0　高圧水洗浄　防水端末シーリング(15*10程度)	
渡 り 廊 下			
渡り廊下屋根(平面)	現 況	塩ビシート防水（接着工法）撤去　ドレン φ120 ﾀﾃ型 撤去	
	改修後	塩ビシート防水(絶縁工法) t=2.0　塩ビ鋼板取付　樹脂モルタル補修(1.68kg/㎡)　高圧水洗浄　塩ビ改修ドレン取付(φ120 ﾀﾃ型)	
渡り廊下屋根(立上り)	現 況	塩ビシート防水（接着工法）撤去　防水端末シーリング撤去　防水端末アルミアングル撤去	
	改修後	塩ビシート防水(接着工法) t=2.0　樹脂モルタル補修(1.68kg/㎡)　高圧水洗浄　防水端末シーリング充填　防水端末アルミアングル取付	
渡り廊下庇(平面)	現 況	塩ビシート防水（接着工法）撤去　ドレン φ120 ﾀﾃ型 撤去	
	改修後	塩ビシート防水(絶縁工法) t=2.0　塩ビ鋼板取付　樹脂モルタル補修(1.68kg/㎡)　高圧水洗浄　塩ビ改修ドレン取付(φ120 ﾀﾃ型)	
渡り廊下庇(立上り)	現 況	塩ビシート防水（接着工法）撤去　防水端末シーリング撤去　防水端末アルミアングル撤去	
	改修後	塩ビシート防水(接着工法) t=2.0　樹脂モルタル補修(1.68kg/㎡)　高圧水洗浄　防水端末シーリング充填　防水端末アルミアングル取付	
外　壁	現 況	複層仕上塗材吹付 Ｅ防水形ウレタン系トップ	
	改修後	微弾性フィラー・超耐候低汚染型変性無機塗料 ２回塗り仕上　高圧洗浄 210kg/cm2 防音型　外壁 クラック 低圧注入　外壁 欠損部 鉄筋防錆処理 樹脂モルタル整型	
軒　天	現 況	薄付仕上塗材吹付 アクリルリシン吹付	
	改修後	浸透性無機コート仕上　高圧洗浄 210kg/cm2 防音型	
	現 況		
	改修後		
	現 況		
	改修後		

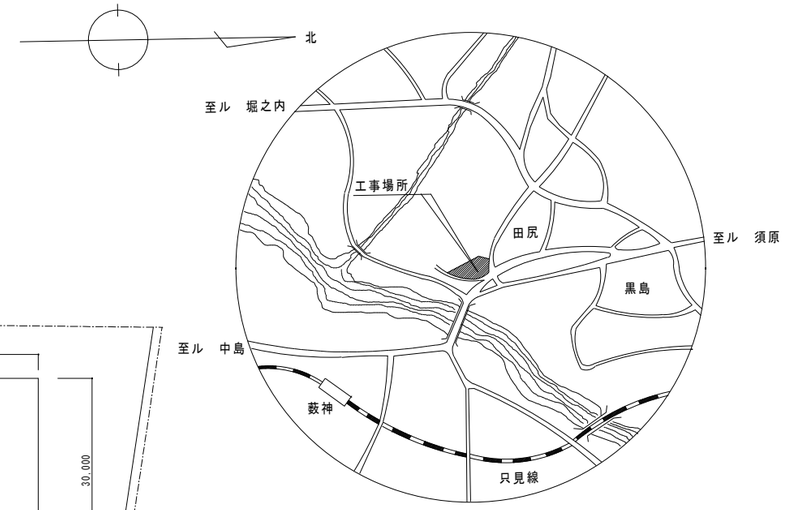
一級建築士事務所　新潟県知事登録　（リ）１３５９号
株式会社　関矢設計事務所
郵便番号　946-0111　新潟県魚沼市並柳182番地　℡　025-799-2122
管理建築士
一級建築士　第228811号
関　矢　茂　信

工事名称	4学工第12号　広神中学校校舎外部改修工事	日付	2022年3月
図面名称	現況・改修後 仕上表	縮尺	FREE

A － 9

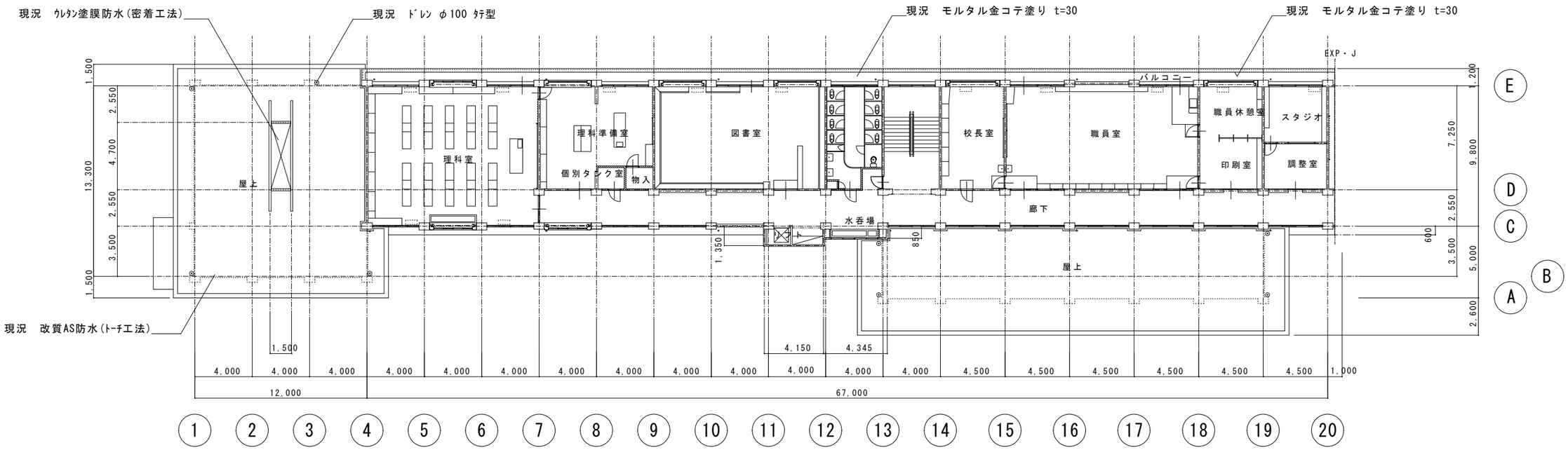


配　置　図　S＝1：500

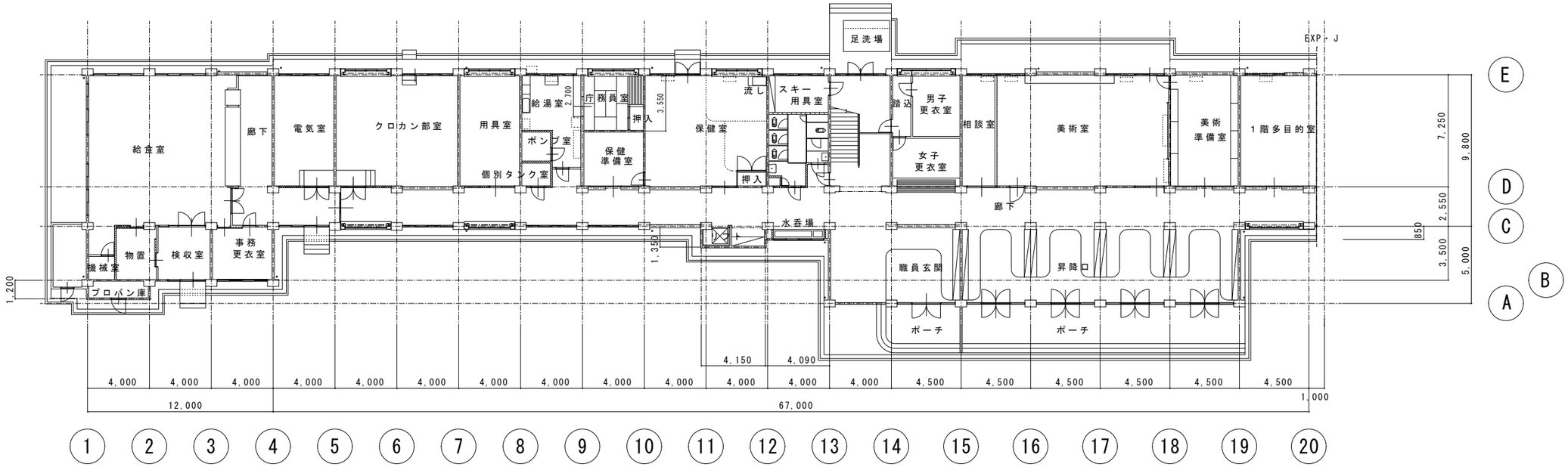


案　内　図

一級建築士事務所　新潟県知事登録　（リ）１３５９号 株式会社　関矢設計事務所 郵便番号　946-0111　新潟県魚沼市並柳182番地　℡　025-799-2122	管理建築士 一級建築士　第228811号 関　矢　茂　信	工事名称 4学工第12号　広神中学校校舎外部改修工事	日付 2022年3月	A－10
		図面名称 配　置　図　・　案　内　図	縮尺 1:500	

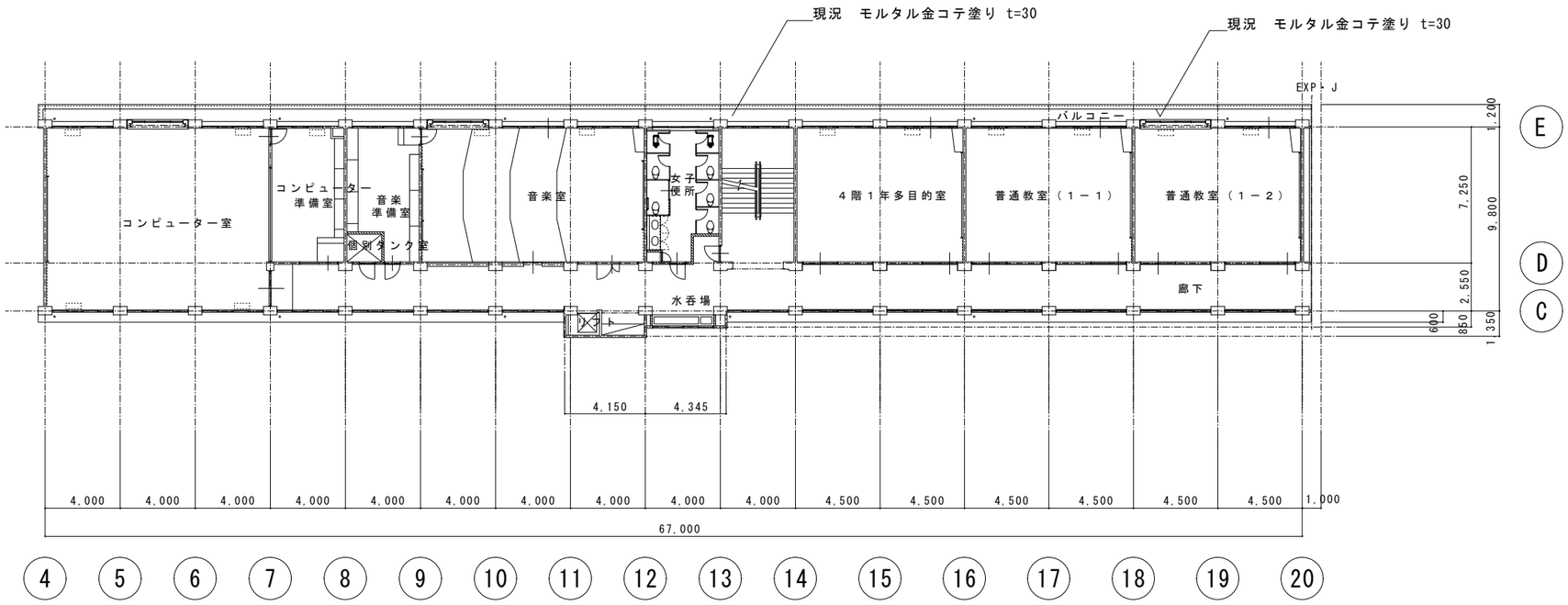


2階平面図

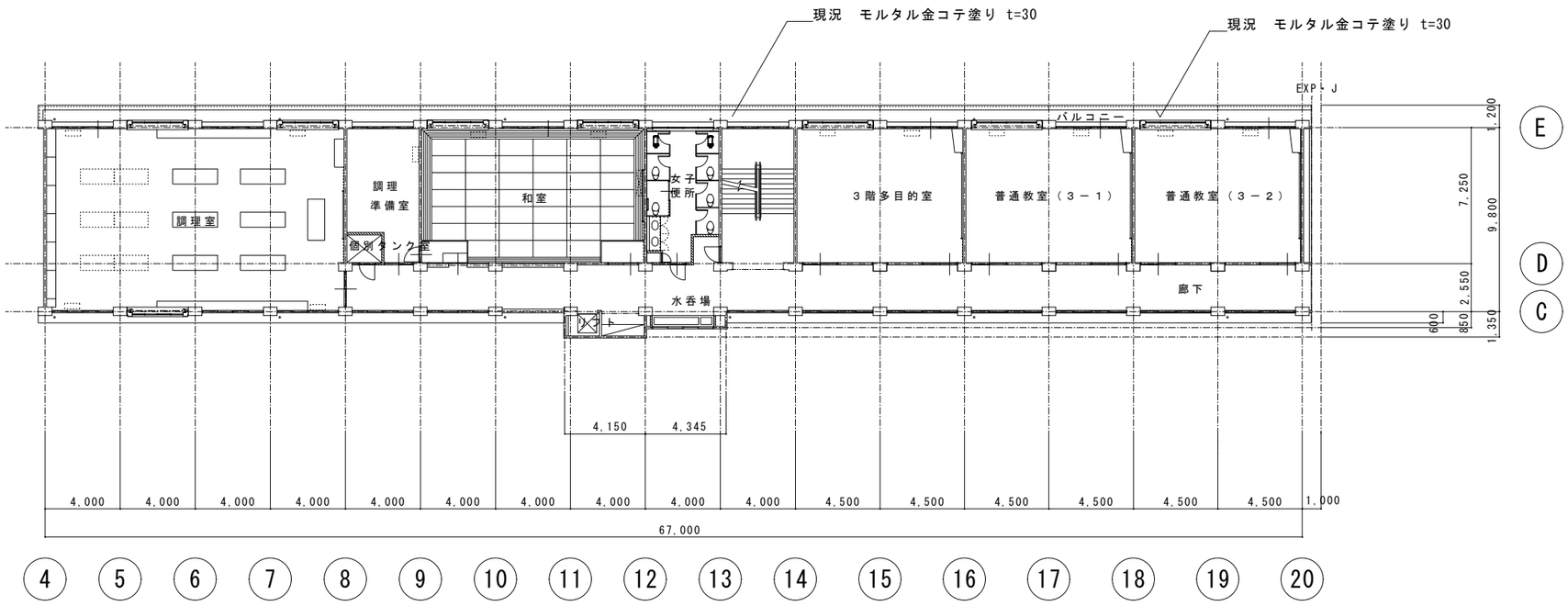


1階平面図

一級建築士事務所　新潟県知事登録　(り) 1359号 株式会社　関矢設計事務所 郵便番号 946-0111　新潟県魚沼市並柳182番地　℡ 025-799-2122	管理建築士 一級建築士　第228811号 関　矢　茂　信	工事名称 4学工第12号　広神中学校校舎外部改修工事 図面名称 管理教室棟1　現況1階・2階平面図	日付 2022年3月 縮尺 1：150	A-11

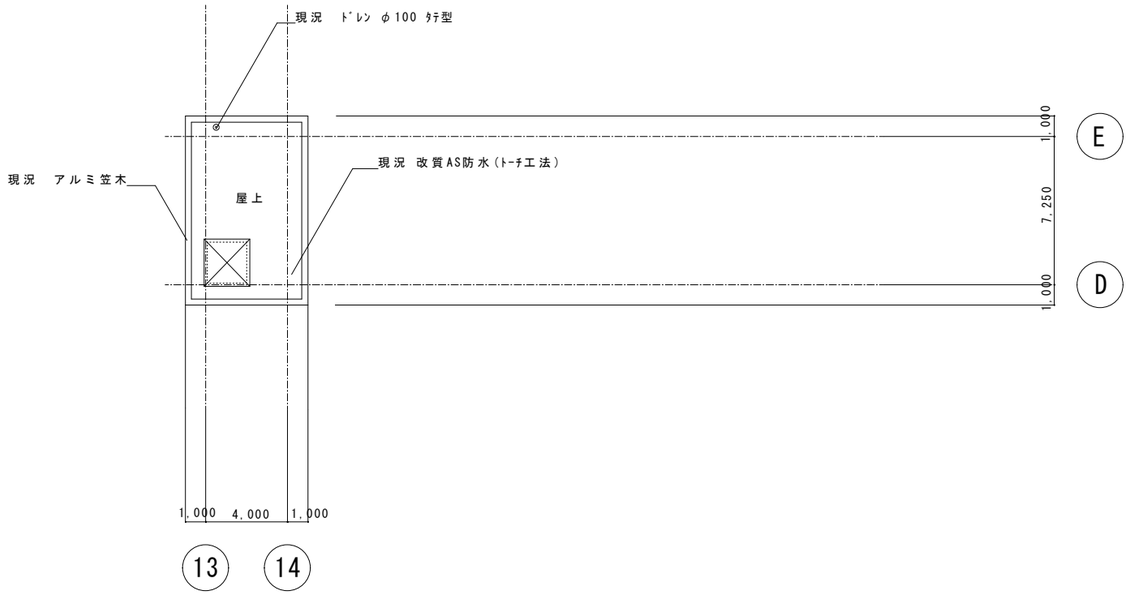


4階平面図

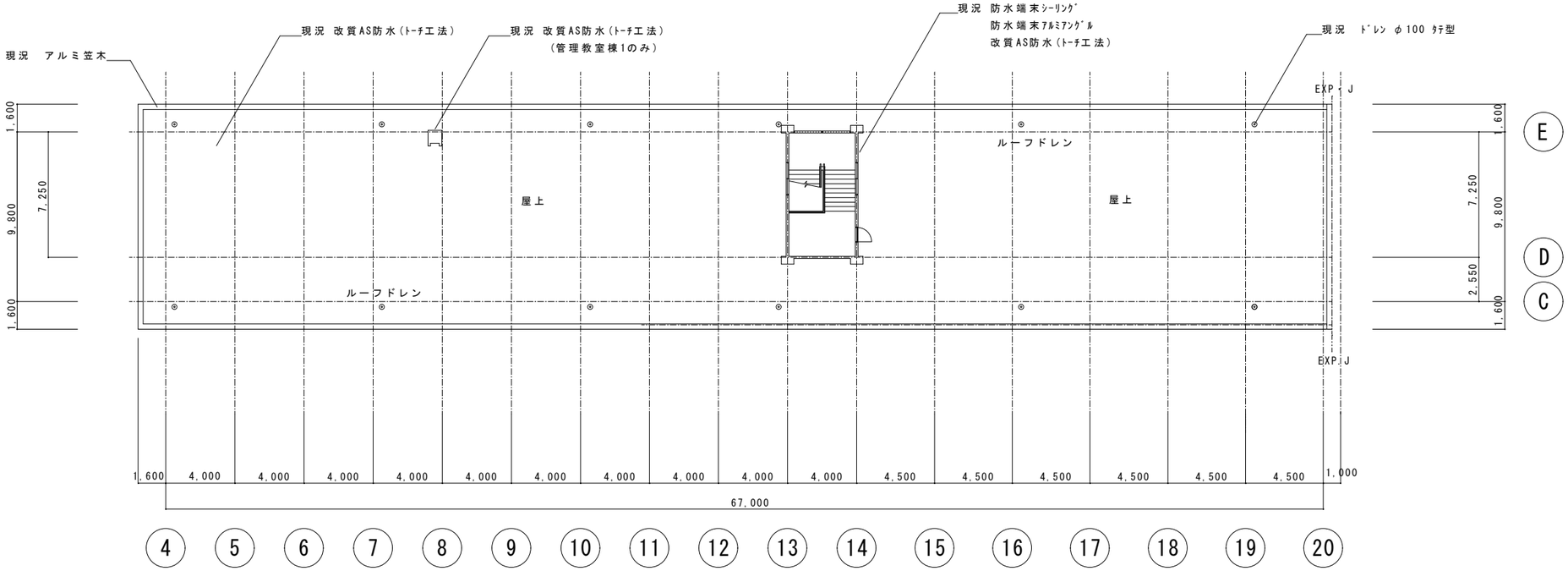


3階平面図

一級建築士事務所　新潟県知事登録　（リ）１３５９号 株式会社　関矢設計事務所 郵便番号　946-0111　新潟県魚沼市並柳182番地　℡　025-799-2122	管理建築士 一級建築士　第228811号 関　矢　茂　信	工事名称	4学工第12号　広神中学校校舎外部改修工事	日付 2022年3月	A-12
		図面名称	管理教室棟１　現況3階・4階平面図	縮尺 1：150	

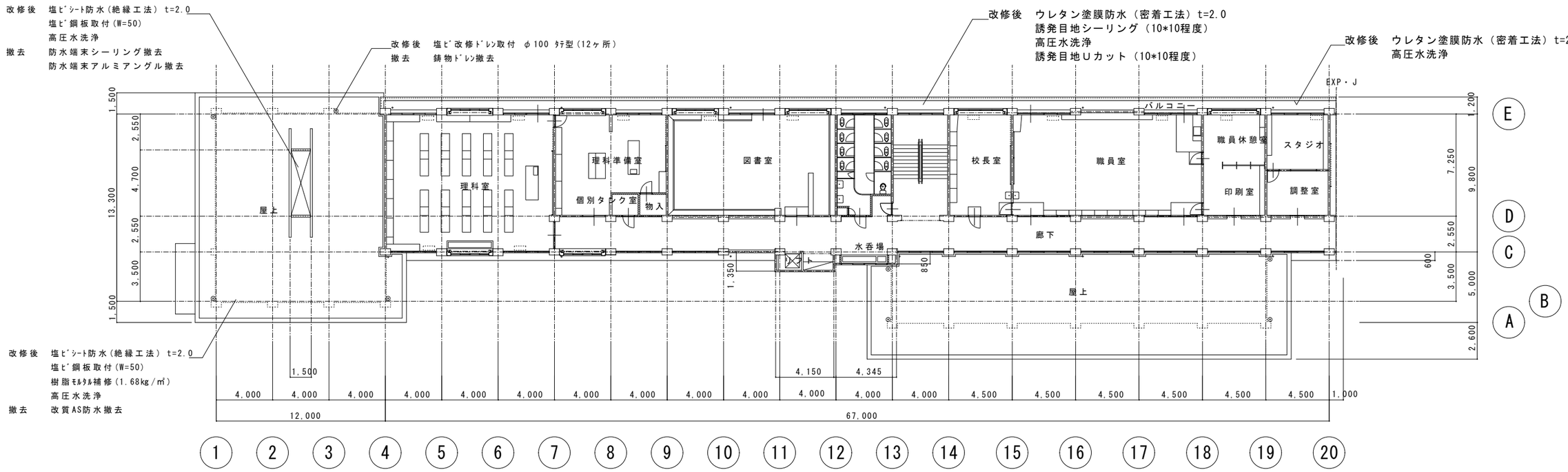


PR階平面図

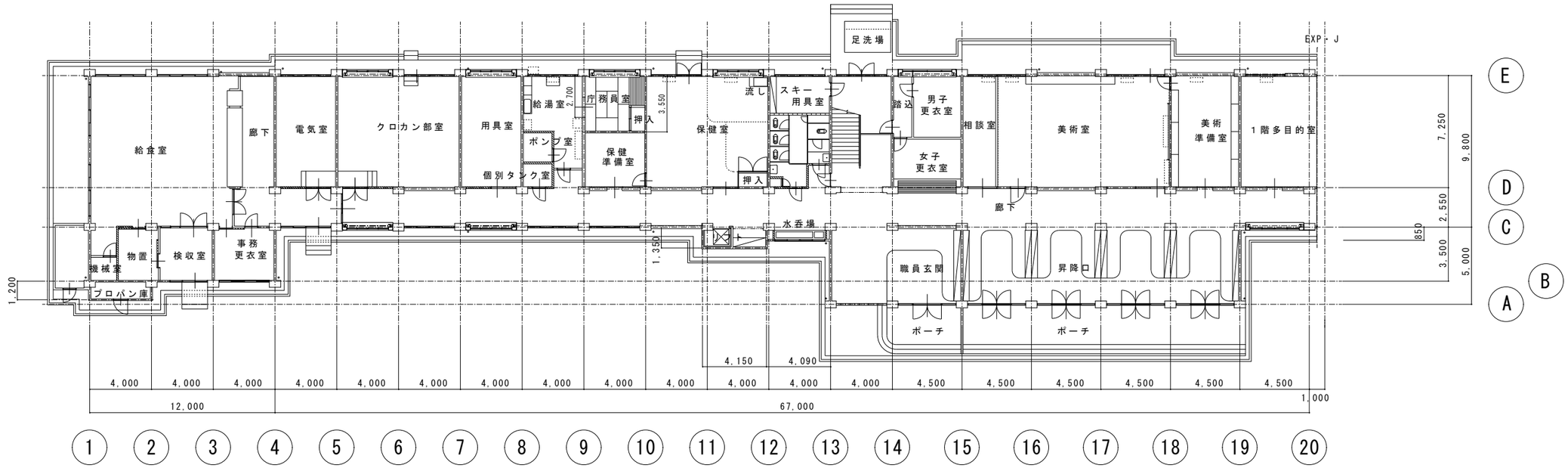


R階平面図

一級建築士事務所　新潟県知事登録　（り）１３５９号 株式会社　関矢設計事務所 郵便番号　946-0111　新潟県魚沼市並柳182番地　℡　025-799-2122	管理建築士 一級建築士　第228811号 関　矢　茂　信	工事名称　4学工第12号　広神中学校校舎外部改修工事 図面名称　管理教室棟１　現況R階平面図	日付　2022年3月 縮尺　1：150	A-13

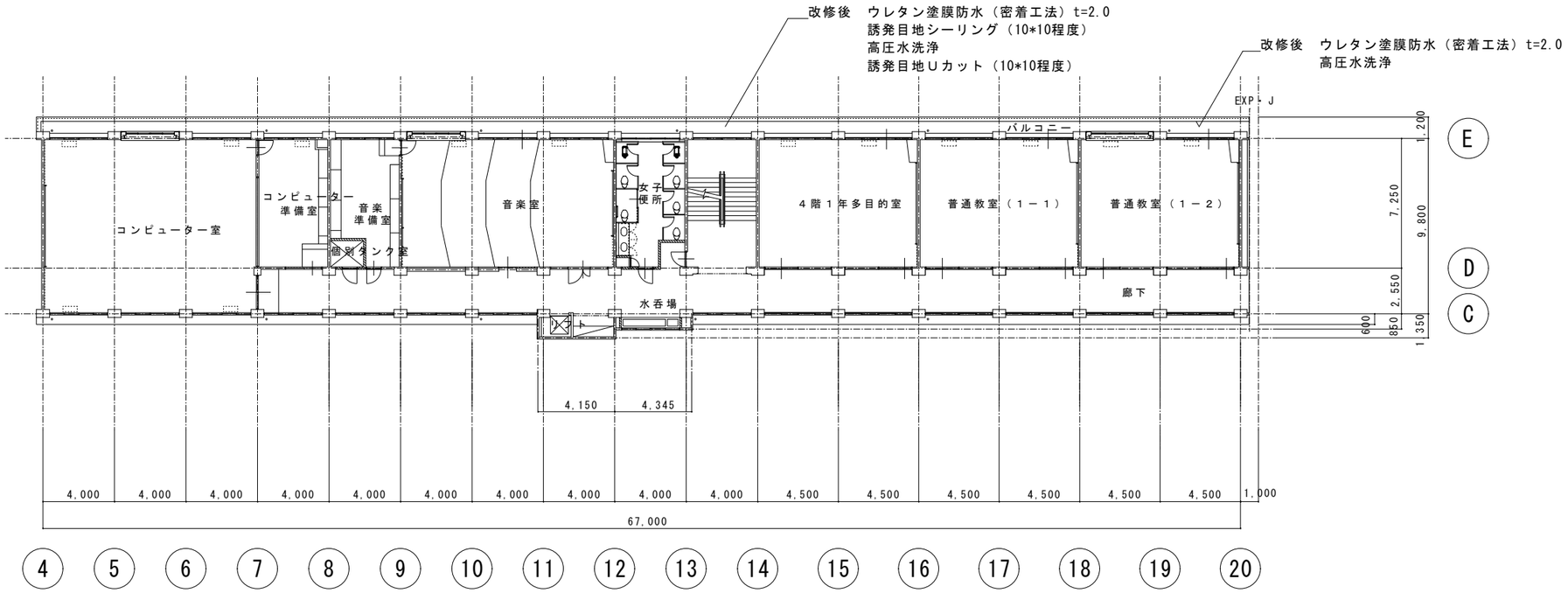


2階平面図

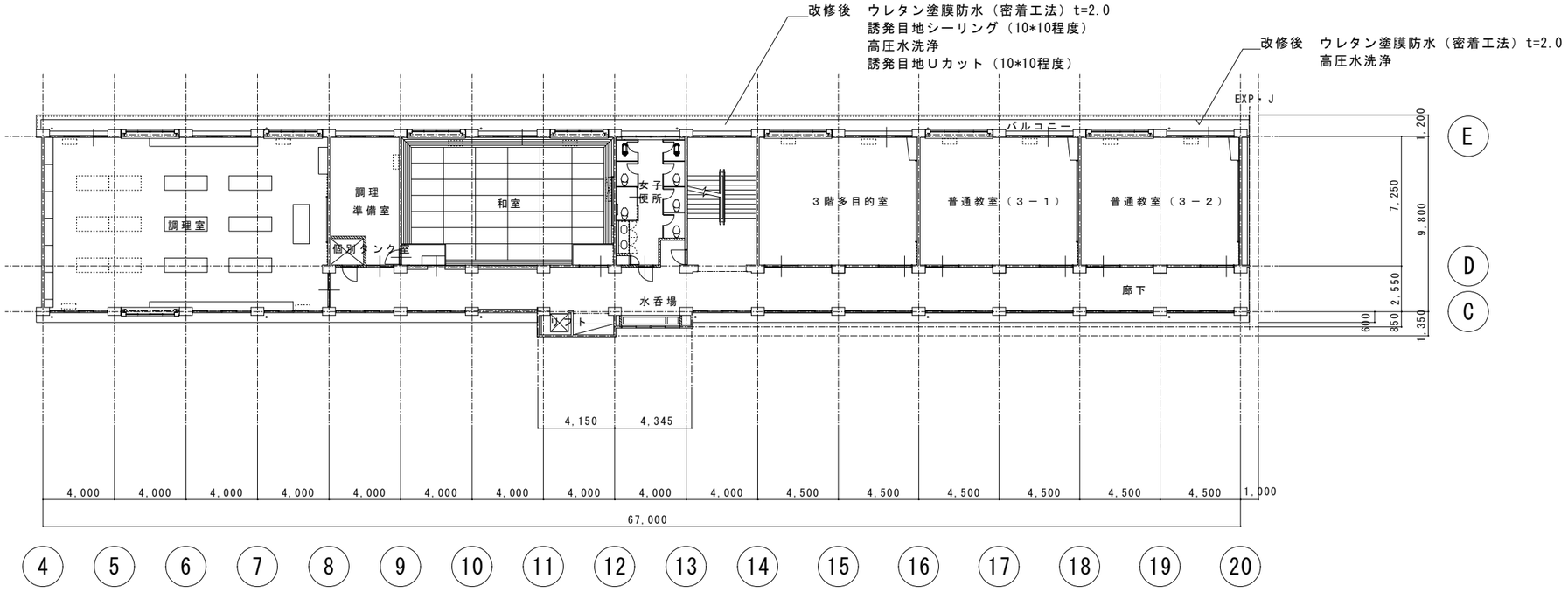


1階平面図

一級建築士事務所 新潟県知事登録 （り）１３５９号 株式会社 関矢設計事務所 郵便番号 946-0111 新潟県魚沼市並柳182番地 TEL 025-799-2122	管理建築士 一級建築士 第228811号 関 矢 茂 信	工事名称 4学工第12号 広神中学校校舎外部改修工事 図面名称 管理教室棟１ 改修後 1階・2階平面図	日付 2022年3月 縮尺 1：150	A-14

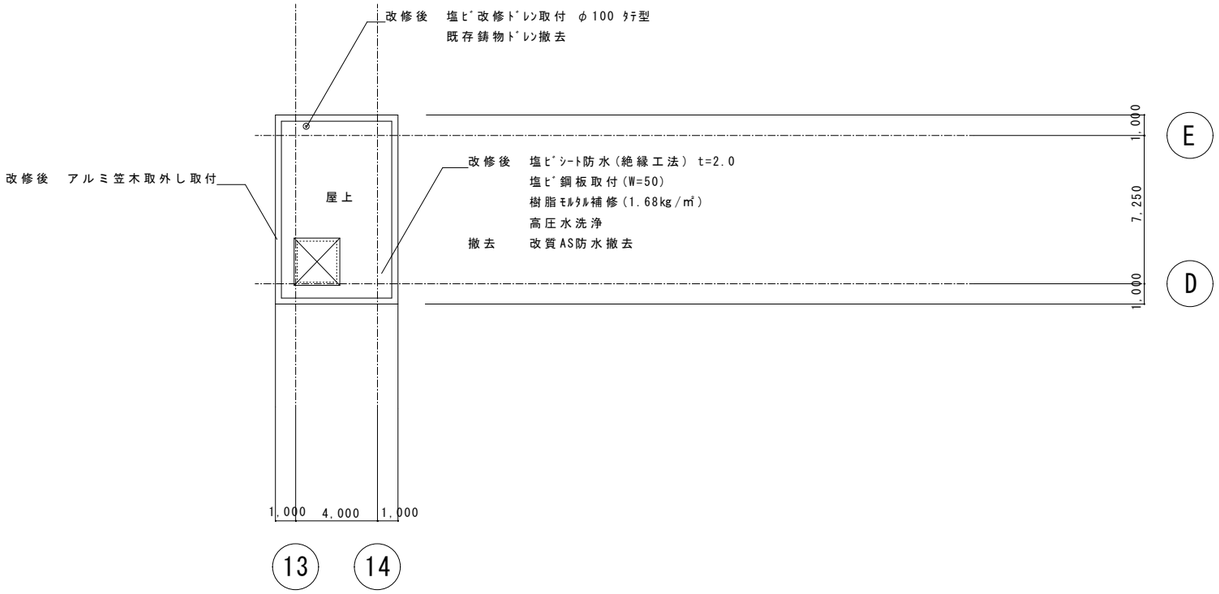


4階平面図

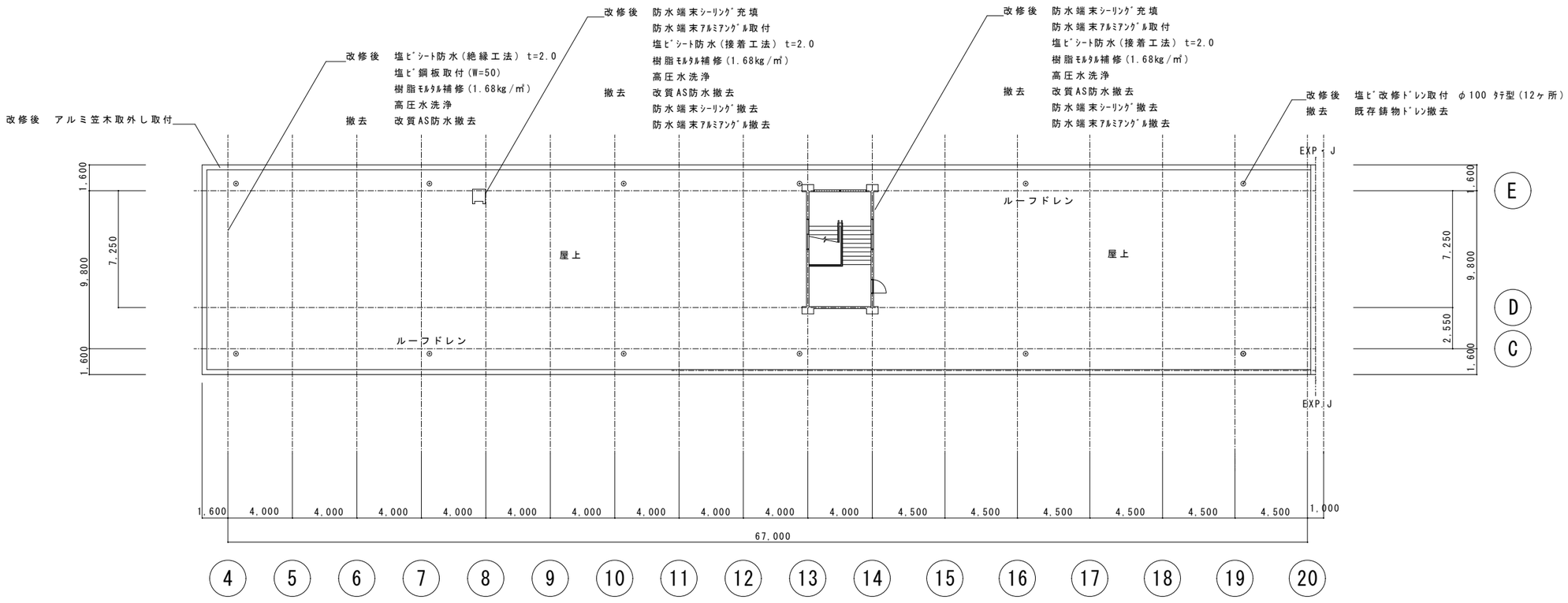


3階平面図

一級建築士事務所　新潟県知事登録　（り）１３５９号 株式会社　関矢設計事務所 郵便番号　946-0111　新潟県魚沼市並柳182番地　℡　025-799-2122	管理建築士 一級建築士　第228811号 関　矢　茂　信	工事名称 4学工第12号　広神中学校校舎外部改修工事	日付 2022年3月	A-15
		図面名称 管理教室棟１　改修後 3階・4階平面図	縮尺 1：150	

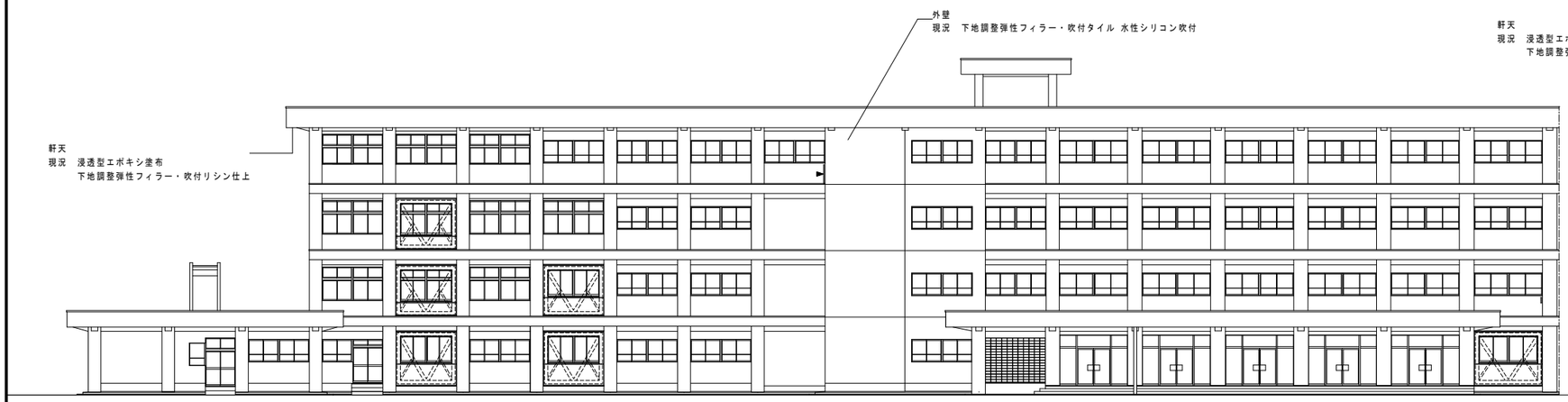


PR階平面図

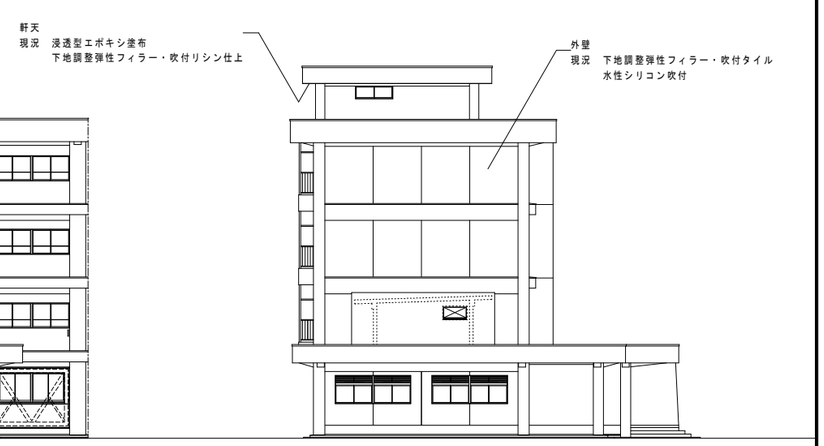


R階平面図

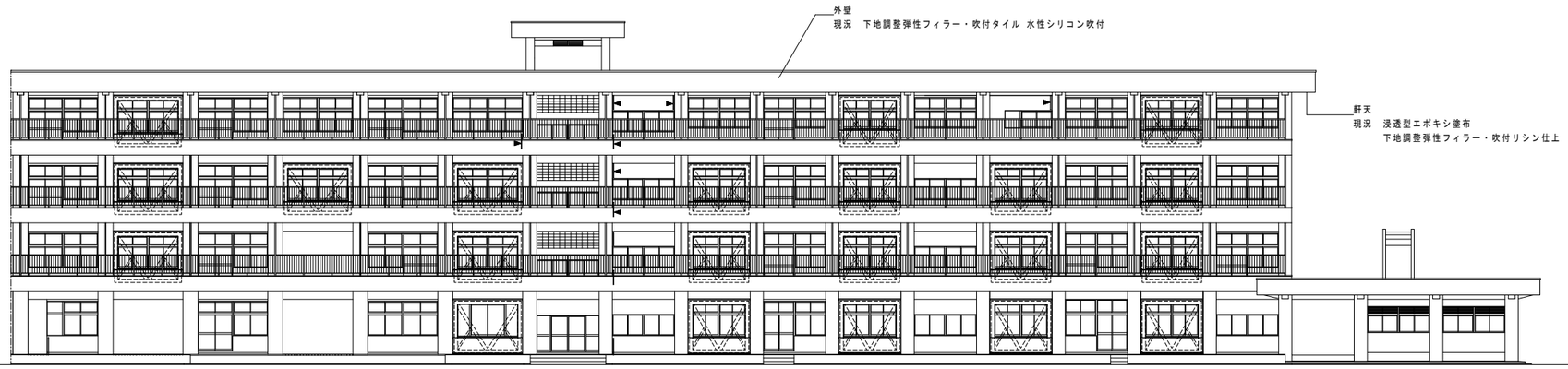
一級建築士事務所　新潟県知事登録　（り）１３５９号 株式会社　関矢設計事務所 郵便番号　946-0111　新潟県魚沼市並柳182番地　℡　025-799-2122	管理建築士 一級建築士　第228811号 関　矢　茂　信	工事名称 4学工第12号　広神中学校校舎外部改修工事 図面名称 管理教室棟１　改修後 R階平面図	日付 2022年3月 縮尺 1：150	A-16



正面図



左側面図



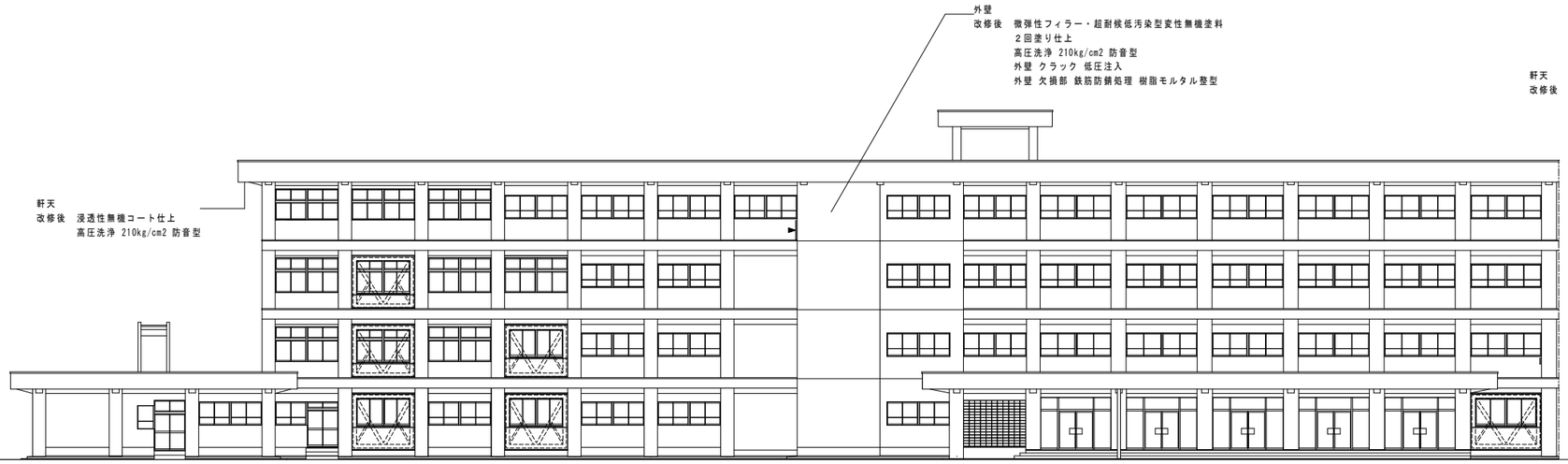
背面図

一級建築士事務所　新潟県知事登録　（り）１３５９号
株式会社　関矢設計事務所
郵便番号　946-0111　新潟県魚沼市並柳182番地　℡　025-799-2122

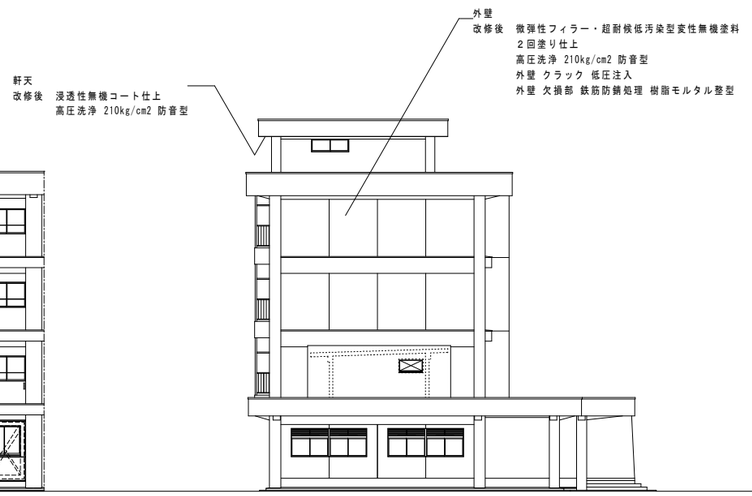
管理建築士
一級建築士　第228811号
関　矢　茂　信

工事名称	4学工第12号　広神中学校校舎外部改修工事	日付	2022年3月
図面名称	管理教室棟１　現況 立面図	縮尺	1：150

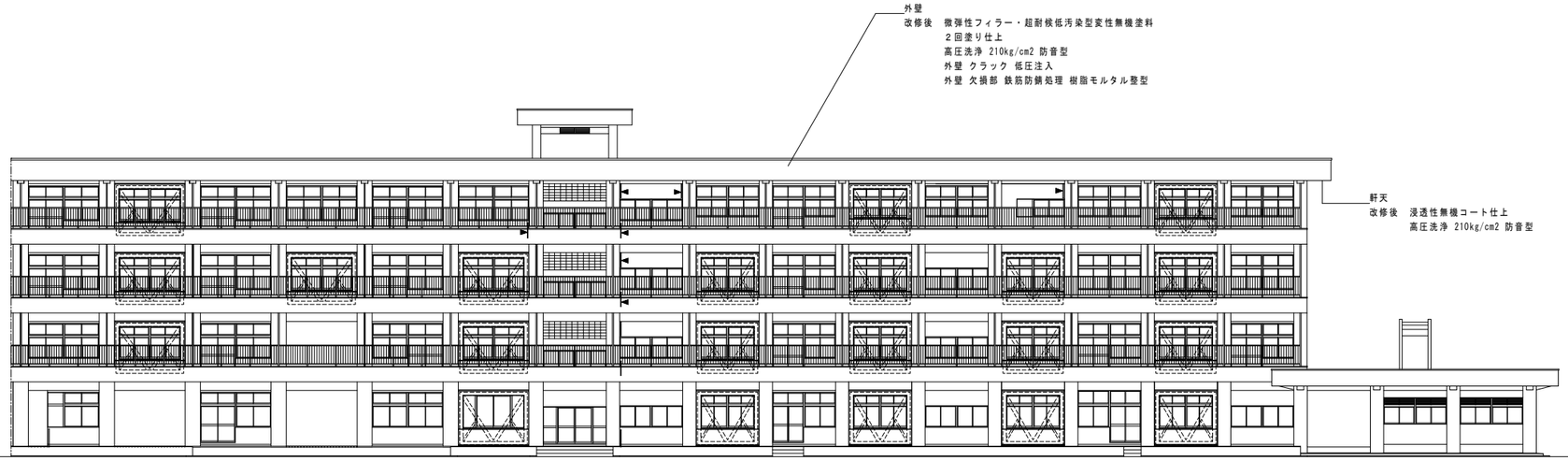
A-17



正面図

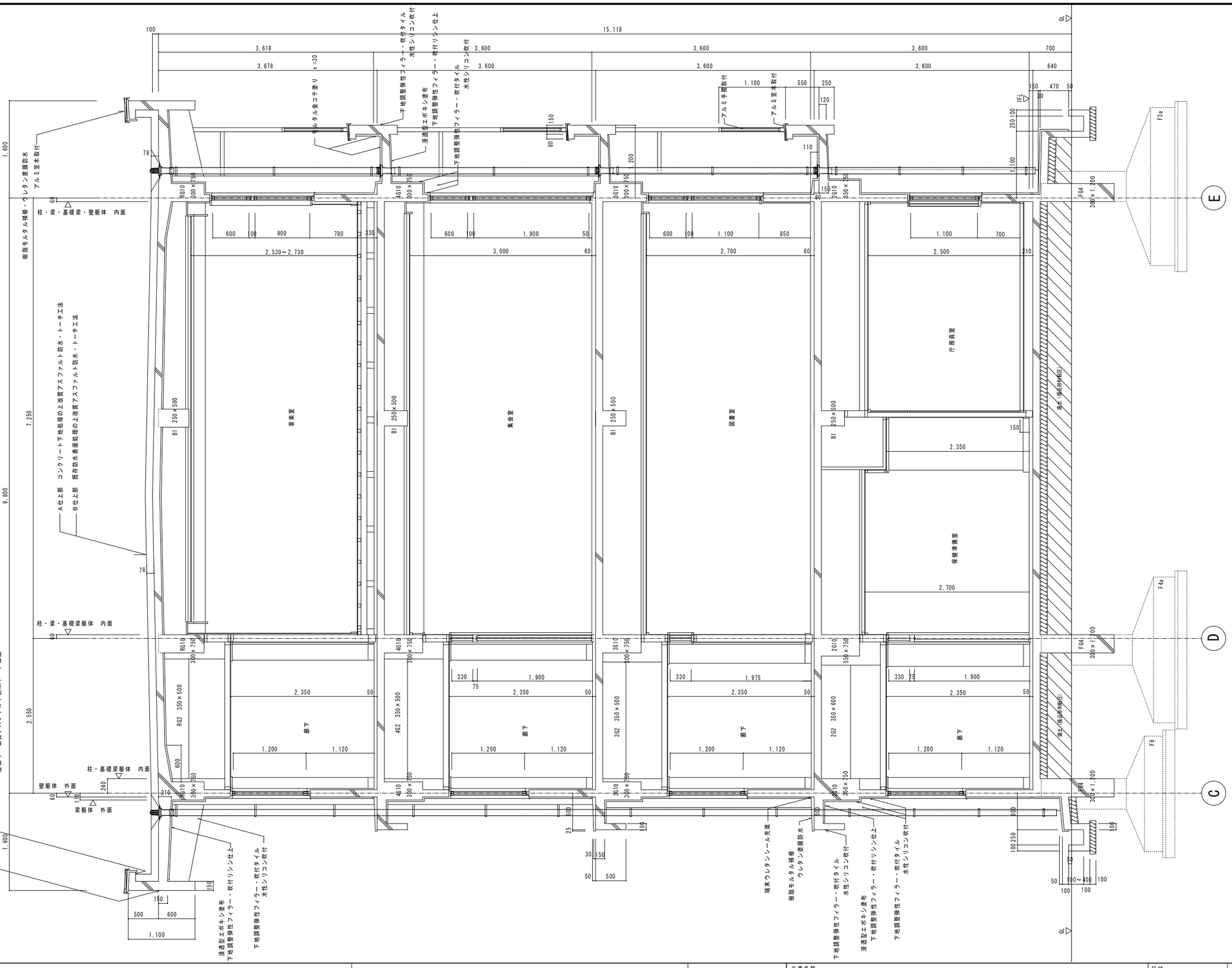


左側面図



背面図

一級建築士事務所　新潟県知事登録　（り）１３５９号 株式会社　関矢設計事務所 郵便番号　946-0111　新潟県魚沼市並柳182番地　℡　025-799-2122	管理建築士 一級建築士　第228811号 関　矢　茂　信	工事名称 4学工第12号　広神中学校校舎外部改修工事 図面名称 管理教室棟１　改修後 立面図	日付 2022年3月 縮尺 1：150	A-18



一級建築士事務所　新潟県知事登録　（リ）１３５９号

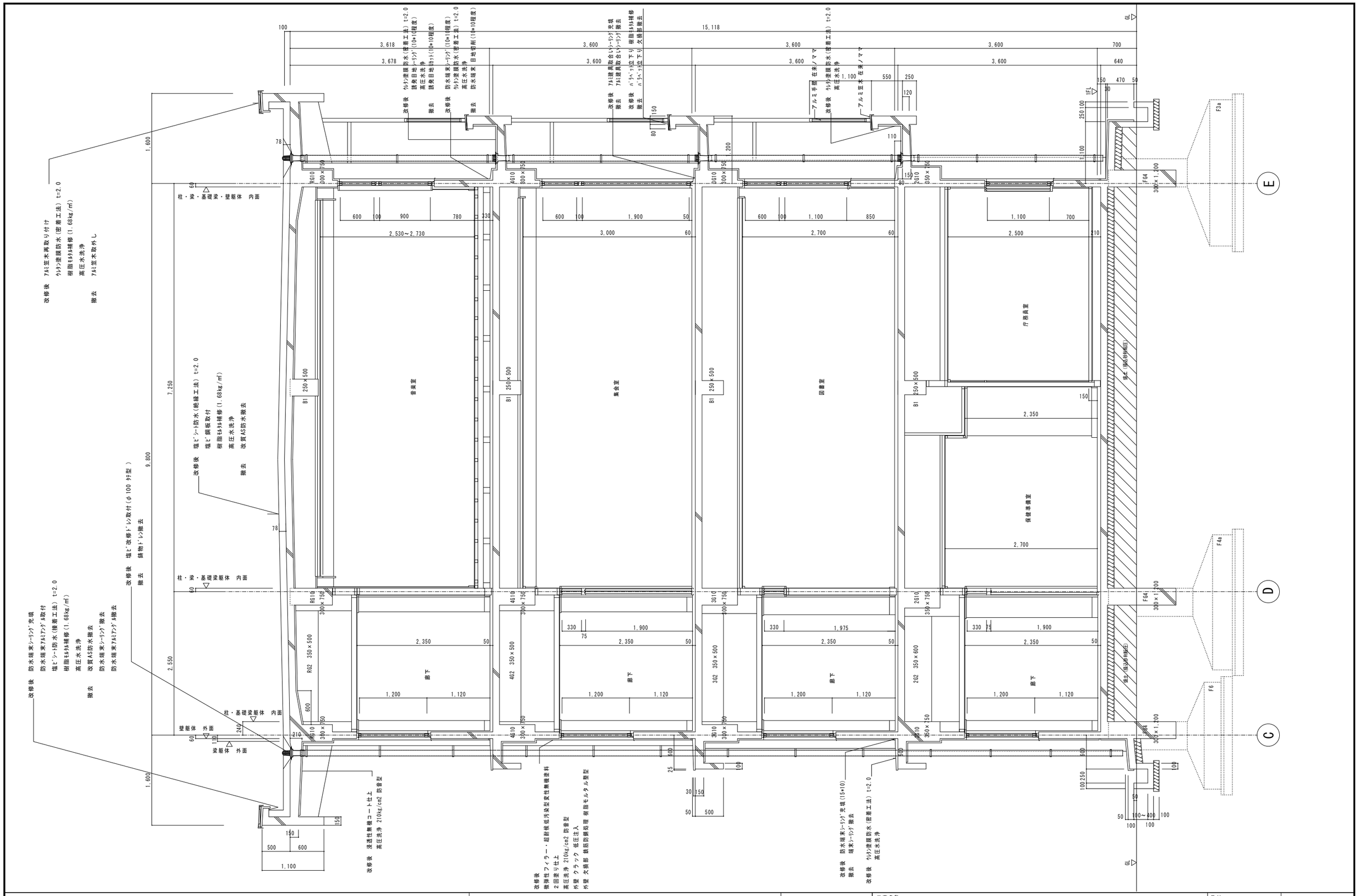
株式会社　関矢設計事務所

郵便番号　946-0111　新潟県魚沼市並柳182番地　℡　025-799-2122

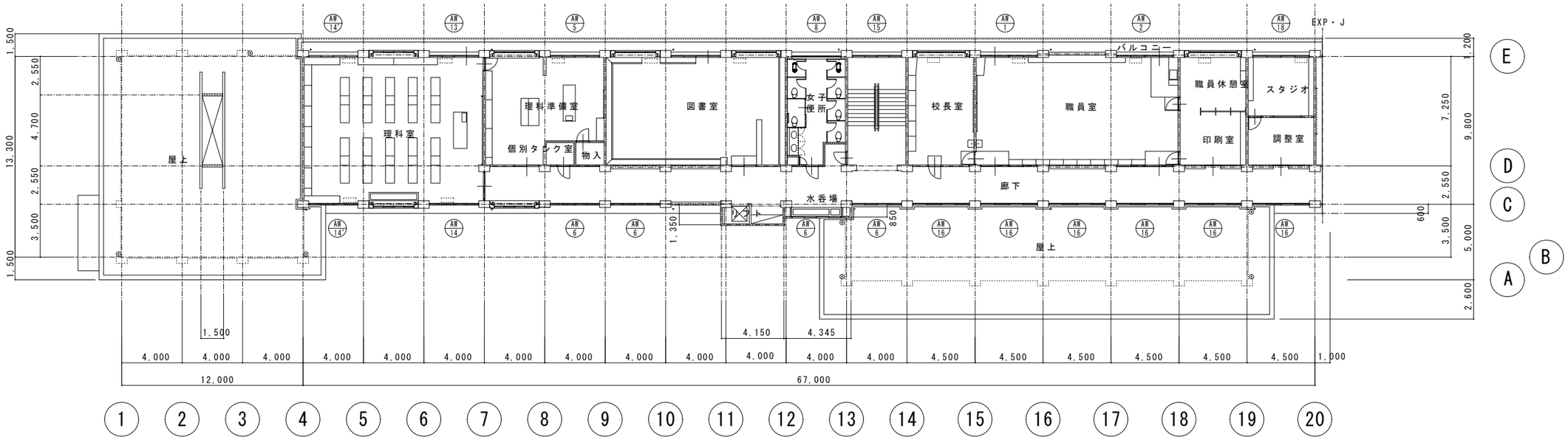
管理建築士
一級建築士　第228811号
関　矢　茂　信

工事名称	4学工第12号　広神中学校校舎外部改修工事
図面名称	管理教室棟１　現況 矩計図
日付	2022年3月
縮尺	1：30

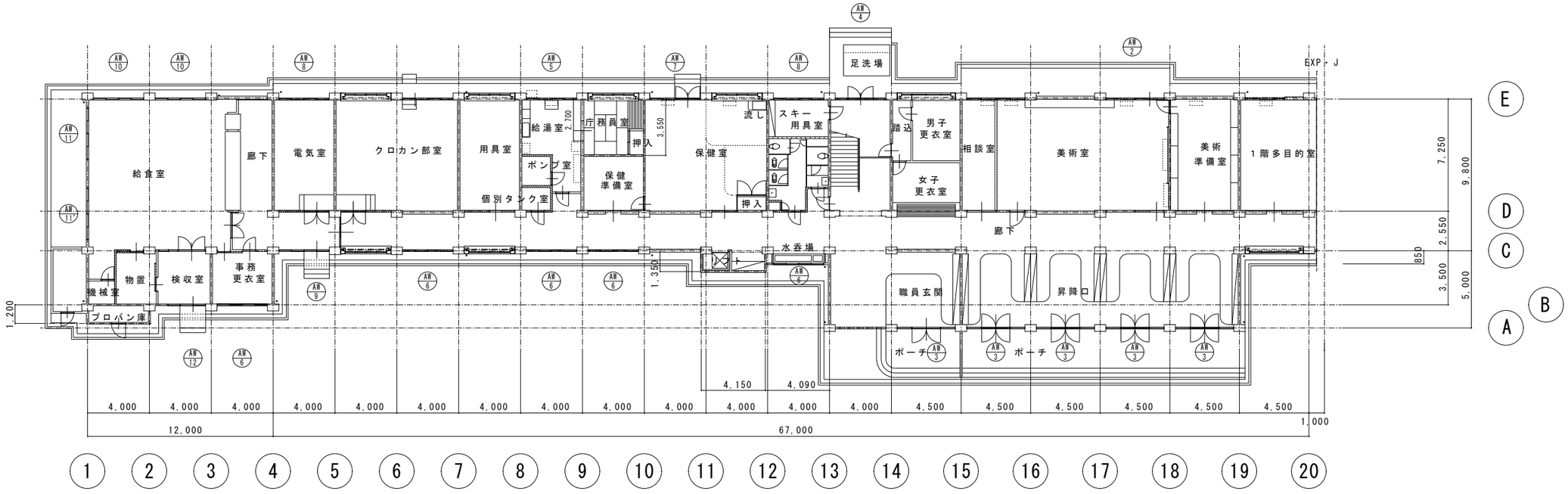
A-19



一級建築士事務所　新潟県知事登録（リ）１３５９号 株式会社　関矢設計事務所 郵便番号　946-0111　新潟県魚沼市並柳182番地　℡　025-799-2122	管理建築士 一級建築士　第228811号 関　矢　茂　信	工事名称 4学工第12号　広神中学校校舎外部改修工事 図面名称 管理教室棟１　改修後 矩計図	日付 2022年3月 縮尺 1：30	A-20



2階平面図

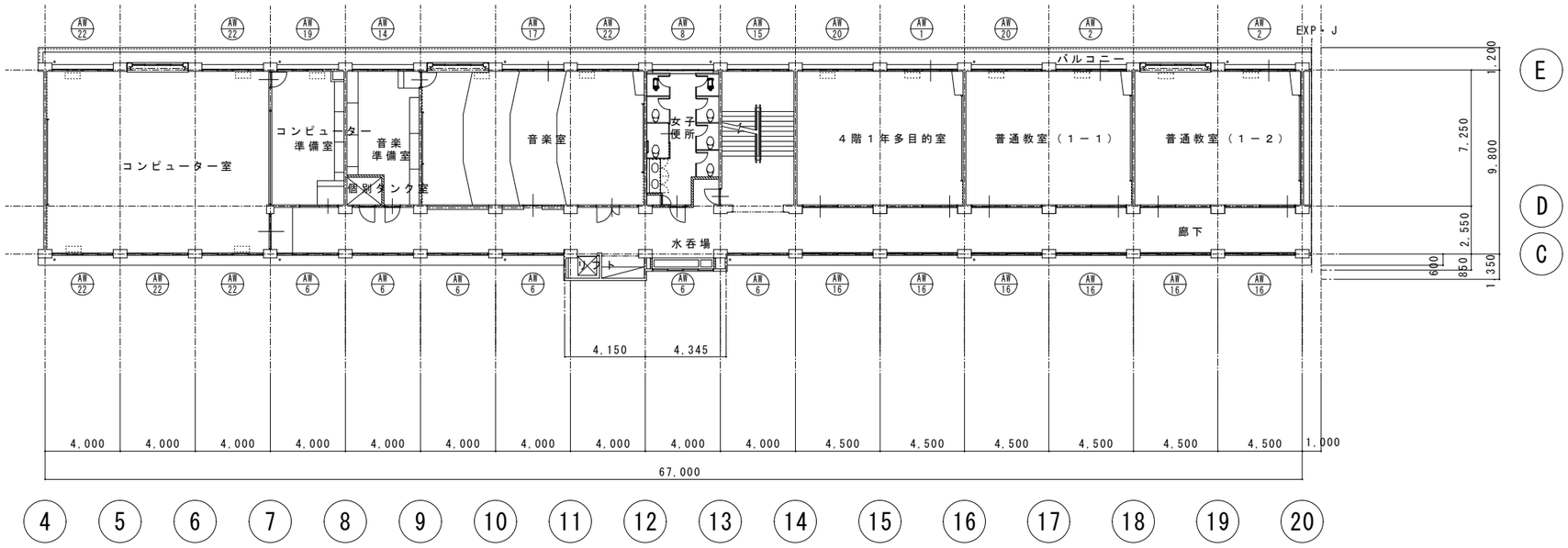


1階平面図

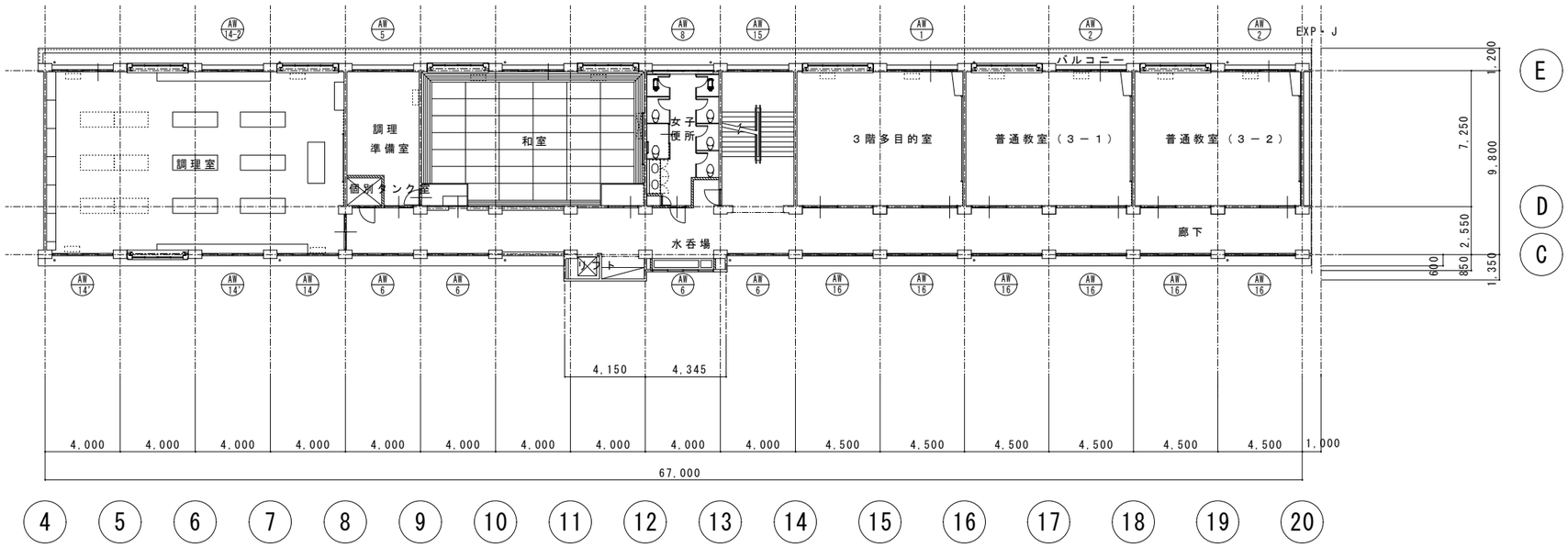
一級建築士事務所　新潟県知事登録　（リ）１３５９号
株式会社　関矢設計事務所
郵便番号　946-0111　新潟県魚沼市並柳182番地　℡　025-799-2122

管理建築士
一級建築士　第228811号
関　矢　茂　信

工事名称	4学工第12号　広神中学校校舎外部改修工事
図面名称	管理教室棟１　1階・2階建具符号図
日付	2022年3月
縮尺	1:150
	A-21



4階平面図



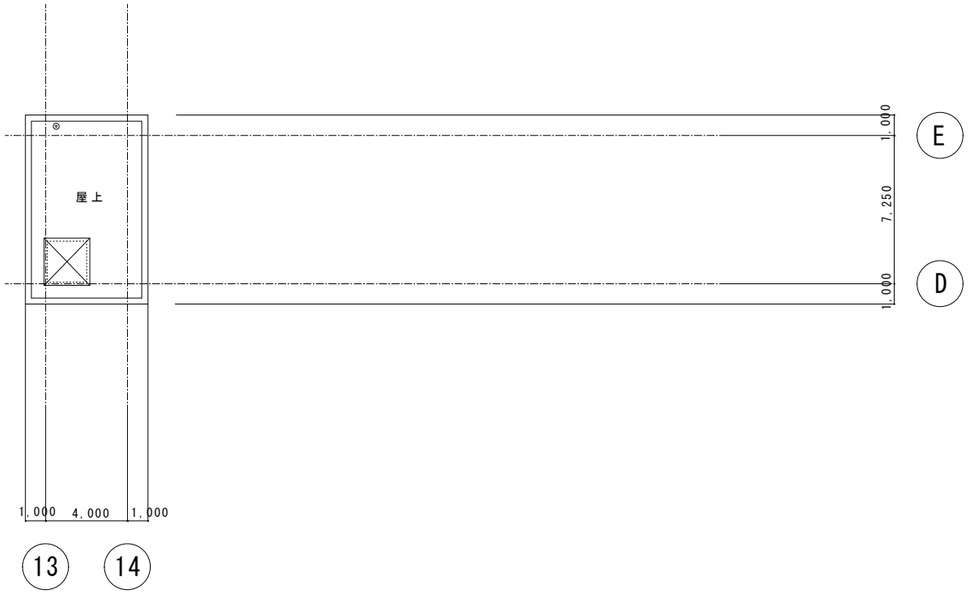
3階平面図

一級建築士事務所　新潟県知事登録　（り）１３５９号
株式会社　関矢設計事務所
郵便番号　946-0111　新潟県魚沼市並柳182番地　℡　025-799-2122

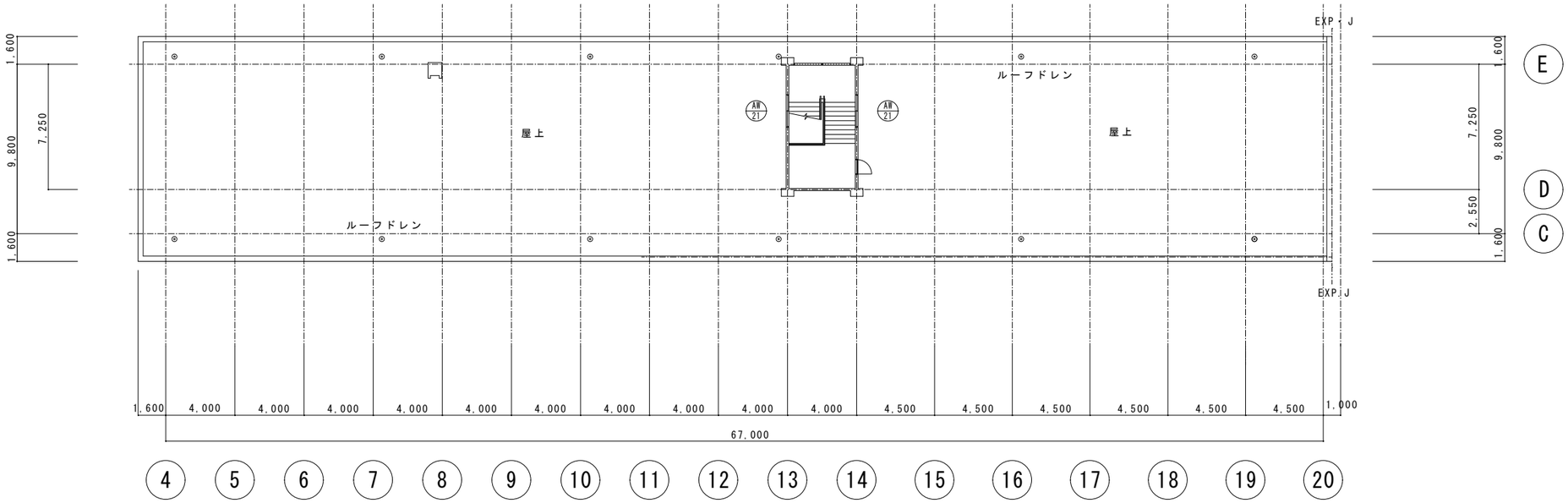
管理建築士
一級建築士　第228811号
関　矢　茂　信

工事名称	4学工第12号　広神中学校校舎外部改修工事
図面名称	管理教室棟１　3階・4階建具符号図
日付	2022年3月
縮尺	1:150

A-22

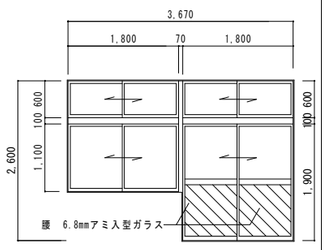
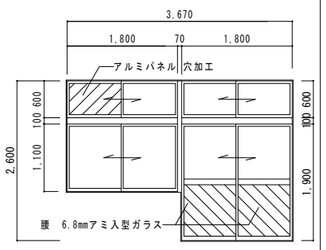
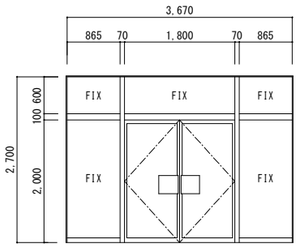
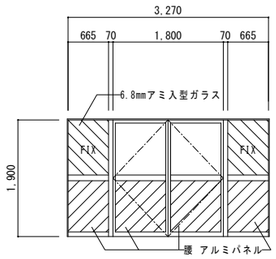
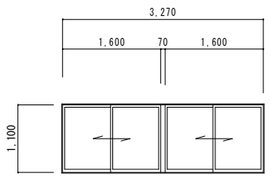
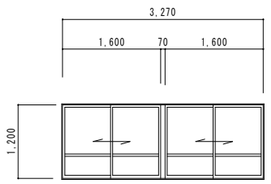
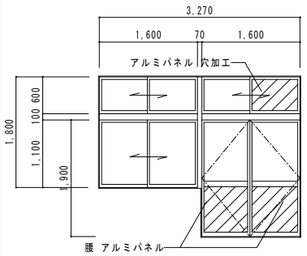


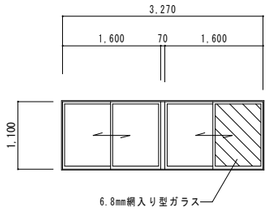
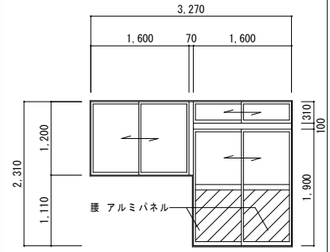
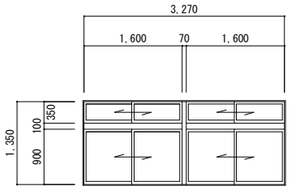
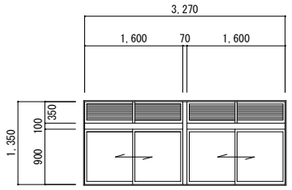
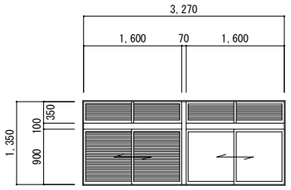
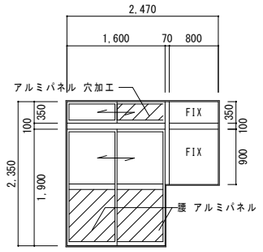
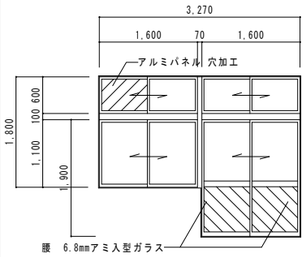
PHR階平面図

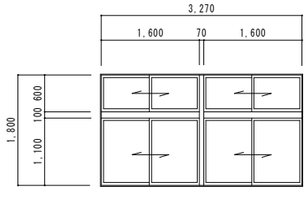
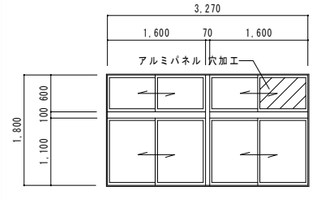
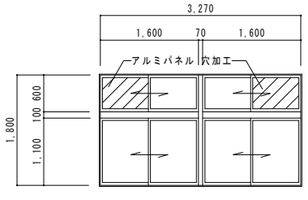
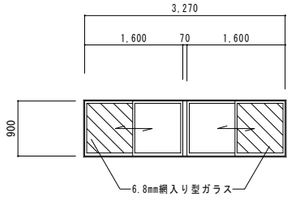
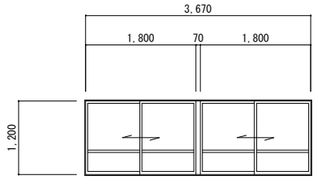
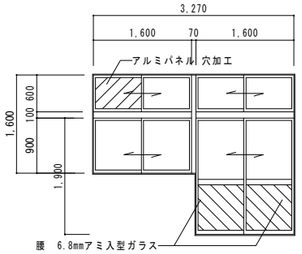
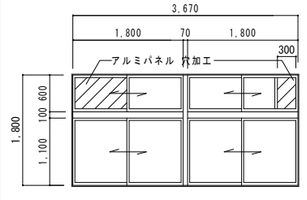


R階平面図

一級建築士事務所　新潟県知事登録　（り）１３５９号 株式会社　関矢設計事務所 郵便番号　946-0111　新潟県魚沼市並柳182番地　℡　025-799-2122	管理建築士 一級建築士　第228811号 関　矢　茂　信	工事名称 4学工第12号　広神中学校校舎外部改修工事 図面名称 管理教室棟１　R階建具符号図	日付 2022年3月 縮尺 1:150	A-23

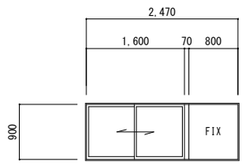
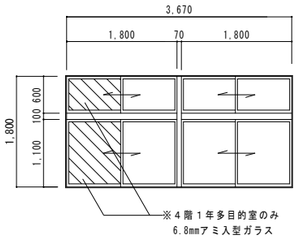
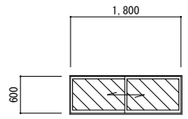
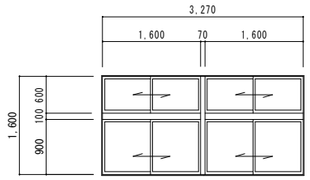
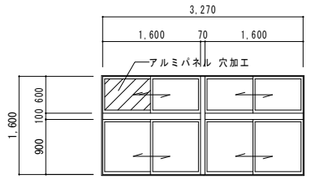
符号・型式	AW 1 ランマ袖引違窓付引違戸	AW 2 ランマ袖引違窓付引違戸	AW 3 ランマFIX窓両開フロアヒンジドア	AW 4 両袖FIX窓両開枠ドア	AW 5 引違窓２連窓	AW 6 引違窓２連窓	AW 7 ランマ袖引違窓付両開ドア
形状・寸法	 ※ 掃出し部分サッシ下枠撤去・処分 ※ 職員室は左右対称	 ※ 掃出し部分サッシ下枠撤去・処分 ※ 美術室の腰は1枚アルミパネル					 ※ 掃出し部分サッシ下枠撤去・処分
位置・数量	３階多目的室、４階１年多目的室、職員室 3	美術室、職員室、普通教室3-1・3-2・1-1・1-2 6	昇降口、職員玄関 5	１階階段室 1	給湯室、理科準備室、調理準備室 3	廊下、事務更衣室 19	保健室 1
仕上	アルミアルマイト	アルミアルマイト	アルミアルマイト	アルミアルマイト	アルミアルマイト	アルミアルマイト	アルミアルマイト
ガラス	3.0mm透明　腰 6.8mmアミ入型ガラス	3.0mm透明　腰 6.8mmアミ入型ガラス	透明強化ガラス	3.0mm透明　6.8mmアミ入型ガラス	3.0mm透明	3.0mm透明	3.0mm透明
金物	網戸 W900×H1,100 付属品一式　アングル　二重水切	付属品一式　アングル　二重水切	付属品一式　取手　フロアヒンジ　DC	付属品一式　握り玉　丁番　DC　二重水切	付属品一式　アングル　二重水切	網戸 W800×H1,200（事務更衣室のみ）*2 付属品一式　アングル　二重水切	付属品一式　アングル 握り玉　丁番　DC　二重水切
施錠	クレセント	クレセント	シリンダー錠	シリンダー錠	クレセント	クレセント	クレセント　サムターン
見込・備考	70　既存撤去・処分	70　既存撤去・処分	100	70	70　既存撤去・処分	70　既存撤去・処分	70　既存撤去・処分

符号・型式	AW 8 引違窓２連窓	AW 9 ランマ袖引違窓付引違戸	AW 10 引違窓２連段窓	AW 11 ランマガラリ付引違窓２連段窓	AW 11' ランマガラリ付引違窓２連段窓	AW 12 FIX窓引違窓引戸連段窓	AW 13 ランマ袖引違窓付引違戸
形状・寸法	 ※ スキー用具室　3.0mm透明　6.8mm網入り型ガラス ※　電気室　型板強化ガラス	 ※ 掃出し部分サッシ下枠撤去・処分				 ※ 掃出し部分サッシ下枠撤去・処分	 ※ 掃出し部分サッシ下枠撤去・処分
位置・数量	スキー用具室、女子便所、電気室 5	廊下（給食室前） 1	給食室 2	給食室 1	給食室 1	検収室 1	理科室 1
仕上	アルミアルマイト	アルミアルマイト	アルミアルマイト	アルミアルマイト	アルミアルマイト	アルミアルマイト	アルミアルマイト
ガラス	3.0mmすりガラス　6.8mm網入り型ガラス	3.0mm透明	3.0mm透明	6.8mmアミ入型ガラス	6.8mmアミ入型ガラス	3.0mm透明	3.0mm透明　腰 6.8mmアミ入型ガラス
金物	付属品一式　アングル　二重水切	網戸 W800×H1,200*1, W800×H1,900*1 付属品一式　アングル　二重水切	網戸 W800×H900*2 付属品一式　アングル　二重水切	網戸 W800×H900*2　内側網戸 W1,600×H350*2 付属品一式　アングル　二重水切	網戸 W800×H900*1 内側網戸 W1,600×H350*2、W800×H900*2 付属品一式　アングル　二重水切	網戸 W800×H1,900*1 付属品一式　アングル　二重水切	付属品一式　アングル　二重水切
施錠	クレセント	クレセント	クレセント	クレセント	クレセント	クレセント	クレセント
見込・備考	70　既存撤去・処分	70　既存撤去・処分	70　既存撤去・処分	70　既存撤去・処分	70　既存撤去・処分	70　既存撤去・処分	70　既存撤去・処分

符号・型式	AW 14 引違窓２連段窓	AW 14' 引違窓２連段窓	AW 14-2 引違窓２連段窓	AW 15 引違窓２連窓	AW 16 引違窓２連窓	AW 17 ランマ袖引違窓付引違戸	AW 18 引違窓２連段窓
形状・寸法						 ※ 掃出し部分サッシ下枠撤去・処分	
位置・数量	理科室、調理室、音楽準備室 3	理科室、調理室 4	調理室 1	階段室 3	廊下 18	音楽室 1	スタジオ 1
仕上	アルミアルマイト	アルミアルマイト	アルミアルマイト	アルミアルマイト	アルミアルマイト	アルミアルマイト	アルミアルマイト
ガラス	3.0mm透明	3.0mm透明	3.0mm透明	3.0mm透明　6.8mmアミ入型ガラス	3.0mm透明	3.0mm透明　腰 6.8mmアミ入型ガラス	3.0mm透明
金物	付属品一式　アングル　二重水切	付属品一式　アングル　二重水切	付属品一式　アングル　二重水切	付属品一式　アングル　二重水切	付属品一式　アングル　二重水切	付属品一式　アングル　二重水切	付属品一式　アングル　二重水切
施錠	クレセント	クレセント	クレセント	クレセント	クレセント	クレセント	クレセント
見込・備考	70　既存撤去・処分	70　既存撤去・処分	70　既存撤去・処分	70　既存撤去・処分	70　既存撤去・処分	70　既存撤去・処分	70　既存撤去・処分

一級建築士事務所　新潟県知事登録　（り）１３５９号
株式会社　関矢設計事務所
郵便番号　946-0111　新潟県魚沼市並柳182番地　TEL　025-799-2122
管理建築士
一級建築士　第228811号
関　矢　茂　信

工事名称	4学工第12号　広神中学校校舎外部改修工事
図面名称	管理教室棟１　現況建具表１
日付	2022年3月
縮尺	1:50
	A-24

符号・型式	AW 19 引違窓FIX窓連窓	AW 20 引違窓２連段窓	AW 21 引違窓	AW 22 引違窓２連段窓	AW 23 引違窓２連段窓		
形状・寸法							
位置・数量	コンピューター準備室 1	４階１年多目的室、普通教室1-1 2	階段室 2	コンピューター準備室 5	音楽室 1		
仕上	アルミアルマイト	アルミアルマイト	アルミアルマイト	アルミアルマイト	アルミアルマイト		
ガラス	3.0mm透明	3.0mm透明	3.0mm透明	3.0mm透明	3.0mm透明		
金物		網戸 W900×H1,100（４階１年多目的室のみ）*2					
	付属品一式 アングル 二重水切	付属品一式 アングル 二重水切	付属品一式 アングル 二重水切	付属品一式 アングル 二重水切	付属品一式 アングル 二重水切		
施錠	クレセント	クレセント	クレセント	クレセント	クレセント		
見込・備考	70 既存撤去・処分	70 既存撤去・処分	70 既存撤去・処分	70 既存撤去・処分	70 既存撤去・処分		
符号・型式							
形状・寸法							
位置・数量							
仕上							
ガラス							
金物							
施錠							
見込・備考							
符号・型式							
形状・寸法							
位置・数量	理科室、調理室、音楽準備室 3	理科室、調理室 4	調理室 1	階段室 3	廊下 18		
仕上	アルミアルマイト	アルミアルマイト	アルミアルマイト	アルミアルマイト	アルミアルマイト		
ガラス	3.0mm透明	3.0mm透明	3.0mm透明	3.0mm透明 6.8mmアミ入型ガラス	3.0mm透明		
金物							
	付属品一式 アングル 二重水切	付属品一式 アングル アルミパネル 二重水切	付属品一式 アングル アルミパネル 二重水切	付属品一式 アングル 二重水切	付属品一式 アングル 二重水切		
施錠	クレセント	クレセント	クレセント	クレセント	クレセント		
見込・備考	70 既存撤去・処分	70 既存撤去・処分	70 既存撤去・処分	70 既存撤去・処分	70 既存撤去・処分		

一級建築士事務所 新潟県知事登録 （リ）１３５９号
株式会社 関矢設計事務所
郵便番号 946-0111 新潟県魚沼市並柳182番地 TEL 025-799-2122
管理建築士
一級建築士 第228811号
関 矢 茂 信

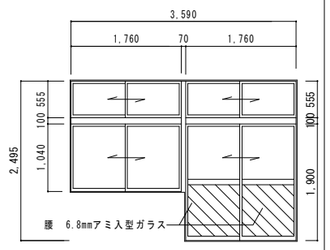
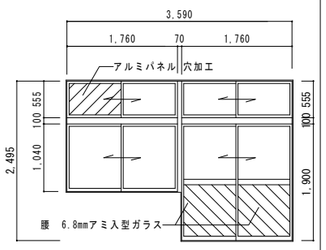
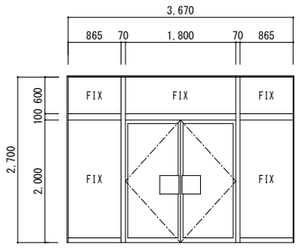
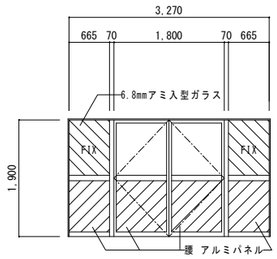
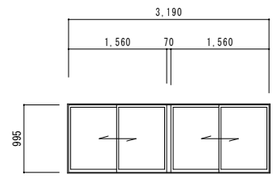
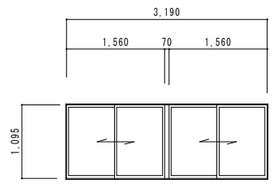
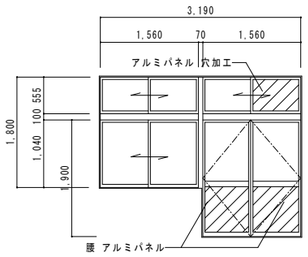
工事名称 4学工第12号 広神中学校校舎外部改修工事

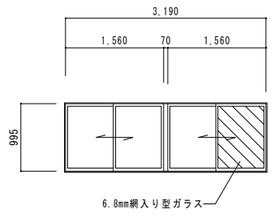
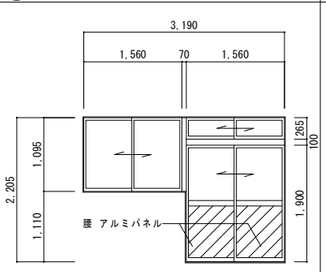
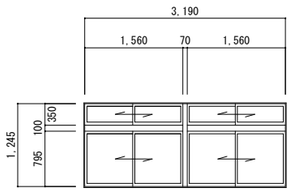
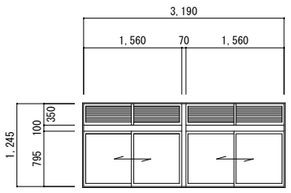
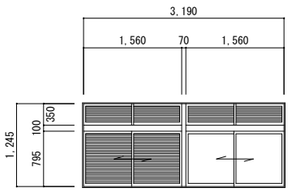
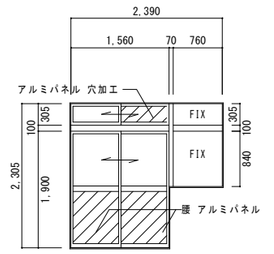
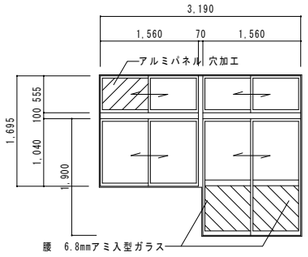
図面名称 管理教室棟１ 現況建具表２

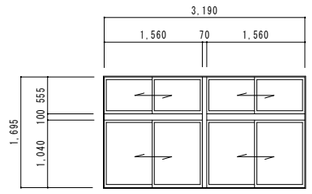
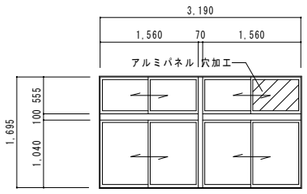
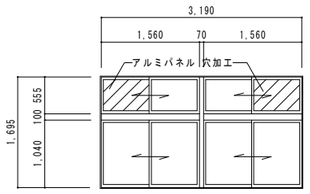
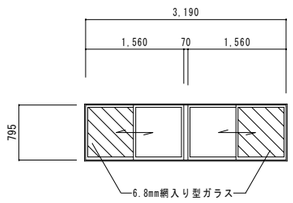
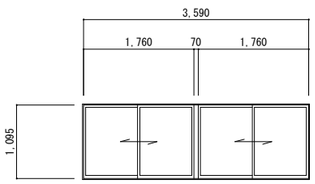
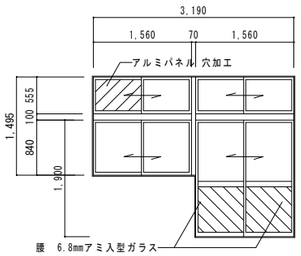
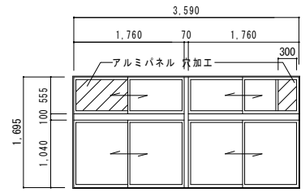
日付 2022年3月

縮尺 1:50

A-25

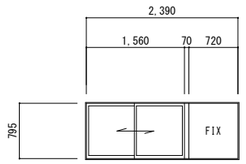
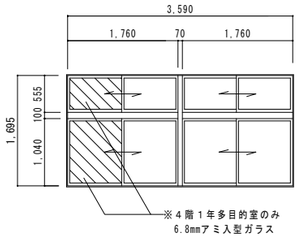
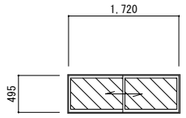
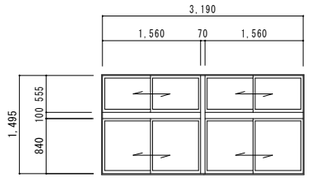
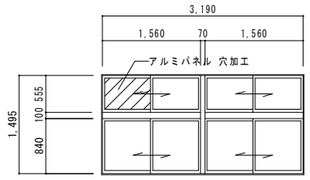
符号・型式	AW 1 ランマ袖引違窓付引違戸（カバー工法）	AW 2 ランマ袖引違窓付引違戸（カバー工法）	AW 3 ランマFIX窓両開フロアヒンジドア　建具調整	AW 4 両袖FIX窓両開枠ドア　建具調整	AW 5 引違窓２連窓（カバー工法）	AW 6 引違窓２連窓（カバー工法）	AW 7 ランマ袖引違窓付両開ドア（カバー工法）
形状・寸法	 ※ 掃出し部分サッシ下枠額縁ステンレスSUS304 ※ 職員室は左右対称	 ※ 掃出し部分サッシ下枠額縁ステンレスSUS304					 ※ 掃出し部分サッシ下枠額縁ステンレスSUS304
位置・数量	３階多目的室、４階１年多目的室、職員室　3	美術室、職員室、普通教室3-1・3-2・1-1・1-2　6	昇降口、職員玄関　5	１階階段室　1	給湯室、理科準備室、調理準備室　3	廊下、事務更衣室　19	保健室　1
仕上	アルミアルマイト	アルミアルマイト	アルミアルマイト	アルミアルマイト	アルミアルマイト	アルミアルマイト	アルミアルマイト
ガラス	3.0mm透明　腰 6.8mmアミ入型ガラス	3.0mm透明　腰 6.8mmアミ入型ガラス	透明強化ガラス	3.0mm透明　6.8mmアミ入型ガラス	3.0mm透明	3.0mm透明	3.0mm透明
金物	網戸 W880×H1,040*1,W880×H1,900*1,W880×H555*2	網戸 W880×H1,040*1,W880×H1,900*1,W880×H555*2			網戸 W780×H995*2	網戸 W780×H1,095*2	網戸 W780×H1,040*1,W780×H1,900*1,W780×555*2
	付属品一式　アングル　アルミ額縁　二重水切	付属品一式　アングル　アルミ額縁　二重水切	付属品一式　取手　フロアヒンジ　DC	付属品一式　握り玉　丁番　DC　二重水切	付属品一式　アングル　アルミ額縁　二重水切	付属品一式　アングル　アルミ額縁　二重水切	付属品一式 アングル アルミ額縁 握り玉 丁番 DC 二重水切
施錠	クレセント	クレセント	シリンダー錠	シリンダー錠	クレセント	クレセント	クレセント　サムターン
見込・備考	70	70	100	70	70	70	70

符号・型式	AW 8 引違窓２連窓（カバー工法）	AW 9 ランマ袖引違窓付引違戸（カバー工法）	AW 10 引違窓２連段窓（カバー工法）	AW 11 ランマガラリ付引違窓２連段窓（カバー工法）	AW 11' ランマガラリ付引違窓２連段窓（カバー工法）	AW 12 FIX窓引違窓引戸連段窓（カバー工法）	AW 13 ランマ袖引違窓付引違戸（カバー工法）
形状・寸法	 ※ スキー用具室　3.0mm透明　6.8mm網入り型ガラス ※　電気室　型板強化ガラス					 ※ 掃出し部分サッシ下枠額縁ステンレスSUS304	 ※ 掃出し部分サッシ下枠額縁ステンレスSUS304
位置・数量	スキー用具室、女子便所、電気室　5	廊下（給食室前）　1	給食室　2	給食室　1	給食室　1	検収室　1	理科室　1
仕上	アルミアルマイト	アルミアルマイト	アルミアルマイト	アルミアルマイト	アルミアルマイト	アルミアルマイト	アルミアルマイト
ガラス	4.0mm型ガラス　6.8mm網入り型ガラス	3.0mm透明	3.0mm透明	6.8mmアミ入型ガラス	6.8mmアミ入型ガラス	3.0mm透明	3.0mm透明　腰 6.8mmアミ入型ガラス
金物	網戸 W780×H995*2	網戸 W780×H1,095*1, W780×H1,900*1,W780×H265*1	網戸 W780×H795*2,W780×H350*2	網戸 W780×H795*2　内側網戸 W1,560×H350*2	網戸 W780×H795*1 内側網戸 W1,560×H350*2、W780×H795*2	網戸 W780×H1,900*1,W780×H305*1	網戸 W780×H1,040*1,W780×H1,900*1,W780×H555*2
	付属品一式　アングル　アルミ額縁　二重水切	付属品一式　アングル　アルミ額縁　二重水切	付属品一式　アングル　アルミ額縁　二重水切	付属品一式　アングル　アルミ額縁　二重水切	付属品一式　アングル　アルミ額縁　二重水切	付属品一式　アングル　アルミ額縁　二重水切	付属品一式　アングル　アルミ額縁　二重水切
施錠	クレセント	クレセント	クレセント	クレセント	クレセント	クレセント	クレセント
見込・備考	70	70	70	70	70	70	70

符号・型式	AW 14 引違窓２連段窓（カバー工法）	AW 14 引違窓２連段窓（カバー工法）	AW 14-2 引違窓２連段窓（カバー工法）	AW 15 引違窓２連窓（カバー工法）	AW 16 引違窓２連窓（カバー工法）	AW 17 ランマ袖引違窓付引違戸（カバー工法）	AW 18 引違窓２連段窓（カバー工法）
形状・寸法						 ※ 掃出し部分サッシ下枠額縁ステンレスSUS304	
位置・数量	理科室、調理室、音楽準備室　3	理科室、調理室　4	調理室　1	階段室　3	廊下　18	音楽室　1	スタジオ　1
仕上	アルミアルマイト	アルミアルマイト	アルミアルマイト	アルミアルマイト	アルミアルマイト	アルミアルマイト	アルミアルマイト
ガラス	3.0mm透明	3.0mm透明	3.0mm透明	3.0mm透明　6.8mmアミ入型ガラス	3.0mm透明	3.0mm透明　腰 6.8mmアミ入型ガラス	3.0mm透明
金物	網戸 W780×H1,040*2,W780×H555*2	網戸 W780×H1,040*2,W780×H555*2	網戸 W780×H1,040*2,W780×H555*2	網戸 W780×H795*2	網戸 W780×H1,095*2	網戸 W780×H840*1,W780×H1,900*1,W780×H555*2	網戸 W880×H1,040*2,W880×H555*2
	付属品一式　アングル アルミ額縁　二重水切	付属品一式　アングル　アルミ額縁　二重水切	付属品一式　アングル　アルミ額縁　二重水切	付属品一式　アングル　アルミ額縁　二重水切	付属品一式　アングル　アルミ額縁　二重水切	付属品一式　アングル　アルミ額縁　二重水切	付属品一式　アングル　アルミ額縁　二重水切
施錠	クレセント	クレセント	クレセント	クレセント	クレセント	クレセント	クレセント
見込・備考	70	70	70	70	70	70	70

一級建築士事務所　新潟県知事登録　（リ）１３５９号
株式会社　関矢設計事務所
郵便番号　946-0111　新潟県魚沼市並柳182番地　TEL　025-799-2122
管理建築士
一級建築士　第228811号
関　矢　茂　信

工事名称	4学工第12号　広神中学校校舎外部改修工事
図面名称	管理教室棟１　改修後建具表１
日付	2022年3月
縮尺	1:50
	A-26

符号・型式	AW 19 引違窓FIX窓連窓（カバー工法）	AW 20 引違窓２連段窓（カバー工法）	AW 21 引違窓（カバー工法）	AW 22 引違窓２連段窓（カバー工法）	AW 23 引違窓２連段窓（カバー工法）		
形状・寸法							
位置・数量	コンピューター準備室 1	４階１年多目的室、普通教室1-1 2	階段室 2	コンピューター準備室 5	音楽室 1		
仕上	アルミアルマイト	アルミアルマイト	アルミアルマイト	アルミアルマイト	アルミアルマイト		
ガラス	3.0mm透明	3.0mm透明	6.8mmアミ入型ガラス	3.0mm透明	3.0mm透明		
金物	網戸 W800×H795*1	網戸 W880×H1,040*2,W880×H555*2	網戸 W860×H495*1	網戸 W780×H840*2,W780×H555*2	網戸 W780×H840*2,W780×H555*2		
	付属品一式 アングル アルミ額縁 二重水切	付属品一式 アングル アルミ額縁 二重水切	付属品一式 アングル アルミ額縁 二重水切	付属品一式 アングル アルミ額縁 二重水切	付属品一式 アングル アルミ額縁 二重水切		
施錠	クレセント	クレセント	クレセント	クレセント	クレセント		
見込・備考	70	70	70	70	70		
符号・型式							
形状・寸法							
位置・数量							
仕上							
ガラス							
金物							
施錠							
見込・備考							
符号・型式							
形状・寸法							
位置・数量	理科室、調理室、音楽準備室 3	理科室、調理室 4	調理室 1	階段室 3	廊下 18		
仕上	アルミアルマイト	アルミアルマイト	アルミアルマイト	アルミアルマイト	アルミアルマイト		
ガラス	3.0mm透明	3.0mm透明	3.0mm透明	3.0mm透明 6.8mmアミ入型ガラス	3.0mm透明		
金物							
	付属品一式 アングル 二重水切	付属品一式 アングル アルミパネル 二重水切	付属品一式 アングル アルミパネル 二重水切	付属品一式 アングル 二重水切	付属品一式 アングル 二重水切		
施錠	クレセント	クレセント	クレセント	クレセント	クレセント		
見込・備考	70 既存撤去・処分	70 既存撤去・処分	70 既存撤去・処分	70 既存撤去・処分	70 既存撤去・処分		

一級建築士事務所 新潟県知事登録 （リ）１３５９号
株式会社 関矢設計事務所
郵便番号 946-0111 新潟県魚沼市並柳182番地 TEL 025-799-2122
管理建築士
一級建築士 第228811号
関 矢 茂 信

工事名称 4学工第12号 広神中学校校舎外部改修工事

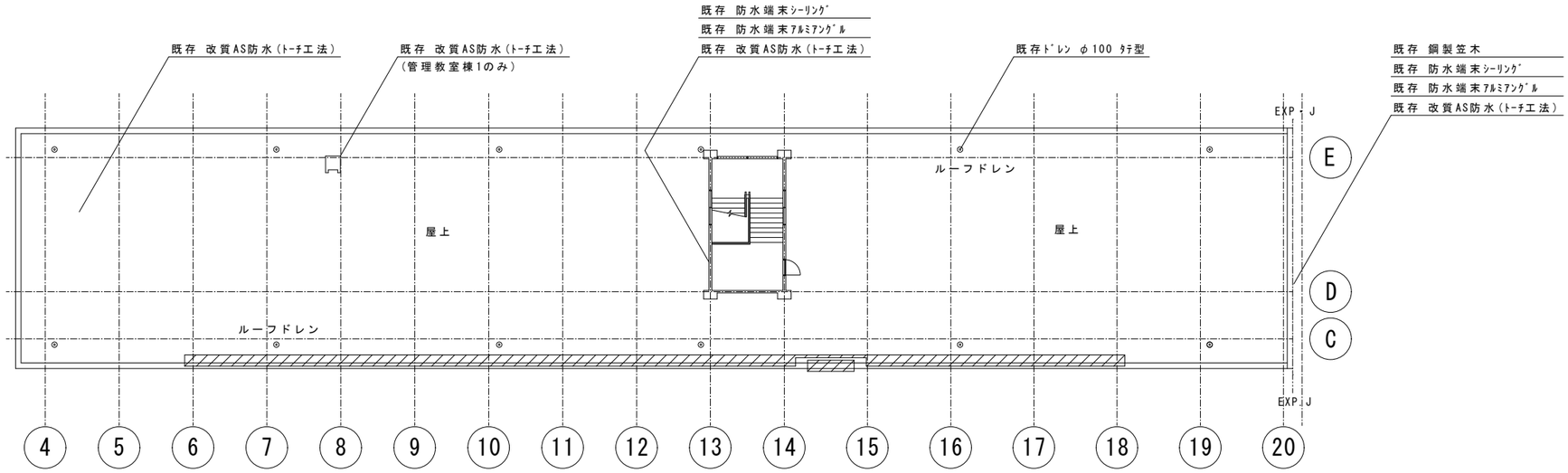
図面名称 管理教室棟１ 改修後建具表２

日付 2022年3月

縮尺 1:50

A-27

現況　防水納まり図

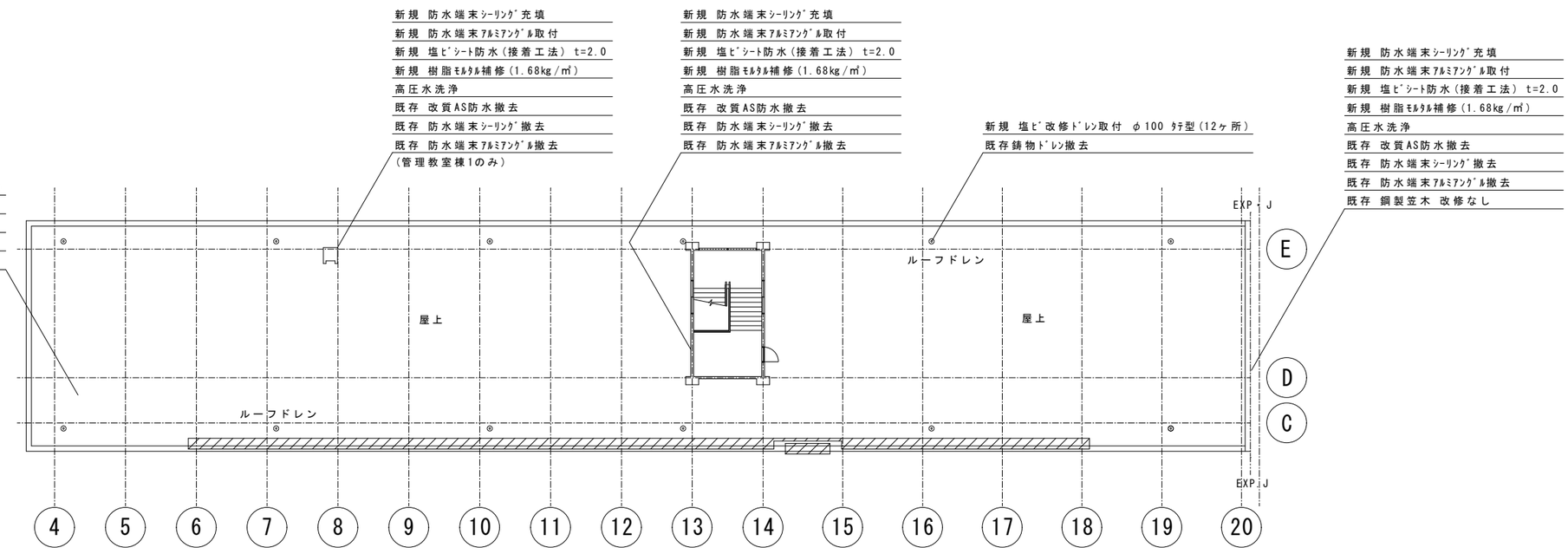


網掛部はﾊﾞﾗﾍﾟｯﾄ部のｸﾗｯｸ(L=1,200 1ヶ所)を示す。
(管理教室棟1のみ)

網掛部は既存 丸環(12ヶ所)を示す。
(管理教室棟1のみ)

R階平面図

改修後　防水納まり図



網掛部はﾊﾞﾗﾍﾟｯﾄ部のｸﾗｯｸ(L=1,200 1ヶ所)を示す。
(管理教室棟1のみ)

ﾊﾞﾗﾍﾟｯﾄ部：ｸﾗｯｸ補修(自動式低圧注入工法)

網掛部は既存 丸環(12ヶ所)を示す。
(管理教室棟1のみ)

丸環部：既存 丸環 撤去(ｺﾞﾑﾊﾟｯｷﾝ共)
既存 丸環 復旧(新規 ｺﾞﾑﾊﾟｯｷﾝ取付)
新規 丸環廻り 防水端末ｼｰﾘﾝｸﾞ充填

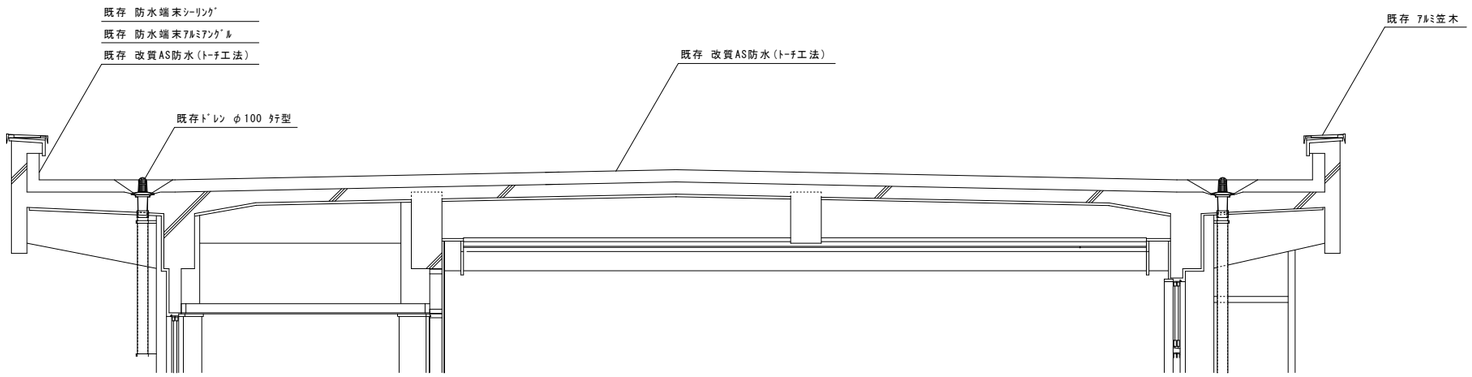
R階平面図

一級建築士事務所　新潟県知事登録　(リ) 1359号
株式会社　関矢設計事務所
郵便番号 946-0111　新潟県魚沼市並柳182番地　℡ 025-799-2122
管理建築士
一級建築士 第228811号
関 矢 茂 信

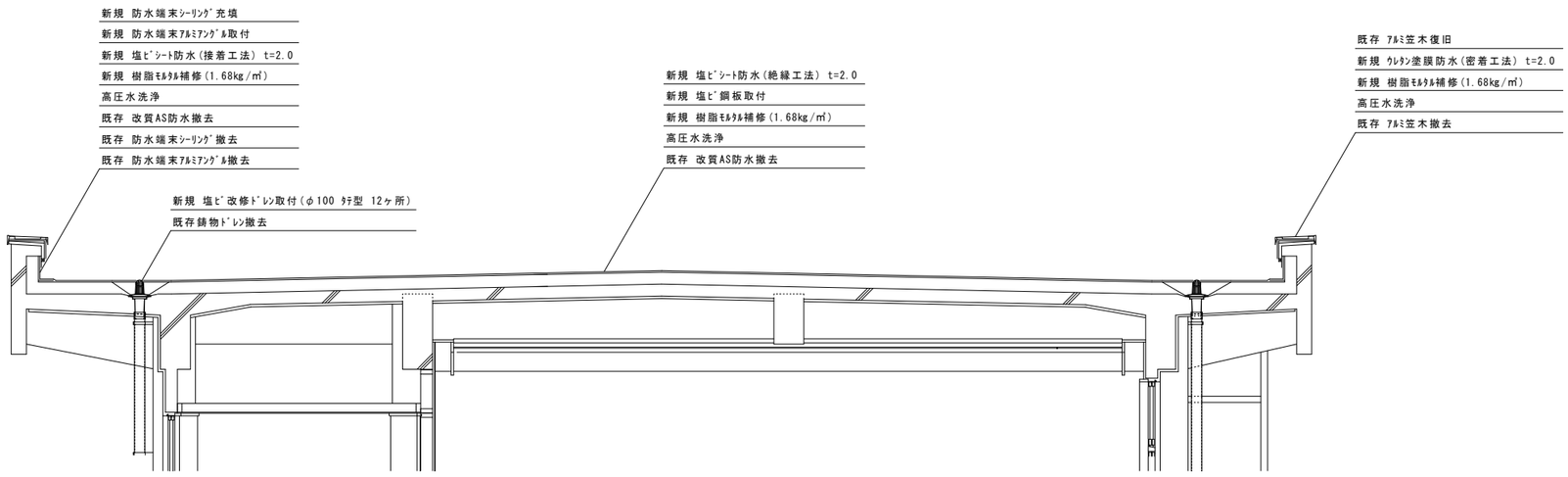
工事名称	4学工第12号　広神中学校校舎外部改修工事	日付	2022年3月
図面名称	管理教室棟1　防水納まり図(屋上屋根)1	縮尺	1：150

A-28

現況　防水納まり図



改修後　防水納まり図



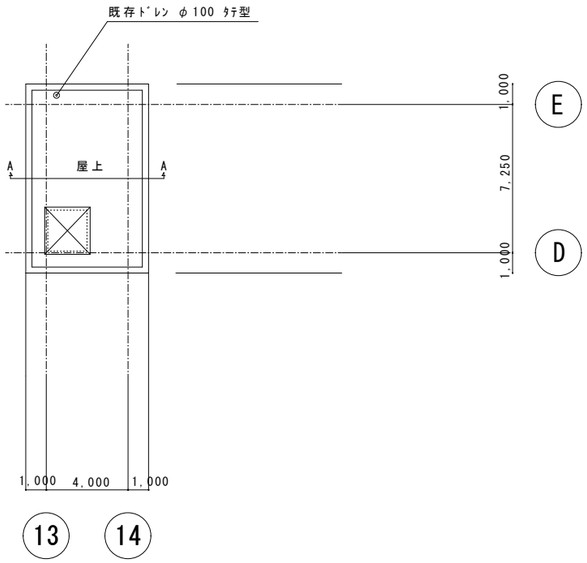
一級建築士事務所　新潟県知事登録　（リ）１３５９号
株式会社　関矢設計事務所
郵便番号　946-0111　新潟県魚沼市並柳182番地　℡　025-799-2122

管理建築士
一級建築士　第228811号
関　矢　茂　信

工事名称	4学工第12号　広神中学校校舎外部改修工事
図面名称	管理教室棟１　防水納まり図（屋上屋根）２
日付	2022年3月
縮尺	1：30

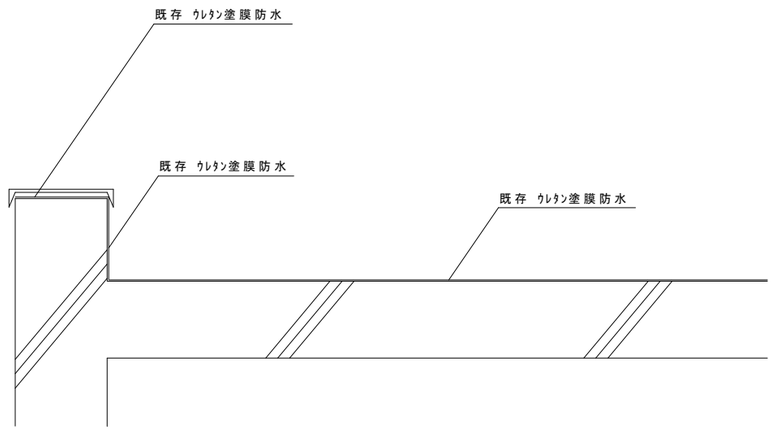
A-29

現況　防水納まり図

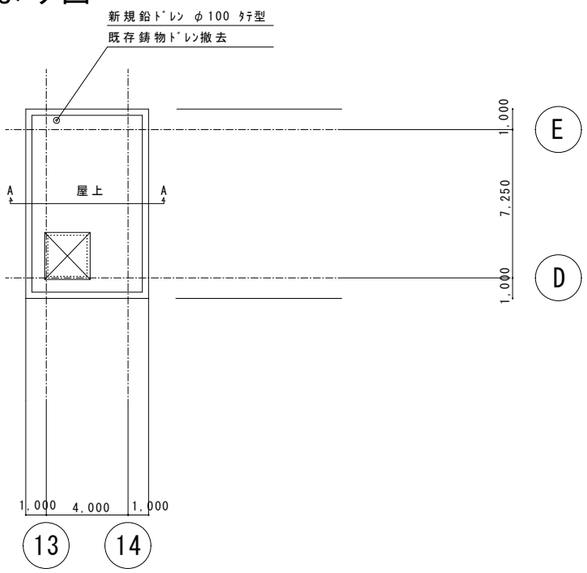


PR階平面図

現況　A-A 断面図(縮尺：Free)

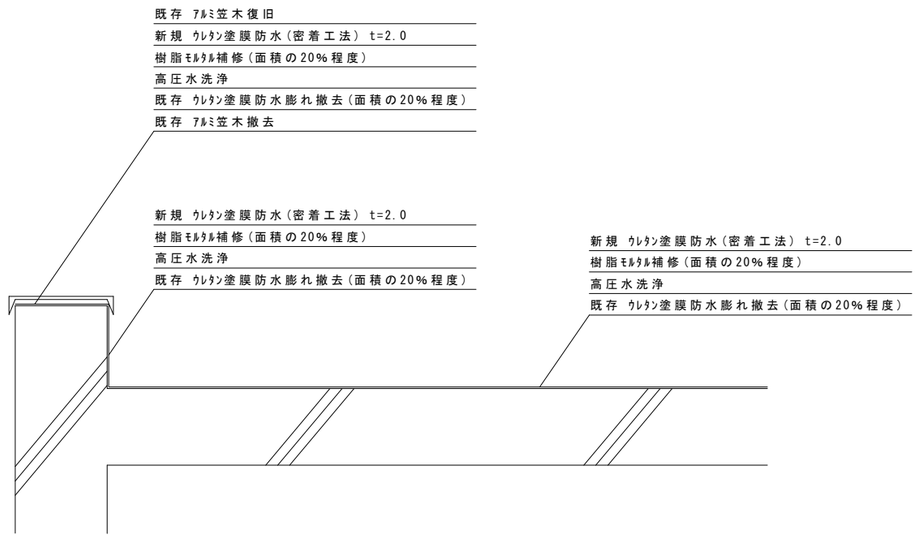


改修後　防水納まり図



PR階平面図

現況　A-A 断面図(縮尺：Free)



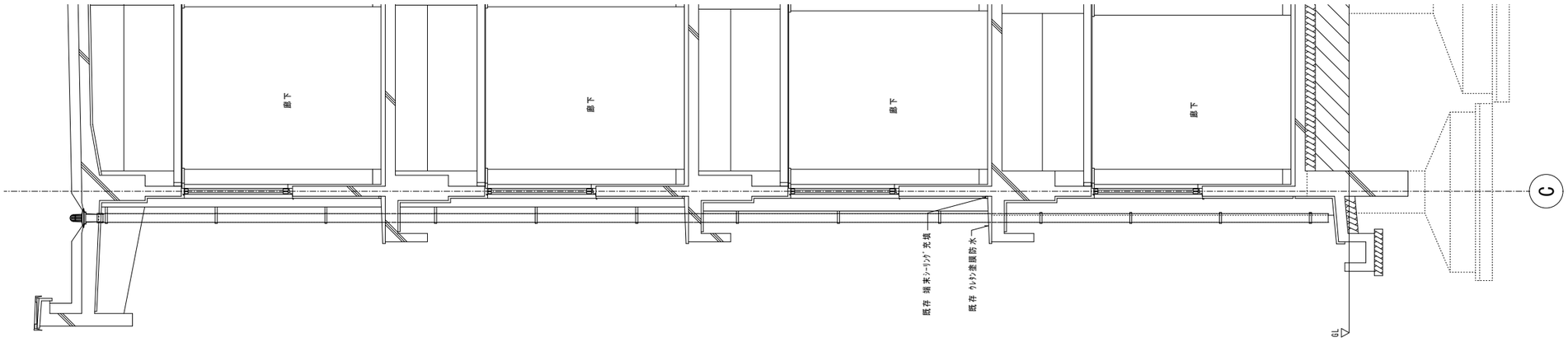
一級建築士事務所　新潟県知事登録　（リ）１３５９号
株式会社　関矢設計事務所
郵便番号　946-0111　新潟県魚沼市並柳182番地　TEL　025-799-2122

管理建築士
一級建築士　第228811号
関　矢　茂　信

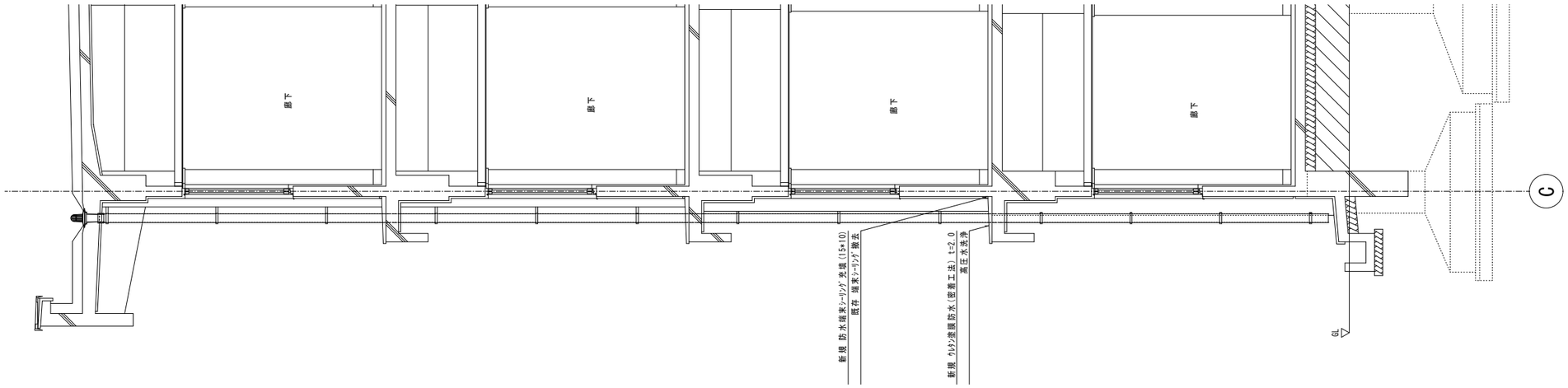
工事名称	4学工第12号　広神中学校校舎外部改修工事	日付	2022年3月
図面名称	管理教室棟１　防水納まり図（PH屋根）	縮尺	1：150

A-30

現況　防水納まり図

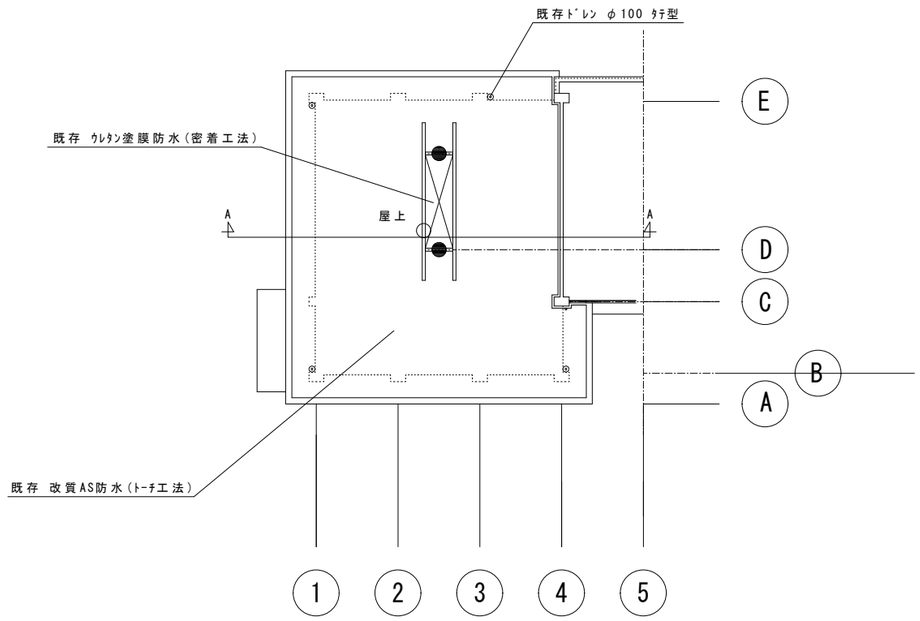


改修後　防水納まり図



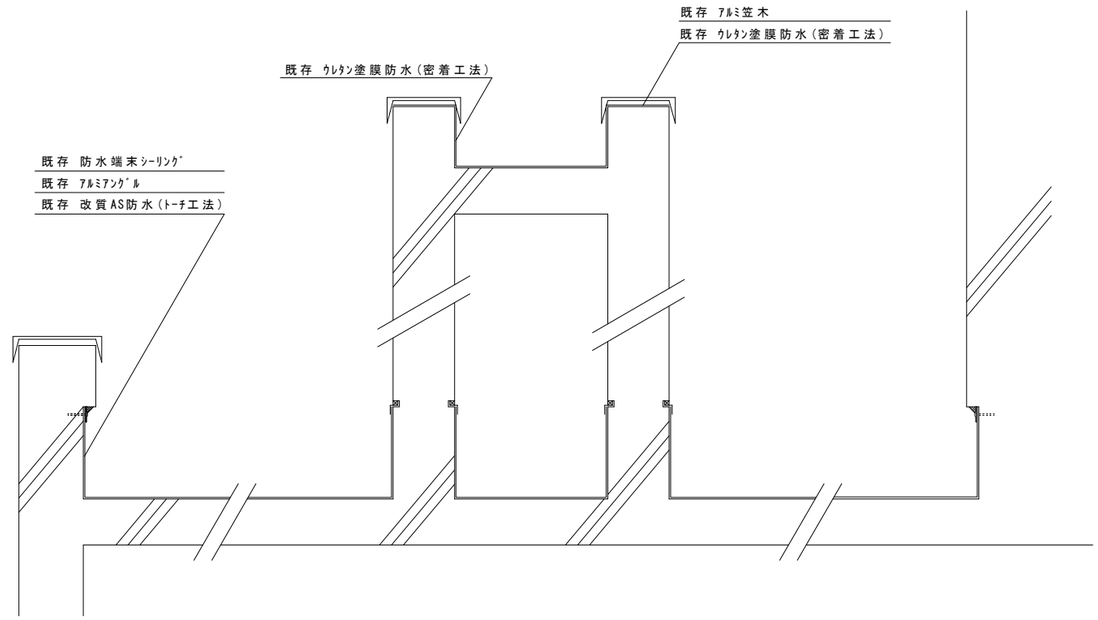
一級建築士事務所　新潟県知事登録　（リ）１３５９号 株式会社　関矢設計事務所 郵便番号　946-0111　新潟県魚沼市並柳182番地　TEL　025-799-2122	管理建築士 一級建築士　第228811号 関　矢　茂　信	工事名称 4学工第12号　広神中学校校舎外部改修工事	日付 2022年3月	A-31
		図面名称 管理教室棟１　防水納まり図（庇）	縮尺 1：30	

現況　防水納まり図

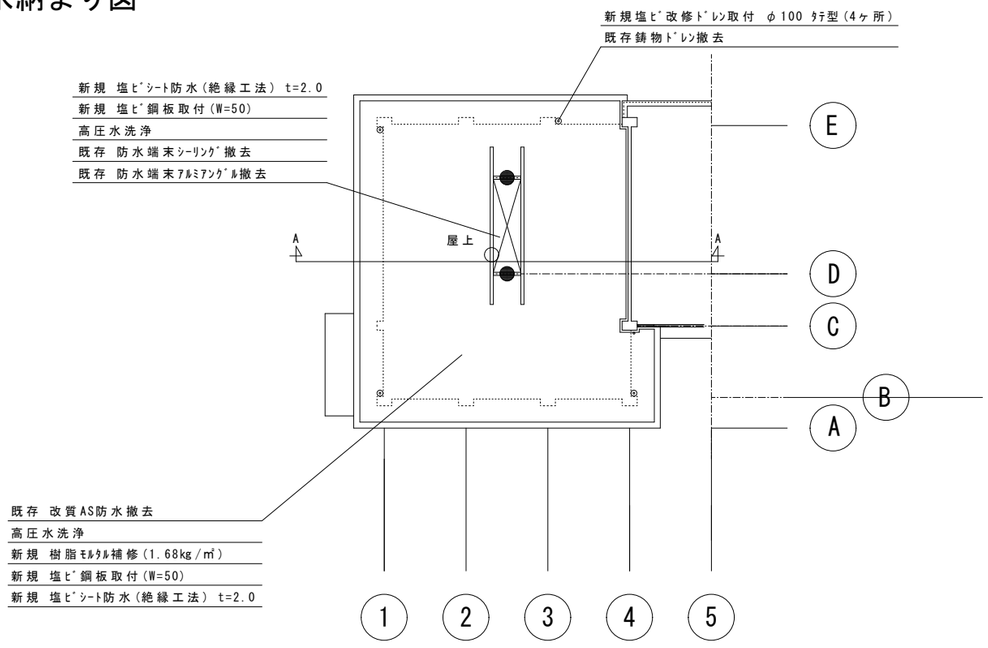


2階平面図

現況　A-A 断面図(縮尺：Free)

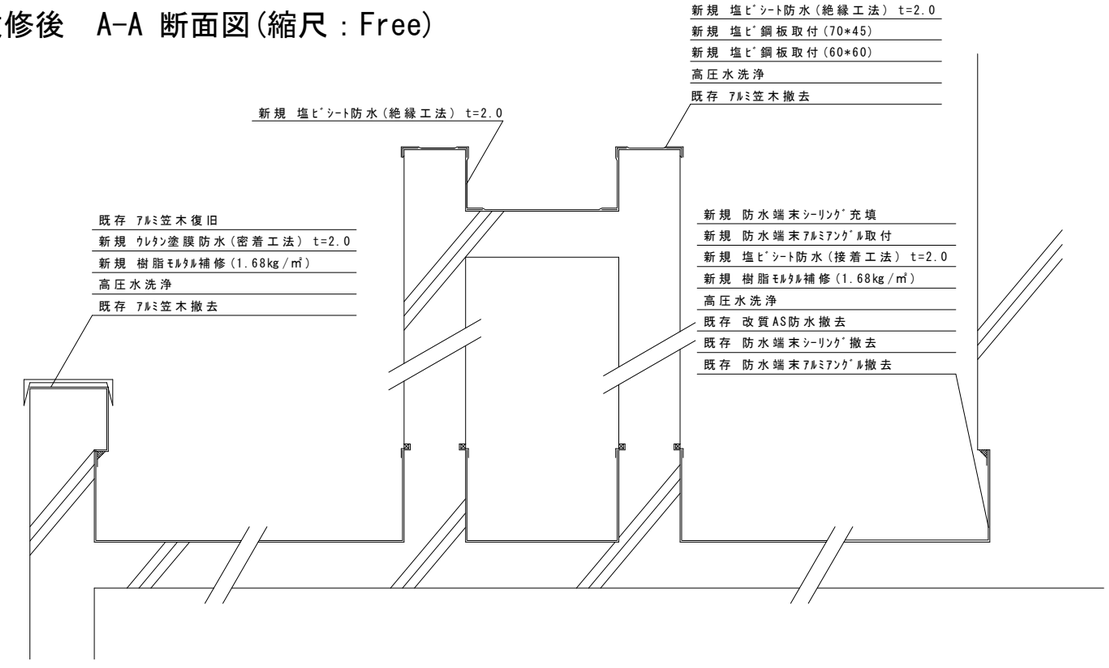


改修後　防水納まり図



2階平面図

改修後　A-A 断面図(縮尺：Free)

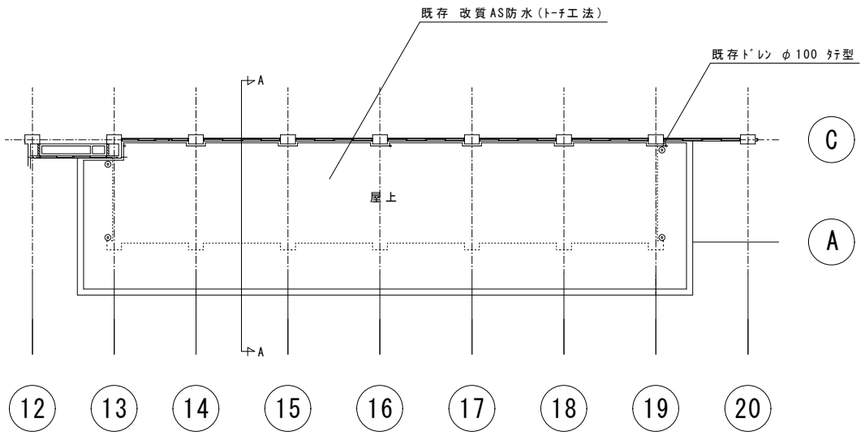


一級建築士事務所　新潟県知事登録　(り) 1359号
株式会社　関矢設計事務所
郵便番号 946-0111　新潟県魚沼市並柳182番地　TEL 025-799-2122
管理建築士
一級建築士　第228811号
関　矢　茂　信

工事名称	4学工第12号　広神中学校校舎外部改修工事
図面名称	管理教室棟1　防水納まり図（給食室屋根）
日付	2022年3月
縮尺	1：150

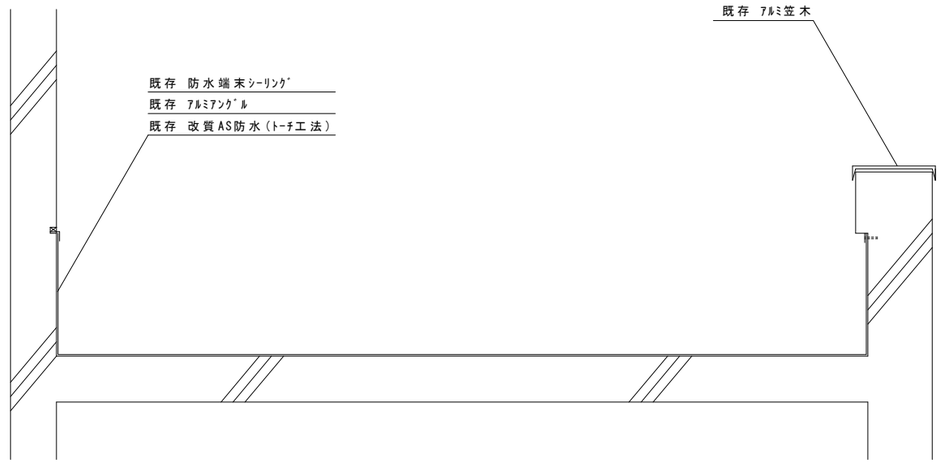
A-32

現況　防水納まり図

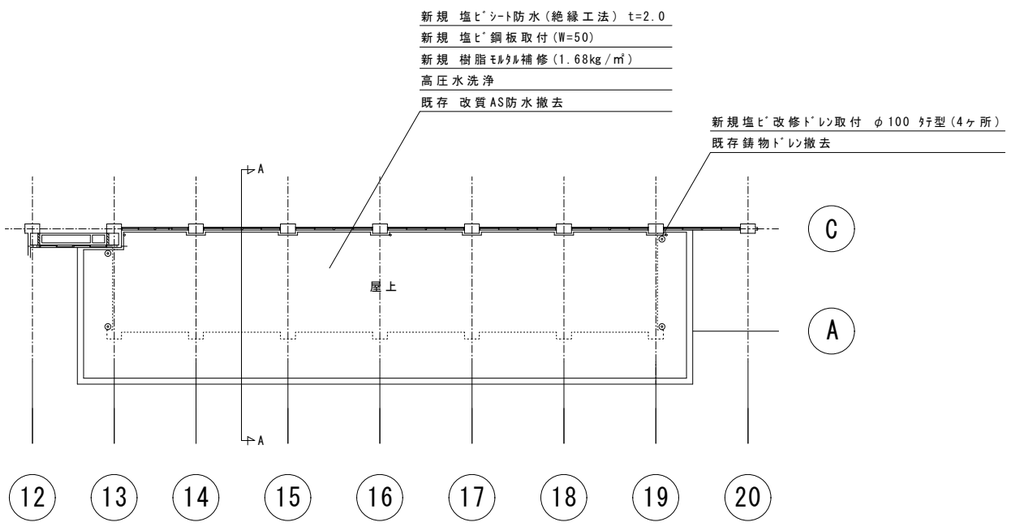


2階平面図

現況　A-A 断面図(縮尺：Free)

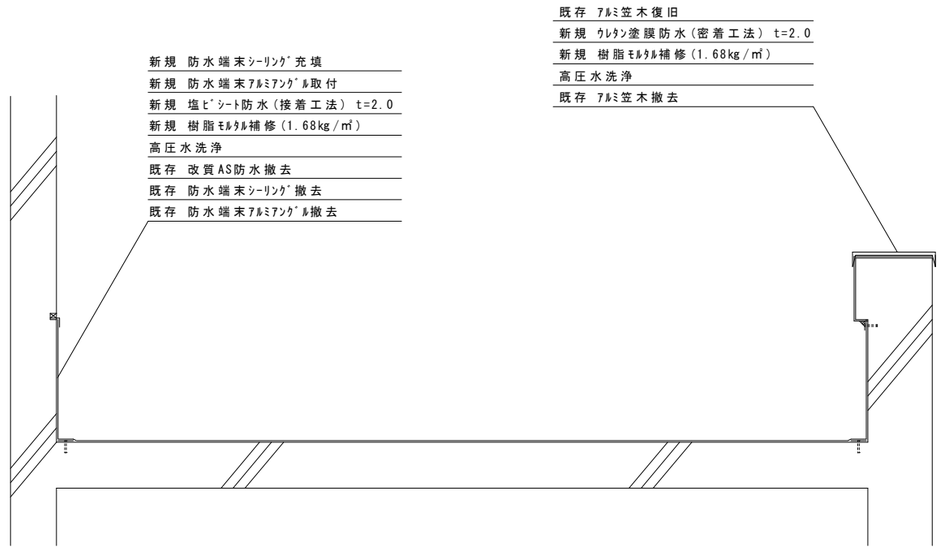


改修後　防水納まり図



2階平面図

改修後　A-A 断面図(縮尺：Free)

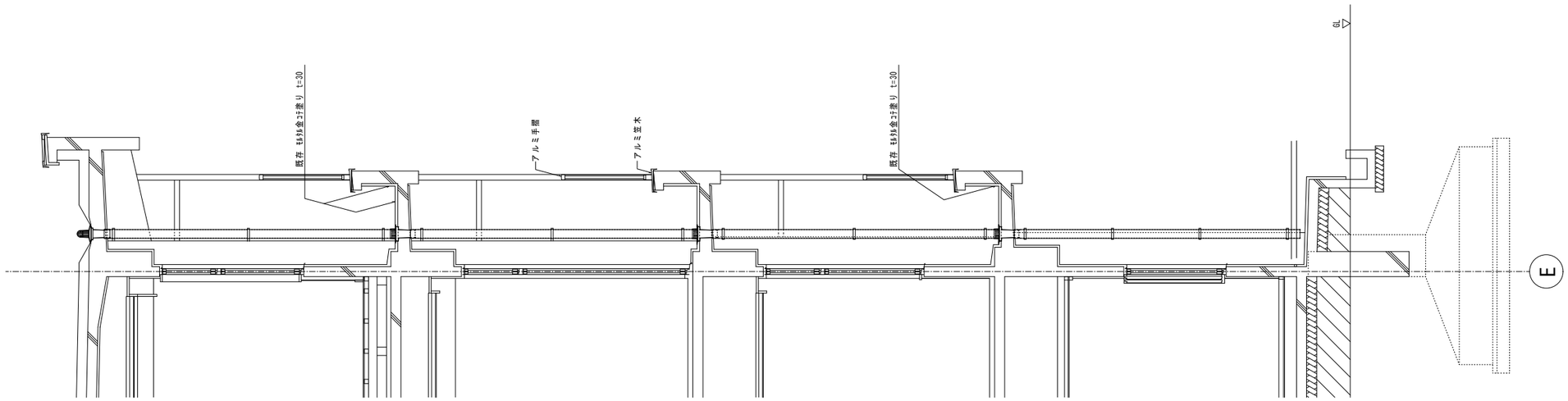


一級建築士事務所　新潟県知事登録　(り) 1359号
株式会社　関矢設計事務所
郵便番号 946-0111　新潟県魚沼市並柳182番地　TEL 025-799-2122
管理建築士
一級建築士　第228811号
関　矢　茂　信

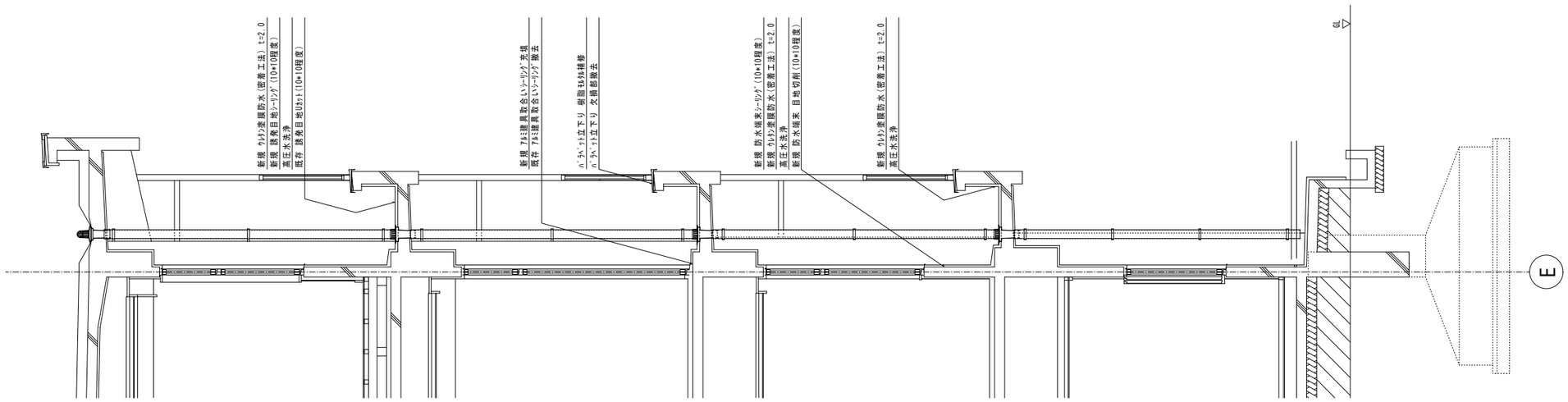
工事名称	4学工第12号　広神中学校校舎外部改修工事	日付	2022年3月
図面名称	管理教室棟1　防水納まり図（玄関屋根）	縮尺	1：150

A-33

現況　防水納まり図

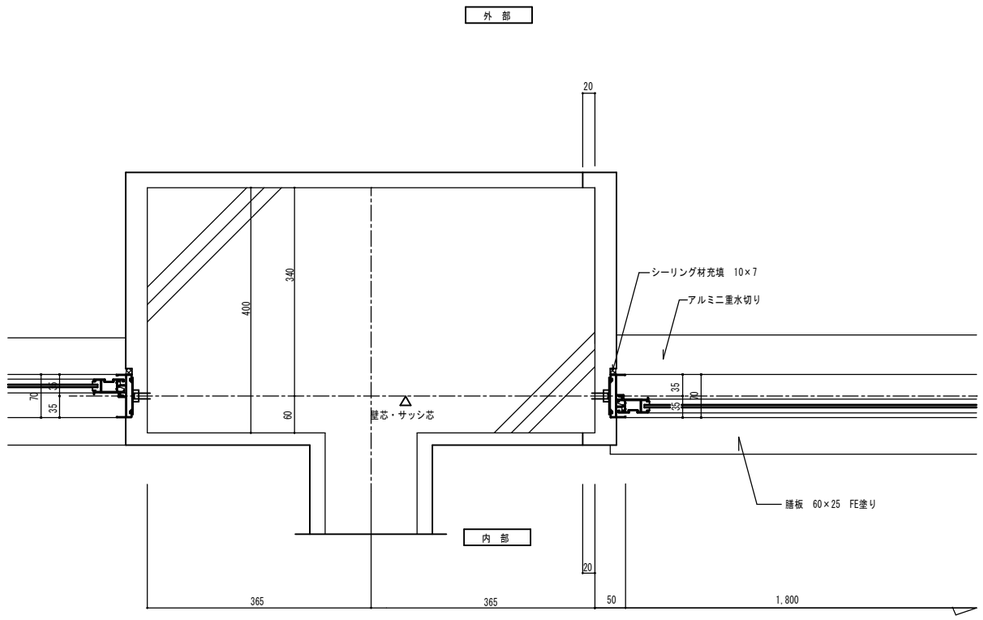


改修後　防水納まり図

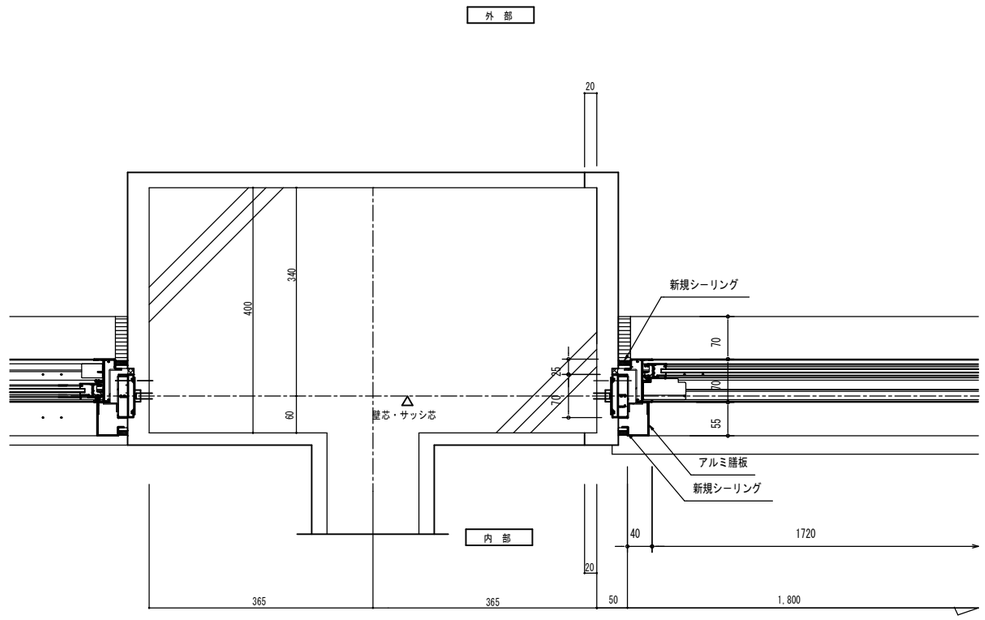


	一級建築士事務所　新潟県知事登録　（り）１３５９号 株式会社　関矢設計事務所 郵便番号　946-0111　新潟県魚沼市並柳182番地　℡　025-799-2122	管理建築士 一級建築士　第228811号 関　矢　茂　信	工事名称 4学工第12号　広神中学校校舎外部改修工事 図面名称 管理教室棟１　防水納まり図（バルコニー）	日付 2022年3月 縮尺 1：30	A-34

現況　普通教室



改修後　普通教室



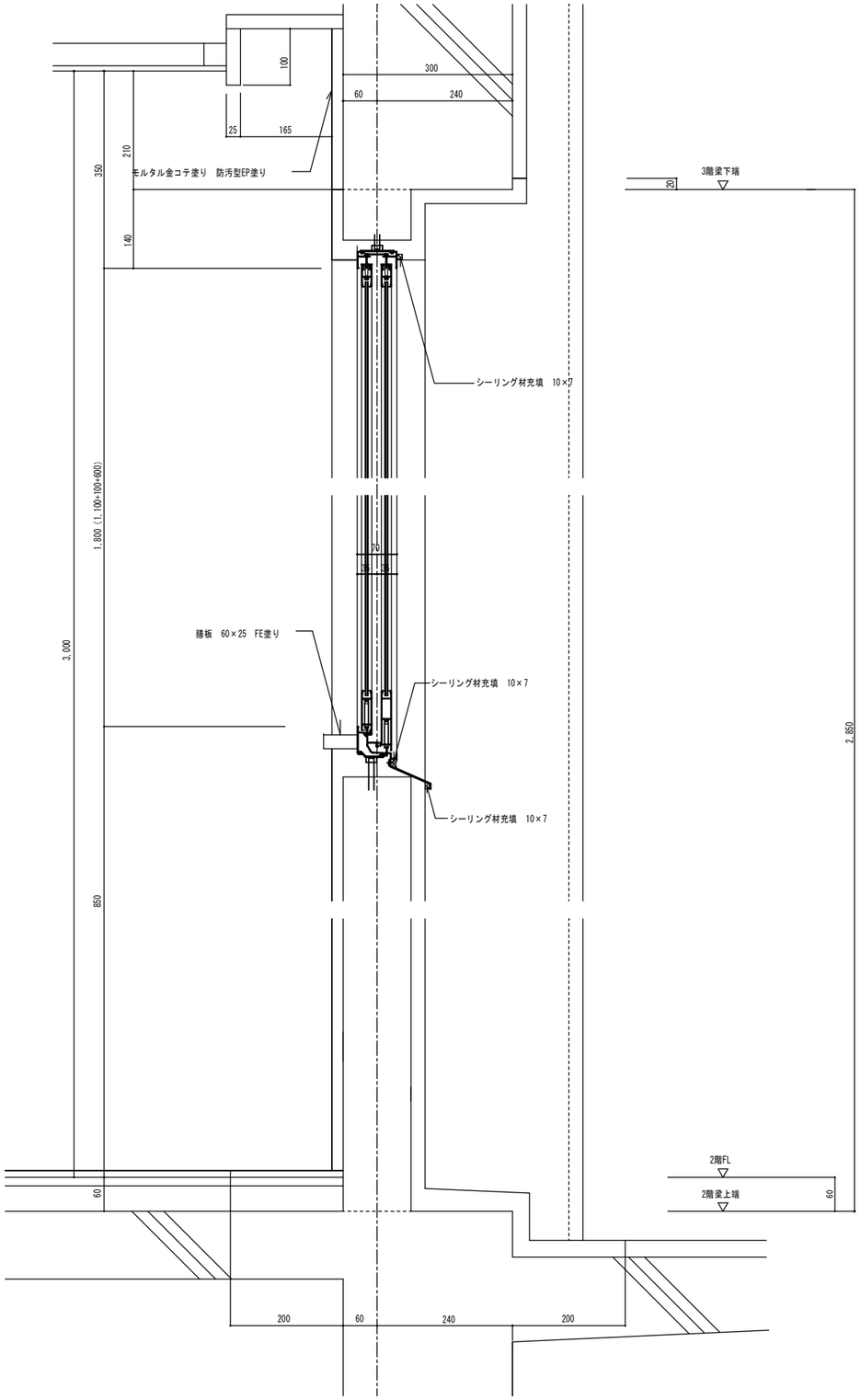
変更		

一級建築士事務所　新潟県知事登録　（リ）１３５９号
株式会社　関矢設計事務所
郵便番号　946-0111　新潟県魚沼市並柳182番地　℡　025-799-2122

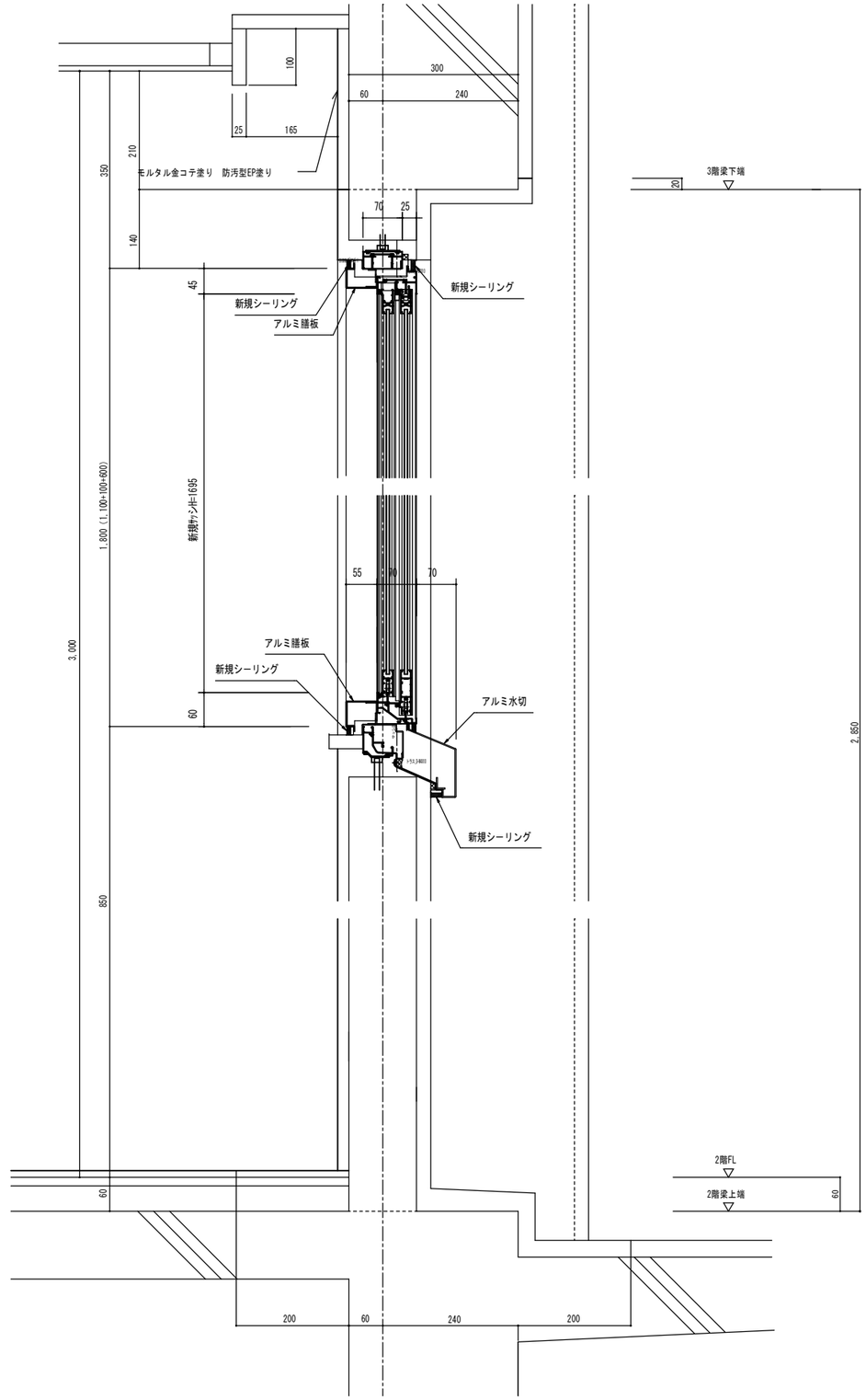
管理建築士
一級建築士　第228811号
関　矢　茂　信

工事名称	年月日	図面番号
広神中学校校舎外部改修工事	2022年3月	A-35
図面名称：管理教室棟１　普通教室 アルミサッシ平面詳細図	縮尺　A１版 S=1/5　A３版 S=1/10	建 電 構 機

現況　普通教室

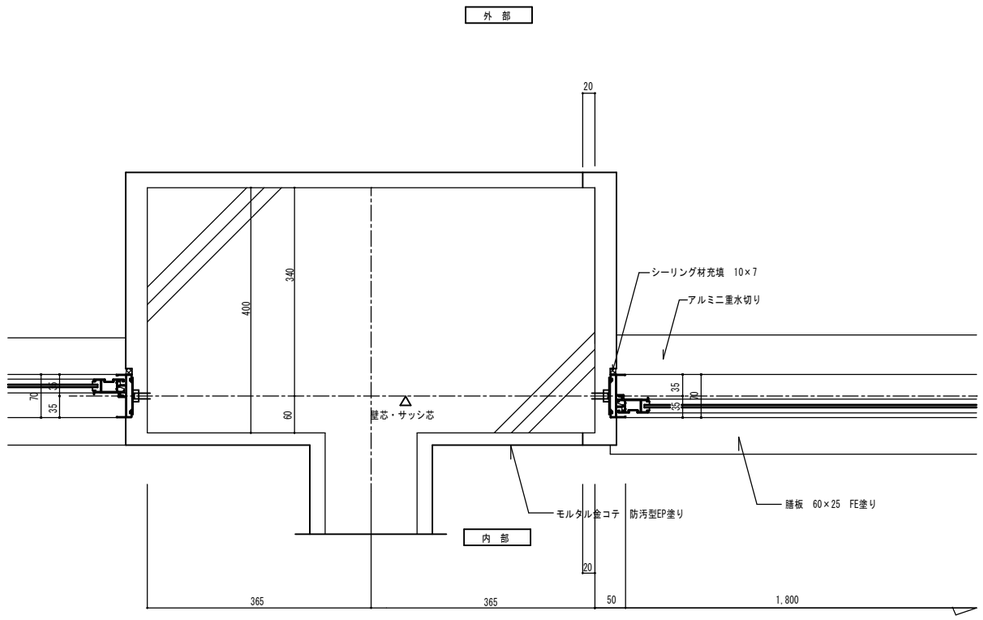


改修後　普通教室

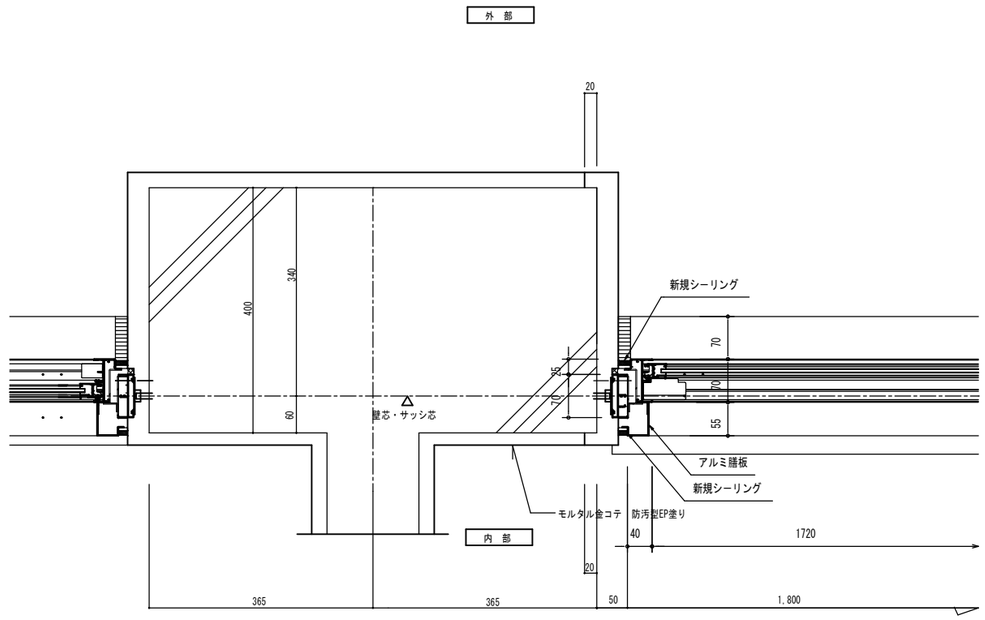


変更		一級建築士事務所　新潟県知事登録　（リ）１３５９号 株式会社　関矢設計事務所 郵便番号　946-0111　新潟県魚沼市並柳182番地　℡　025-799-2122	管理建築士 一級建築士　第228811号 関　矢　茂　信	工事名称 4学工第12号　広神中学校校舎外部改修工事	年月日 2022年3月	図面番号 A-36
				図面名称 管理教室棟１　普通教室 アルミサッシ断面詳細図	縮尺　A１版 S=1/5　A３版 S=1/10	衛 電 構 機

現況　普通教室



改修後　普通教室



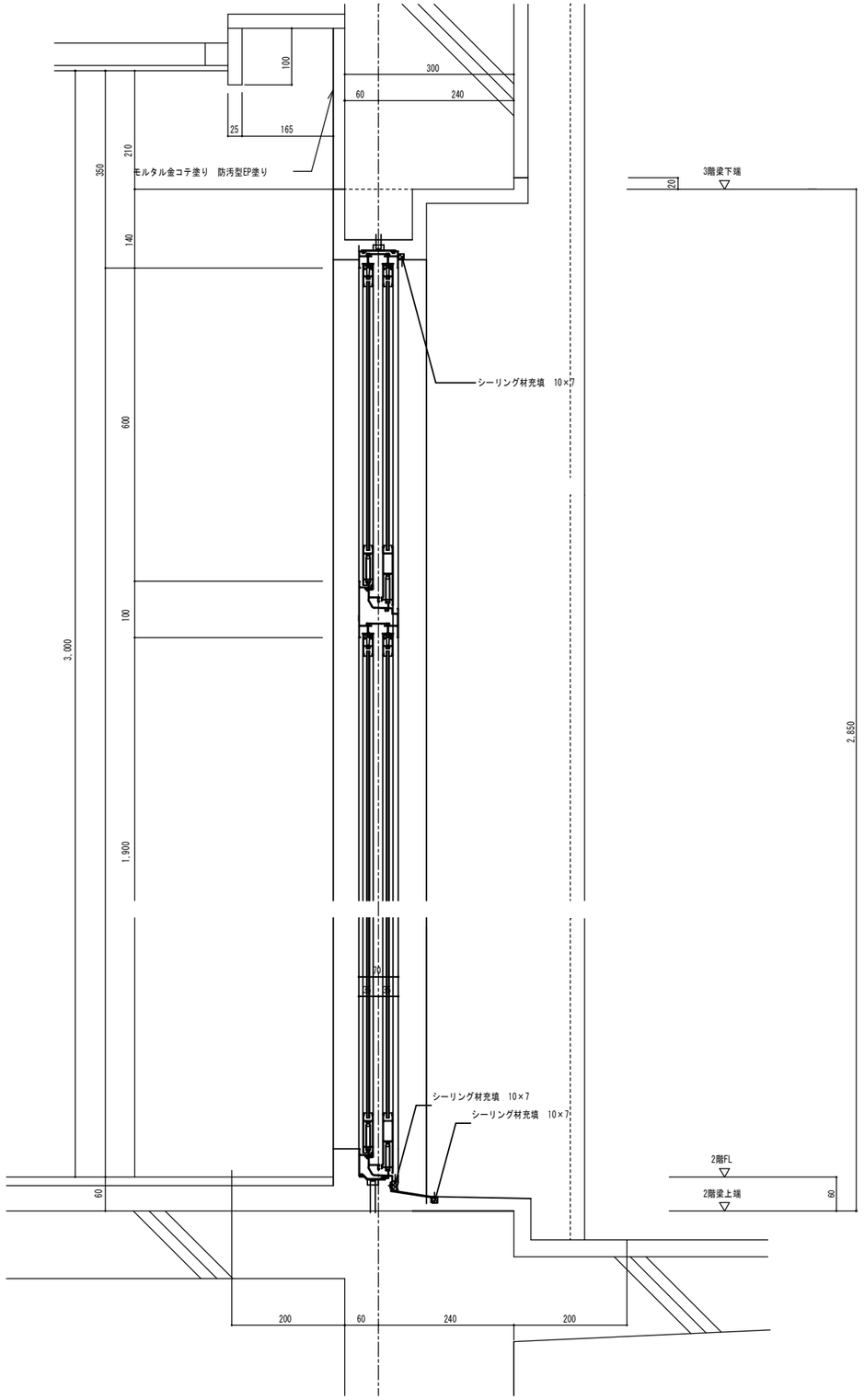
変更		

一級建築士事務所　新潟県知事登録　（リ）１３５９号
株式会社　関矢設計事務所
郵便番号　946-0111　新潟県魚沼市並柳182番地　℡　025-799-2122

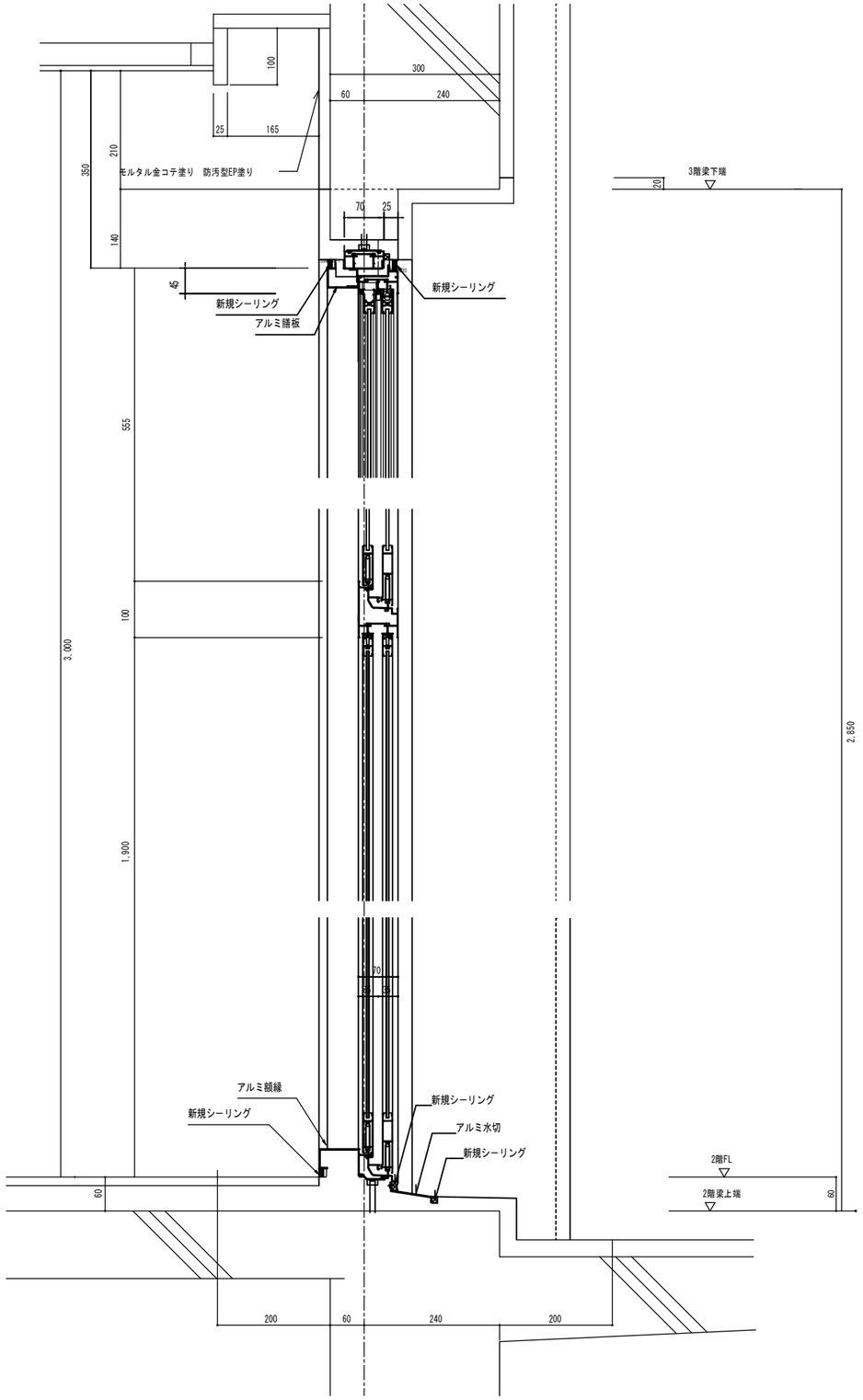
管理建築士
一級建築士　第228811号
関　矢　茂　信

工事名称	年月日	図面番号
4学工第12号　広神中学校校舎外部改修工事	2022年3月	A-37
図面名称：管理教室棟１　普通教室 アルミサッシ（掃出し）平面詳細図	縮尺　A１版 S=1/5　A３版 S=1/10	建 電 構 機

現況　普通教室

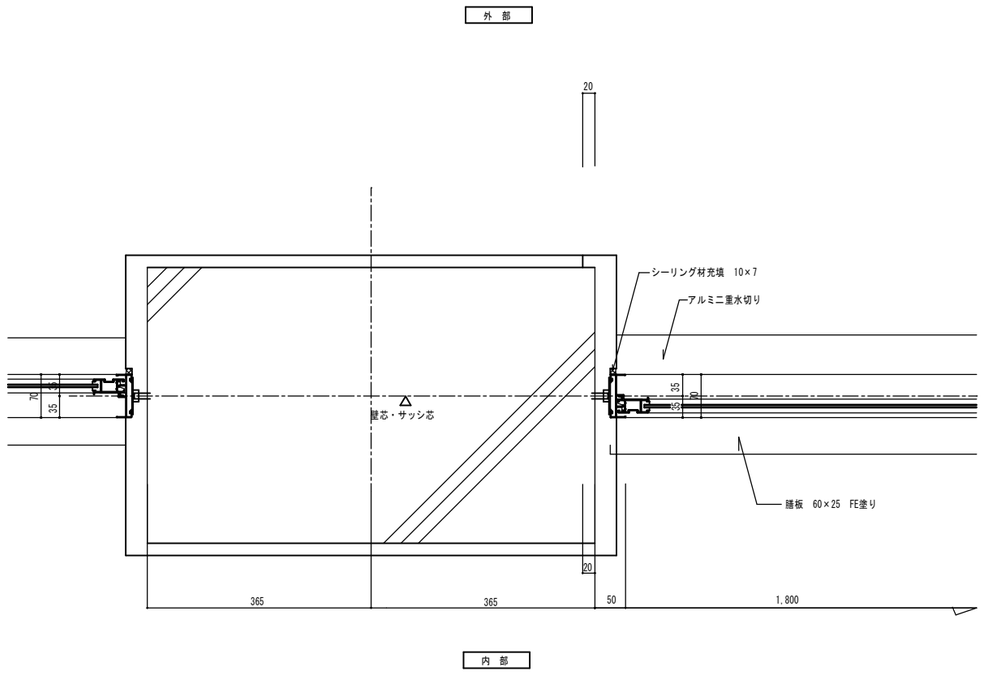


改修後　普通教室

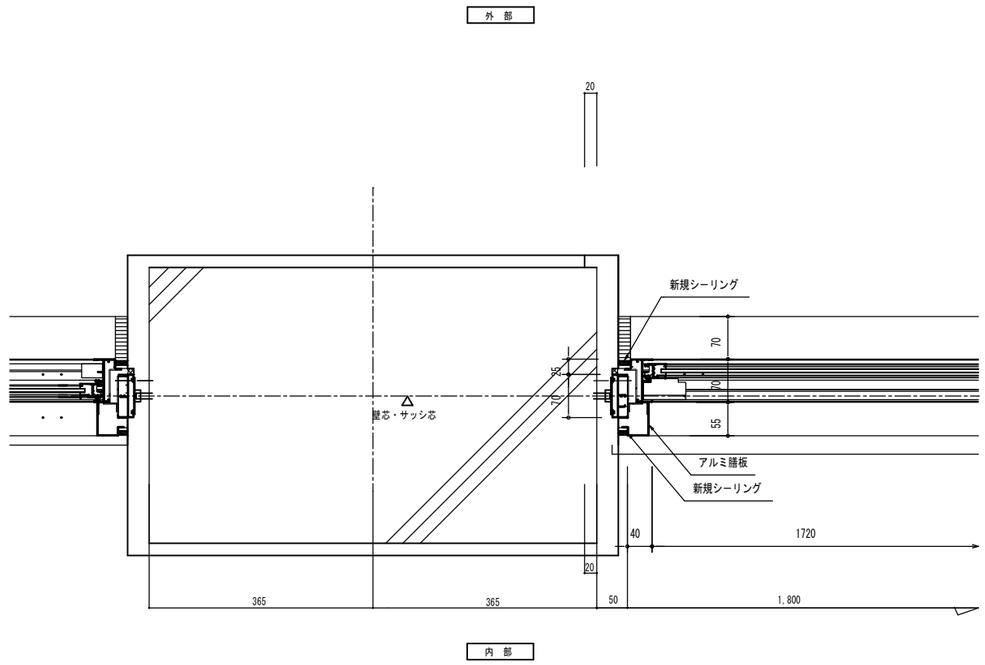


変更		一級建築士事務所　新潟県知事登録　（リ）１３５９号 株式会社　関矢設計事務所 郵便番号　946-0111　新潟県魚沼市並柳182番地　TEL　025-799-2122	管理建築士 一級建築士　第228811号 関　矢　茂　信	工事名称 4学工第12号　広神中学校校舎外部改修工事	年月日 2022年3月	図面番号 A-38
				図面名称 管理教室棟１　普通教室 アルミサッシ（掃出し）断面詳細図	縮尺　A１版 S=1/5　A３版 S=1/10	衛 電 構 機

現況　廊下



改修後　廊下



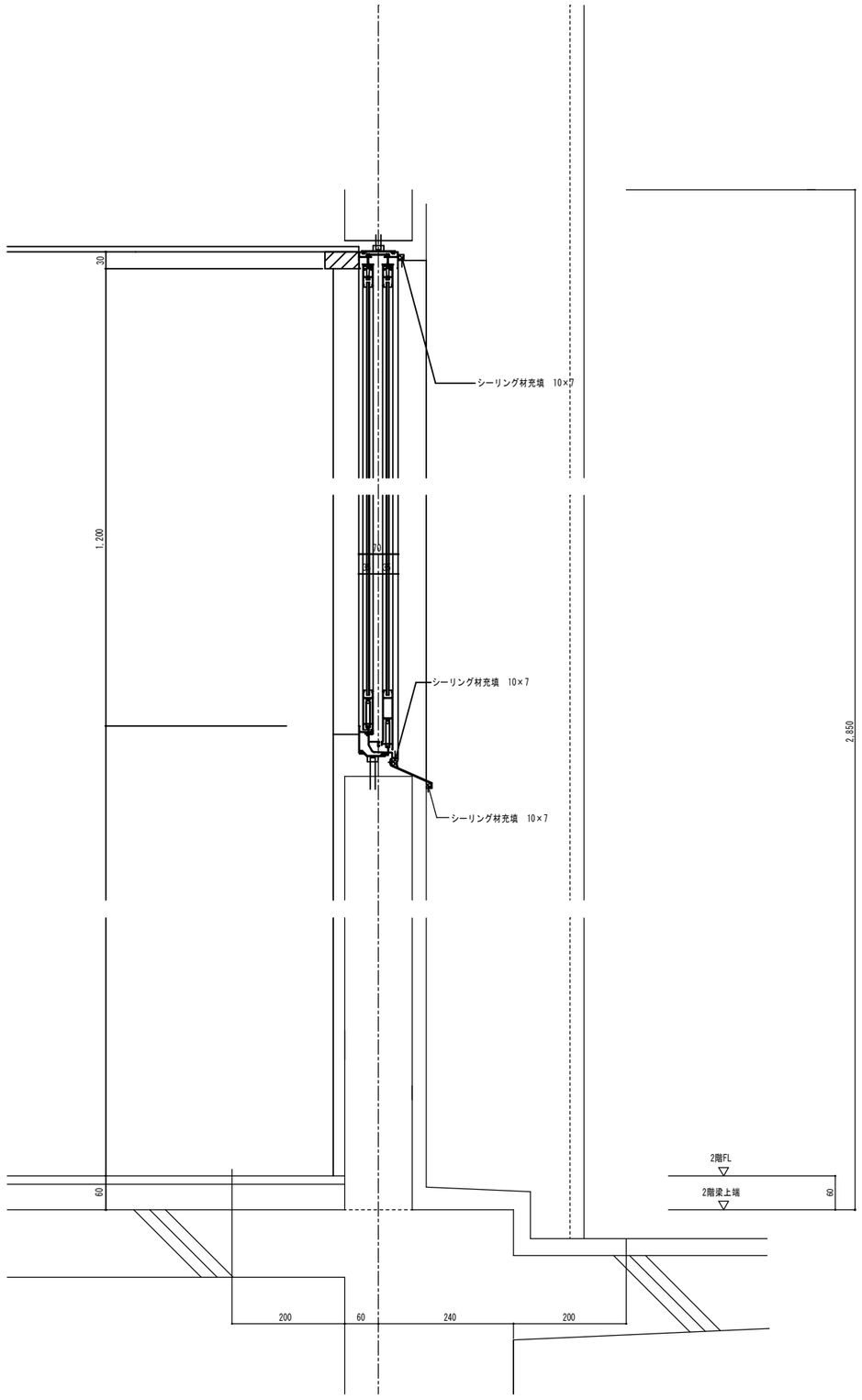
変更		

一級建築士事務所　新潟県知事登録　（リ）１３５９号
株式会社　関矢設計事務所
郵便番号　946-0111　新潟県魚沼市並柳182番地　℡　025-799-2122

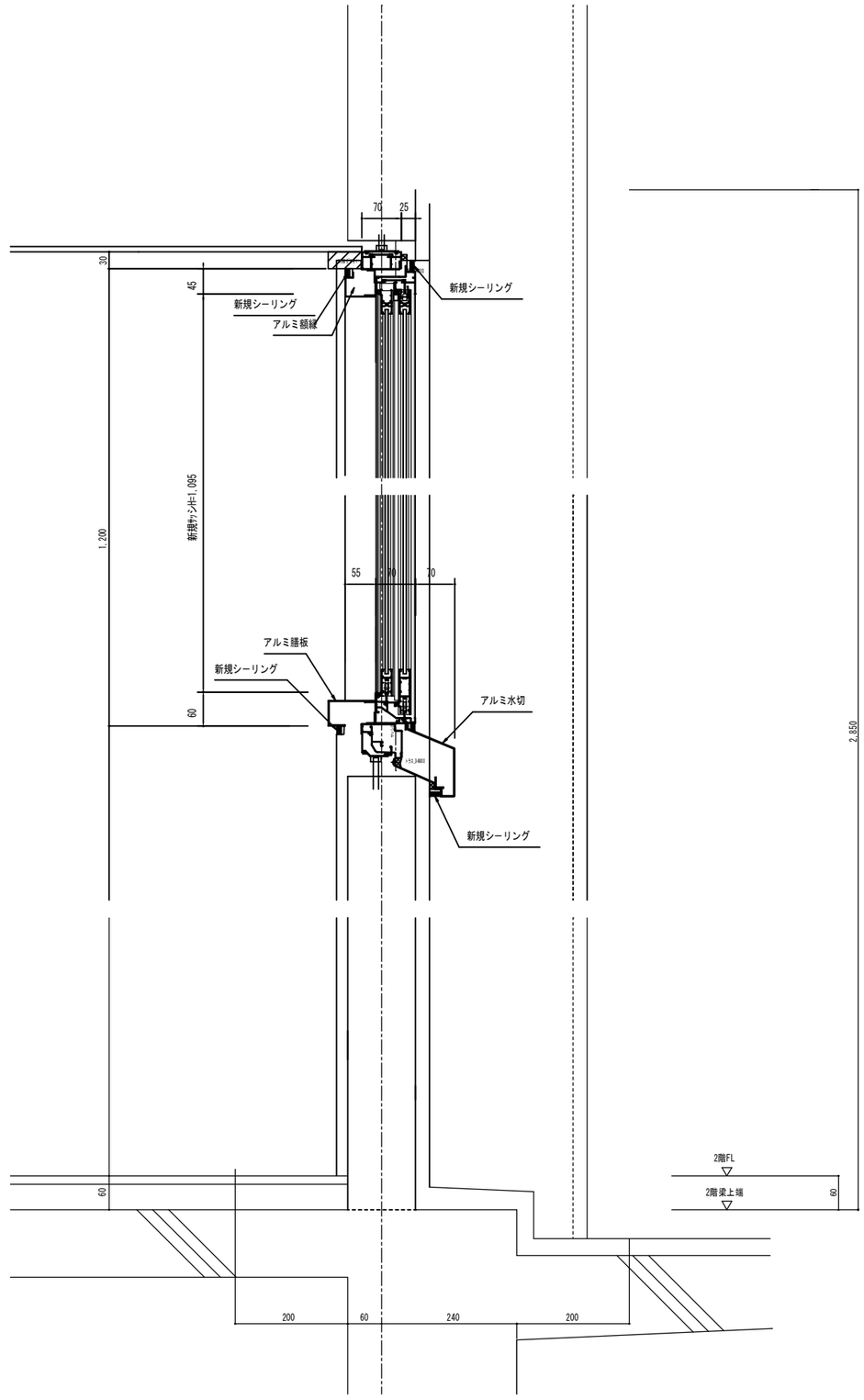
管理建築士
一級建築士　第228811号
関　矢　茂　信

工事名称	年月日	図面番号
4学工第12号　広神中学校校舎外部改修工事	2022年3月	A-39
図面名称：管理教室棟１　廊下 アルミサッシ平面詳細図	縮尺　Ａ１版 S=1/5　Ａ３版 S=1/10	建 電 構 機

現況　廊下

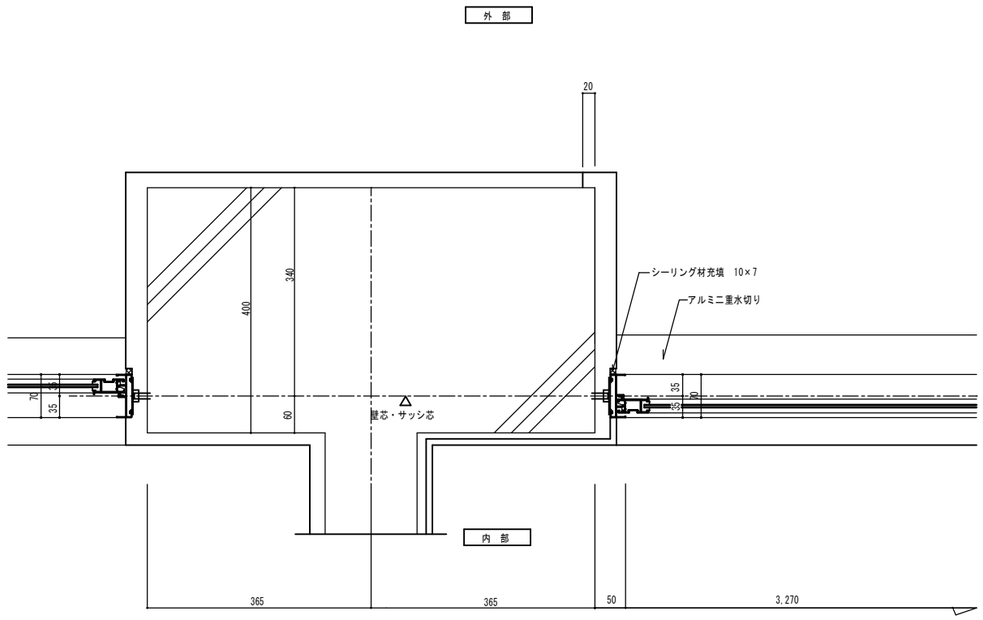


改修後　廊下

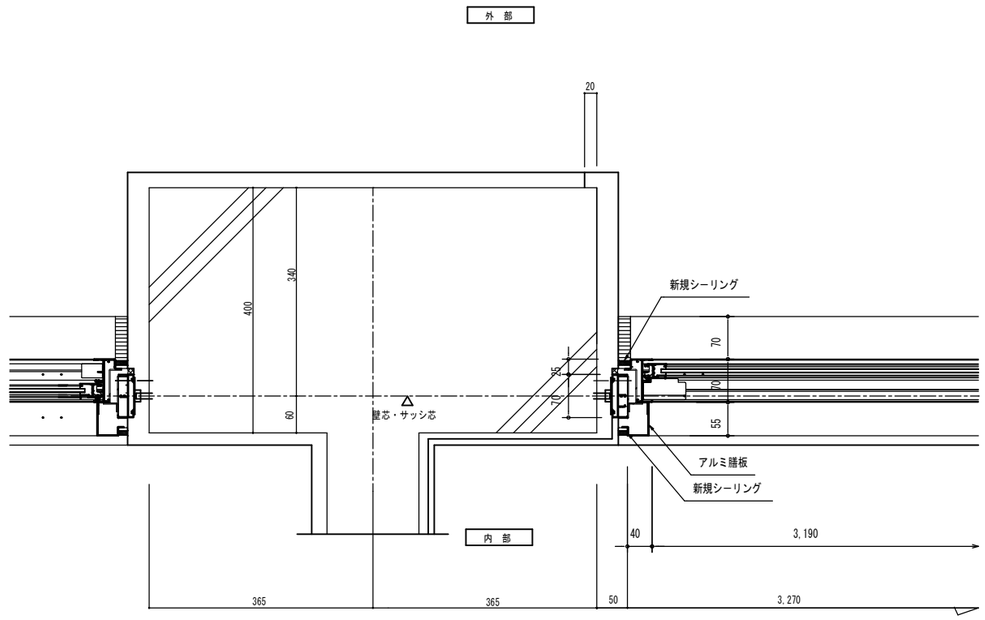


変更		一級建築士事務所　新潟県知事登録　（リ）１３５９号 株式会社　関矢設計事務所 郵便番号　946-0111　新潟県魚沼市並柳182番地　℡　025-799-2122	管理建築士 一級建築士　第228811号 関　矢　茂　信	工事名称 4学工第12号　広神中学校校舎外部改修工事	年月日 2022年3月	図面番号 A-40	
				図面名称 管理教室棟１　廊下 アルミサッシ断面詳細図	縮尺　A１版 S=1/5　A３版 S=1/10	衛 電 構 機	

現況　便所



改修後　便所



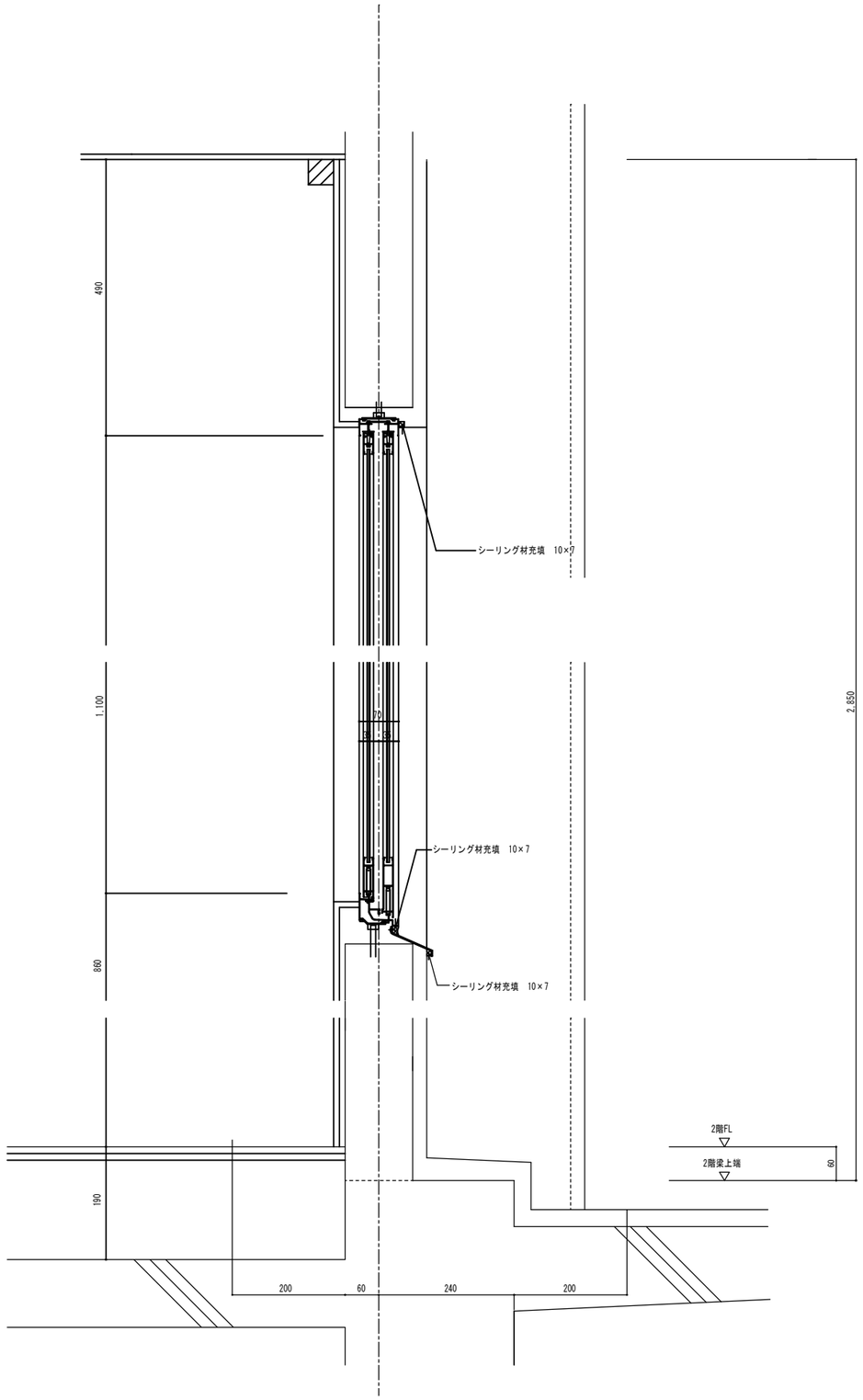
変更		

一級建築士事務所　新潟県知事登録　（リ）１３５９号
株式会社　関矢設計事務所
郵便番号　946-0111　新潟県魚沼市並柳182番地　℡　025-799-2122

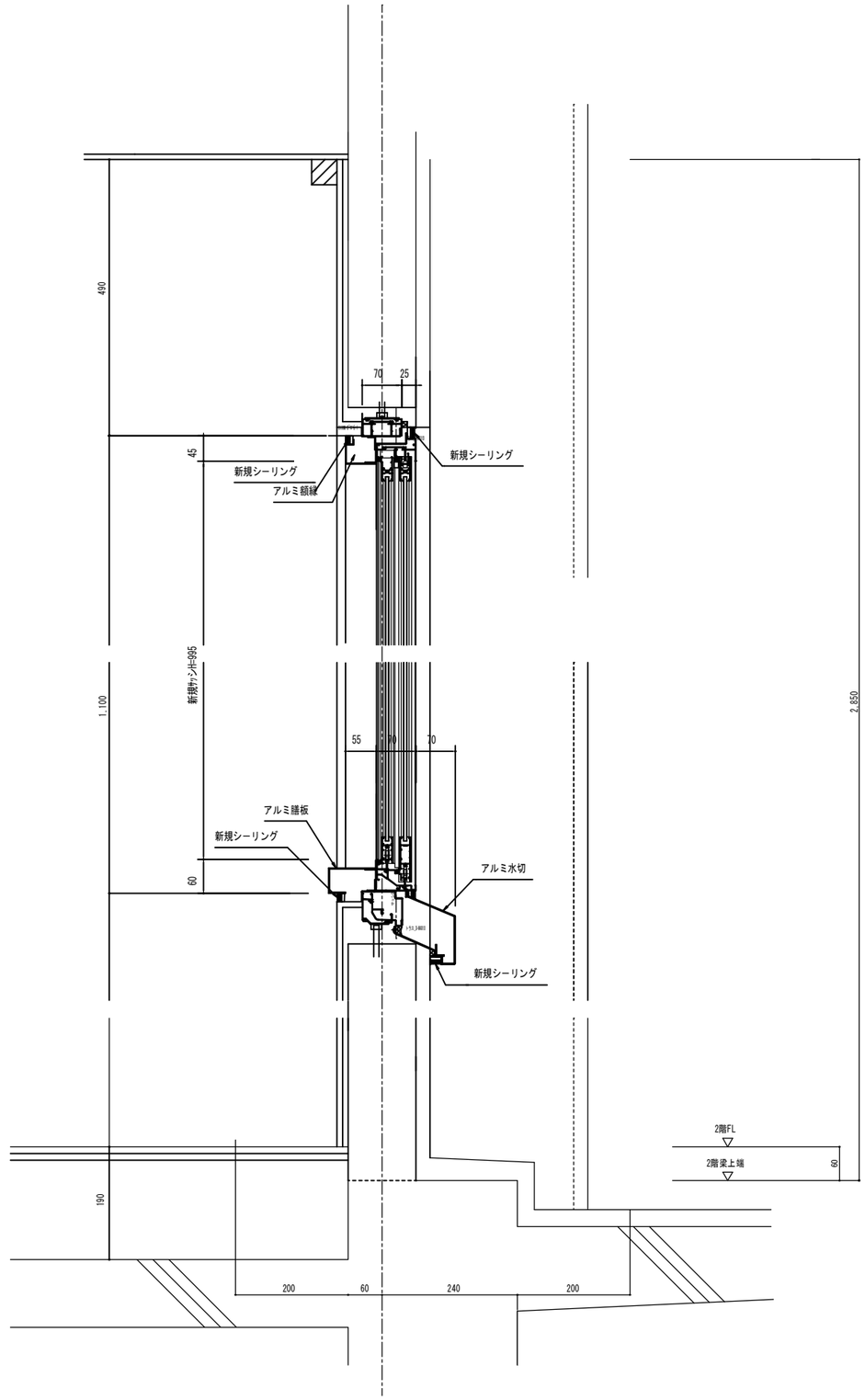
管理建築士
一級建築士　第228811号
関　矢　茂　信

工事名称	年月日	図面番号
4学工第12号　広神中学校校舎外部改修工事	2022年3月	A-41
図面名称：管理教室棟１　便所 アルミサッシ平面詳細図	縮尺　A１版 S=1/5　A３版 S=1/10	建 電 構 機

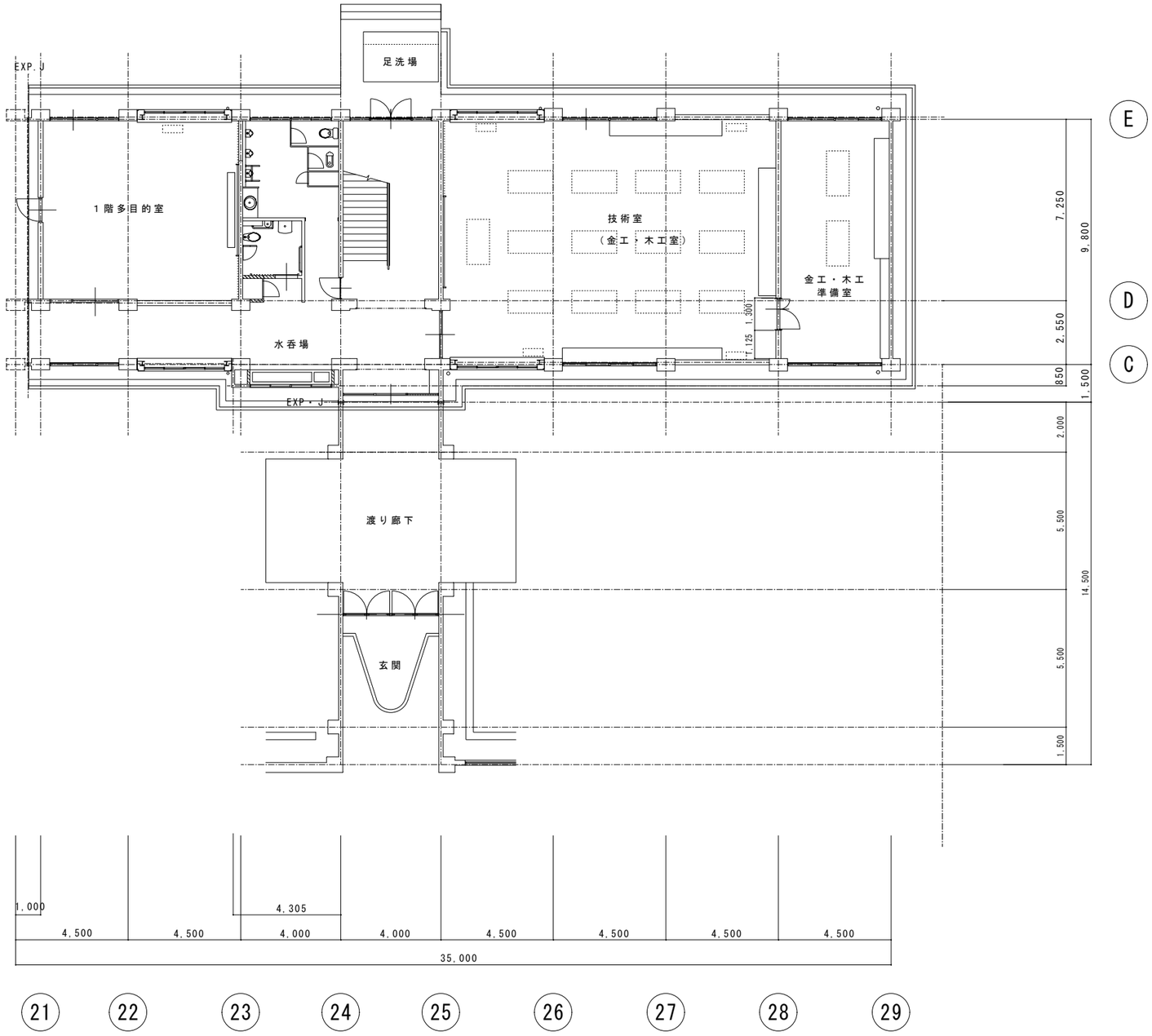
現況　便所



改修後　便所

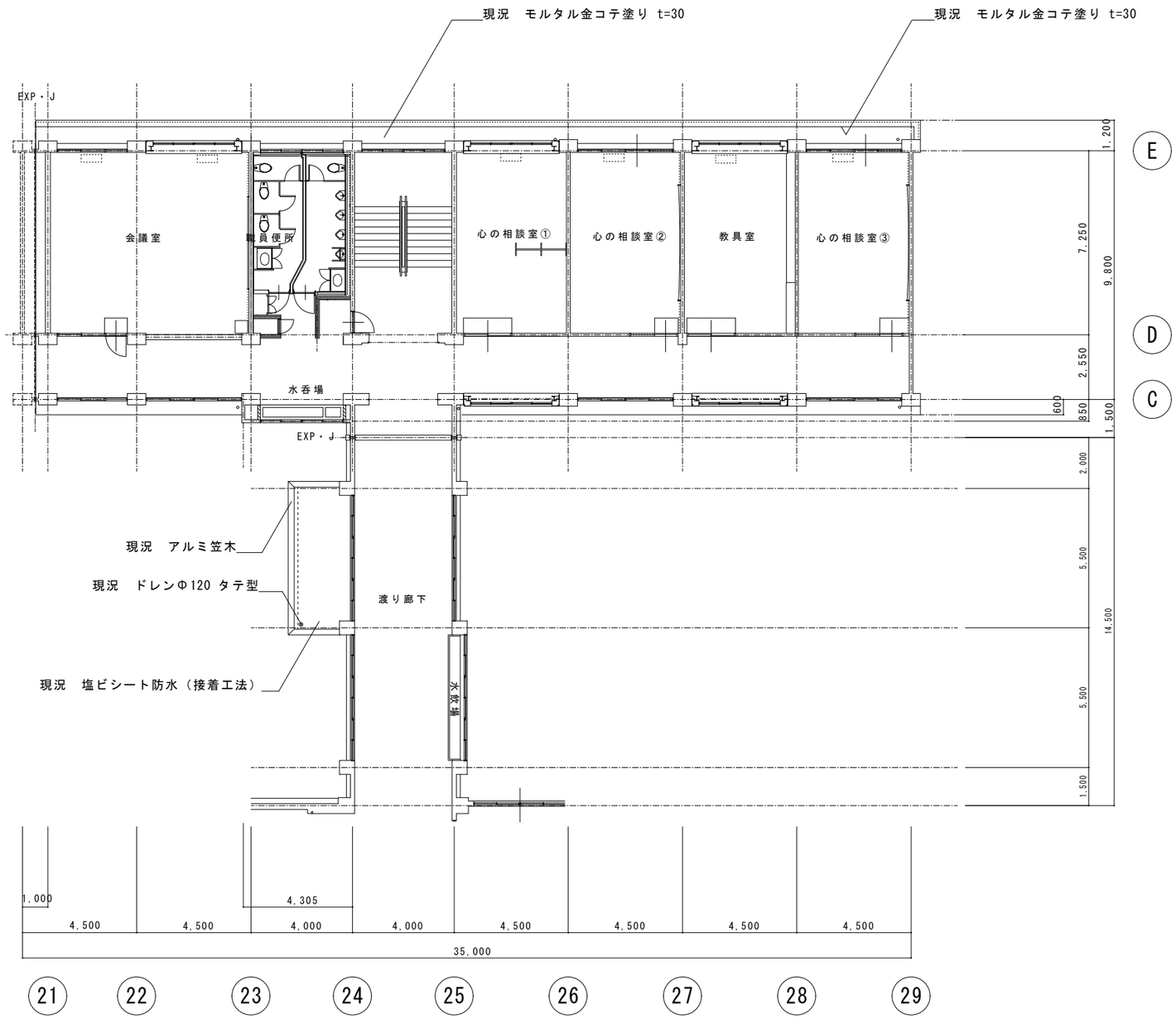


変更						
		一級建築士事務所　新潟県知事登録　（リ）１３５９号 株式会社　関矢設計事務所 郵便番号　946-0111　新潟県魚沼市並柳182番地　℡　025-799-2122	管理建築士 一級建築士　第228811号 関　矢　茂　信	工事名称 4学工第12号　広神中学校校舎外部改修工事	年月日 2022年3月	図面番号 A-42
				図面名称 管理教室棟１　便所 アルミサッシ断面詳細図	縮尺　A１版 S=1/5　A３版 S=1/10	電 構 機



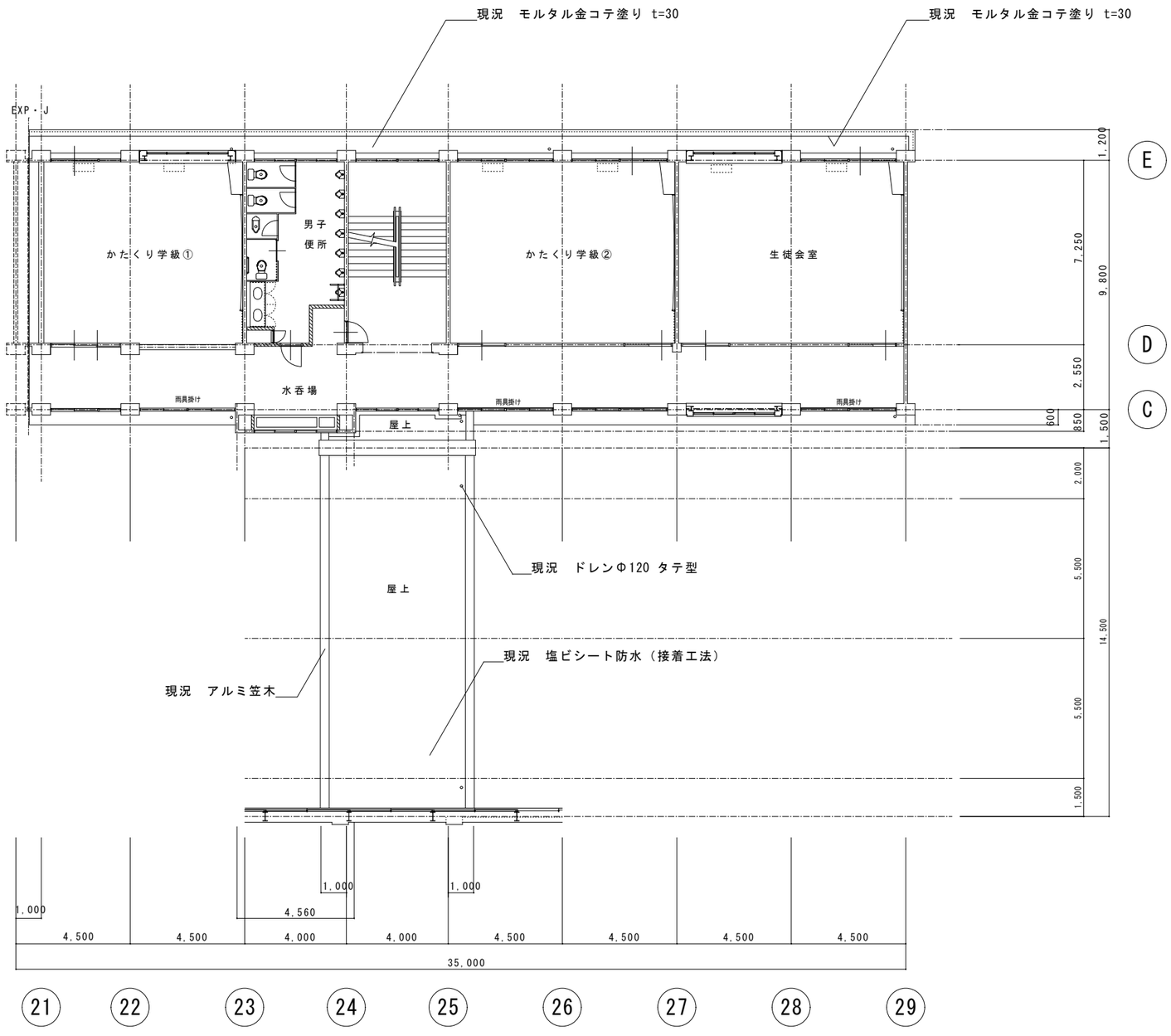
1階平面図　S=1:100

一級建築士事務所　新潟県知事登録　（り）１３５９号 株式会社　関矢設計事務所 郵便番号　946-0111　新潟県魚沼市並柳182番地　℡　025-799-2122	管理建築士 一級建築士　第228811号 関　矢　茂　信	工事名称 4学工第12号　広神中学校校舎外部改修工事	日付 2022年3月	A-43
		図面名称 管理教室棟２　現況1階平面図	縮尺 1:100	



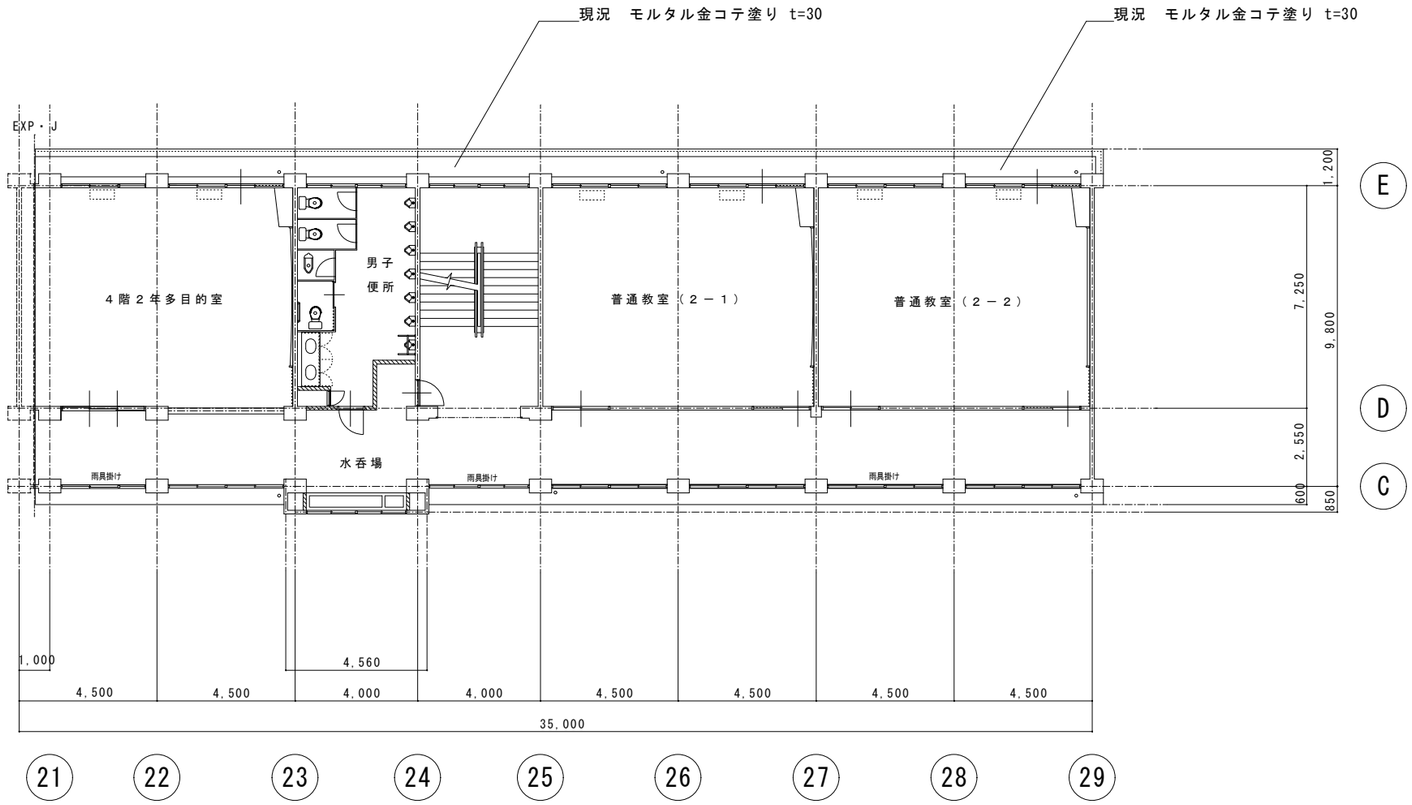
2階平面図　S=1:100

一級建築士事務所　新潟県知事登録（り）１３５９号 株式会社　関矢設計事務所 郵便番号 946-0111 新潟県魚沼市並柳182番地　℡ 025-799-2122	管理建築士 一級建築士 第228811号 関 矢 茂 信	工事名称 4学工第12号　広神中学校校舎外部改修工事	日付 2022年3月	A-44
		図面名称 管理教室棟２　現況 2階平面図	縮尺 1:100	



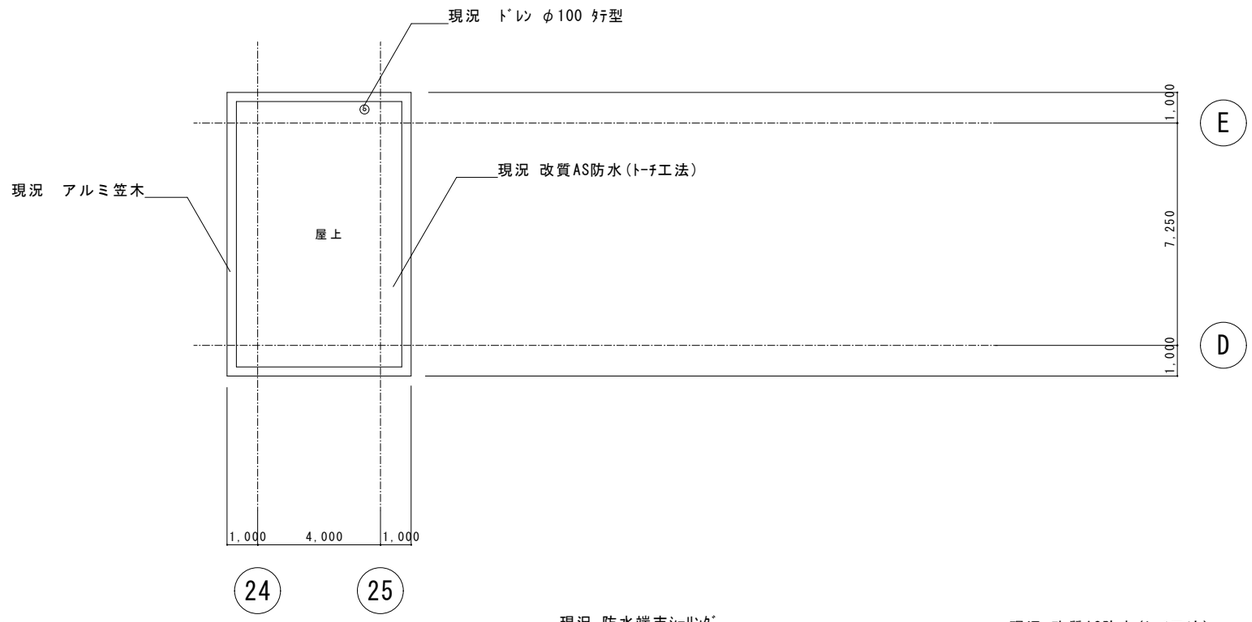
3階平面図　S=1:100

一級建築士事務所　新潟県知事登録（り）１３５９号 株式会社　関矢設計事務所 郵便番号 946-0111 新潟県魚沼市並柳182番地　℡ 025-799-2122	管理建築士 一級建築士 第228811号 関 矢 茂 信	工事名称 4学工第12号　広神中学校校舎外部改修工事 図面名称 管理教室棟２　現況 3階平面図	日付 2022年3月 縮尺 1:100	A-45

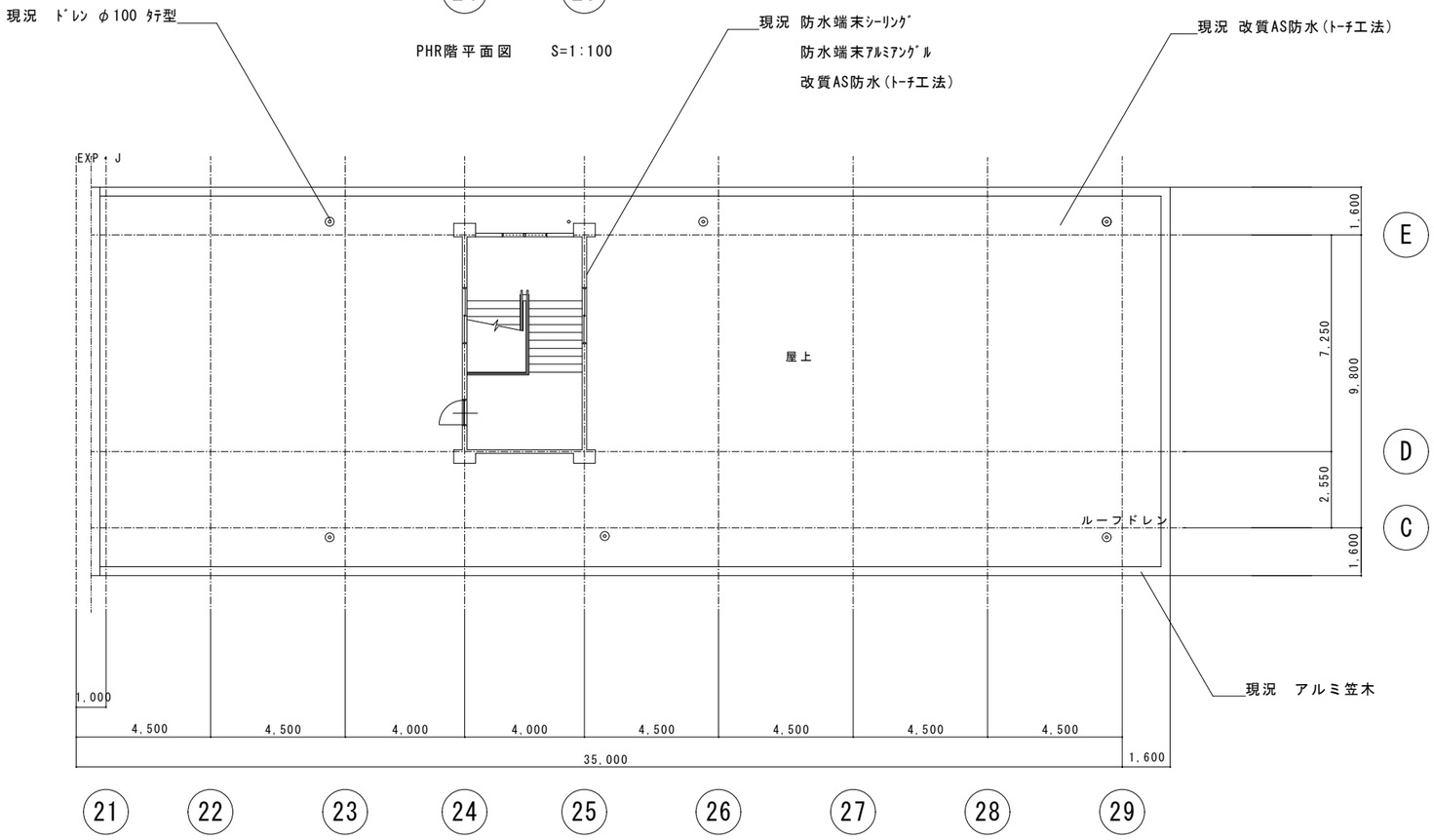


4階平面図　S=1:100

一級建築士事務所　新潟県知事登録　（リ）１３５９号 株式会社　関矢設計事務所 郵便番号　946-0111　新潟県魚沼市並柳182番地　℡　025-799-2122	管理建築士 一級建築士　第228811号 関　矢　茂　信	工事名称 4学工第12号　広神中学校校舎外部改修工事	日付 2022年3月	A-46
		図面名称 管理教室棟２　現況 4階平面図	縮尺 1:100	

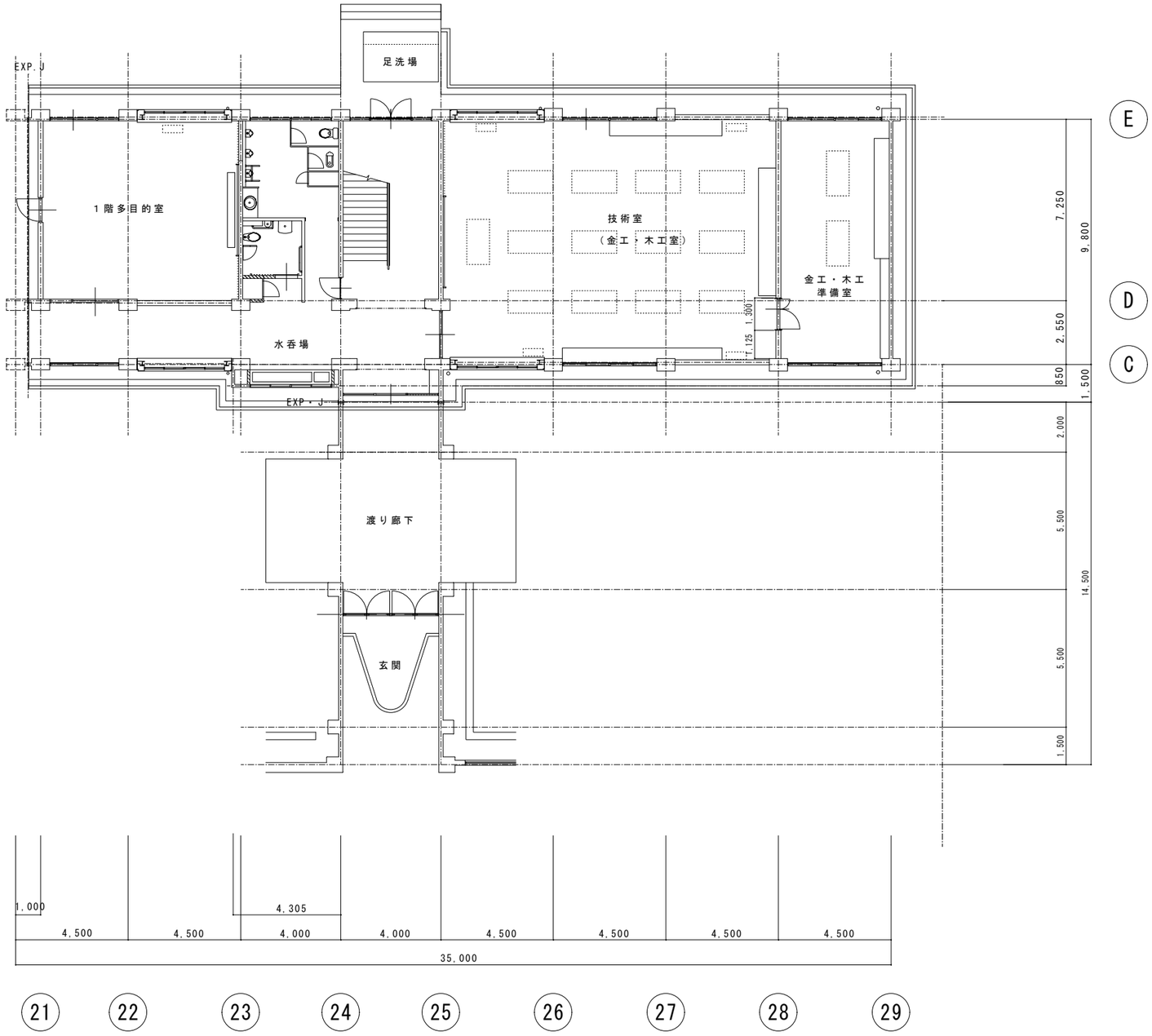


PHR階平面図　S=1:100



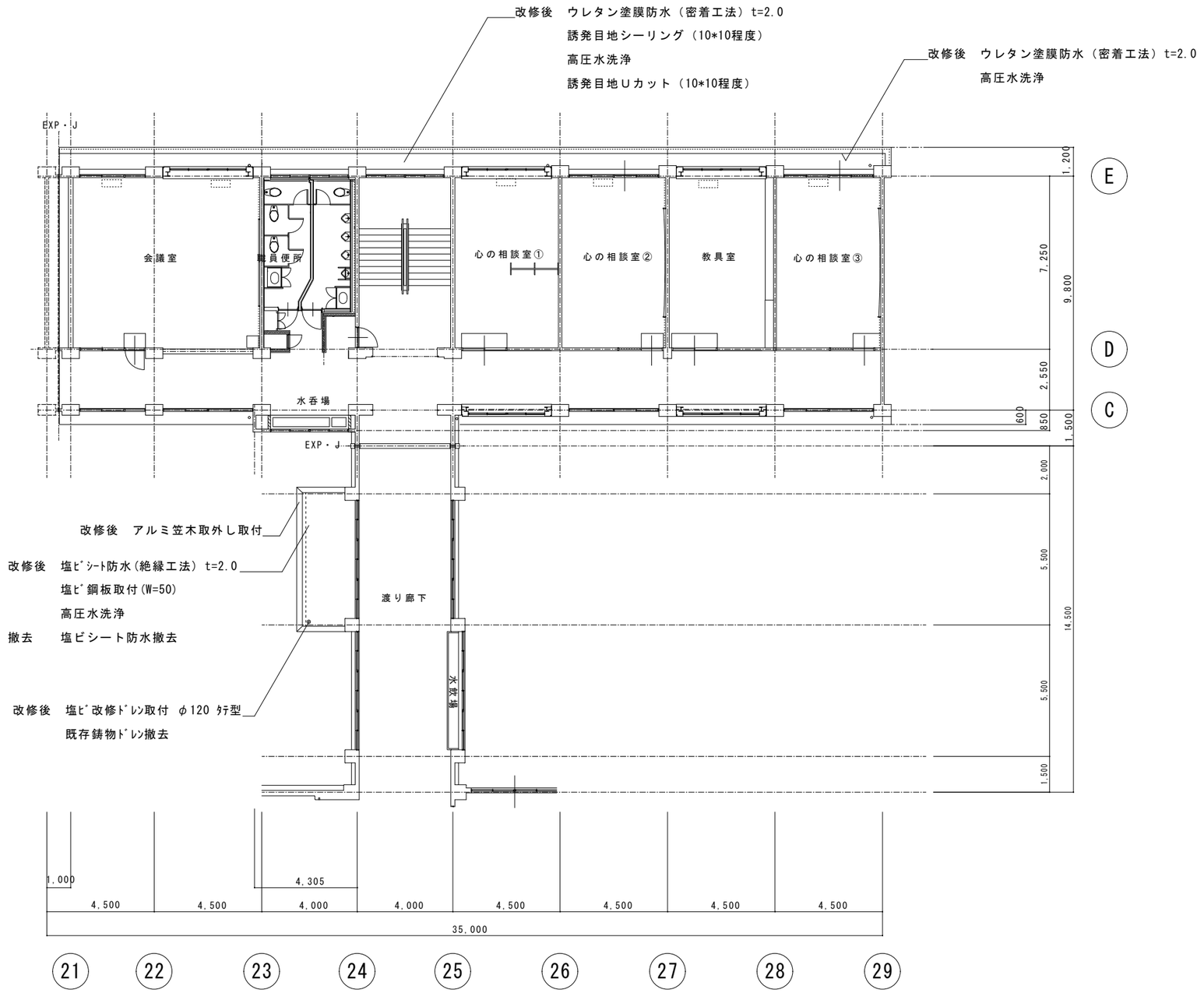
R階平面図　S=1:100

一級建築士事務所　新潟県知事登録　(り) 1359号 株式会社　関矢設計事務所 郵便番号 946-0111　新潟県魚沼市並柳182番地　℡ 025-799-2122	管理建築士 一級建築士　第228811号 関　矢　茂　信	工事名称 4学工第12号　広神中学校校舎外部改修工事	日付 2022年3月	A-47
		図面名称 管理教室棟２　現況R階平面図	縮尺 1:100	



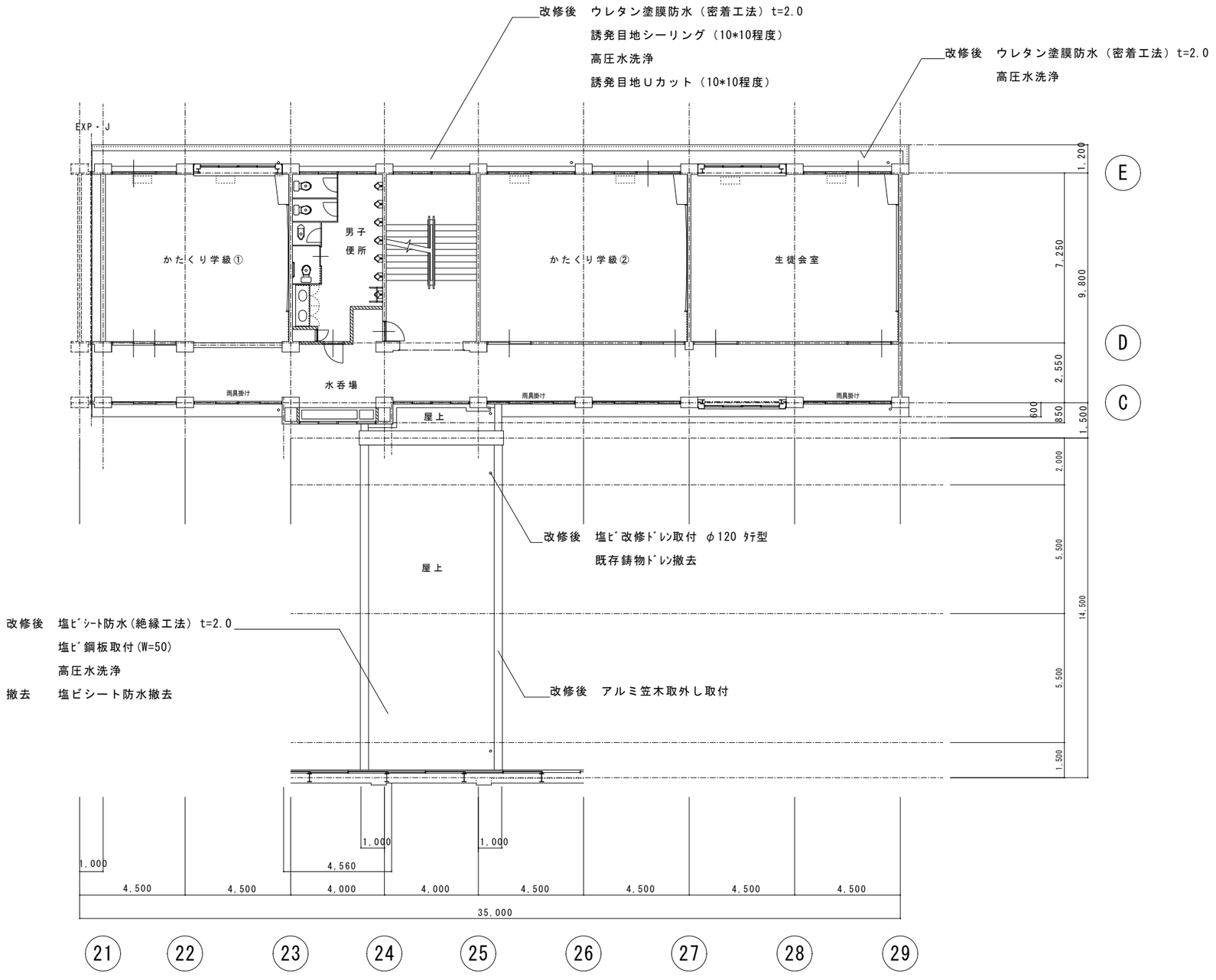
1階平面図　S=1:100

一級建築士事務所　新潟県知事登録　（り）１３５９号 株式会社　関矢設計事務所 郵便番号　946-0111　新潟県魚沼市並柳182番地　℡　025-799-2122	管理建築士 一級建築士　第228811号 関　矢　茂　信	工事名称 4学工第12号　広神中学校校舎外部改修工事	日付 2022年3月	A-48
		図面名称 管理教室棟２　改修後1階平面図	縮尺 1:100	



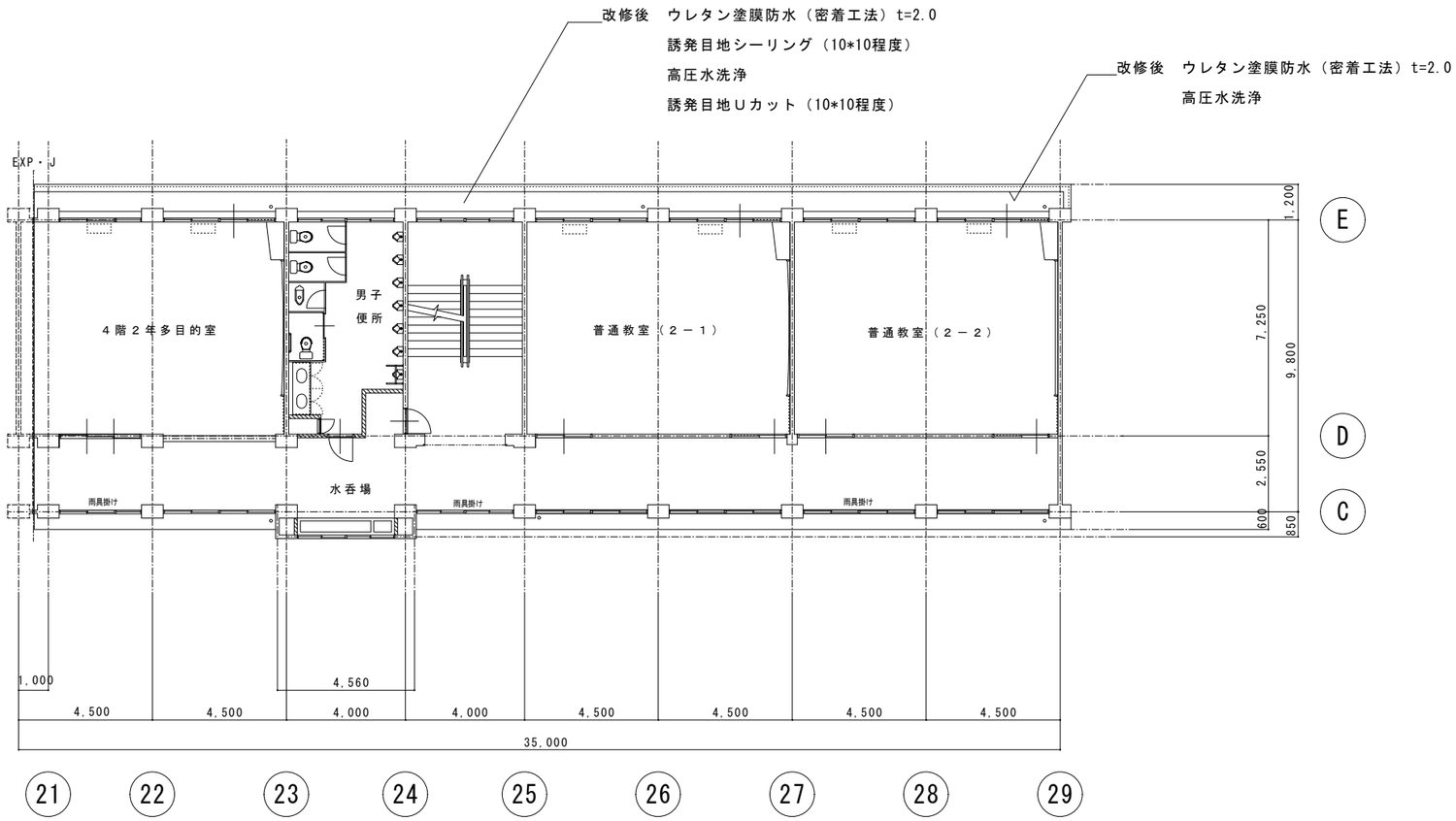
2階平面図　S=1:100

一級建築士事務所　新潟県知事登録（り）１３５９号 株式会社　関矢設計事務所 郵便番号 946-0111 新潟県魚沼市並柳182番地　℡ 025-799-2122	管理建築士 一級建築士 第228811号 関 矢 茂 信	工事名称 4学工第12号　広神中学校校舎外部改修工事	日付 2022年3月	A-49
		図面名称 管理教室棟２　改修後2階平面図	縮尺 1:100	



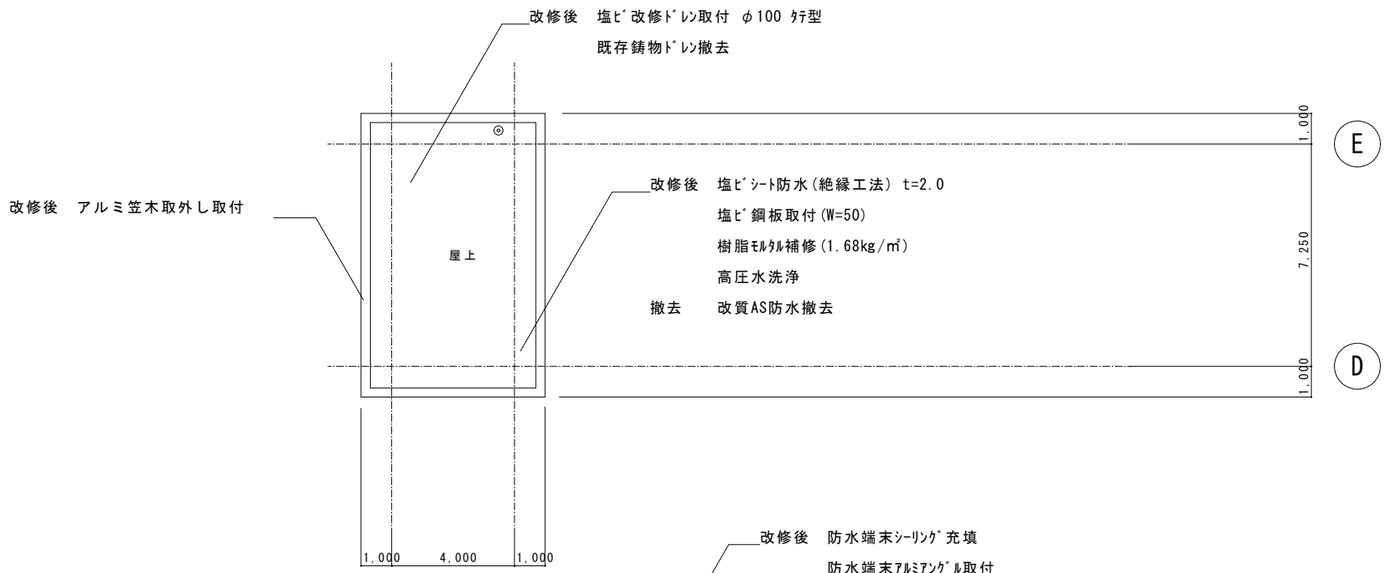
3階平面図　S=1:100

一級建築士事務所　新潟県知事登録（り）１３５９号 株式会社　関矢設計事務所 郵便番号 946-0111 新潟県魚沼市並柳182番地　℡ 025-799-2122	管理建築士 一級建築士 第228811号 関 矢 茂 信	工事名称 4学工第12号　広神中学校校舎外部改修工事	日付 2022年3月	A-50
		図面名称 管理教室棟２　改修後3階平面図	縮尺 1:100	

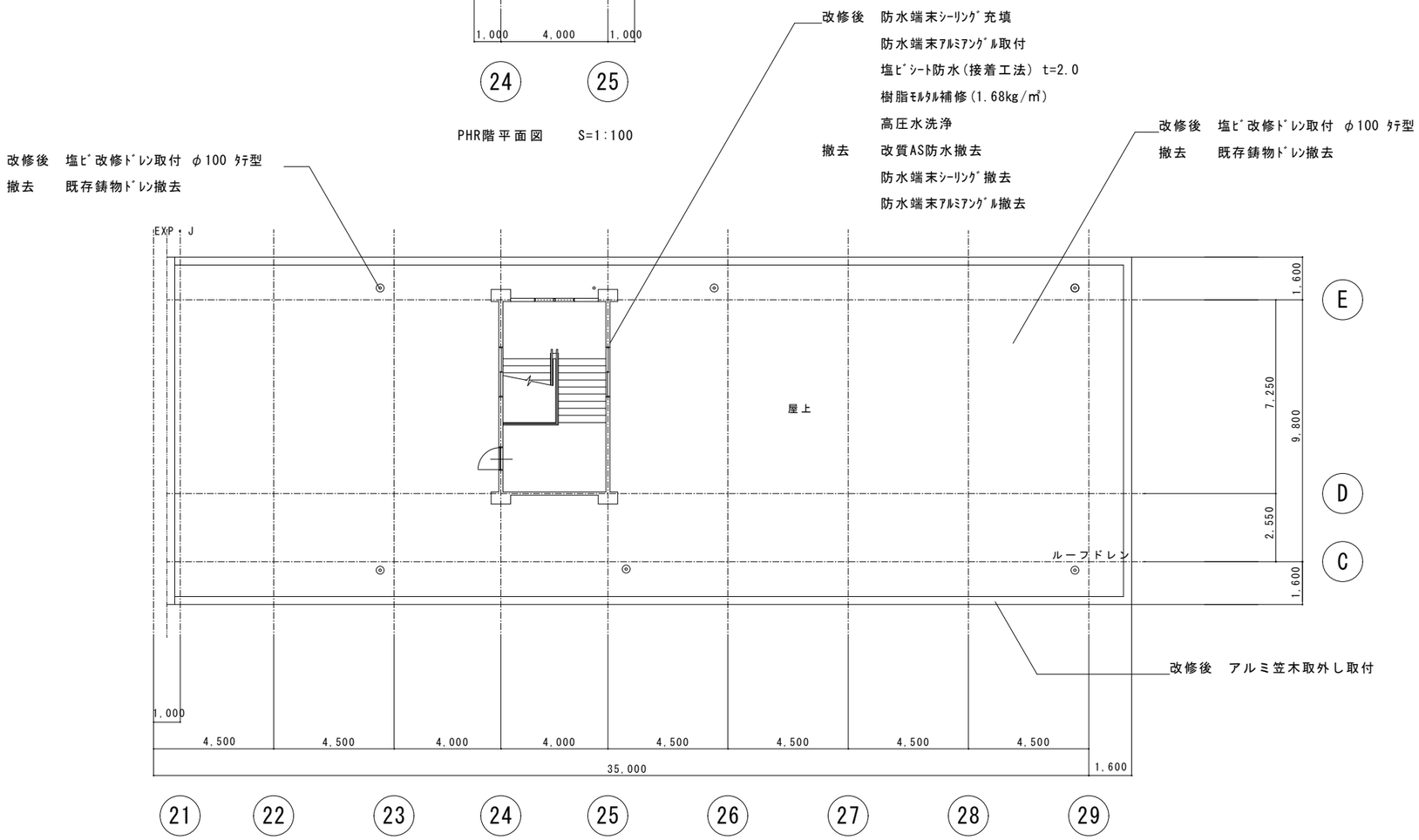


4階平面図　S=1:100

一級建築士事務所　新潟県知事登録（リ）1359号 株式会社　関矢設計事務所 郵便番号 946-0111　新潟県魚沼市並柳182番地　℡ 025-799-2122	管理建築士 一級建築士 第228811号 関 矢 茂 信	工事名称 4学工第12号　広神中学校校舎外部改修工事	日付 2022年3月	A-51
		図面名称 管理教室棟２　改修後 4階平面図	縮尺 1:100	



PHR階平面図　S=1:100



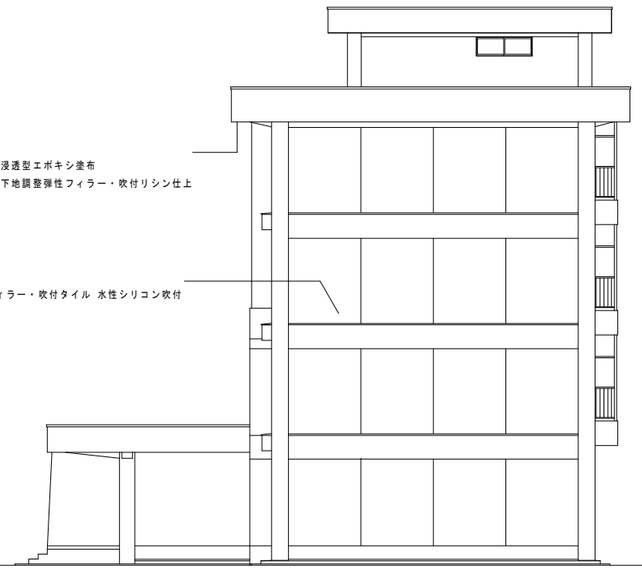
R階平面図　S=1:100

一級建築士事務所　新潟県知事登録　(リ)１３５９号
株式会社　関矢設計事務所
郵便番号　946-0111　新潟県魚沼市並柳182番地　℡　025-799-2122
管理建築士
一級建築士　第228811号
関　矢　茂　信

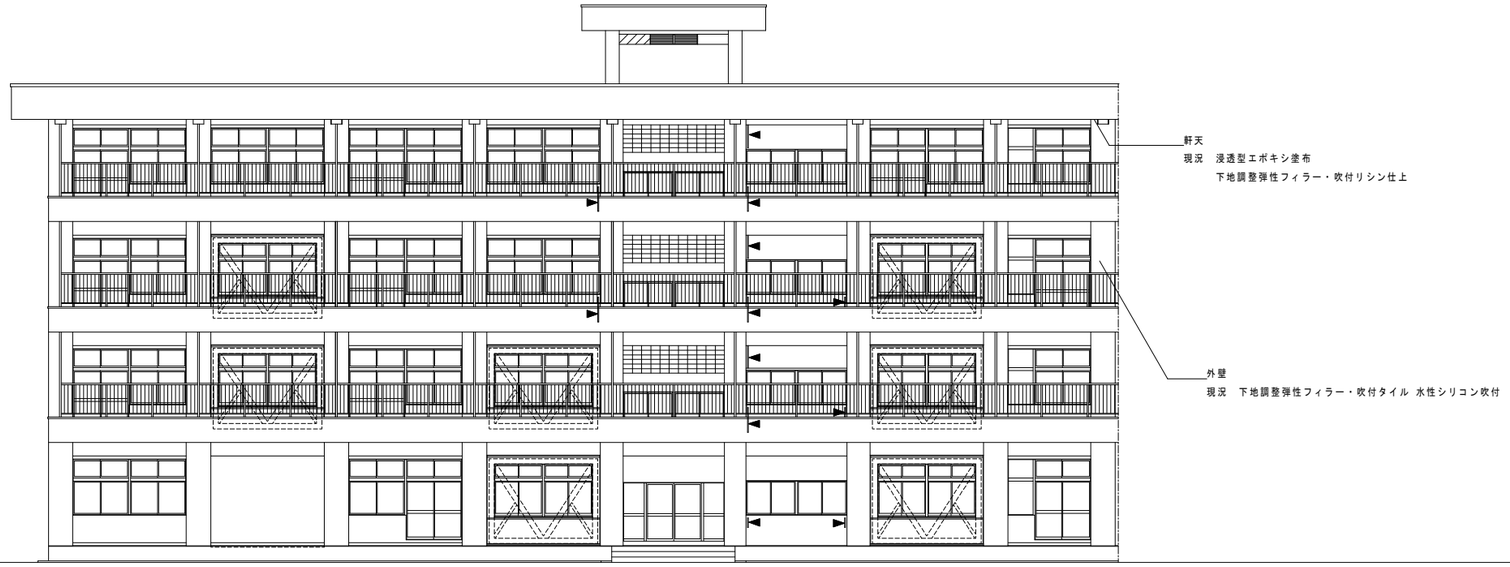
工事名称	4学工第12号　広神中学校校舎外部改修工事	日付	2022年3月
図面名称	管理教室棟２　改修後R階平面図	縮尺	1:100

A-52

正面図



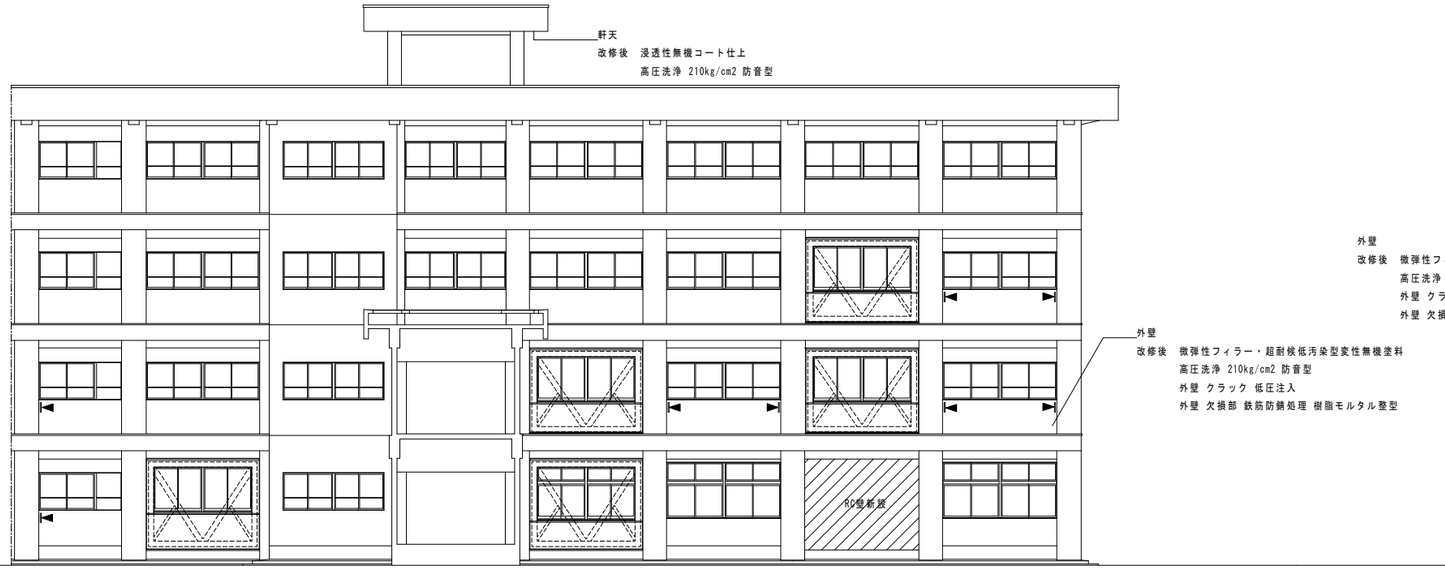
右側面図



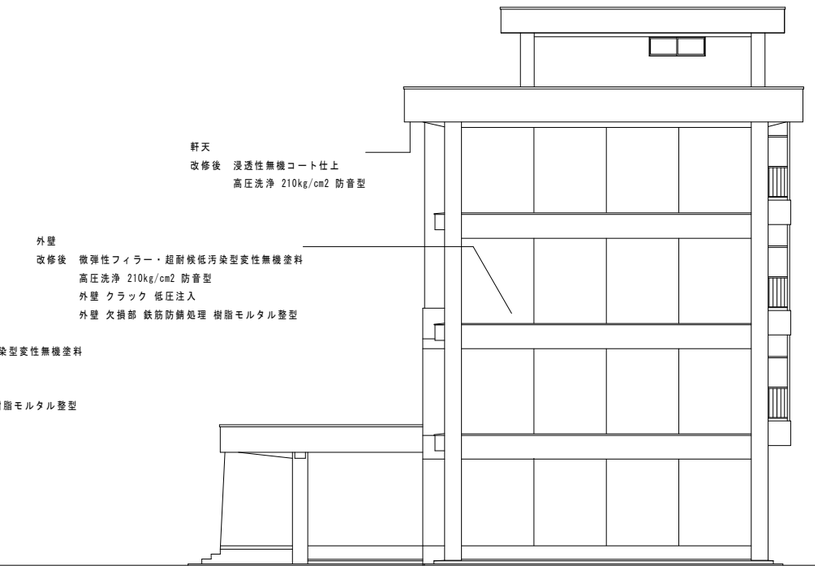
背面図

一級建築士事務所　新潟県知事登録　（リ）１３５９号
株式会社　関矢設計事務所
郵便番号　946-0111　新潟県魚沼市並柳182番地　TEL　025-799-2122
管理建築士
一級建築士　第228811号
関　矢　茂　信

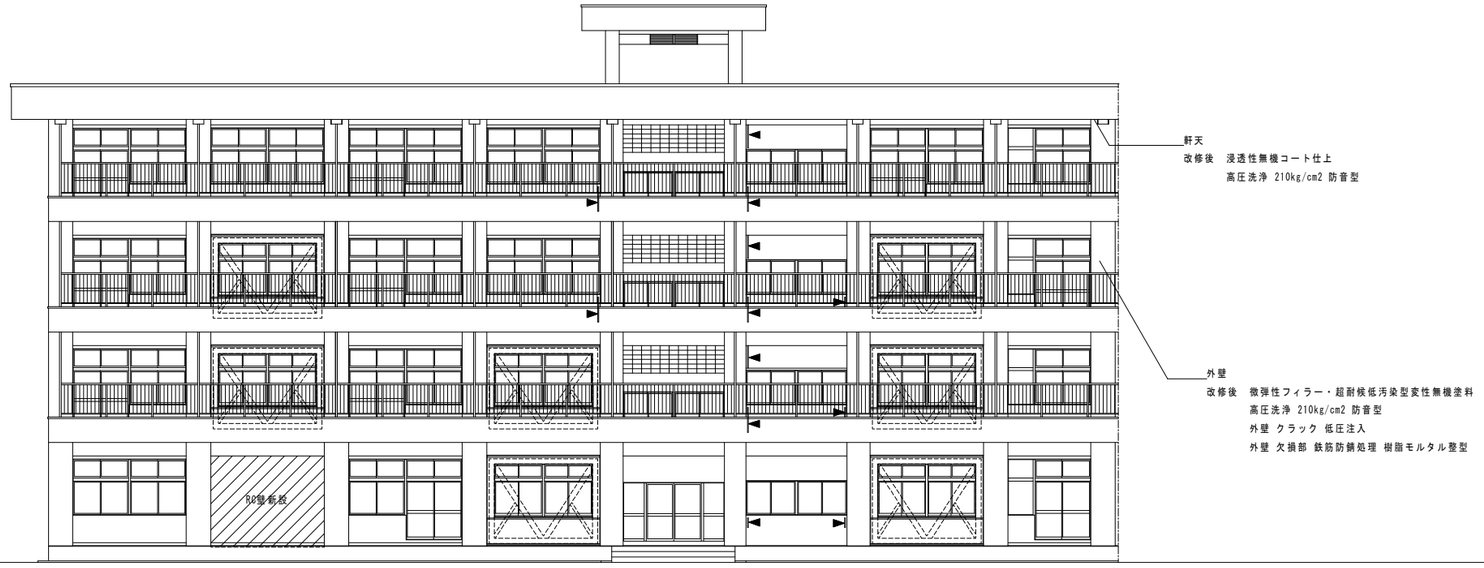
工事名称	4学工第12号　広神中学校校舎外部改修工事	日付 2022年3月	A-53
図面名称	管理教室棟２　現況 立面図	縮尺 1：100	



正面図



右側面図

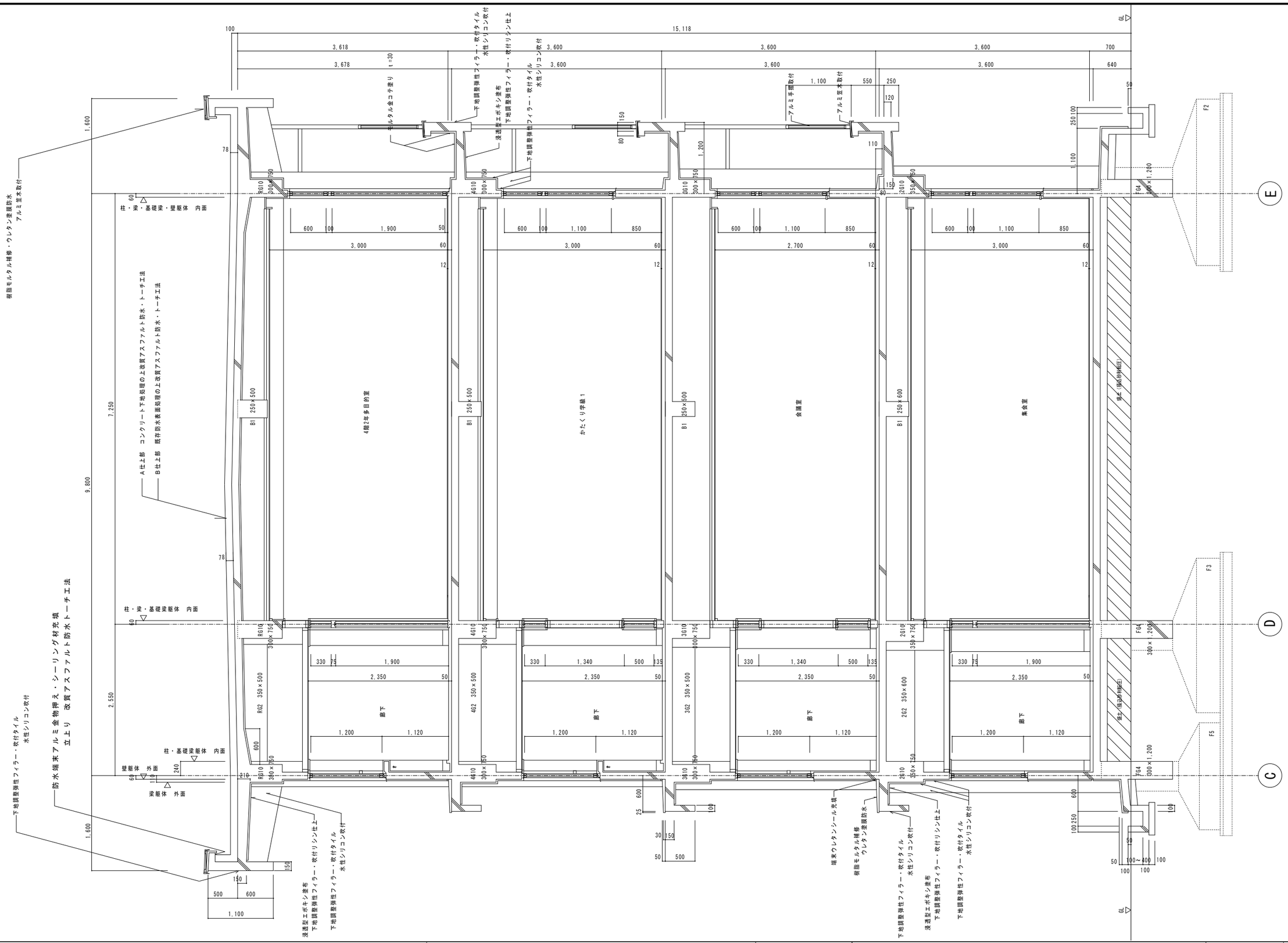


背面図

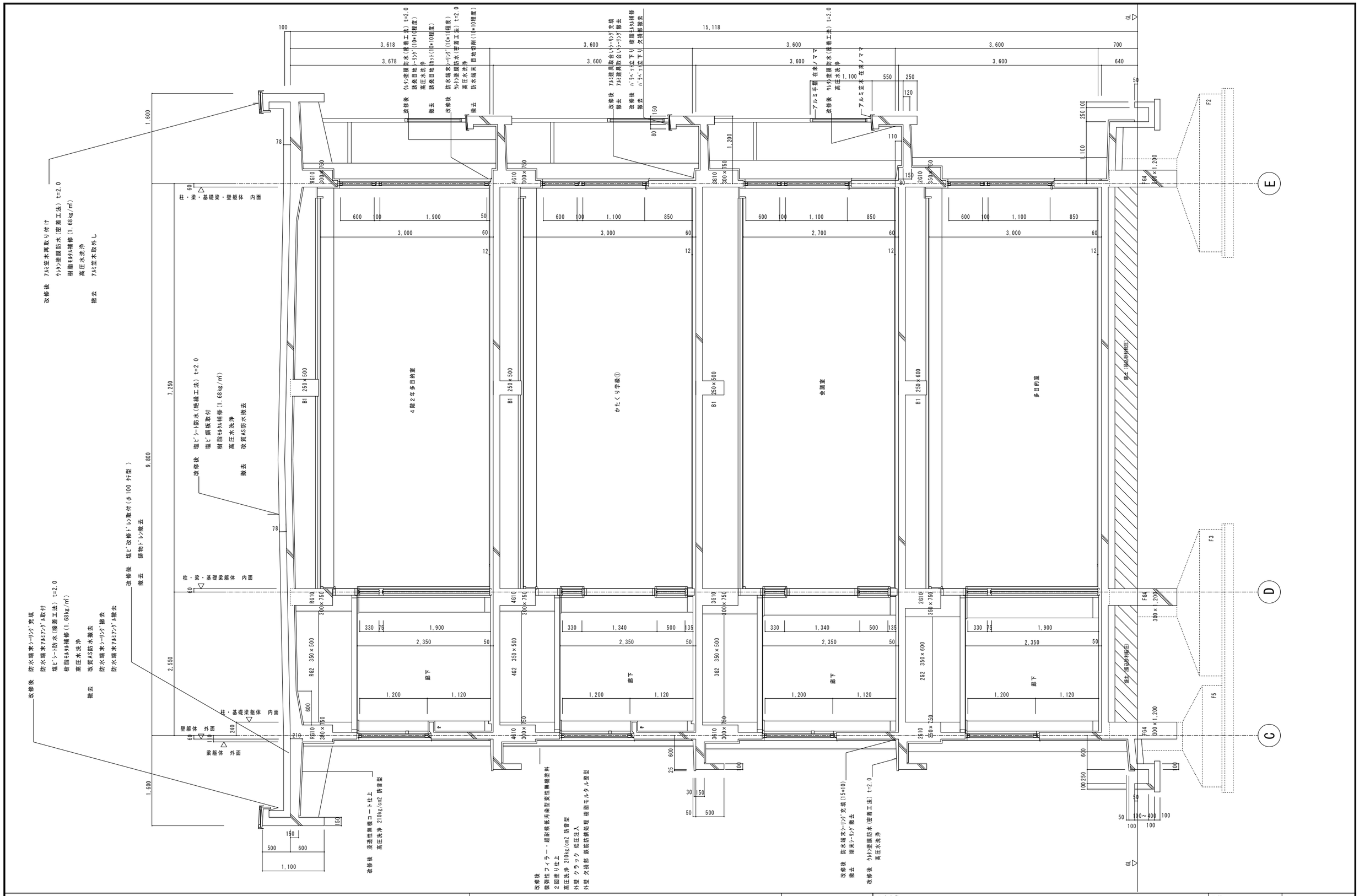
一級建築士事務所　新潟県知事登録　（リ）１３５９号
株式会社　関矢設計事務所
郵便番号　946-0111　新潟県魚沼市並柳182番地　TEL　025-799-2122
管理建築士
一級建築士　第228811号
関　矢　茂　信

工事名称	4学工第12号　広神中学校校舎外部改修工事
図面名称	管理教室棟２　改修後 立面図
日付	2022年3月
縮尺	1：100

A-54

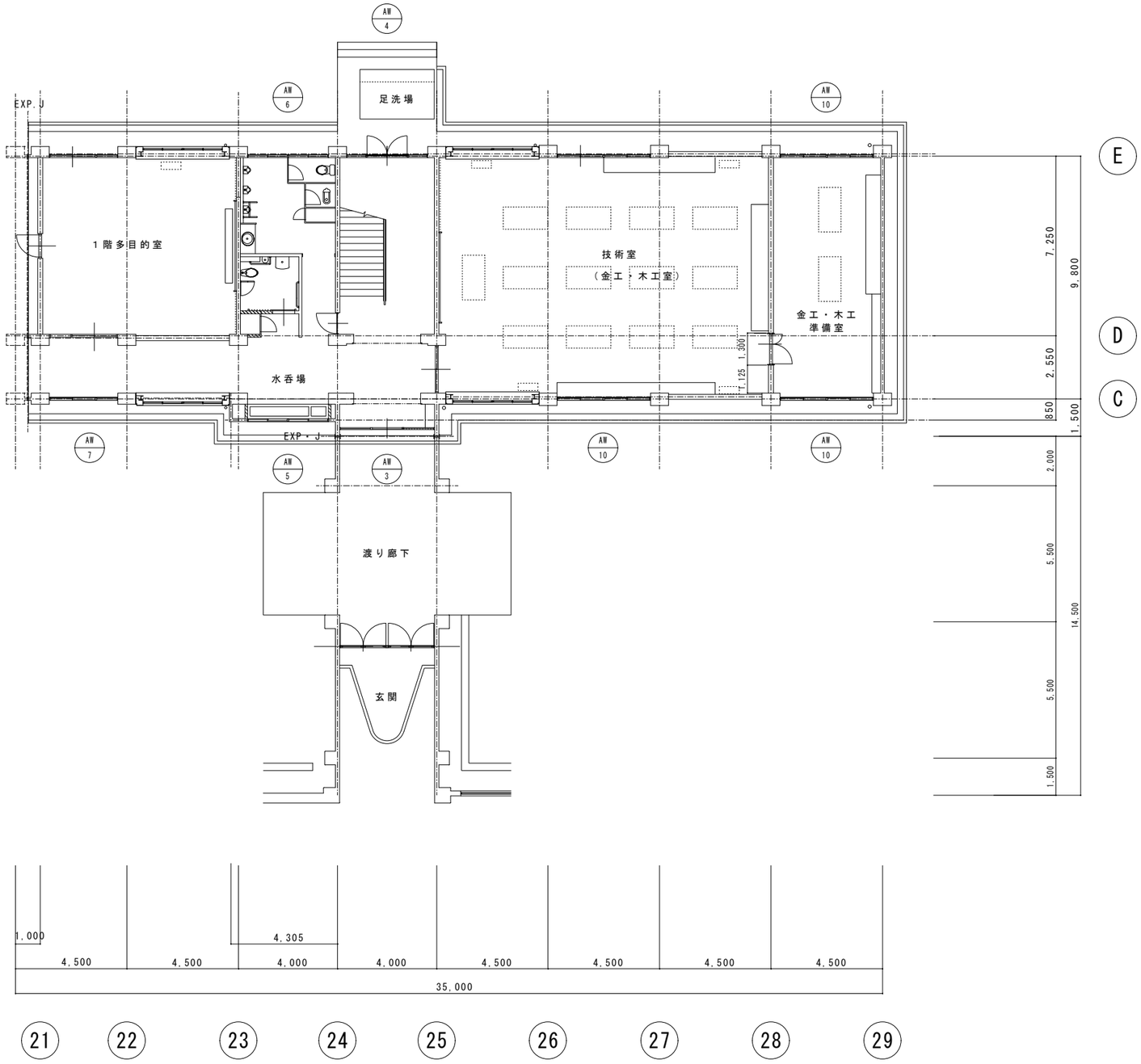


一級建築士事務所 新潟県知事登録 （り）１３５９号 株式会社 関矢設計事務所 郵便番号 946-0111 新潟県魚沼市並柳182番地 TEL 025-799-2122	管理建築士 一級建築士 第228811号 関 矢 茂 信	工事名称 4学工第12号 広神中学校校舎外部改修工事 図面名称 管理教室棟２ 現況 矩計図	日付 2022年3月 縮尺 1：30 A-55



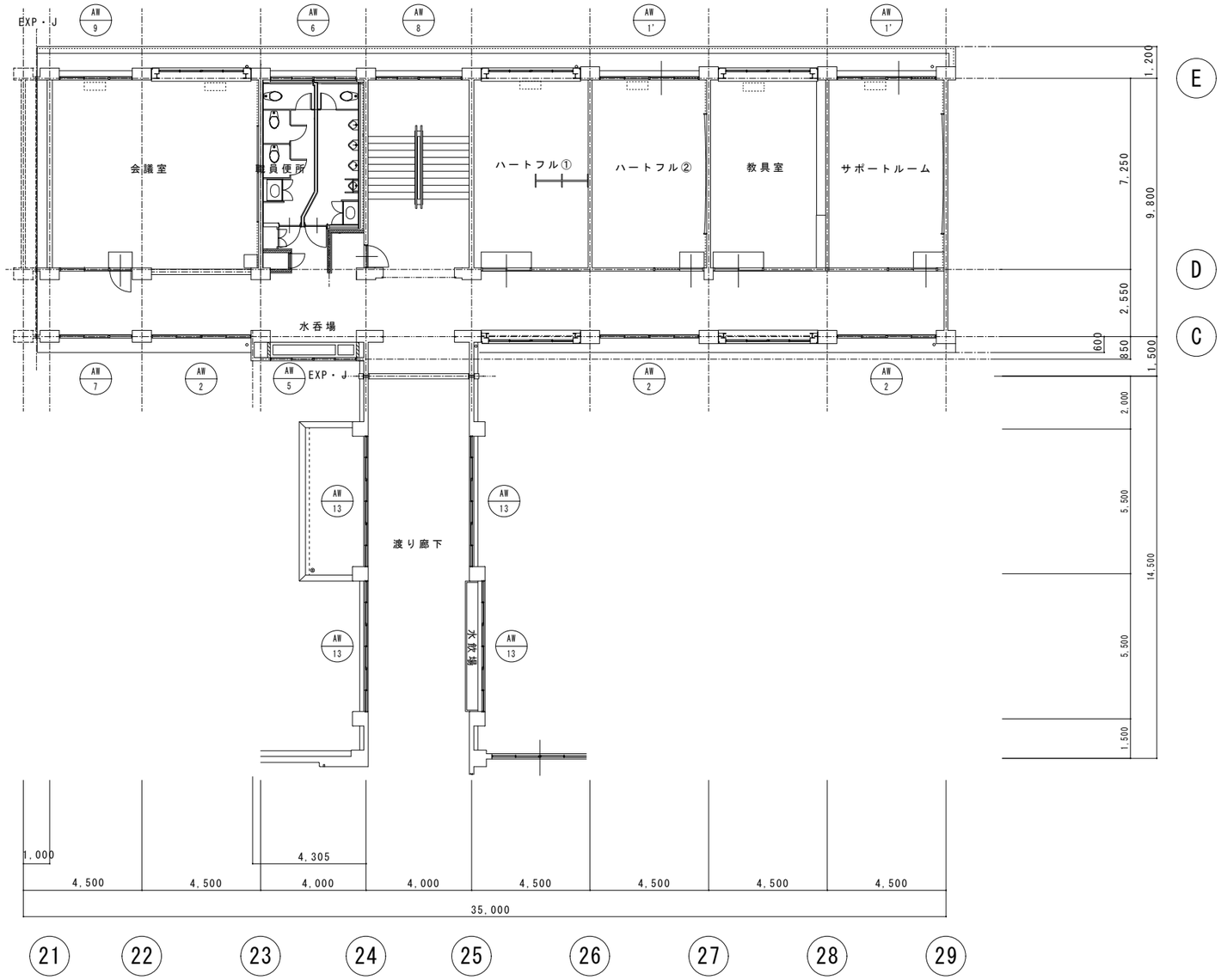
一級建築士事務所　新潟県知事登録　（リ）１３５９号 株式会社　関矢設計事務所 郵便番号　946-0111　新潟県魚沼市並柳182番地　℡　025-799-2122	管理建築士 一級建築士　第228811号 関　矢　茂　信	工事名称　4学工第12号　広神中学校校舎外部改修工事 図面名称　管理教室棟２　改修後 矩計図	日付　2022年3月 縮尺　1：30

A-56



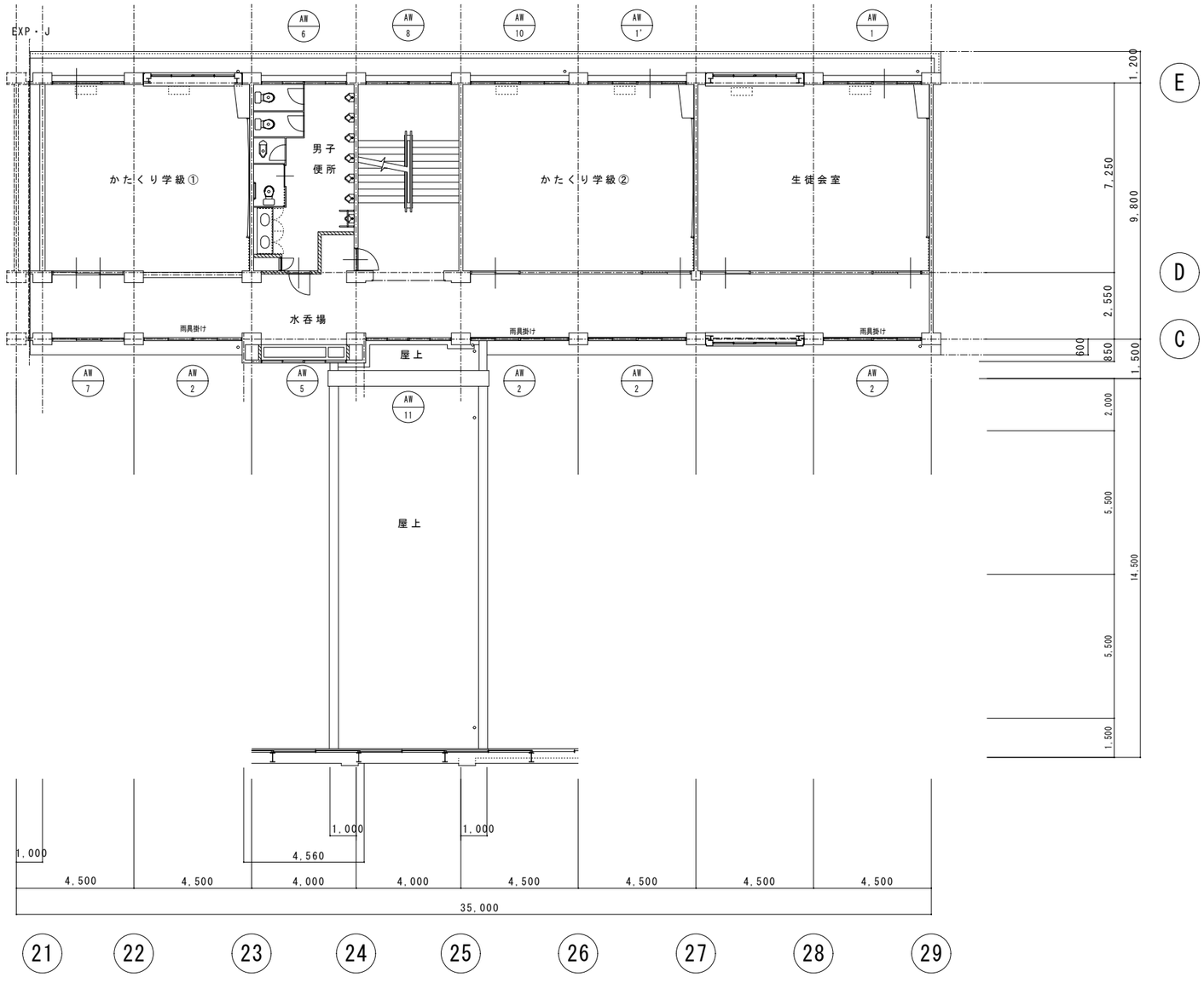
1階建具符号図　S=1:100

一級建築士事務所　新潟県知事登録　（り）１３５９号 株式会社　関矢設計事務所 郵便番号　946-0111　新潟県魚沼市並柳182番地　℡　025-799-2122	管理建築士 一級建築士　第228811号 関　矢　茂　信	工事名称 4学工第12号　広神中学校校舎外部改修工事	日付 2022年3月	A-57
		図面名称 管理教室棟２　1階建具符号図	縮尺 1:100	



2階建具符号図　S=1:100

一級建築士事務所　新潟県知事登録　（り）１３５９号 株式会社　関矢設計事務所 郵便番号　946-0111　新潟県魚沼市並柳182番地　℡　025-799-2122	管理建築士 一級建築士　第228811号 関　矢　茂　信	工事名称 4学工第12号　広神中学校校舎外部改修工事	日付 2022年3月	A-58
		図面名称 管理教室棟２　2階建具符号図	縮尺 1:100	

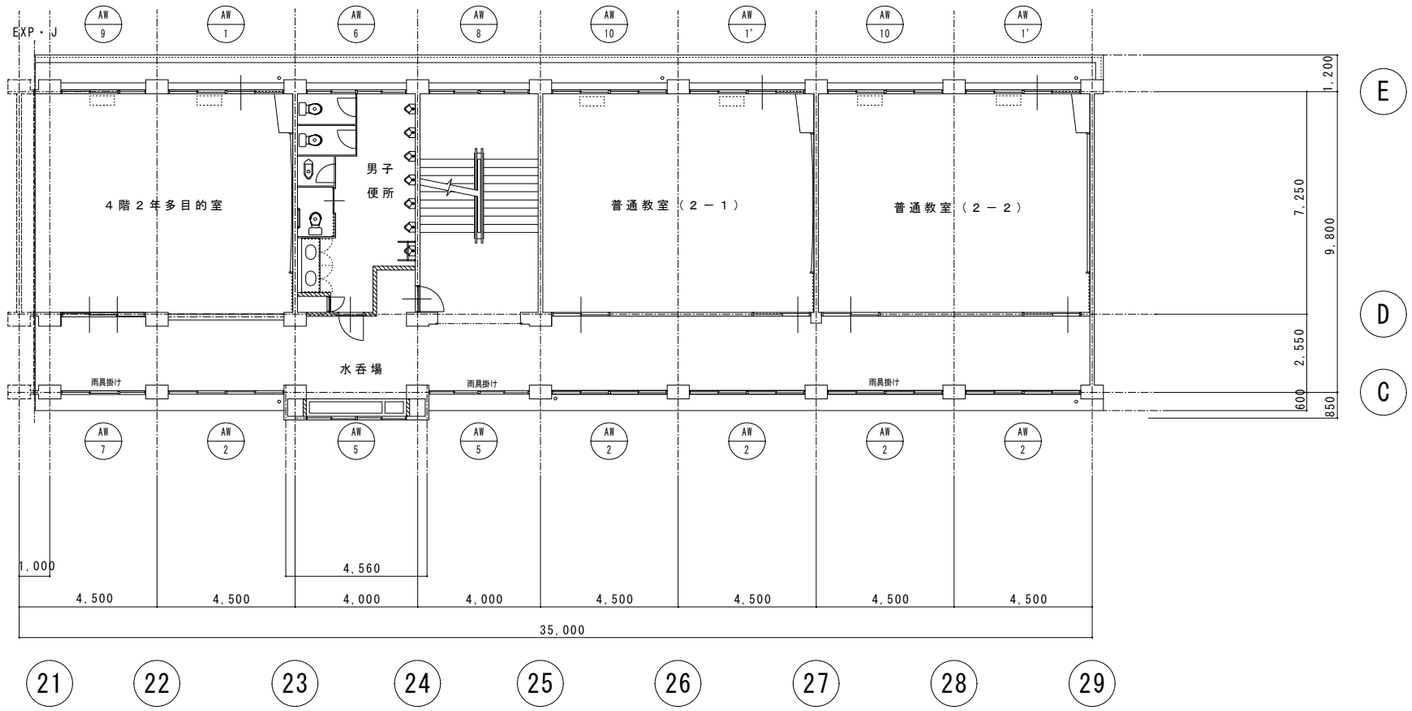


3階建具符号図　S=1:100

一級建築士事務所　新潟県知事登録　（り）１３５９号
株式会社　関矢設計事務所
郵便番号　946-0111　新潟県魚沼市並柳182番地　℡　025-799-2122

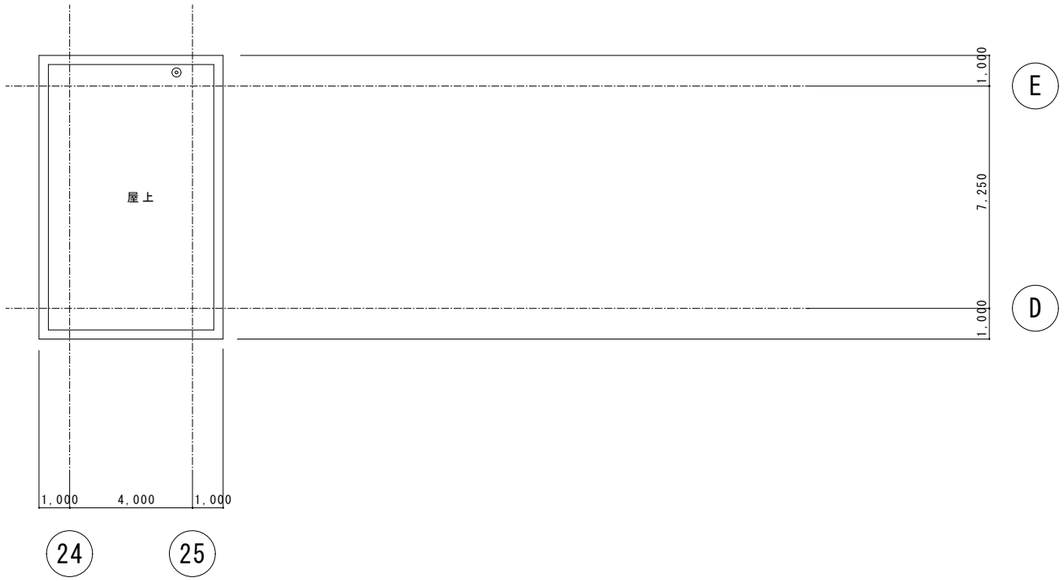
管理建築士
一級建築士　第228811号
関　矢　茂　信

工事名称	4学工第12号　広神中学校校舎外部改修工事
図面名称	管理教室棟２　3階建具符号図
日付	2022年3月
縮尺	1:100
	A-59

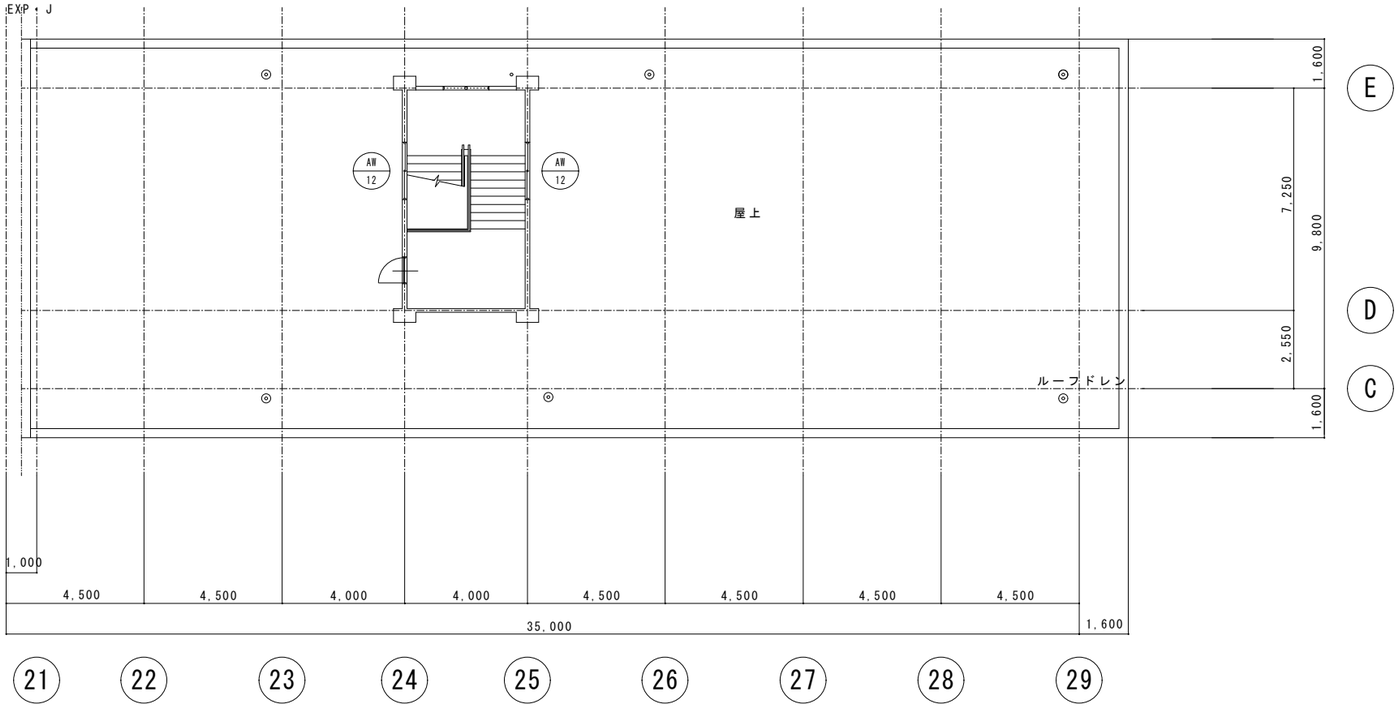


4階建具符号図　S=1:100

一級建築士事務所　新潟県知事登録（リ）1359号 株式会社　関矢設計事務所 郵便番号 946-0111　新潟県魚沼市並柳182番地　℡ 025-799-2122	管理建築士 一級建築士 第228811号 関 矢 茂 信	工事名称 4学工第12号　広神中学校校舎外部改修工事	日付 2022年3月	A-60
		図面名称 管理教室棟２　4階建具符号図	縮尺 1:100	

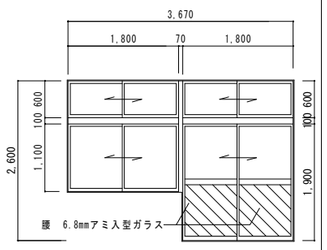
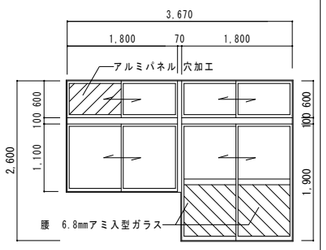
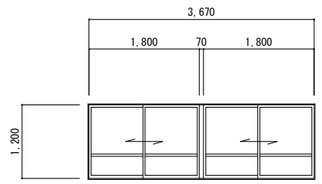
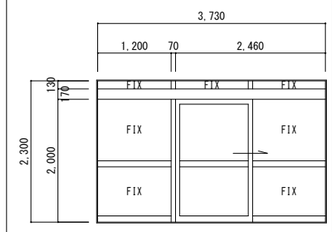
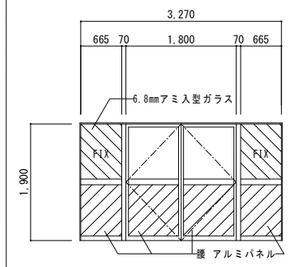
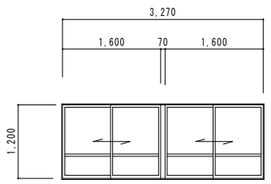
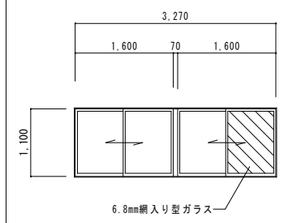


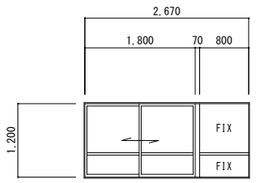
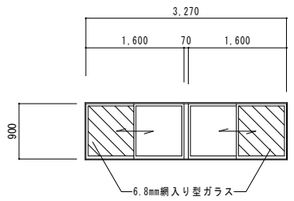
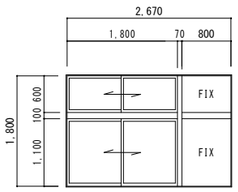
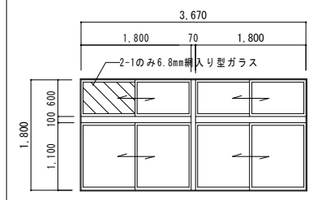
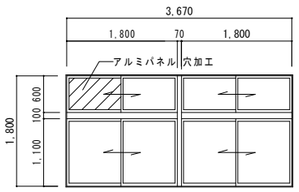
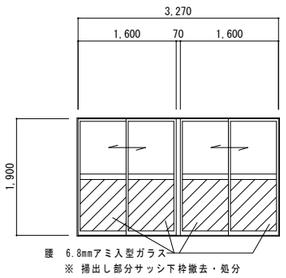
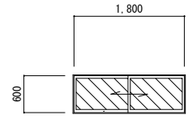
PHR階平面図　S=1:100

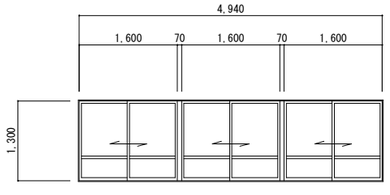


R階建具符号図　S=1:100

一級建築士事務所　新潟県知事登録　（リ）１３５９号 株式会社　関矢設計事務所 郵便番号　946-0111　新潟県魚沼市並柳182番地　℡　025-799-2122	管理建築士 一級建築士　第228811号 関　矢　茂　信	工事名称 4学工第12号　広神中学校校舎外部改修工事 図面名称 管理教室棟２　R階建具符号図	日付 2022年3月 縮尺 1:100	A-61

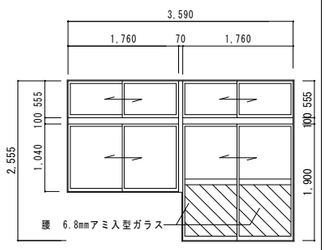
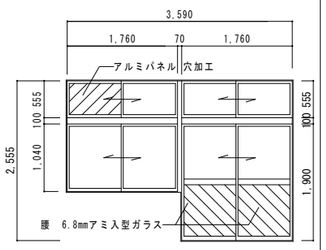
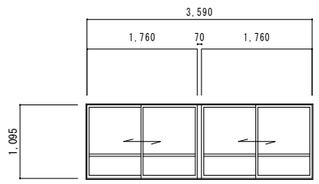
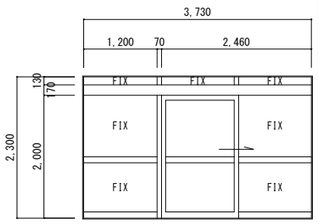
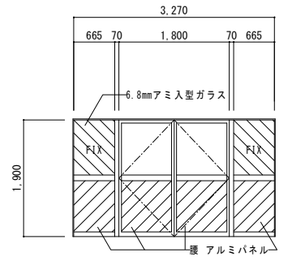
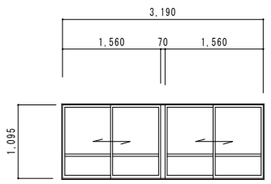
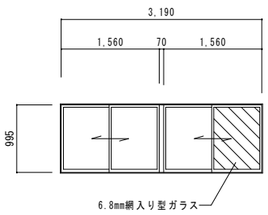
符号・型式	AW 1 ランマ袖引違窓付引違戸	AW 1' ランマ袖引違窓付引違戸	AW 2 引違窓２連窓	AW 3 ランマFIX窓片引戸	AW 4 両袖FIX窓両開框ドア	AW 5 引違窓２連窓	AW 6 引違窓２連窓
形状・寸法	 ※ 掃出し部分サッシ下枠撤去・処分	 ※ 掃出し部分サッシ下枠撤去・処分					
位置・数量	生徒会室、４階２年多目的室 2	ﾊｰﾄﾌﾙ②、ｻﾎﾟｰﾄﾙｰﾑ、かたくり学級②、普通教室2-1,2-2 5	廊下 13	廊下 1	１階階段室 1	廊下 5	職員便所、男子便所 4
仕上	アルミアルマイト	アルミアルマイト	アルミアルマイト	アルミアルマイト	アルミアルマイト	アルミアルマイト	アルミアルマイト
ガラス	3.0mm透明　腰 6.8mmアミ入型ガラス	3.0mm透明　腰 6.8mmアミ入型ガラス	3.0mm透明	透明強化ガラス 3.0mm透明	3.0mm透明　6.8mmアミ入型ガラス	3.0mm透明	3.0mmすりガラス　6.8mm網入り型ガラス
金物	網戸 W900×H1,100 付属品一式　アングル　二重水切	付属品一式　アングル　二重水切	付属品一式　アングル　二重水切	付属品一式　アングル　引手　二重水切	付属品一式　握り玉　丁番　DC　二重水切	付属品一式　アングル　二重水切	付属品一式　アングル　二重水切
施錠	クレセント	クレセント	クレセント	シリンダー錠	シリンダー錠	クレセント	クレセント
見込・備考	70　既存撤去・処分	70　既存撤去・処分	70　既存撤去・処分	100	70	70　既存撤去・処分	70　既存撤去・処分

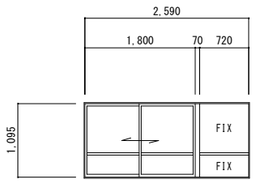
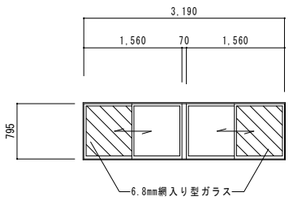
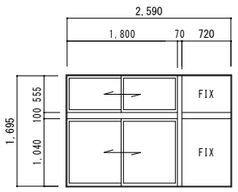
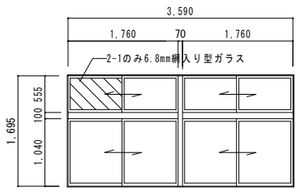
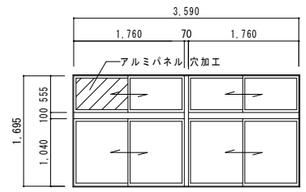
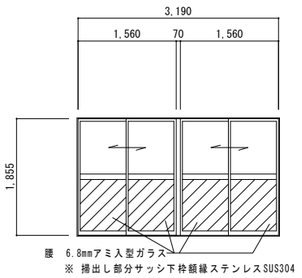
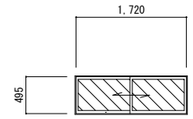
符号・型式	AW 7 FIX窓引違窓２連窓	AW 8 引違窓２連窓	AW 9 ランマ袖FIX窓付引違窓	AW 10 ランマ袖FIX窓付引違窓	AW 10' ランマ袖FIX窓付引違窓	AW 11 引違戸２連窓	AW 12 引違窓
形状・寸法						 ※ 掃出し部分サッシ下枠撤去・処分	
位置・数量	廊下 4	階段室 3	会議室、４階２年多目的室 2	技術室、技術準備室、かたくり学級②、普通教室2-1,2-2 5	技術準備室 1	廊下 1	階段室 2
仕上	アルミアルマイト	アルミアルマイト	アルミアルマイト	アルミアルマイト	アルミアルマイト	アルミアルマイト	アルミアルマイト
ガラス	3.0mm透明	3.0mm透明　6.8mmアミ入型ガラス	3.0mm透明	3.0mm透明	3.0mm透明	3.0mm透明　腰 6.8mmアミ入型ガラス	6.8mmアミ入型ガラス
金物	付属品一式　アングル　二重水切	付属品一式　アングル　二重水切	網戸 W900×H1,100（４階２年多目的室のみ）*1 付属品一式　アングル　二重水切	付属品一式　アングル　二重水切	付属品一式　アングル　二重水切	付属品一式　アングル　二重水切	付属品一式　アングル　二重水切
施錠	クレセント	クレセント	クレセント	クレセント	クレセント	クレセント シリンダー錠	クレセント
見込・備考	70　既存撤去・処分	70　既存撤去・処分	70　既存撤去・処分	70　既存撤去・処分	70　既存撤去・処分	70　既存撤去・処分	70　既存撤去・処分

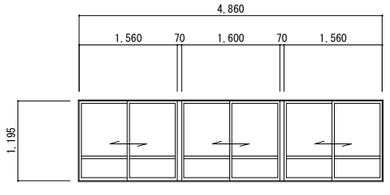
符号・型式	AW 13 引違窓３連窓
形状・寸法	
位置・数量	渡り廊下 4
仕上	アルミアルマイト
ガラス	3.0mm透明
金物	付属品一式　アングル　二重水切
施錠	クレセント
見込・備考	70　既存撤去・処分

一級建築士事務所　新潟県知事登録　（リ）１３５９号
株式会社　関矢設計事務所
郵便番号　946-0111　新潟県魚沼市並柳182番地　TEL　025-799-2122
管理建築士
一級建築士　第228811号
関　矢　茂　信

工事名称：4学工第12号　広神中学校校舎外部改修工事
図面名称：管理教室棟２　現況建具表
日付：2022年3月
縮尺：1:50
A-62

符号・型式	AW 1 ランマ袖引違窓付引違戸（カバー工法）	AW 1' ランマ袖引違窓付引違戸（カバー工法）	AW 2 引違窓２連窓（カバー工法）	AW 3 ランマFIX窓片引戸　建具調整	AW 4 両袖FIX窓両開框ドア　建具調整	AW 5 引違窓２連窓（カバー工法）	AW 6 引違窓２連窓（カバー工法）
形状・寸法	 ※ 掃出し部分サッシ下枠額縁ステンレスSUS304	 ※ 掃出し部分サッシ下枠額縁ステンレスSUS304					
位置・数量	生徒会室、４階２年多目的室　2	ﾊｰﾄﾌﾙ②、ｻﾎﾟｰﾄﾙｰﾑ、かたくり学級②、普通教室2-1,2-2　5	廊下　13	廊下　1	１階階段室　1	廊下　5	職員便所、男子便所　4
仕上	アルミアルマイト	アルミアルマイト	アルミアルマイト	アルミアルマイト	アルミアルマイト	アルミアルマイト	アルミアルマイト
ガラス	3.0mm透明　腰 6.8mmアミ入型ガラス	3.0mm透明　腰 6.8mmアミ入型ガラス	3.0mm透明	透明強化ガラス 3.0mm透明	3.0mm透明　6.8mmアミ入型ガラス	3.0mm透明	3.0mmすりガラス　6.8mm網入り型ガラス
金物	網戸 W880×H1,040*1,W880×H1,900*1,W880×H555*2	網戸 W880×H1,040*1,W880×H1,900*1,W880×H555*2	網戸 W880×H1,040*2			網戸 W780×H1,095*2	網戸 W780×H995*2
	付属品一式　アングル　二重水切	付属品一式　アングル　二重水切	付属品一式　アングル　二重水切	付属品一式　アングル　引手　二重水切	付属品一式　握り玉　丁番　DC　二重水切	付属品一式　アングル　二重水切	付属品一式　アングル　二重水切
施錠	クレセント	クレセント	クレセント	シリンダー錠	シリンダー錠	クレセント	クレセント
見込・備考	70	70	70	100	70	70	70

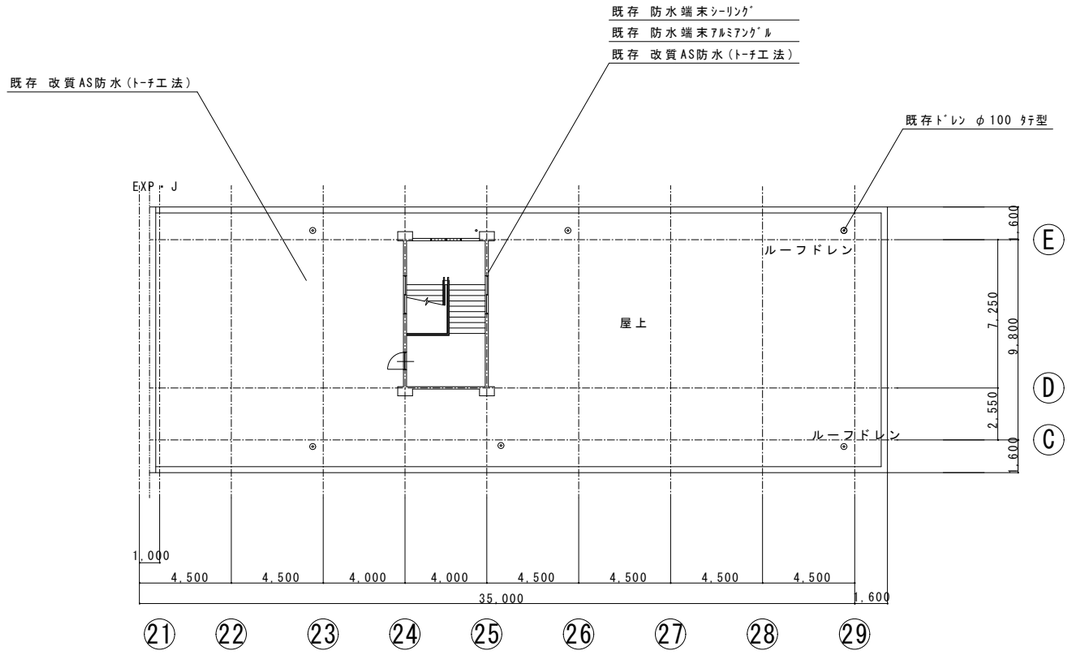
符号・型式	AW 7 FIX窓引違窓２連窓（カバー工法）	AW 8 引違窓２連窓（カバー工法）	AW 9 ランマ袖FIX窓付引違窓（カバー工法）	AW 10 ランマ袖FIX窓付引違窓（カバー工法）	AW 10' ランマ袖FIX窓付引違窓（カバー工法）	AW 11 引違戸２連窓（カバー工法）	AW 12 引違窓（カバー工法）
形状・寸法						 ※ 掃出し部分サッシ下枠額縁ステンレスSUS304	
位置・数量	廊下　4	階段室　3	会議室、４階２年多目的室　2	技術室、技術準備室、かたくり学級②、普通教室2-1,2-2　5	技術準備室　1	廊下　1	階段室　2
仕上	アルミアルマイト	アルミアルマイト	アルミアルマイト	アルミアルマイト	アルミアルマイト	アルミアルマイト	アルミアルマイト
ガラス	3.0mm透明	3.0mm透明　6.8mmアミ入型ガラス	3.0mm透明	3.0mm透明	3.0mm透明	3.0mm透明　腰 6.8mmアミ入型ガラス	6.8mmアミ入型ガラス
金物	網戸 W900×H1,095*1	網戸 W780×H795*2	網戸 W900×H1,100*1,W900×H495*1	網戸 W880×H1,040*2,W880×H555*2	網戸 W880×H1,040*2,W880×H555*2		網戸 W860×H495*1
	付属品一式　アングル　二重水切	付属品一式　アングル　二重水切	付属品一式　アングル　二重水切	付属品一式　アングル　二重水切	付属品一式　アングル　二重水切	付属品一式　アングル　二重水切	付属品一式　アングル　二重水切
施錠	クレセント	クレセント	クレセント	クレセント	クレセント	クレセント シリンダー錠	クレセント
見込・備考	70	70	70	70	70	70	70

符号・型式	AW 13 引違窓３連窓（カバー工法）
形状・寸法	
位置・数量	渡り廊下　4
仕上	アルミアルマイト
ガラス	3.0mm透明
金物	網戸 W780×H1,195*2,W800×H1,195*1
	付属品一式　アングル　二重水切
施錠	クレセント
見込・備考	70

一級建築士事務所　新潟県知事登録　（リ）１３５９号
株式会社　関矢設計事務所
郵便番号　946-0111　新潟県魚沼市並柳182番地　TEL　025-799-2122
管理建築士
一級建築士　第228811号
関　矢　茂　信

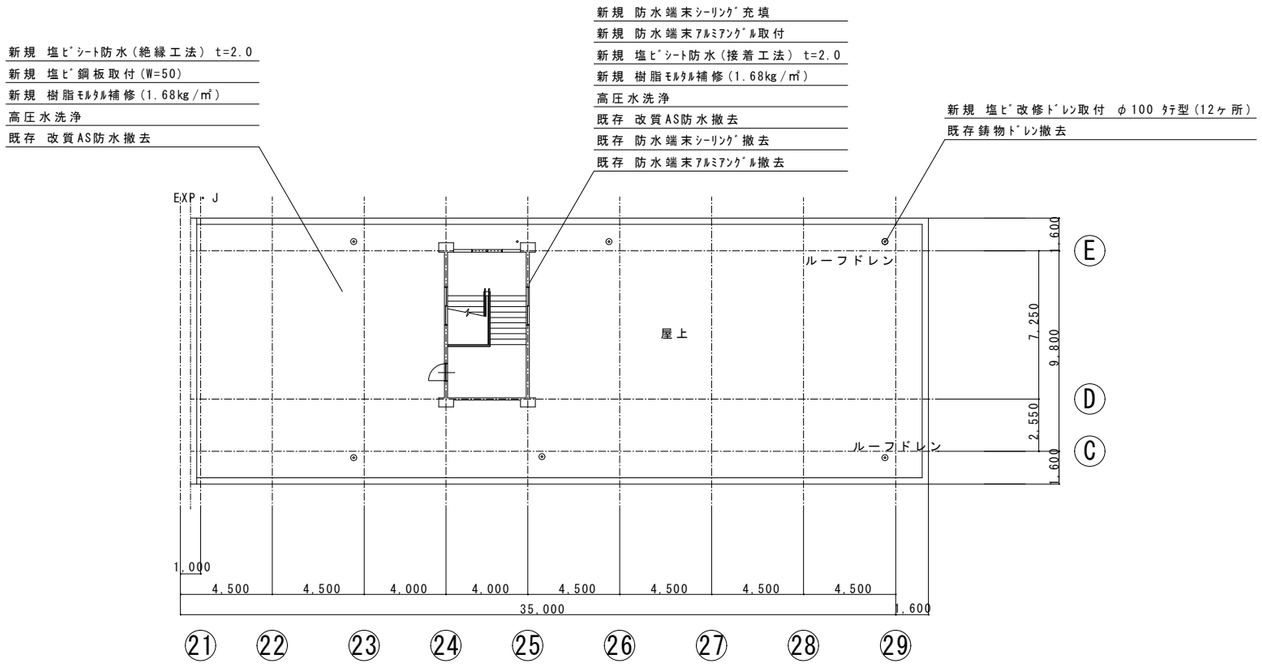
工事名称	日付	
4学工第12号　広神中学校校舎外部改修工事	2022年3月	A-63
図面名称：管理教室棟２　改修後建具表	縮尺 1:50	

現況　防水納まり図



R階平面図　S=1:100

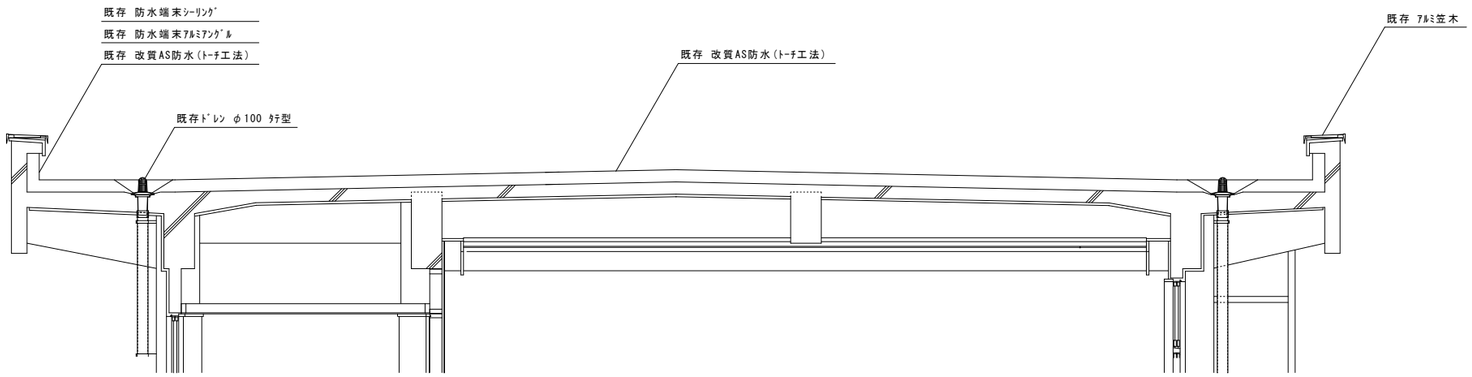
改修後　防水納まり図



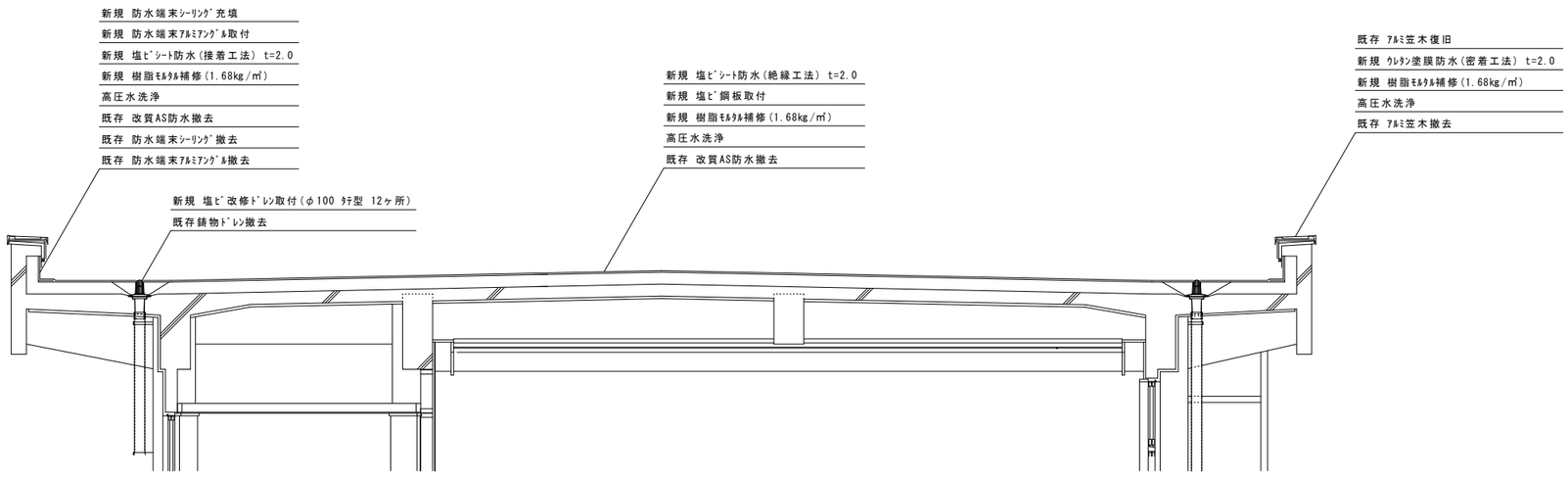
R階平面図　S=1:100

一級建築士事務所　新潟県知事登録（り）１３５９号 株式会社　関矢設計事務所 郵便番号 946-0111 新潟県魚沼市並柳182番地　℡ 025-799-2122	管理建築士 一級建築士 第228811号 関 矢 茂 信	工事名称 4学工第12号　広神中学校校舎外部改修工事	日付 H 年 月 日	A-64
		図面名称 管理教室棟２　R階屋根 防水納まり図(1)	縮尺 1：150	

現況　防水納まり図



改修後　防水納まり図



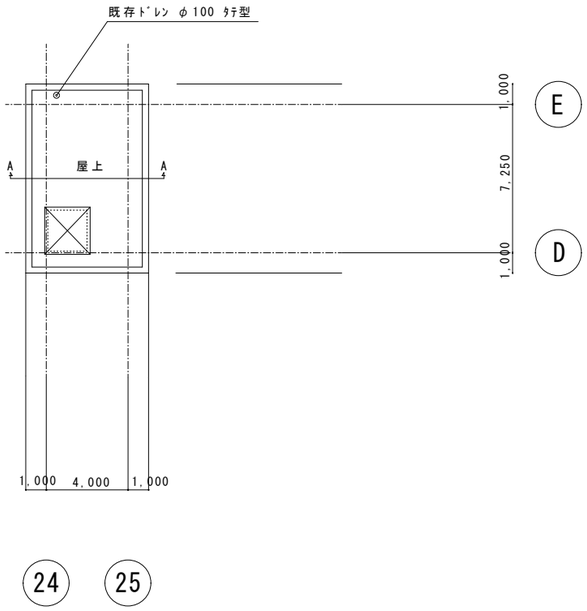
一級建築士事務所　新潟県知事登録　（リ）１３５９号
株式会社　関矢設計事務所
郵便番号　946-0111　新潟県魚沼市並柳182番地　℡　025-799-2122

管理建築士
一級建築士　第228811号
関　矢　茂　信

工事名称	4学工第12号　広神中学校校舎外部改修工事
図面名称	管理教室棟２ 防水納まり図（屋上屋根）２
日付	2022年3月
縮尺	1：30

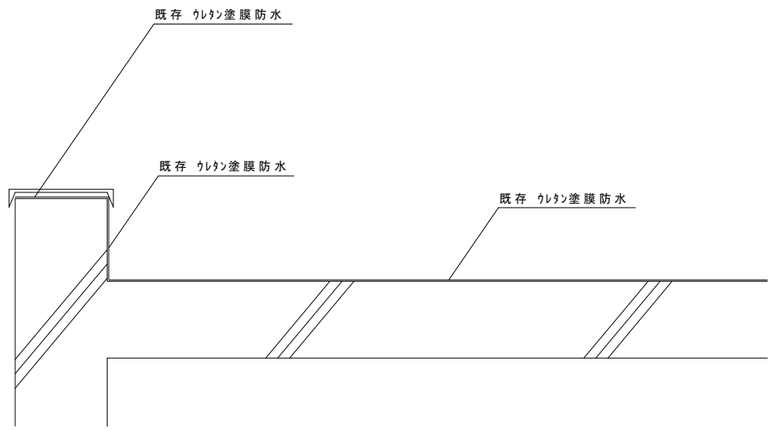
A-65

現況　防水納まり図

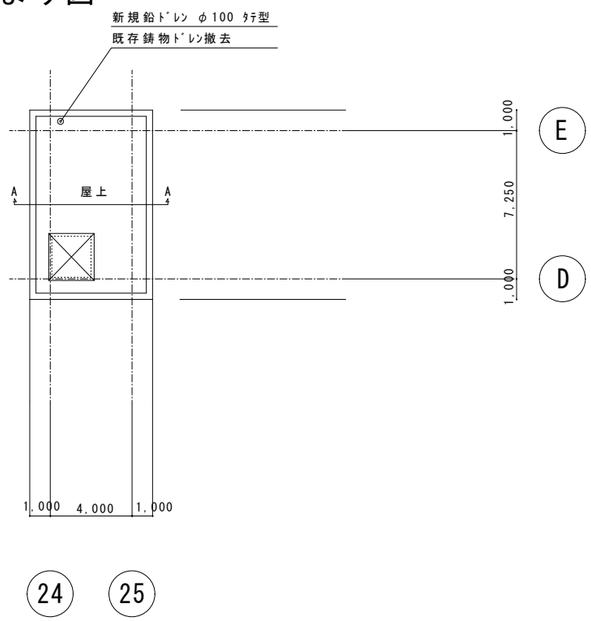


PR階平面図

現況　A-A 断面図(縮尺：Free)

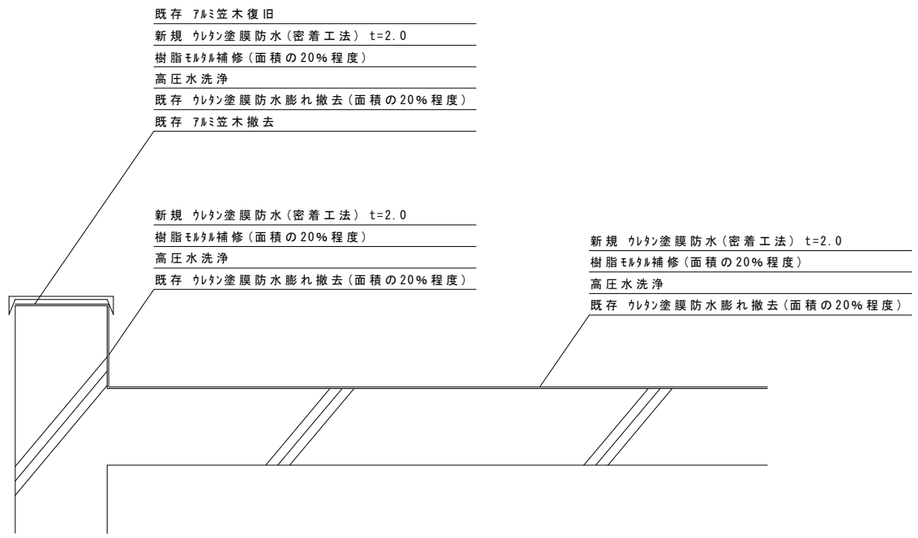


改修後　防水納まり図



PR階平面図

現況　A-A 断面図(縮尺：Free)



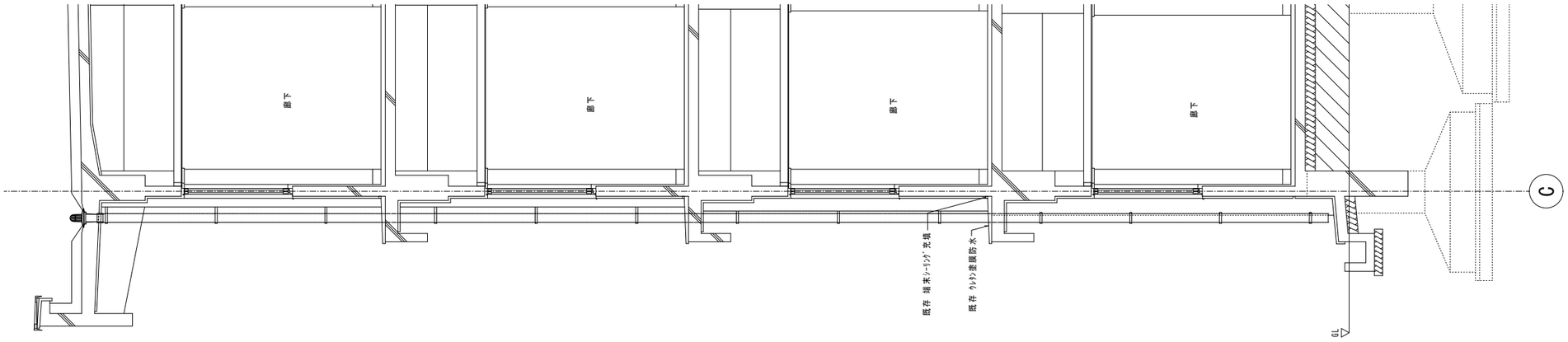
一級建築士事務所　新潟県知事登録　（リ）１３５９号
株式会社　関矢設計事務所
郵便番号　946-0111　新潟県魚沼市並柳182番地　TEL　025-799-2122

管理建築士
一級建築士　第228811号
関　矢　茂　信

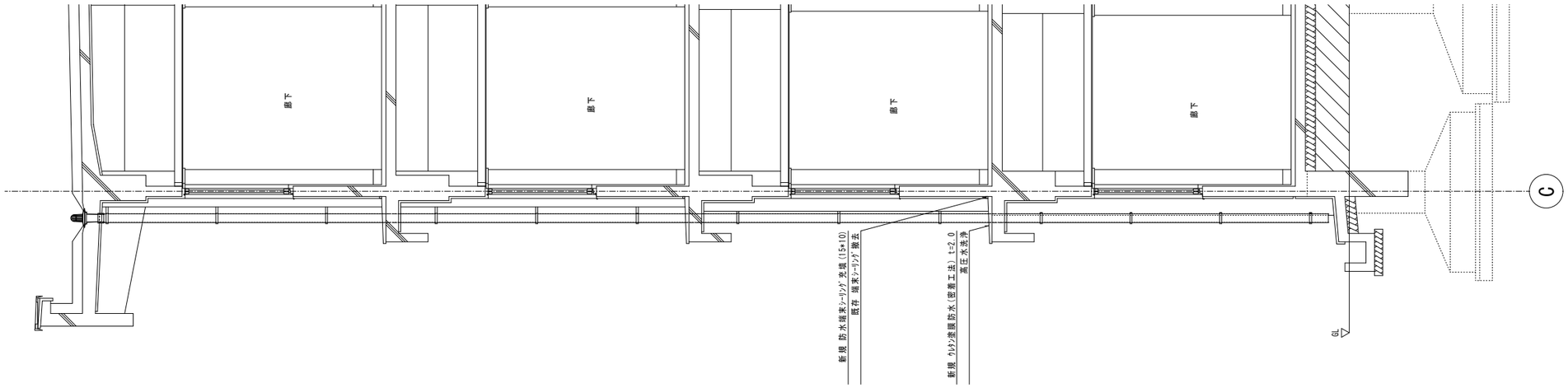
工事名称	4学工第12号　広神中学校校舎外部改修工事	日付	2022年3月
図面名称	管理教室棟２　防水納まり図（PH屋根）	縮尺	1：150

A-66

現況　防水納まり図

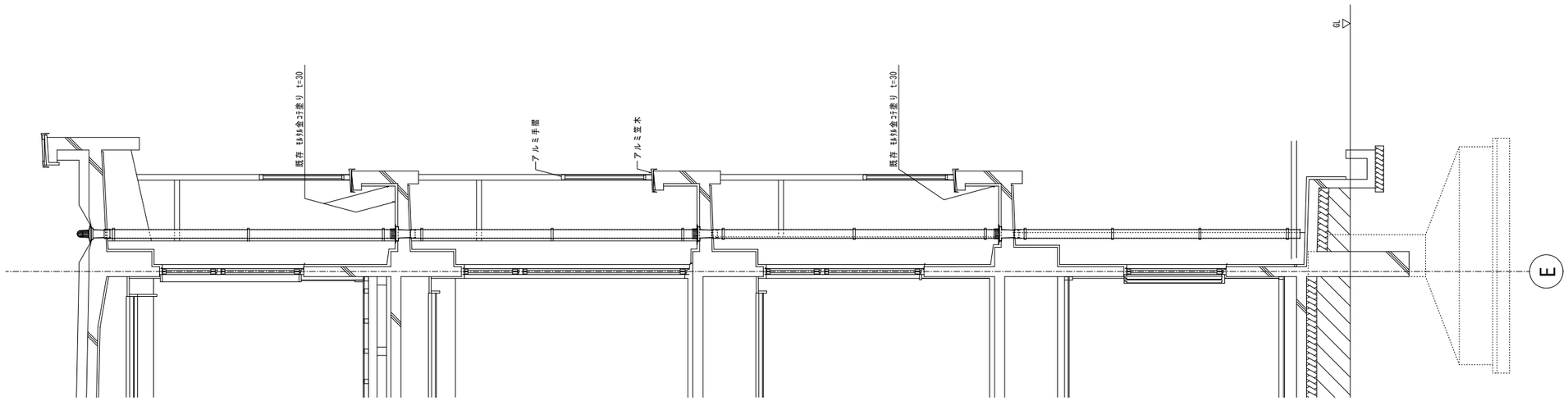


改修後　防水納まり図

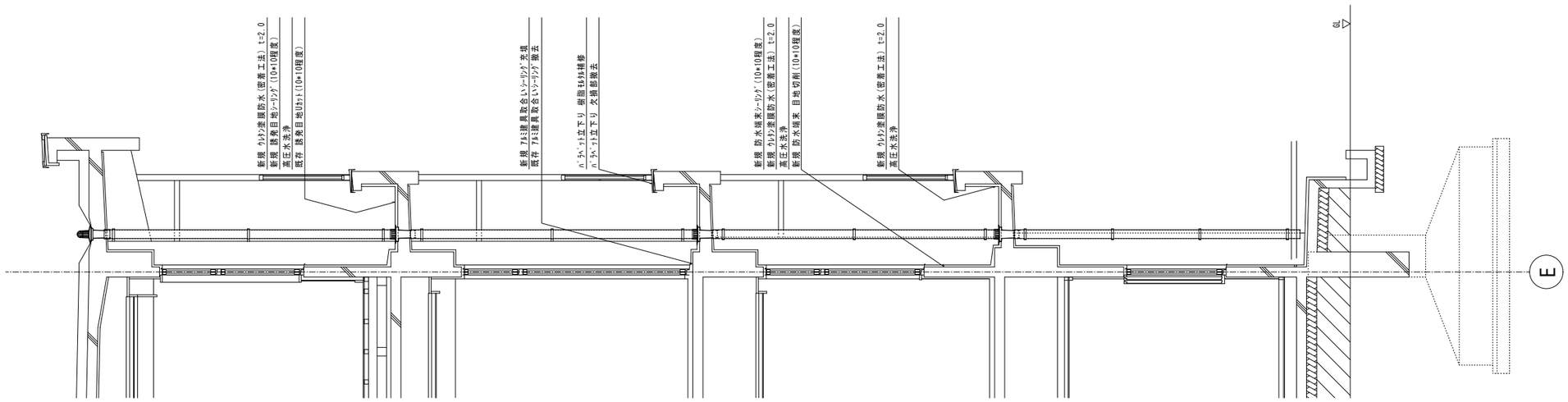


一級建築士事務所　新潟県知事登録　（リ）１３５９号 株式会社　関矢設計事務所 郵便番号　946-0111　新潟県魚沼市並柳182番地　TEL　025-799-2122	管理建築士 一級建築士　第228811号 関　矢　茂　信	工事名称 4学工第12号　広神中学校校舎外部改修工事	日付 2022年3月	A-67
		図面名称 管理教室棟２　防水納まり図（庇）	縮尺 1：30	

現況　防水納まり図

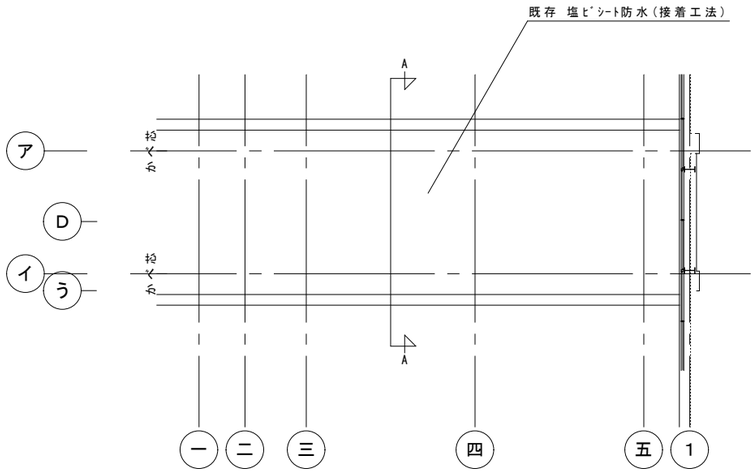


改修後　防水納まり図



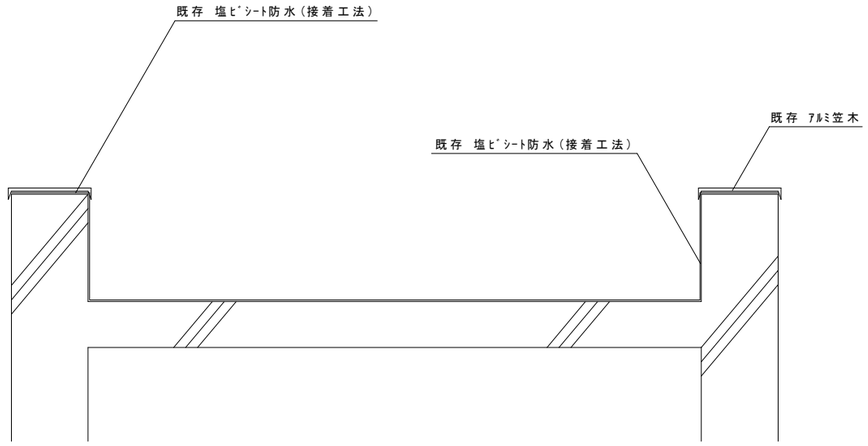
一級建築士事務所　新潟県知事登録　（リ）１３５９号 株式会社　関矢設計事務所 郵便番号　946-0111　新潟県魚沼市並柳182番地　℡　025-799-2122	管理建築士 一級建築士　第228811号 関　矢　茂　信	工事名称 4学工第12号　広神中学校校舎外部改修工事 図面名称 管理教室棟２　防水納まり図（バルコニー）	日付 2022年3月 縮尺 1：30	A-68

現況　防水納まり図

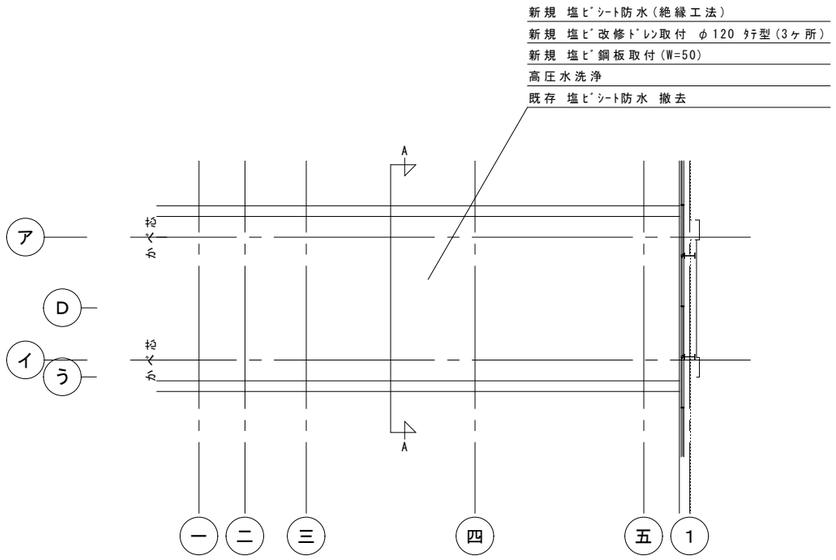


3 階 平 面 図　　S=1:100

現況　A-A 断面図(縮尺：Free)

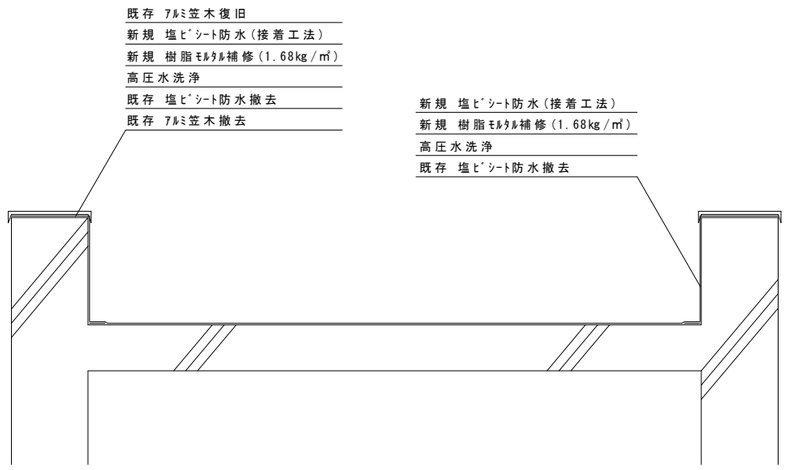


改修後　防水納まり図



3 階 平 面 図　　S=1:100

改修後　A-A断面図(縮尺：Free)



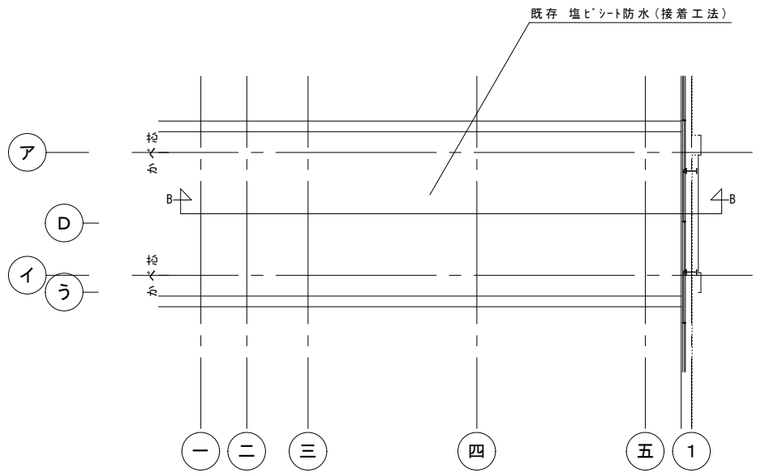
一級建築士事務所　新潟県知事登録　（リ）１３５９号
株式会社　関矢設計事務所
郵便番号　946-0111　新潟県魚沼市並柳182番地　℡　025-799-2122

管理建築士
一級建築士　第228811号
関　矢　茂　信

工事名称	4学工第12号　広神中学校校舎外部改修工事	日付	2022年3月
図面名称	管理教室棟２　防水収まり図（渡り廊下屋根）１	縮尺	1:150

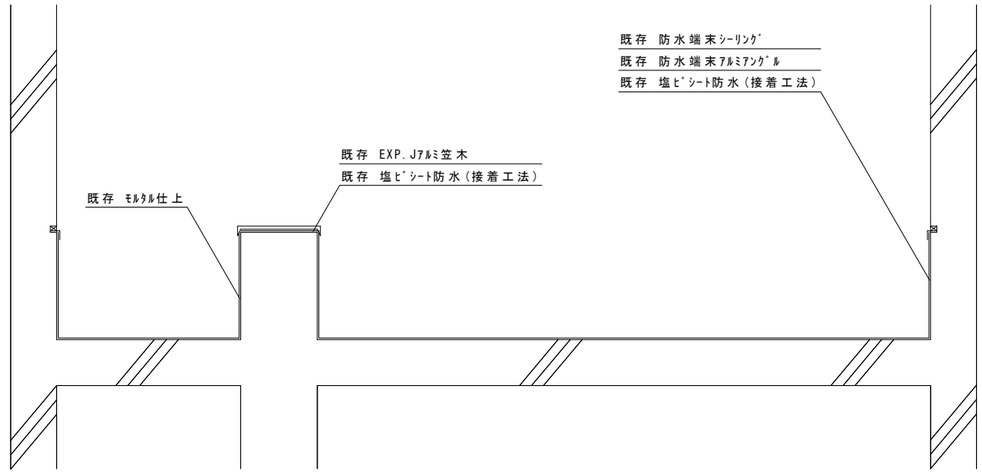
A-69

現況　防水納まり図

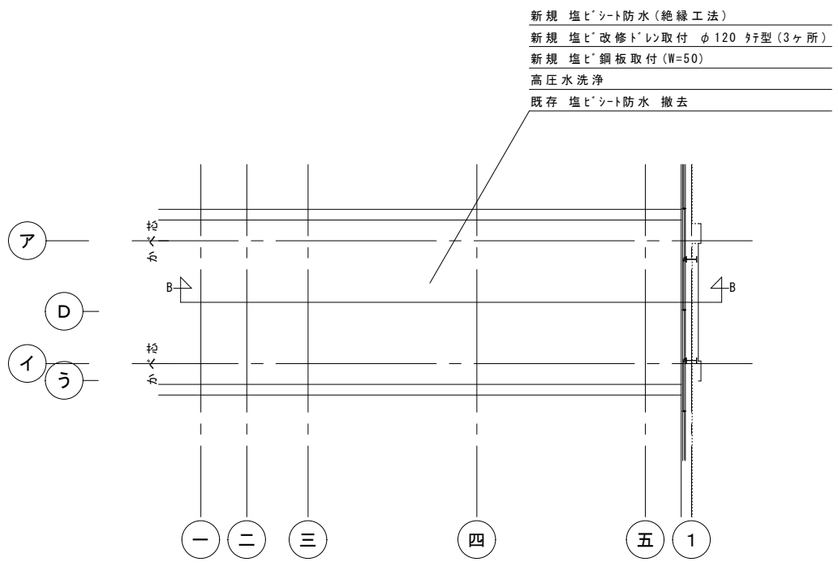


3 階 平 面 図　　S=1:100

現況　B-B 断面図(縮尺：Free)

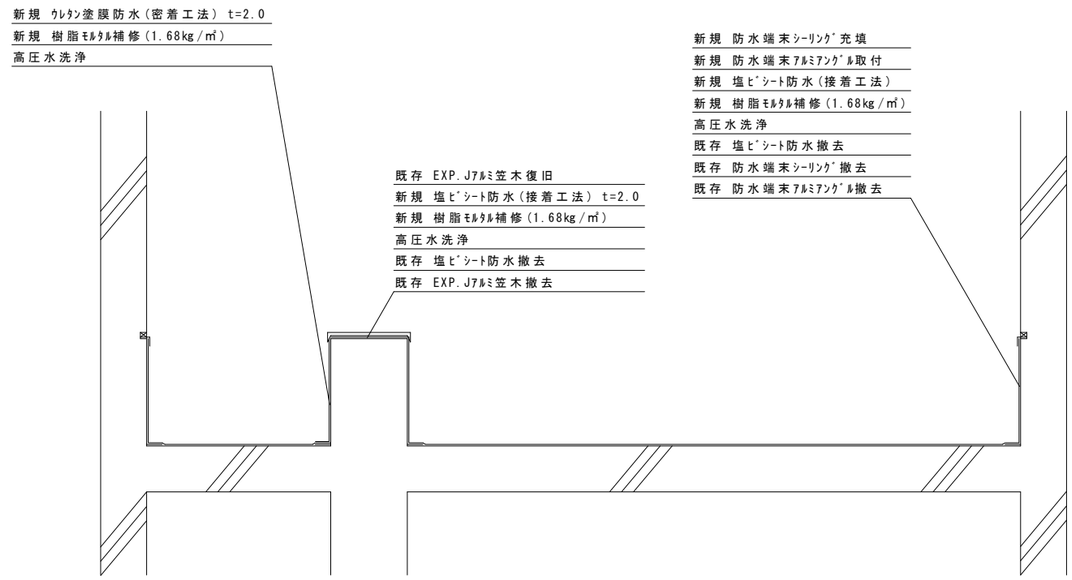


改修後　防水納まり図



3 階 平 面 図　　S=1:100

改修後　B-B断面図(縮尺：Free)

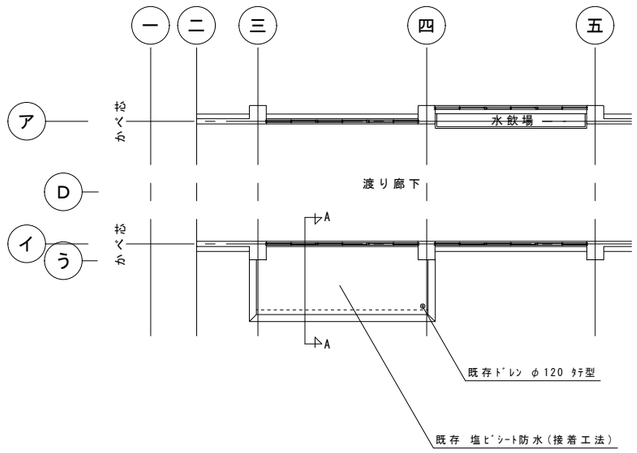


一級建築士事務所　新潟県知事登録　（リ）１３５９号
株式会社　関矢設計事務所
郵便番号　946-0111　新潟県魚沼市並柳182番地　℡　025-799-2122
管理建築士
一級建築士　第228811号
関　矢　茂　信

工事名称	4学工第12号　広神中学校校舎外部改修工事	日付	2022年3月
図面名称	管理教室棟２　防水収まり図（渡り廊下屋根）２	縮尺	1:150

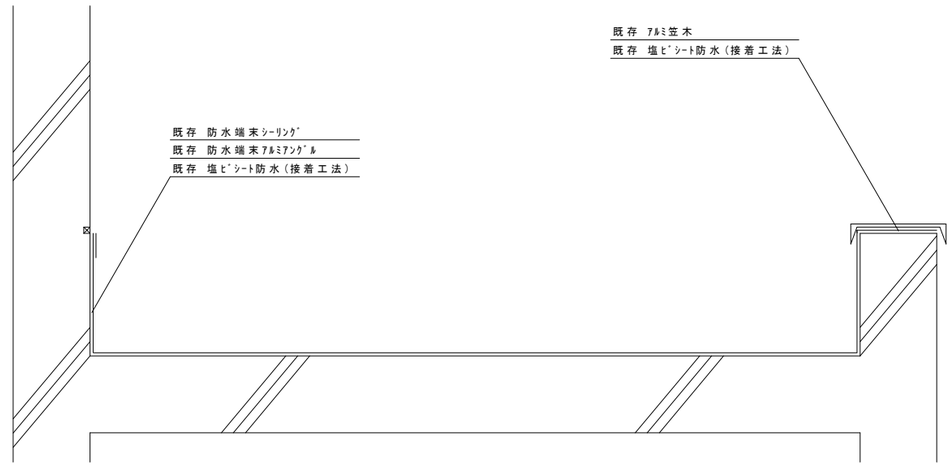
A-70

現況　防水納まり図

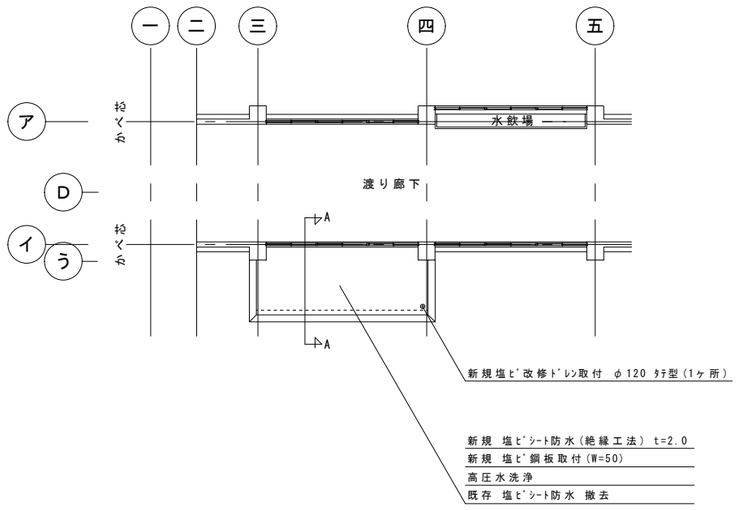


2 階 平 面 図　　S=1:100

現況　A-A 断面図（縮尺：Free）

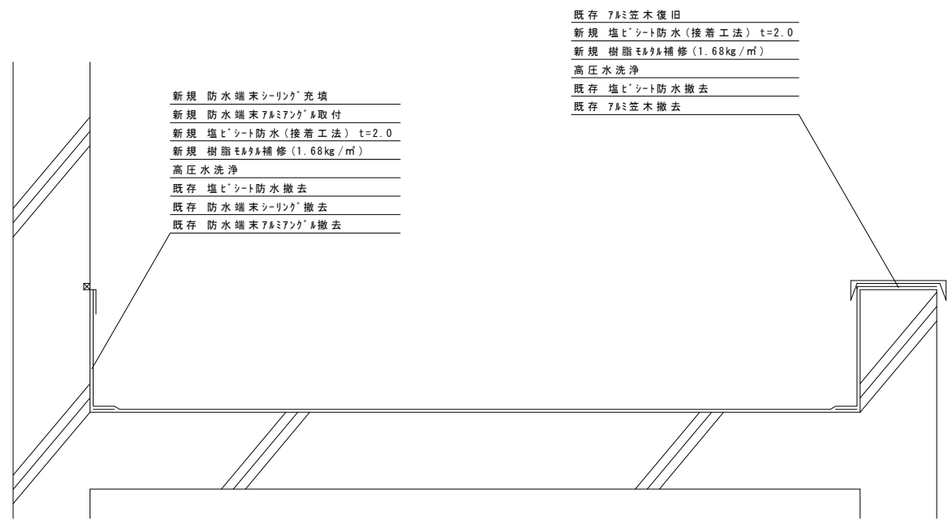


改修後　防水納まり図



2 階 平 面 図　　S=1:100

改修後　A-A 断面図（縮尺：Free）



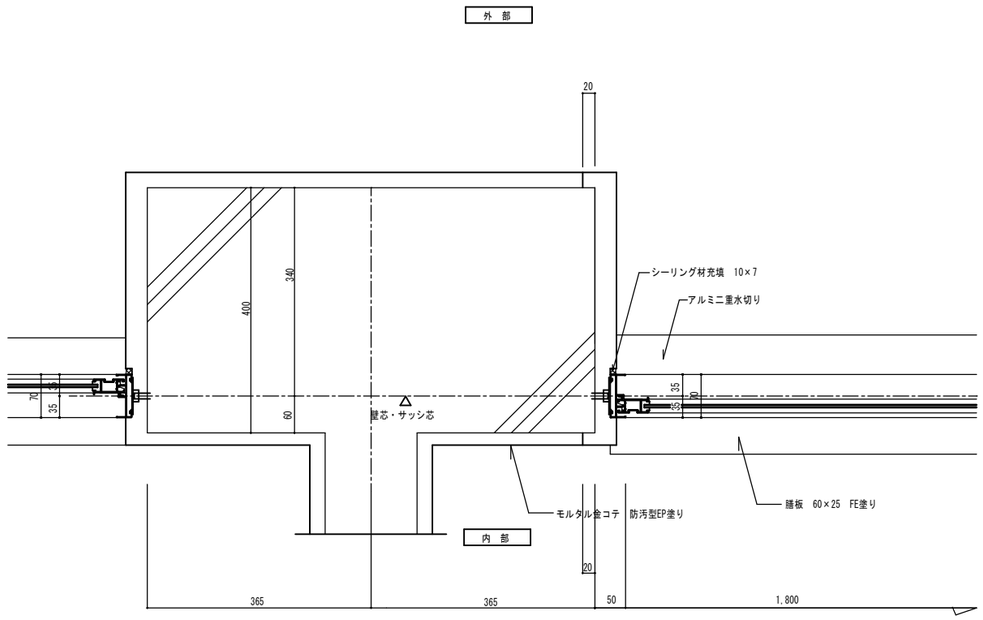
一級建築士事務所　新潟県知事登録　（リ）１３５９号
株式会社　関矢設計事務所
郵便番号　946-0111　新潟県魚沼市並柳182番地　℡　025-799-2122

管理建築士
一級建築士　第228811号
関　矢　茂　信

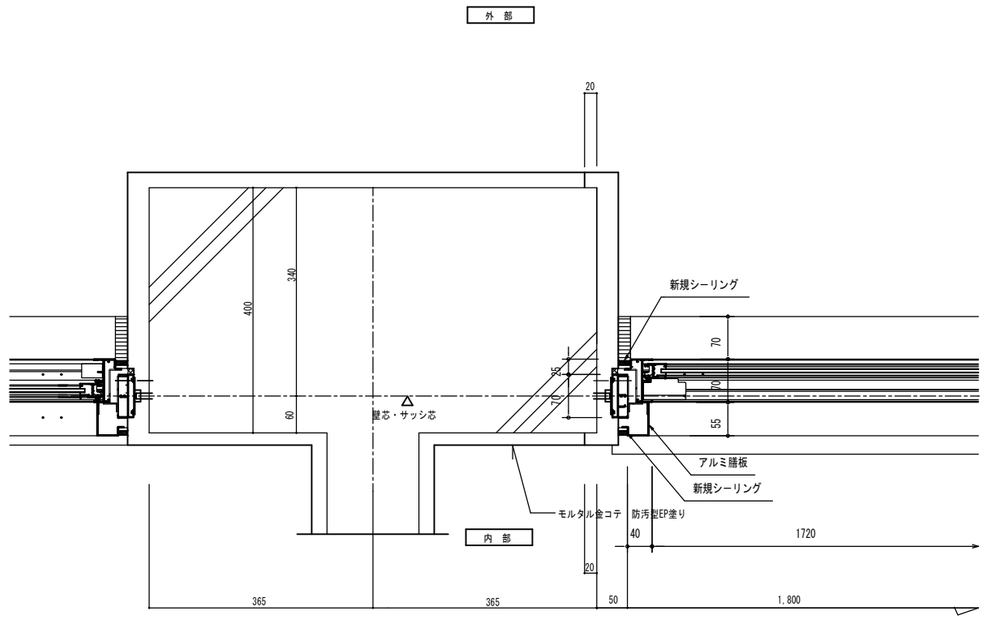
工事名称	4学工第12号　広神中学校校舎外部改修工事	日付	2022年3月
図面名称	管理教室棟２　防水収まり図（渡り廊下庇）	縮尺	1:150

A-71

現況　普通教室



改修後　普通教室



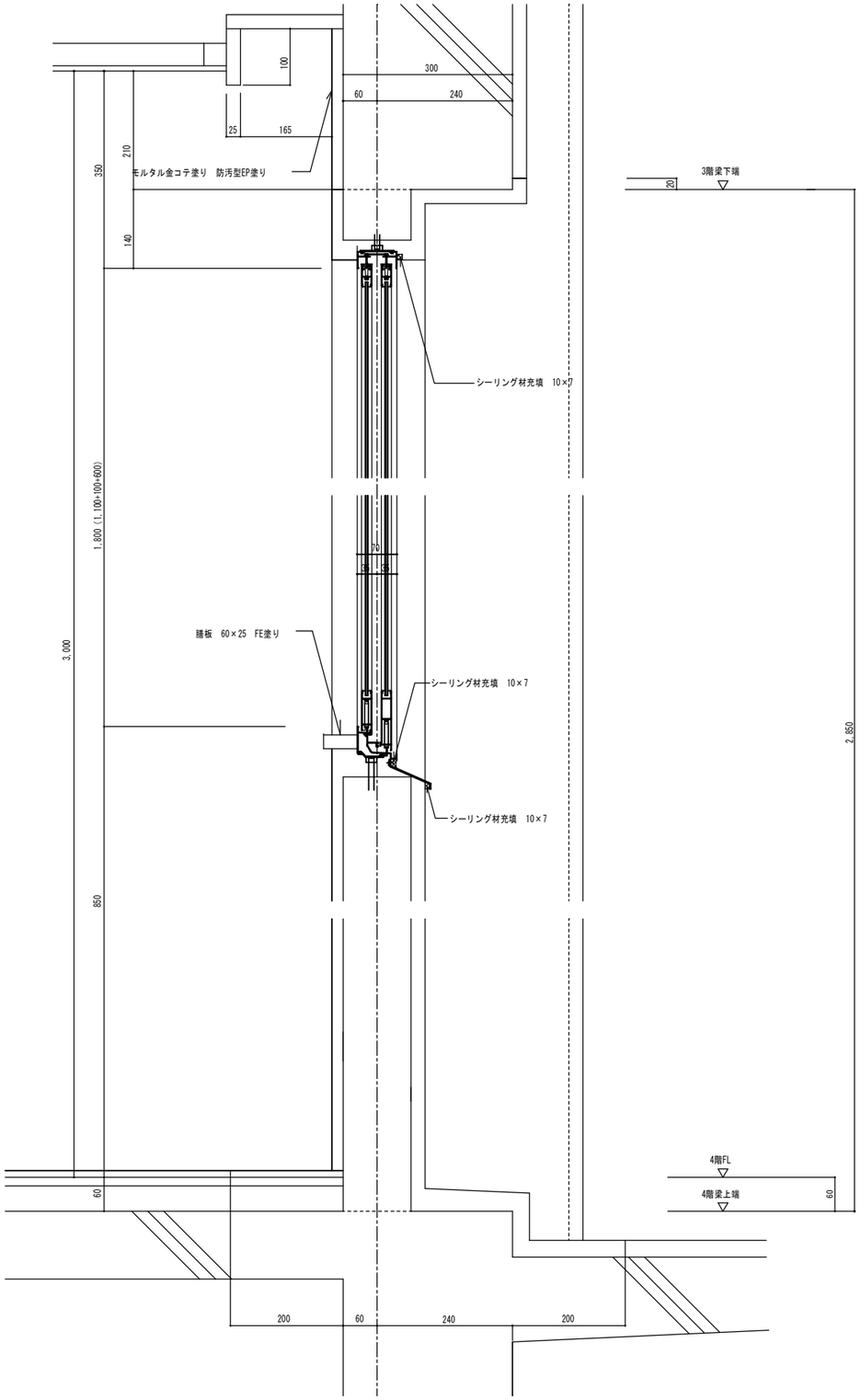
変更		

一級建築士事務所　新潟県知事登録　（リ）１３５９号
株式会社　関矢設計事務所
郵便番号　946-0111　新潟県魚沼市並柳182番地　℡　025-799-2122

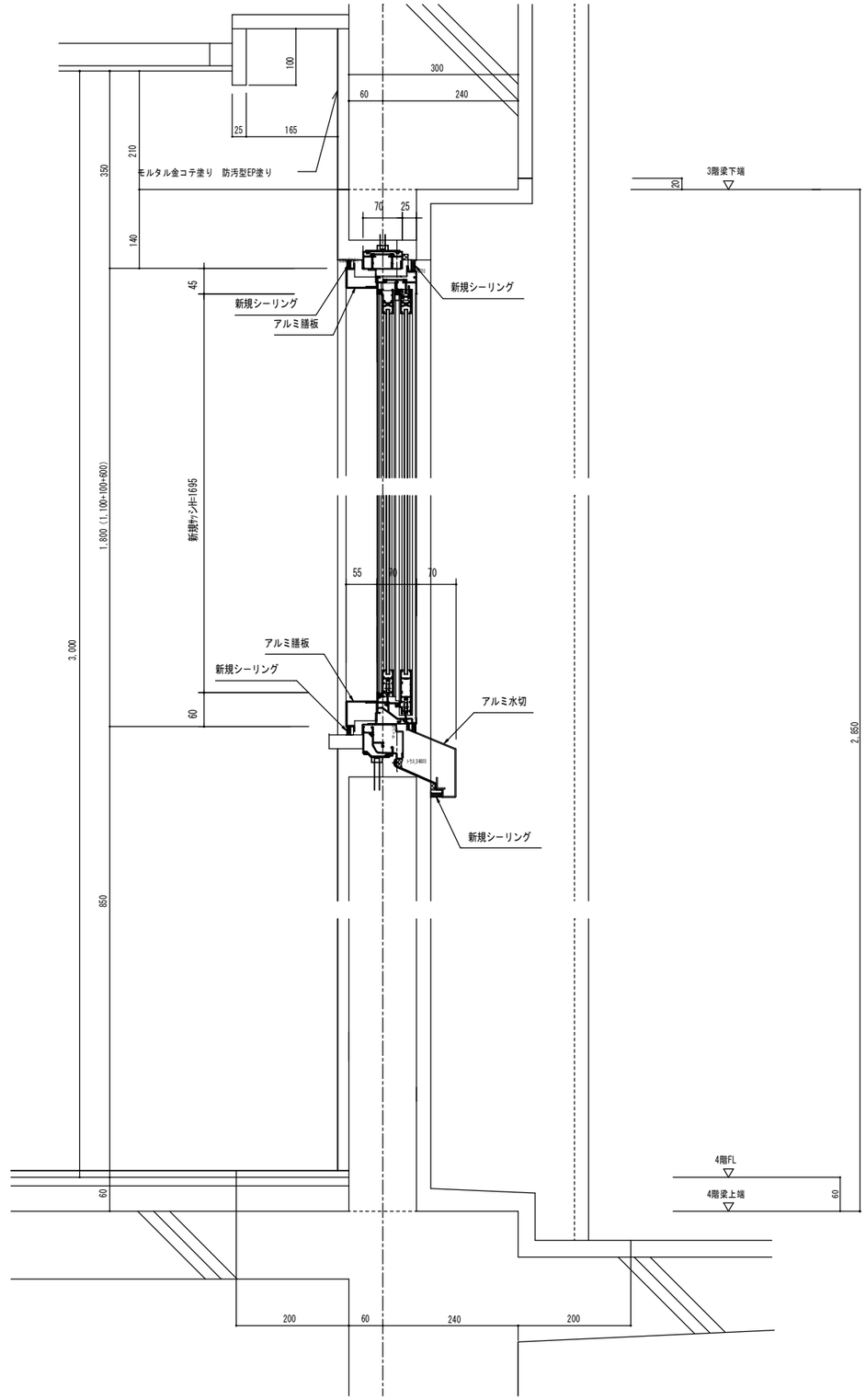
管理建築士
一級建築士　第228811号
関　矢　茂　信

工事名称	年月日	図面番号
4学工第12号　広神中学校校舎外部改修工事	2022年3月	A-72
図面名称：管理教室棟２　普通教室 アルミサッシ平面詳細図	縮尺　A１版 S=1/5　A３版 S=1/10	建 電 構 機

現況　普通教室

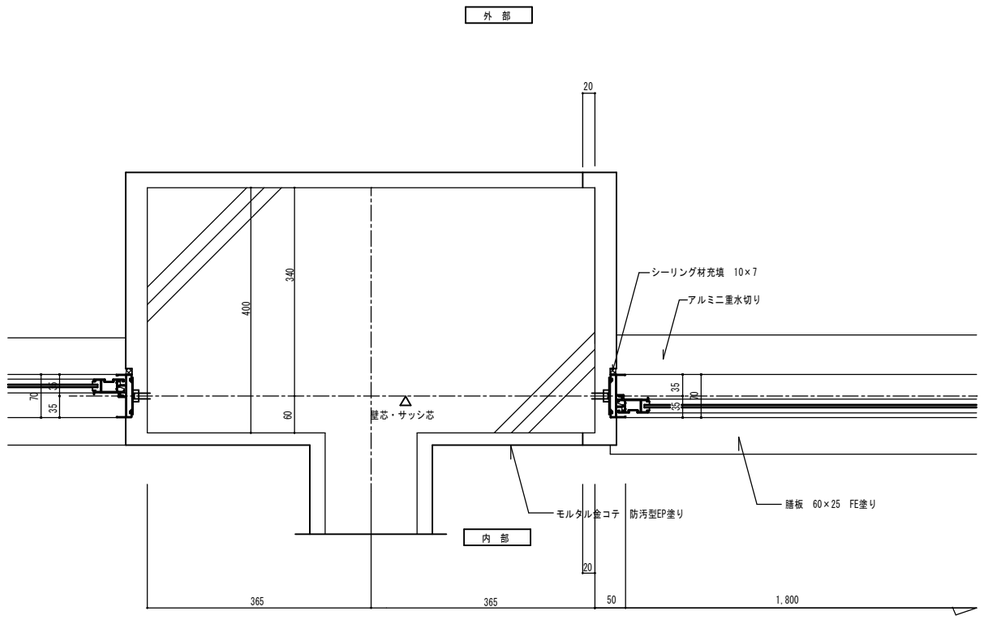


改修後　普通教室

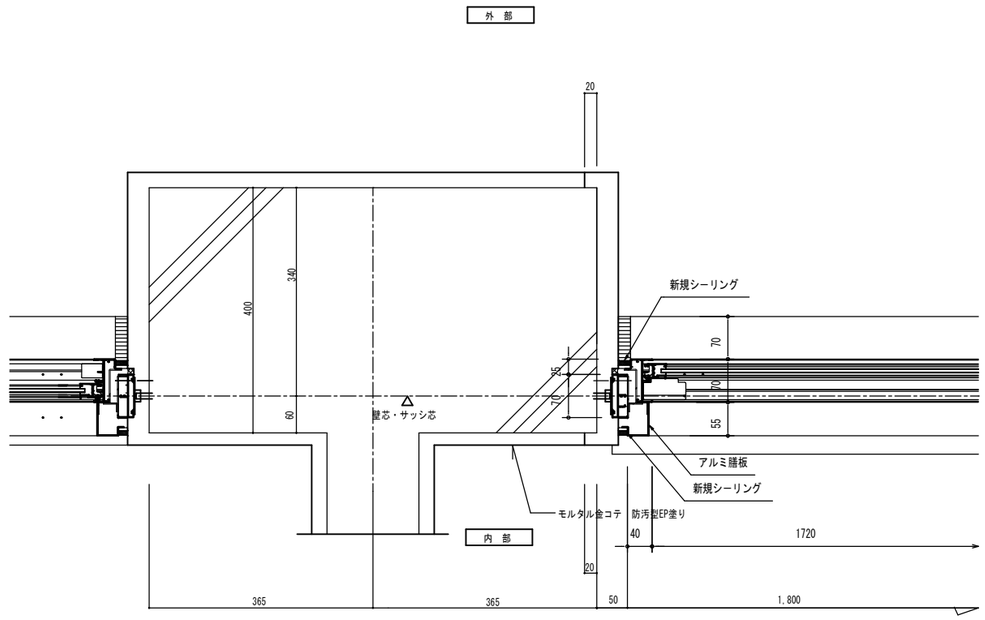


変更		一級建築士事務所　新潟県知事登録　（リ）１３５９号 株式会社　関矢設計事務所 郵便番号　946-0111　新潟県魚沼市並柳182番地　℡　025-799-2122	管理建築士 一級建築士　第228811号 関　矢　茂　信	工事名称 4学工第12号　広神中学校校舎外部改修工事	年月日 2022年3月	図面番号 A-73
				図面名称 管理教室棟２　普通教室 アルミサッシ平面詳細図	縮尺　A１版 S=1/5　A３版 S=1/10	衛 電 構 機

現況　普通教室



改修後　普通教室



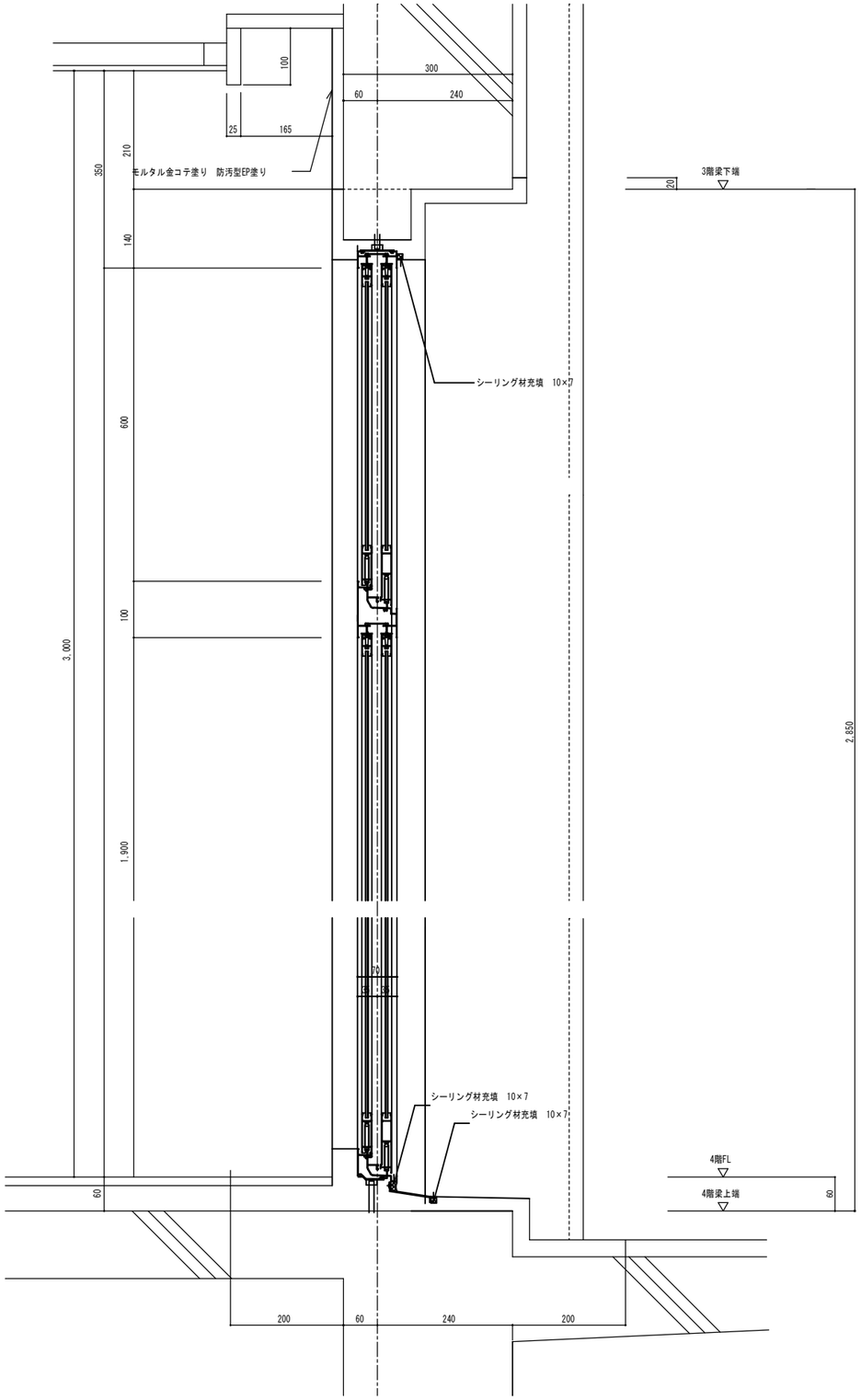
変更		

一級建築士事務所　新潟県知事登録　（リ）１３５９号
株式会社　関矢設計事務所
郵便番号　946-0111　新潟県魚沼市並柳182番地　℡　025-799-2122

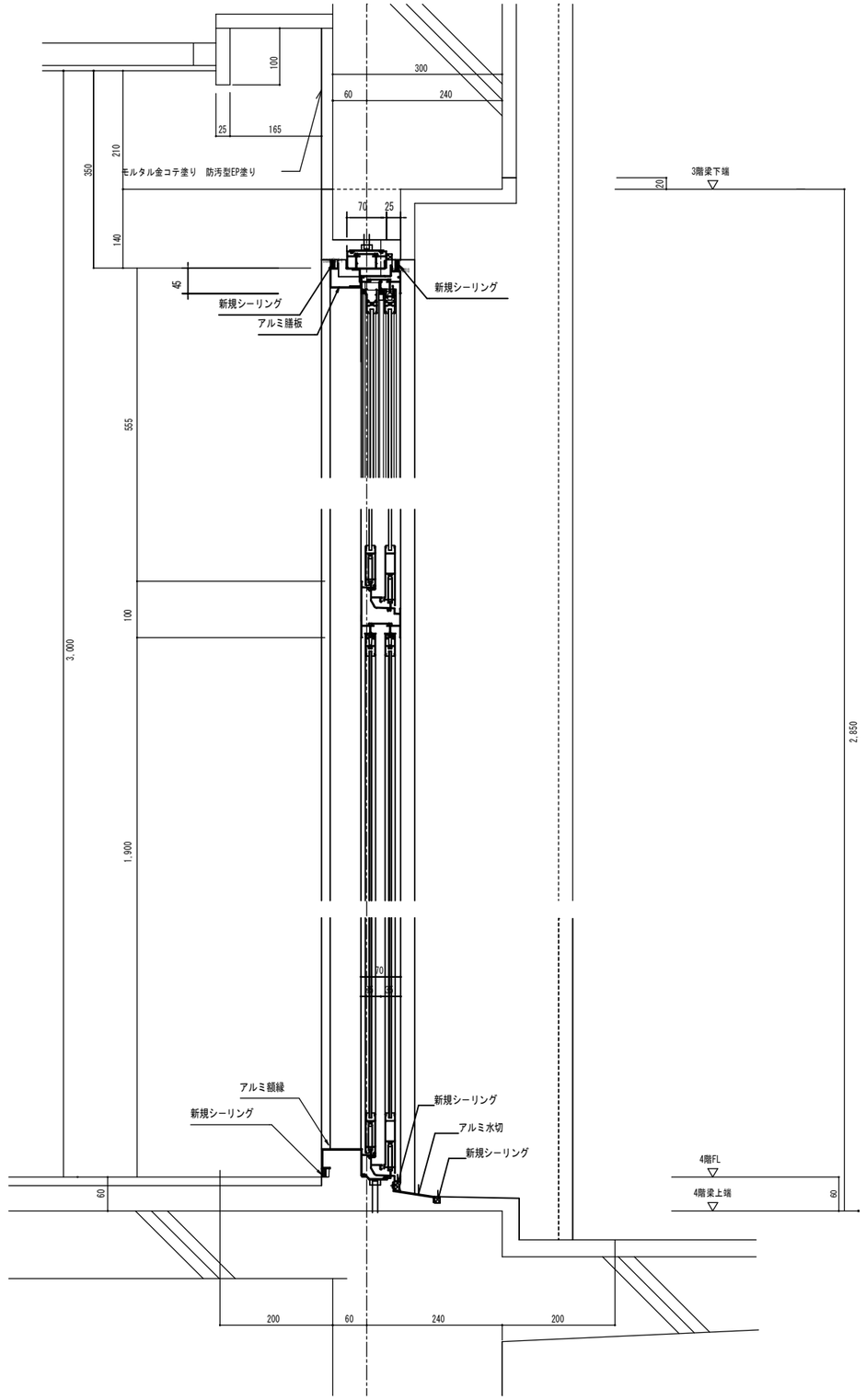
管理建築士
一級建築士　第228811号
関　矢　茂　信

工事名称	年月日	図面番号
4学工第12号　広神中学校校舎外部改修工事	2022年3月	A-74
図面名称：管理教室棟２　普通教室 アルミサッシ（掃出し）平面詳細図	縮尺　A１版 S=1/5　A３版 S=1/10	建 電 構 機

現況　普通教室

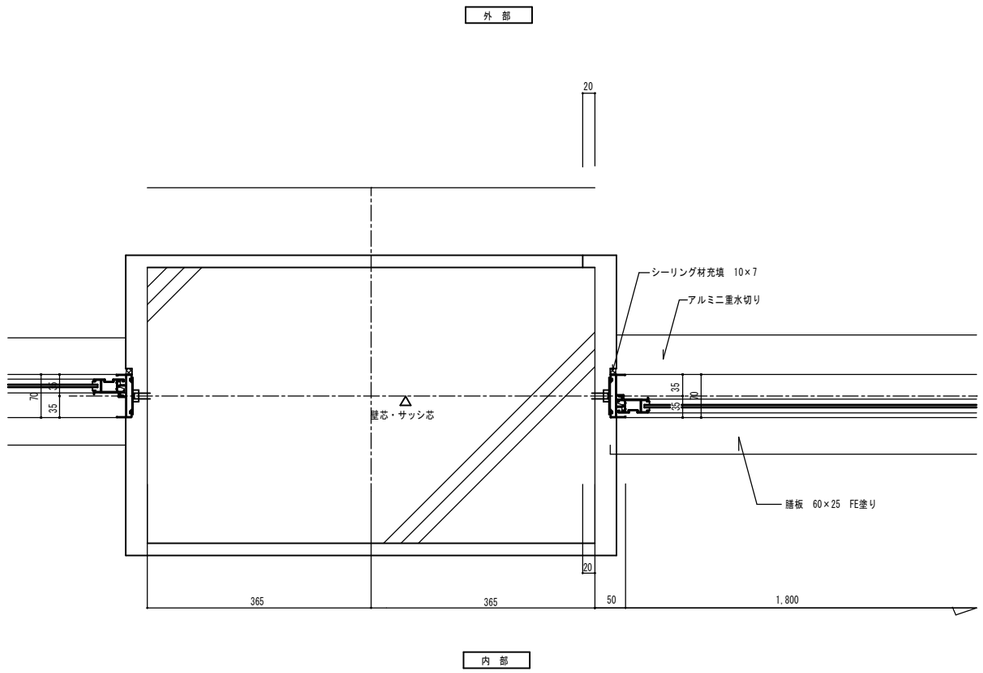


改修後　普通教室

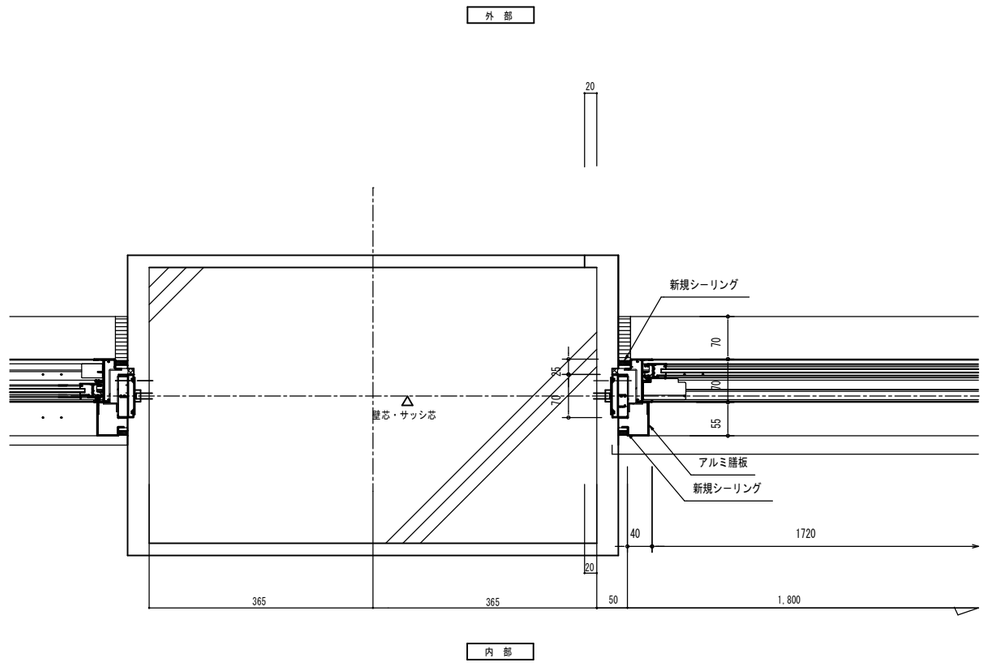


変更		一級建築士事務所　新潟県知事登録　（リ）１３５９号 株式会社　関矢設計事務所 郵便番号　946-0111　新潟県魚沼市並柳182番地　℡　025-799-2122	管理建築士 一級建築士　第228811号 関　矢　茂　信	工事名称 4学工第12号　広神中学校校舎外部改修工事	年月日 2022年3月	図面番号 A-75
				図面名称 管理教室棟２　普通教室 アルミサッシ（掃出し）断面詳細図	縮尺　A１版 S=1/5　A３版 S=1/10	㊞ 構 / 電 機

現況　廊下



改修後　廊下



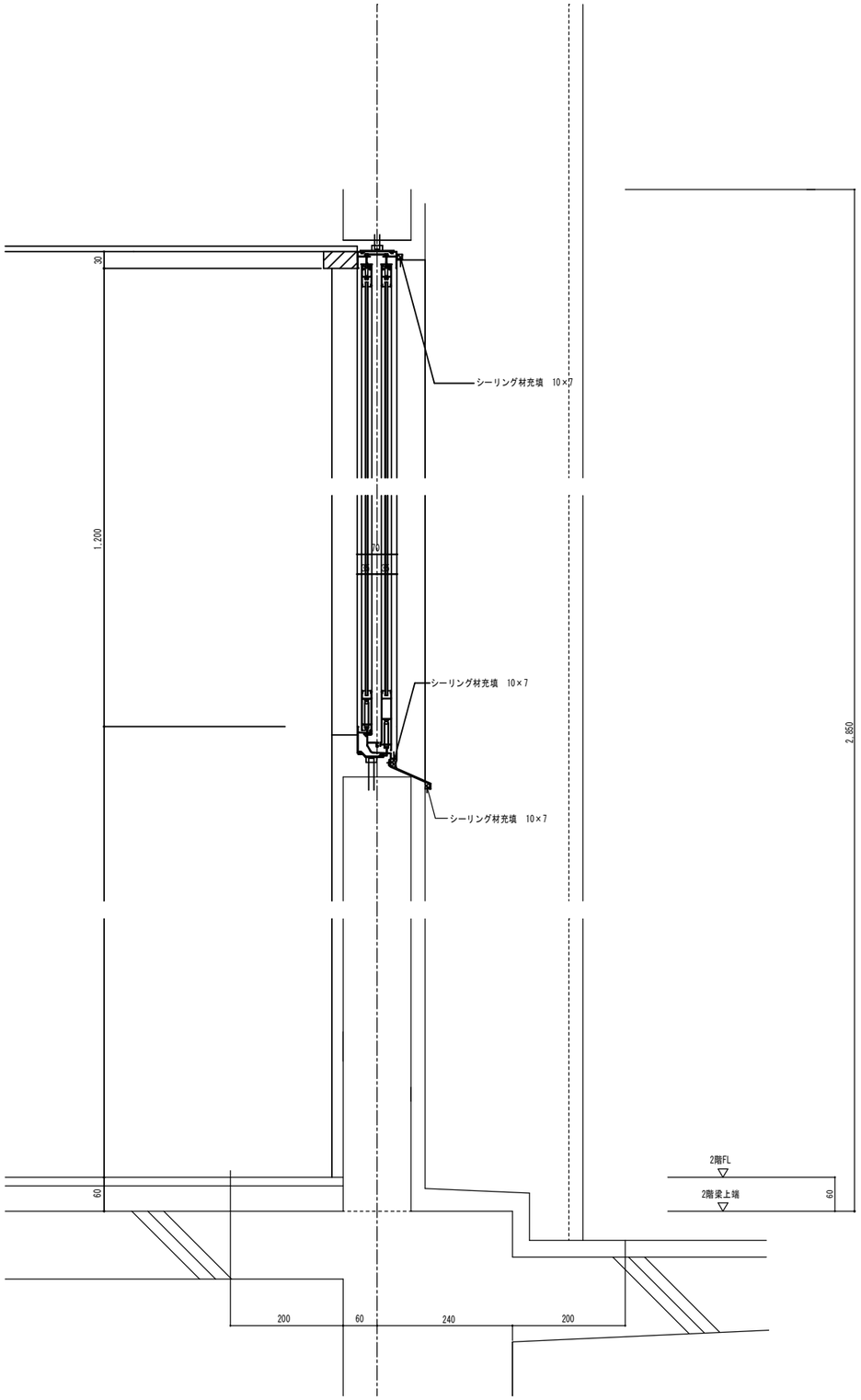
変更		

一級建築士事務所　新潟県知事登録　（リ）１３５９号
株式会社　関矢設計事務所
郵便番号　946-0111　新潟県魚沼市並柳182番地　℡　025-799-2122

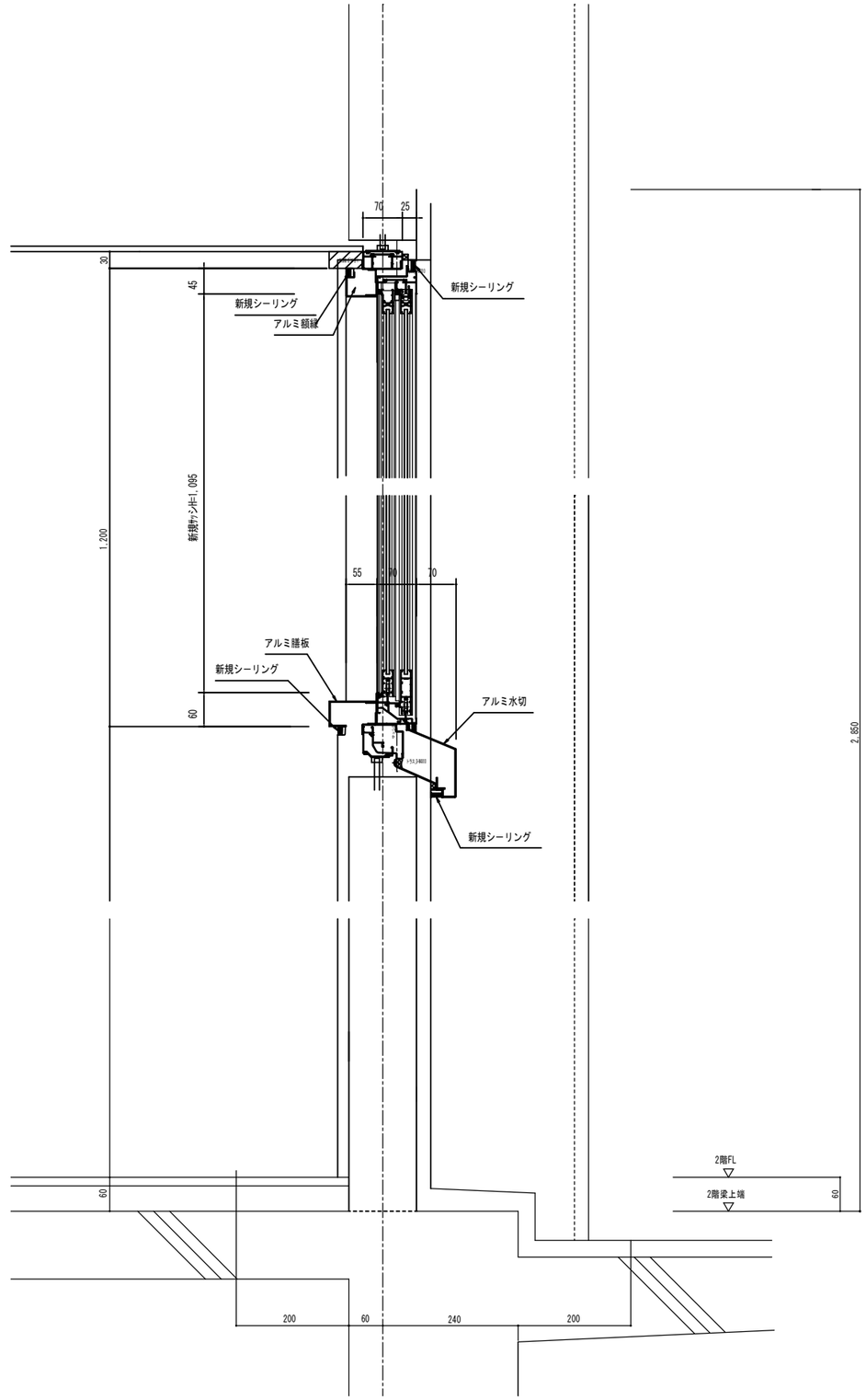
管理建築士
一級建築士　第228811号
関　矢　茂　信

工事名称	年月日	図面番号
4学工第12号　広神中学校校舎外部改修工事	2022年3月	A-76
図面名称：管理教室棟２　廊下 アルミサッシ平面詳細図	縮尺　Ａ１版 S=1/5　Ａ３版 S=1/10	建 電 構 機

現況　廊下

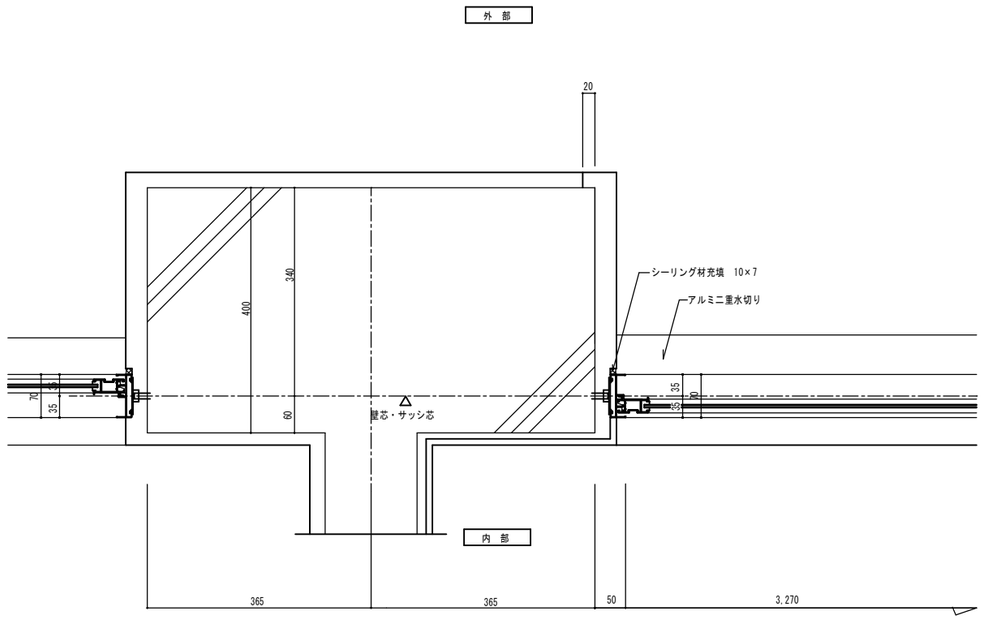


改修後　廊下

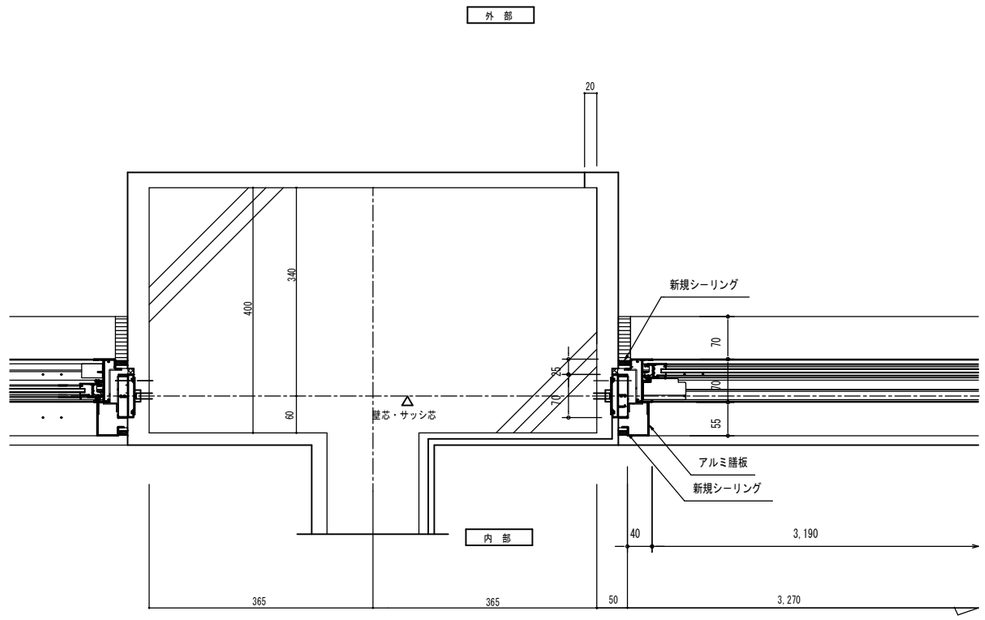


変更	一級建築士事務所　新潟県知事登録　（リ）１３５９号 株式会社　関矢設計事務所 郵便番号　946-0111　新潟県魚沼市並柳182番地　TEL　025-799-2122	管理建築士 一級建築士　第228811号 関　矢　茂　信	工事名称 4学工第12号　広神中学校校舎外部改修工事	年月日 2022年3月	図面番号 A-77
			図面名称 管理教室棟２　廊下 アルミサッシ断面詳細図	縮尺　A１版 S=1/5　A３版 S=1/10	衛 電 構 機

現況　便所



改修後　便所



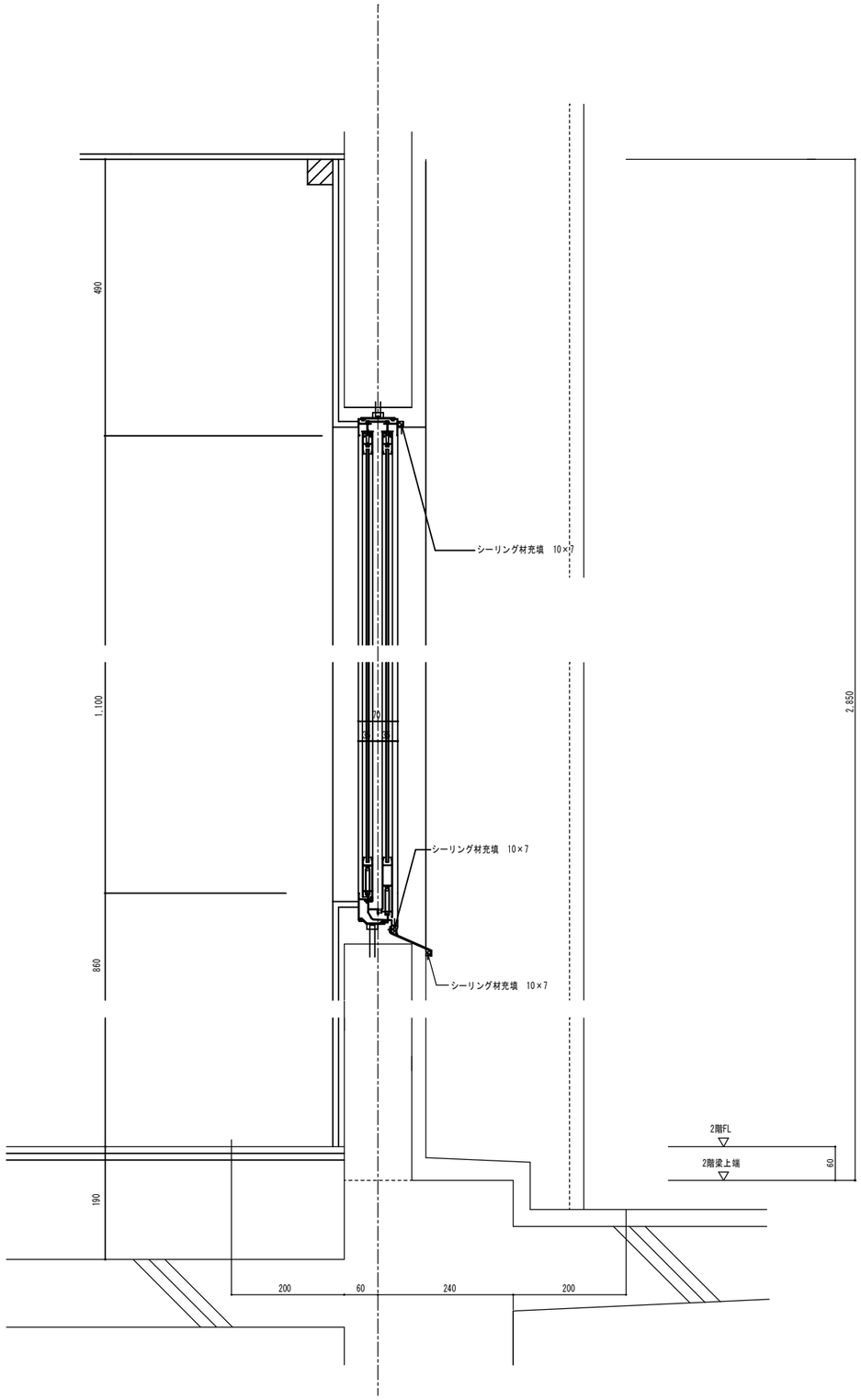
変更		

一級建築士事務所　新潟県知事登録　（リ）１３５９号
株式会社　関矢設計事務所
郵便番号　946-0111　新潟県魚沼市並柳182番地　℡　025-799-2122

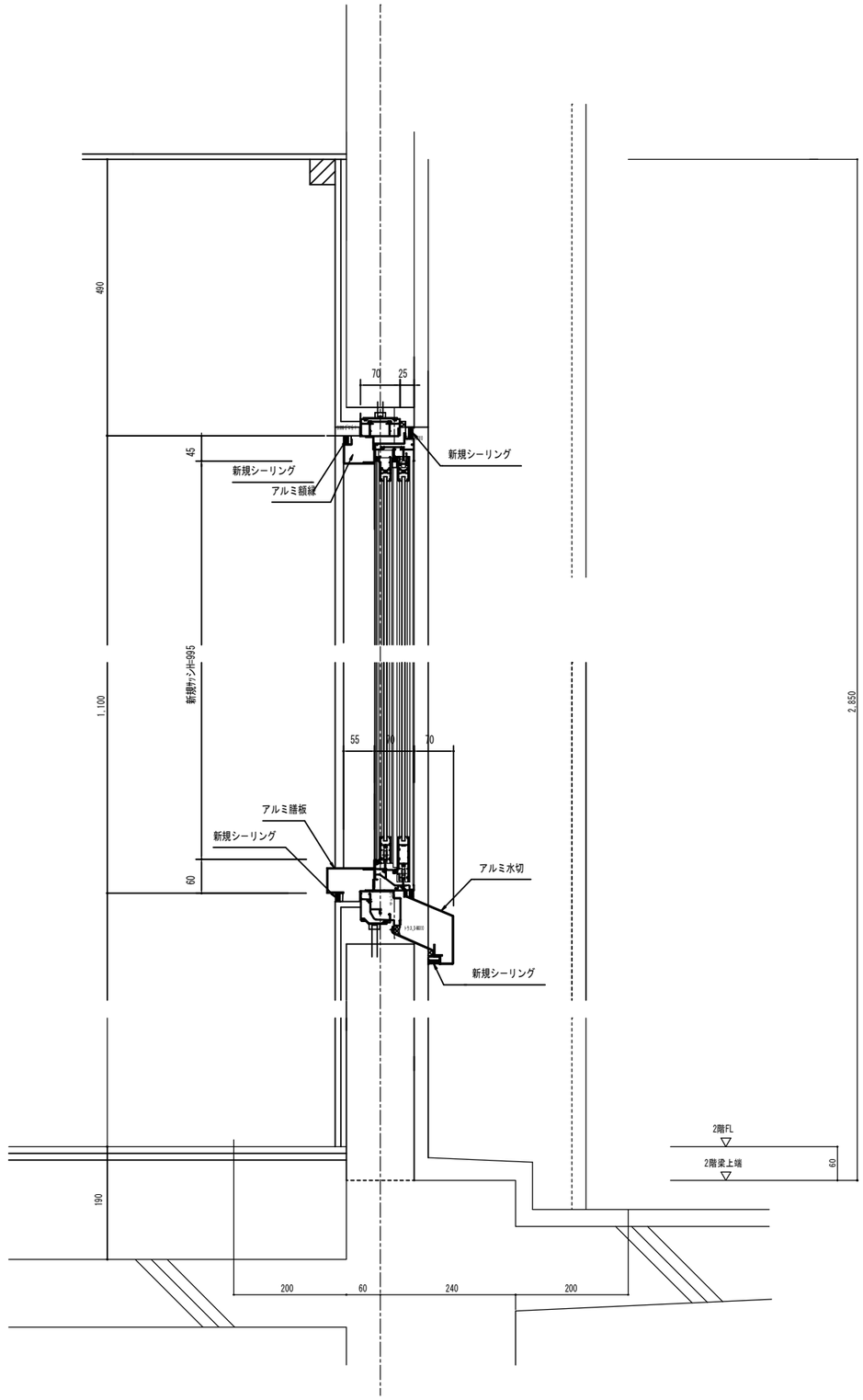
管理建築士
一級建築士　第228811号
関　矢　茂　信

工事名称	年月日	図面番号
4学工第12号　広神中学校校舎外部改修工事	2022年3月	A-78
図面名称：管理教室棟２　便所 アルミサッシ平面詳細図	縮尺　A１版 S=1/5　A３版 S=1/10	建 電 構 機

現況　便所

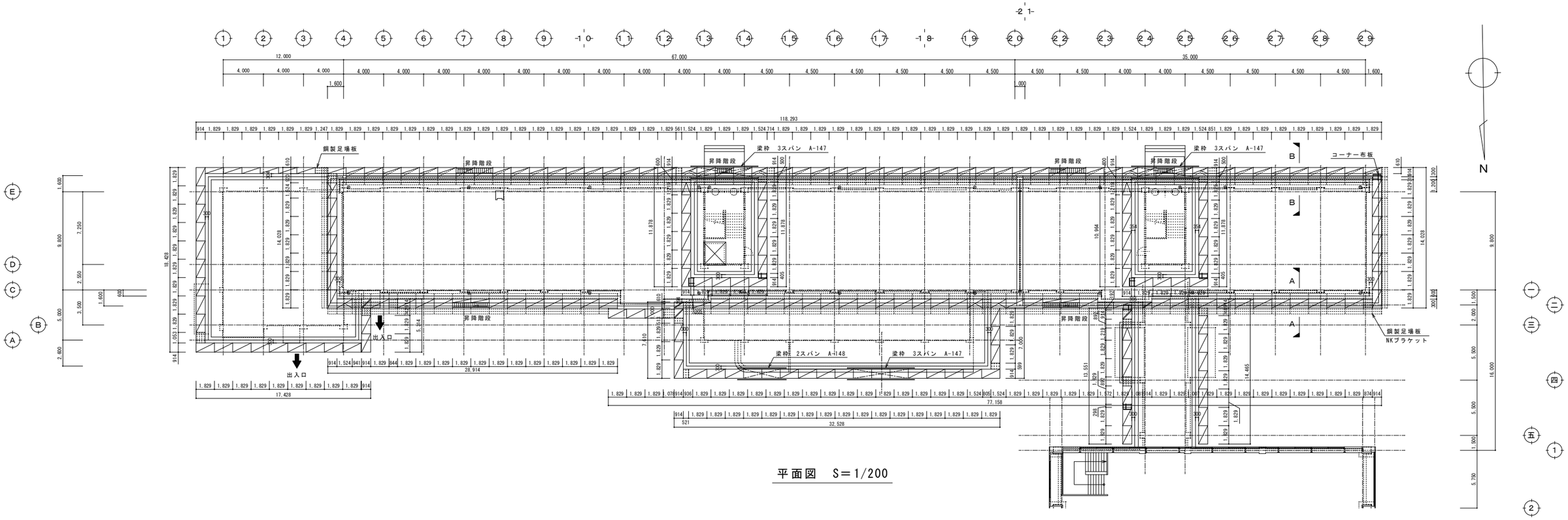


改修後　便所



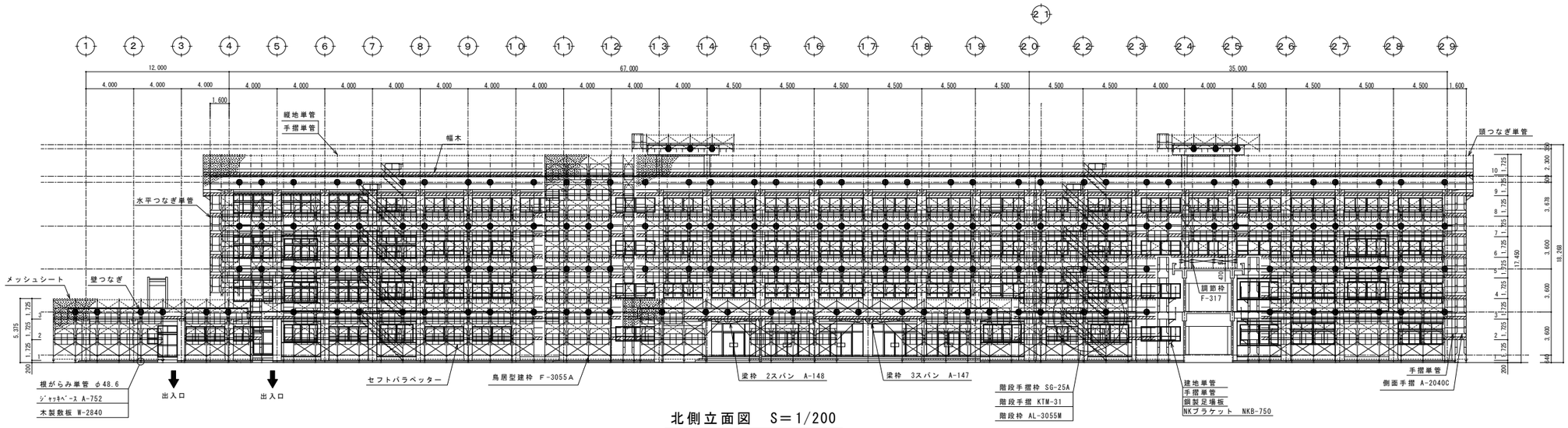
変更		一級建築士事務所　新潟県知事登録　（リ）１３５９号 株式会社　関矢設計事務所 郵便番号　946-0111　新潟県魚沼市並柳182番地　℡　025-799-2122	管理建築士 一級建築士　第228811号 関　矢　茂　信	工事名称 4学工第12号　広神中学校校舎外部改修工事 図面名称 管理教室棟２　便所 アルミサッシ断面詳細図	年月日 2022年3月 縮尺　A１版 S=1/5　A３版 S=1/10	図面番号 A-79 ㊞ 電 構 機

canon(50%)PRINT

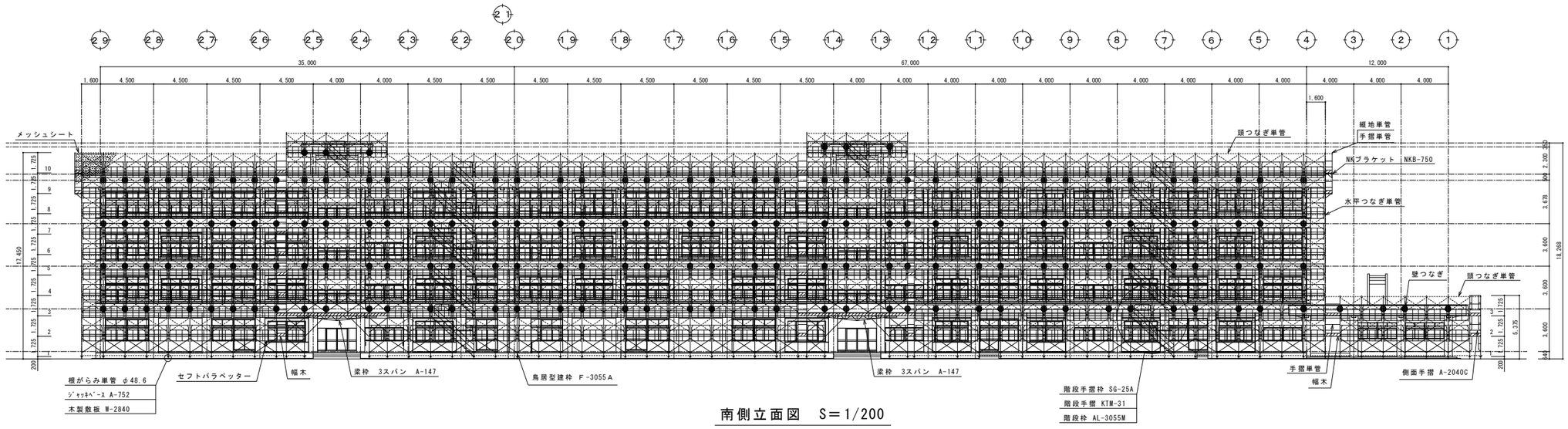


平面図 S＝1/200

一級建築士事務所 新潟県知事登録 （り）１３５９号 株式会社 関矢設計事務所 郵便番号 946-0111 新潟県魚沼市並柳182番地 TEL 025-799-2122	管理建築士 一級建築士 第228811号 関 矢 茂 信	工事名称 4学工第12号 広神中学校校舎外部改修工事 図面名称 外部足場平面図	日付 2022年3月 縮尺 1:200	A-80



北側立面図 S＝1/200



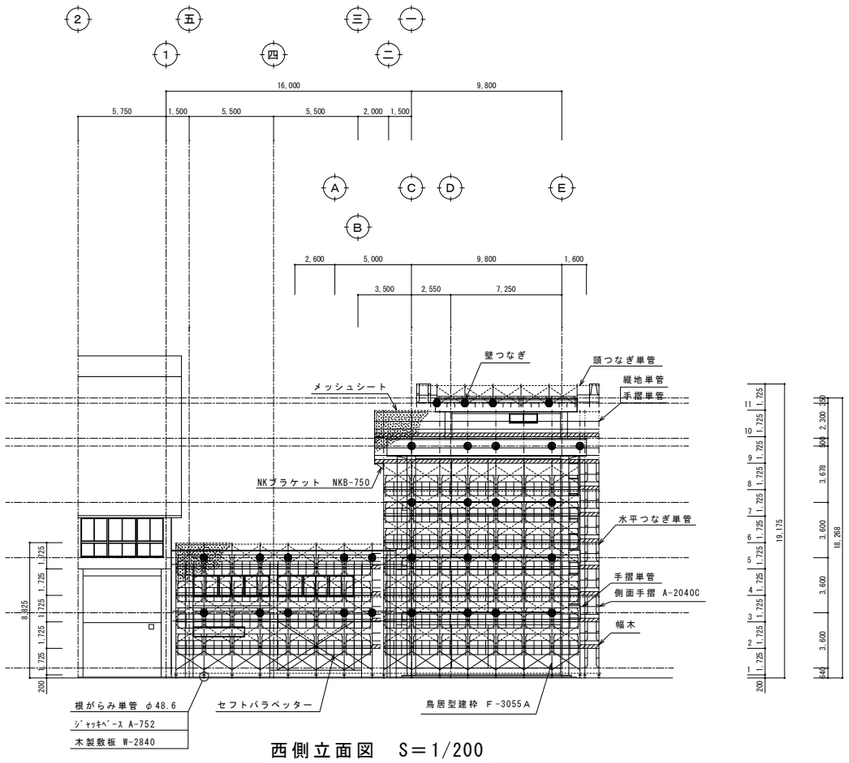
南側立面図 S＝1/200

一級建築士事務所 新潟県知事登録 （り）１３５９号
株式会社 関矢設計事務所
郵便番号 946-0111 新潟県魚沼市並柳182番地 TEL 025-799-2122

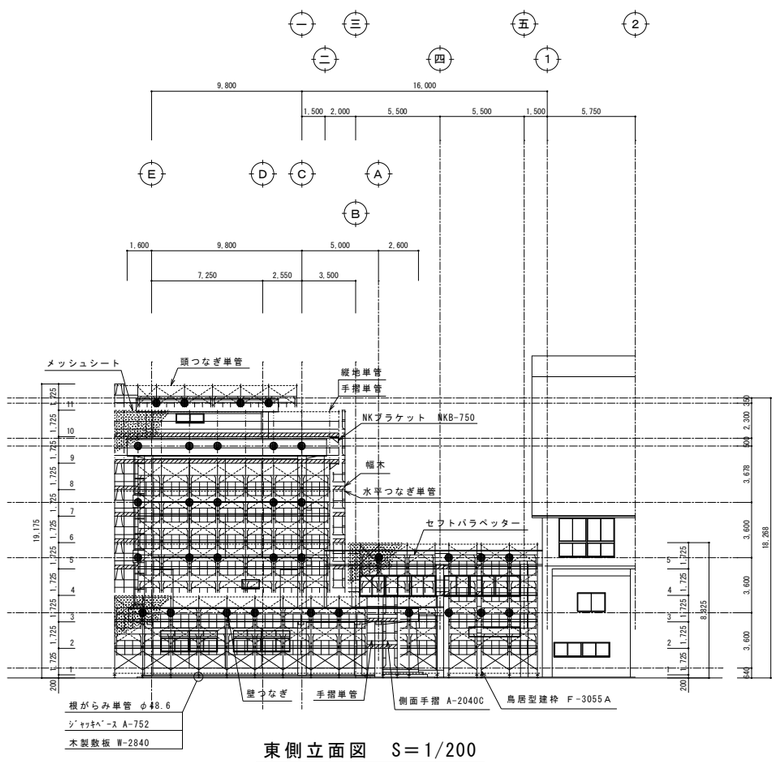
管理建築士
一級建築士 第228811号
関 矢 茂 信

工事名称	4学工第12号 広神中学校校舎外部改修工事
図面名称	外部足場立面図１
日付	2022年3月
縮尺	1:200

A-81

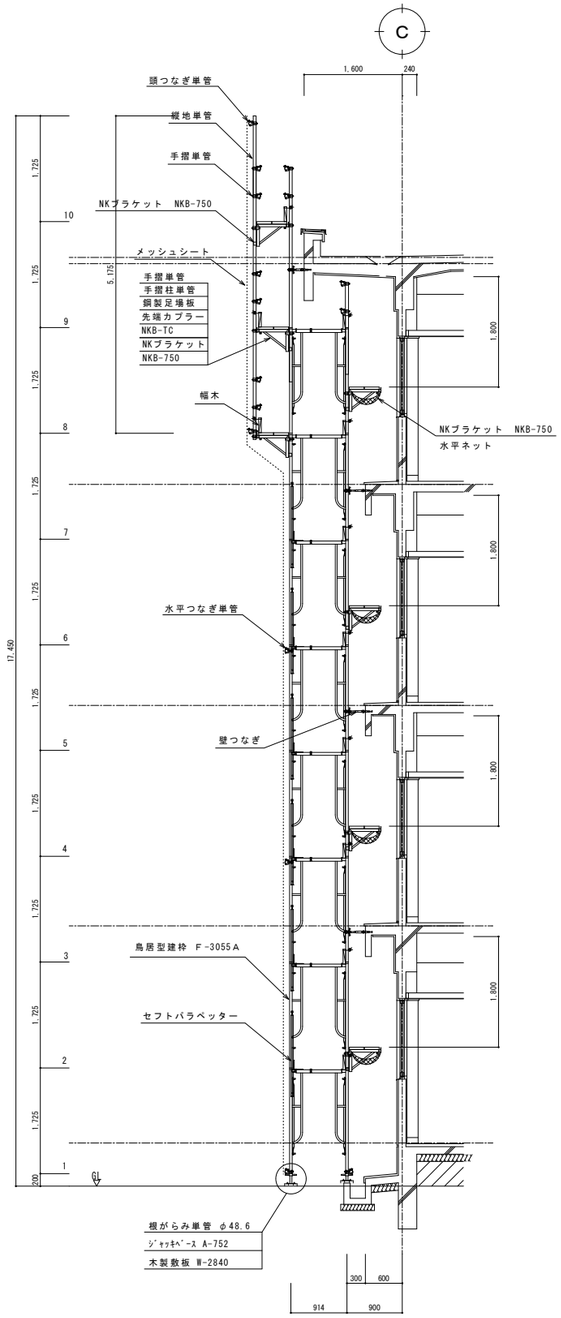


西側立面図　S＝1/200

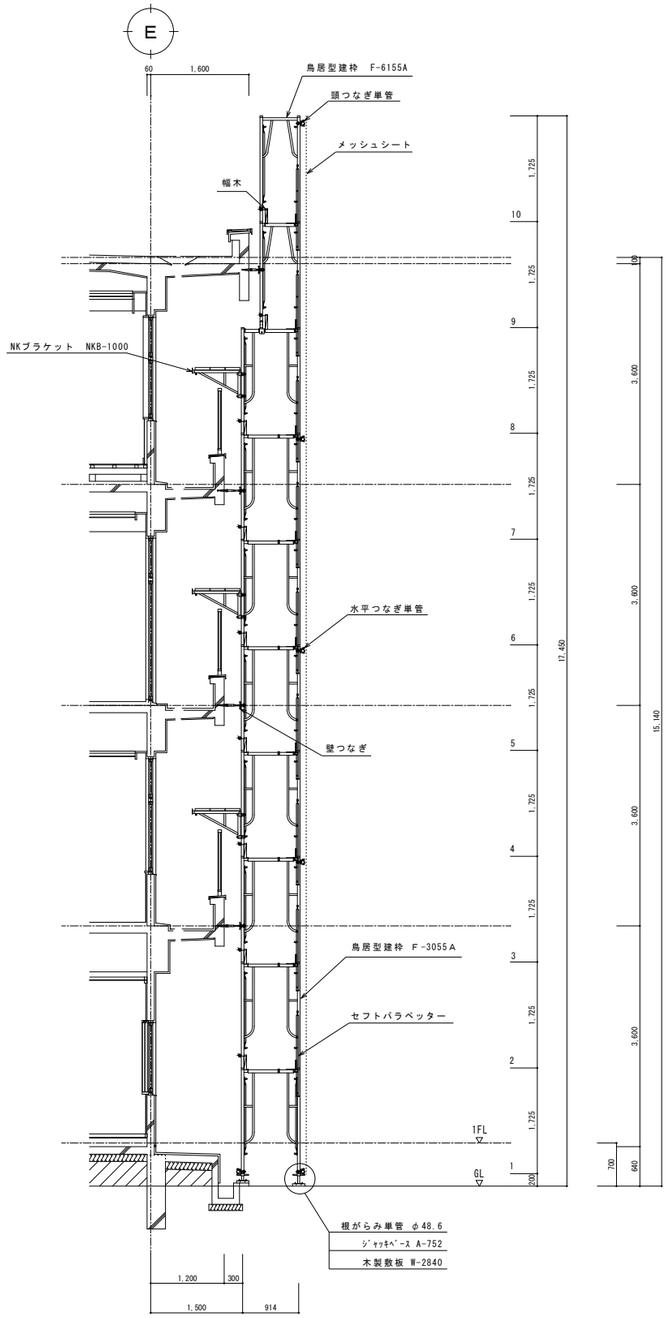


東側立面図　S＝1/200

	一級建築士事務所　新潟県知事登録　（り）１３５９号 株式会社　関矢設計事務所 郵便番号　946-0111　新潟県魚沼市並柳182番地　℡　025-799-2122	管理建築士 一級建築士　第228811号 関　矢　茂　信	工事名称 4学工第12号　広神中学校校舎外部改修工事	日付 2022年3月	A-82
			図面名称 外部足場立面図２	縮尺 1:200	

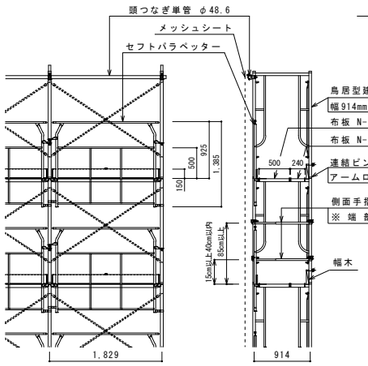


A－A 断面詳細図 S＝1/50

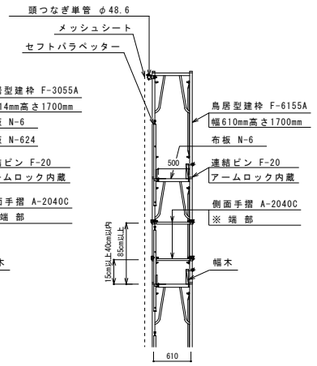


B－B 断面詳細図 S＝1/50

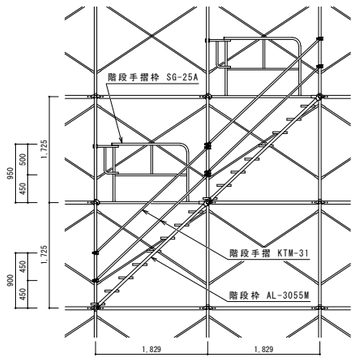
一級建築士事務所 新潟県知事登録 （リ）１３５９号 株式会社 関矢設計事務所 郵便番号 946-0111 新潟県魚沼市並柳182番地 TEL 025-799-2122	管理建築士 一級建築士 第228811号 関 矢 茂 信	工事名称 4学工第12号 広神中学校校舎外部改修工事	日付 2022年3月	A-83
		図面名称 外部足場詳細図１	縮尺 1:50	



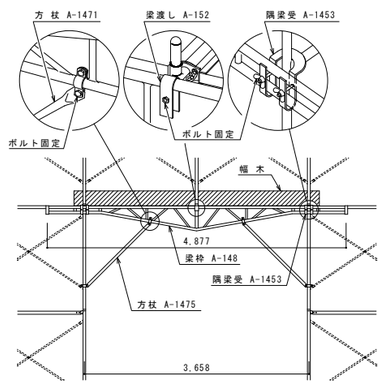
足 場 詳 細 図 S=1/50



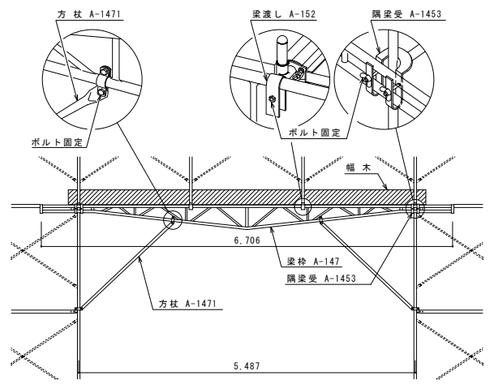
足 場 詳 細 図 S=1/50



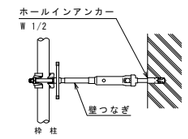
階段詳細図 S=1/50



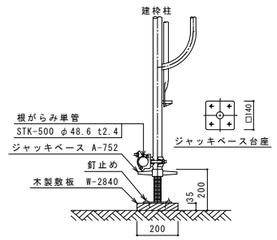
梁枠部詳細 S=1/50



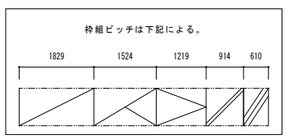
梁枠部詳細 S=1/50



壁つなぎ部詳細 S=1/10



枠 組 脚 部 詳 細 図 S=1/15



一級建築士事務所 新潟県知事登録 （リ）１３５９号 株式会社 関矢設計事務所 郵便番号 946-0111 新潟県魚沼市並柳182番地 TEL 025-799-2122	管理建築士 一級建築士 第228811号 関 矢 茂 信	工事名称 4学工第12号 広神中学校校舎外部改修工事 図面名称 外部足場詳細図２	日付 2022年3月 縮尺 1:50	A-84

4学工第12号　広神中学校校舎外部改修工事　　工事設計図　　2022年3月

工事場所　魚沼市田尻320-1

建物概要

建物名称	構造	階数	延べ面積（㎡）	消防令別表第一	備考
普通教室棟	ＲＣ	4		（7）	

仕様書

Ⅰ．共通仕様

1．本共通仕様及び特記仕様に記載されていない事項は、次による。

新築及び増築に係る機械設備工事においては、「国土交通省大臣官房官庁営繕部監修　公共建築工事標準仕様書（機械設備工事編）」（以下「標仕」という。）及び「国土交通省大臣官房官庁営繕部設備・環境課監修　公共建築設備工事標準図(機械設備工事編)」（以下「標準図」という。）による。

改修に係る機械設備工事においては、「国土交通省大臣官房官庁営繕部監修　公共建築改修工事標準仕様書（機械設備工事編）」(以下｢改修標仕｣という。)及び標準図による。ただし、改修標仕に記載されていない事項は標仕による。

2．標仕及び改修標仕に用いられている用語を次のとおり読み替える。

（1）「工事請負契約書」を「魚沼市財務規則（平成16年11月1日規則第49号）別記（第167条関係）建設工事請負基準約款（以下「約款」という。）」に読み替える。

（2）「監督職員」を「監督員」に読み替える。

Ⅱ．特記仕様

凡　例

（1）章と項目は番号に ○ のついたものを適用する。特記事項は ・ に ○ のついたものを適用する。

（2）特記事項で、⊙印のない場合は、※ 印を適用する。⊙印と ※ 印のある場合は⊙印のみ適用する。⊙印と ⊗ 印のある場合は両方適用する。

（3）根拠項目の「 a-b.c.d 」は標仕並びに改修標仕の第 a編 b章 c節 d項を表す。

章	項目	特記事項	標準仕様書根拠項目	改修仕様書根拠項目
① 一般事項	① 工事実績情報の登録	請負工事費 500万円以上の場合登録する。	1-1.1.4	1-1.1.4
	2. 概成工期	※ 無　・有（工期　令和　年　月　日）	1-1.2.1	1-1.2.1
	3. 内部の工事期間等	着手　令和　年　月　日　～　終了　令和　年　月　日　とする。 ただし、次の作業は内部工事着手前に行える。（着手日、作業箇所は施設及び監督員と協議のうえ決定する。） ※ 工場製作のための現場寸法調査		
	4. 監理技術者の要件	監理技術者 10年以上の実務経験　（・要　・不要）		
	⑤ 発生材の処理等	＜表－２＞「発生材の処理等」による。	1-1.3.9	1-5.1.1
	6. 機材の検査に伴う試験	下記の機材は、標仕あるいは改修標仕 第1編1.4.6(a)(3)を適用する。 （　）	1-1.4.6	1-1.4.6
	7. 技能士	・配管施工　（建築配管作業） ・熱絶縁施工　（保温、保冷、防湿） ・冷凍・空気調和機器施工　（機器据付及び整備） ・建築板金施工　（ﾀﾞｸﾄ製作及び取付）	1-1.5.2	1-1.6.2
	⑧ 見本施工	※ 実施しない ・実施する（　）	1-1.5.4	1-1.6.5
	⑨ 完成図等	下記のものを作成し提出する。なお、作成方法及び部数等は監督員の指示による。 完成図:原図、複写図、ＣＡＤデータ、マイクロフィルム（・要　※ 不要） 施工図:複写図、ＣＡＤデータ 保全に関する資料	1-1.7.1	1-1.8.2
	⑩ 施工図等の取扱い	施工図等の著作権に係わる当該建物に限る使用権は、発注者に委譲するものとする。		

① 一般事項

① 工事完成写真　工事完了後整理のうえ監督員に提出する。提出部数　2 部

② 工事施工状況写真　工事施工状況写真の撮影は、工事に係る材料、施工及び品質管理の状況が確認できるように行うものとし、「国土交通省大臣官房官庁営繕部監修　営繕工事写真撮影要領（平成２４年版）・同解説　工事写真の撮り方建築設備編」を参考に、撮影計画書を作成して監督員に提出する。ただし、あらかじめ監督員の承諾を受けた場合は、撮影計画書の作成を省略できる。
提出部数　1 部

③ 他工事との取合い　スリーブ、箱入れなど他工事との取合いは＜表 - 3＞「工事区分表」によるものとし、施工に支障をきたさない時期までに必要な大きさ、位置などを関係者と調整する。

② 共通工事（配管工事等）

1. 溶接部の非破壊検査　油管、低圧蒸気管、冷却水管、冷温水管　（2-2.5.16 / 2-2.3.16）
※ 適用しない　・適用する（・ＲＴ　・ＰＴ　・ＭＴ）
高圧蒸気管
※ 適用しない　・適用する（・ＲＴ　・ＰＴ　・ＭＴ）
高温水管
※ 適用しない　・適用する（・ＲＴ　・ＰＴ　・ＭＴ）

2. 吊り及び支持　機械室内等配管で振動の伝播を防ぐ必要のある場合の吊金物は下記による。（2-2.6.3 / 2-2.4.3）

機械室名				
防振吊金物	シングル	※	※	※
	ダブル	・	・	・
施工範囲		・給水管 ・消火管 ・ダクト ・冷却水管 ・冷温水管 ・温水管		

3. 管の埋設　床下地中埋設配管は、床配筋から吊金物で支持する。（県共通図参照）

4. 埋設配管の表示　地中埋設標　（※ 要（ 図示の箇所）　・不要）　（2-2.7.1 / 2-2.5.1）
埋設表示テープ　（※ 要　・不要）

5. 埋め戻し土・盛土　※ 掘削土の良質土（ただし、管の周囲は山砂の類とする。）　（2-4.2.1 / 2-7.1.1）
・すべて山砂の類で行う

⑥ 耐震措置　設備機器の固定は下記に示す事項を除き、すべて「建築設備耐震設計・施工指針　独立行政法人建築研究所監修 2014年版」による。（3-2.1.1 / 3-2.1.1）

重要機器	
重要水槽	

重要機器・重要水槽については、下表に適合する設計用水平震度から算出したアンカーボルト等を選定して固定する。

設計用標準水平震度

設置場所	耐震安全性の分類			
	⊙特定施設（・甲類　⊙乙類）		・一般の施設（乙類）	
	重要機器・水槽	一般機器・水槽	重要機器・水槽	一般機器・水槽
上層階・屋上及び塔屋	2.0 （2.0） ＜2.0＞	1.5 （2.0） ＜1.5＞	1.5 （2.0） ＜1.5＞	1.0 （1.5） ＜1.0＞
中間階	1.5 （1.5） ＜1.5＞	1.0 （1.5） ＜1.0＞	1.0 （1.5） ＜1.0＞	0.6 （1.0） ＜0.6＞
地下階・1階	1.0 （1.0） ＜1.5＞	0.6 （1.0） ＜1.0＞	0.6 （1.0） ＜1.0＞	0.4 （0.6） ＜0.6＞

（注）1．（　）内の数値は防振支持の機器の場合に適用する。
2．＜　＞内の数値は水槽類に適用する。
3．上層階の定義は、２～６階建の場合は最上階、７～９階建の場合は上層２階、１０～１２階建の場合は上層３階、１３階建以上の場合は上層４階。
（1）設計用水平地震力・・機器の重量(N)に設計用水平震度を乗じたものとする。
（2）設計用鉛直地震力・・設計用水平地震力の１／２とし、水平地震力と同時に働くものとする。

7. 制御及び操作盤　下記の機器は標仕の第２編 1.2.2.1項を適用する。（2-1.2.2）
（　）
追加する接点及び端子は機器表による。

8. ｲﾝﾊﾞｰﾀｰ用制御及び操作盤　下記の機器は標仕第2編 1.2.2.2項を適用する。（2-1.2.2）
（　）

③ 共通工事（関連工事等）

① 監督員事務所　※ 設けない　（2-4.1.1 / 1-2.3.1）
・設ける（仮設事務所の中に監督員用ｽﾍﾟｰｽを　㎡程度確保する。）

② 工事用水　構内既存の施設　※ 利用できる（※ 有償・無償）　・利用できない　（2-4.1.1 / 1-2.2.2）

③ 工事用電力　構内既存の施設　※ 利用できる（※ 有償・無償）　・利用できない

④ 仮設建物等　現場事務所、倉庫、下小屋等の仮設建物の位置は、あらかじめ監督員の承諾を受け、すべて受注者の負担とする。

5. 残土処理　※ 構内指示の場所に敷均し　・構内指示の場所に堆積　・構外搬出適切処理　（2-4.2.1 / 2-7.1.1）

6. 地業工事　砂利地業　砂利種別（※ 再生クラッシャラン　・砂利　・砕石）　（2-4.3.1 / 2-7.2.1）

7. 鉄筋工事　※ 異形鉄筋（※ Ａ種　・Ｂ種）（※ ＳＤ２９５Ａ　・ＳＤ３４５）　（2-4.4.1 / 2-7.3.1）
・丸鋼　（※ Ａ種　・Ｂ種）

8. ｺﾝｸﾘｰﾄ工事　粗骨材　※ 砂利　・砕石　・砂利と砕石の混合（　/Wt以下）　（2-4.4.1 / 2-7.3.1）
細骨材　※ 洗砂
普通ｺﾝｸﾘｰﾄ　※ レディーミクスコンクリート（※ Ⅰ類　・Ⅱ類）
設計基準強度（N/mm2）　スランプ１８cm以下
１８　施工箇所（　）
２１　施工箇所（　）
２４　施工箇所（　）
２７　施工箇所（　）
強度試験　※ 省略する・実施する（　）

9. 電動機　機器は標仕第2編1.2.1項を適用する。ただし、下記の機器は製造者の標準仕様としてよい。（2-1.2.1 / 2-1.2.1）
（※ 換気扇　※ 圧力扇　・　）

10. 容量等の表示　（1）機器類の能力、容量は表示された数値以上とする。
（2）電動機出力、燃料消費量、圧力損失は原則として表示された数値以下とする。
（3）参考図の寸法は概略寸法とする。

⑪ 電源周波数　※ 50 Hz　・60 Hz

12. はつり　既存コンクリート床、壁等の配管貫通の穴あけは原則としてダイヤモンドカッターによる。

13. 総合調整　・水量調整（・空調設備　・衛生設備）　（2-1.3.1 / 2-1.3.1）
・風量調整　・室内外空気の温湿度測定
・室内気流及び塵埃の測定　・騒音測定　・初期運転状態の記録

14. 絶縁継手　・図示による　・（　）

④ 保温

① 衛生　標仕第２編３．１．５項によるほか下記による。（2-3.1.5 / 2-3.1.3）

（1）屋外露出配管の保温仕様

材料及び施工順序	保温厚さ（mm）		施工範囲
ﾎﾟﾘｽﾁﾚﾝﾌｫｰﾑ 1．保温筒 2．粘着ﾃｰﾌﾟ 3．ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝﾌｨﾙﾑ 4．ｽﾃﾝﾚｽ鋼板	15A ～ 25A 32A ～ 200A	50 mm 40 mm	⊙給水管 ・排水管 ・消火管

（2）床下、暗渠内配管の保温仕様（外気の流入する部分）

材料及び施工順序	保温厚さ（mm）		施工範囲
ﾎﾟﾘｽﾁﾚﾝﾌｫｰﾑ 1．保温筒 2．粘着ﾃｰﾌﾟ 3．ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝﾌｨﾙﾑ 4．着色ｱﾙﾐｶﾞﾗｽｸﾛｽ	15A ～ 150A	30 mm	⊙給水管 ・消火管

（3）鋼板製タンクの保温　（・要　※ 不要）　（2-3.1.5 / 2-3.1.3）

（4）ステンレス鋼板製パネルタンクの保温　（5-1.4.2）
（・要（外装材は・アルミニウム板　・ステンレス鋼板）　※ 不要）

（5）給排水弁の保温主材はポリスチレンフォームカバーとする。（６５Ａ以上）

（6）屋内露出管の保温で合成樹脂製カバー２（ジャケットタイプ）の使用箇所　（2-3.1.5）
・図示による　・（　）

2. 空調　標仕第２編３．１．４項によるほか下記による。（2-3.1.4 / 2-3.1.3）

屋外露出配管の保温仕様

材料及び施工順序	保温厚さ（mm）		施工範囲
ﾛｯｸｳｰﾙ・ｸﾞﾗｽｳｰﾙ 1．保温筒 2．鉄線 3．ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝﾌｨﾙﾑ 4．ｽﾃﾝﾚｽ鋼板	15A ～ 25A 32A ～ 200A	50 mm 40 mm	・温水管 ・冷水管 ・冷温水管 ・膨張管

屋内露出管の保温で合成樹脂製カバー２（ジャケットタイプ）の使用箇所　（2-3.1.5）
・図示による　・（　）
・膨張タンクよりボイラー等への補給水の保温は、標準仕様書第２編３．１．４の温水管の項による。
・建物内の空気抜き管の保温は標準仕様書第２編３．１．４の温水管の項による。
・空気調和機及びファンコイルユニットの排水管の保温は標準仕様書第２編３．１．５の排水及び通気管の項による。
・共同溝の保温（　）

下記の施工箇所の保温の仕様は、それぞれの項を適用する。

区分	施工箇所（室名）	保温種別	外装
ダクト			
配管			

・保温化粧ケース
・使用する（※ 塩ビ製　・　）　・使用しない
・高圧蒸気管の保温厚は冷温水管による。（2-3.1.6）
・高圧蒸気ヘッダーの保温厚は７５mmとする。
下記のﾀﾞｸﾄは標仕第２編表２．３．２により保温を行う。（2-3.1.4）

ダクト	施工範囲	保温厚
外気（ＯＡ）	全て	２５mm
給気（ＳＡ）	全て	標仕第２編表２．３．７ XI（５０mm、２５mm）
排気（ＥＡ）	外壁から１ｍ	２５mm

3. 消音　標仕第２編表２．３．２による。（2-3.1.4）

区分	保温種別	摘要
サプライチャンバー	Ｍ，（イ）or（ロ），Ⅸ	※ する　・しない
消音チャンバー・消音エルボ	Ｌ，（イ）or（ロ），Ⅷ	※ する　・しない
レタンチャンバー	Ｌ，（イ）or（ロ），Ⅷ	・する　※ しない
吹出口ボックス	Ｌ，（イ）or（ロ），Ⅷ	・する　※ しない

⑤ 塗装・防錆

1. 塗装の箇所　標仕第２編３．２．１項によるほか下記による。（2-3.2.1 / 2-3.2.1）
・下記の亜鉛めっきされた金属電線管は塗装を行う。
（・屋外露出　・　）
・下記の亜鉛めっきされた配管、ダクトは塗装を行わない。
（・機械室　・電気室　・自家発電機室　・EV機械室　・　）
亜鉛めっき以外の鉄面には、鉛・クロムフリーさび止め塗料を使用する。

2. 鋼材工事の防錆　屋内部分 ※ 塗装　・溶融亜鉛めっき（２種３５）・電気亜鉛めっきの２級　（2-4.6.2）
屋外部分 ※ 溶融亜鉛めっき（※ ２種３５　・２種５０）・ステンレス（ＳＵＳ３０４）

3. 防食処置　コンクリート内埋設部、貫通部、支持部の金属管にはプラスチックテープ１／２重ね1回巻きを行う。（2-2.7.3 / 2-2.5.3）

6 衛生器具設備

1. 大便器洗浄方式　※ ロータンク方式　（5-1.1.8）
・ＦＶ(洗浄弁)方式　（※ 押しボタン式　・ハンドル式）
・フラッシュタンク方式
水圧の不足する場所は低圧型とする。

2. 小便器　節水装置（※ 一体型　・分離型）　（5-1.1.2）

3. 水栓　水抜栓を使用する場合の水栓は（※ 吸気こま　・固定こま）とする。
水栓の接続には、器具接続用異種金属接触防止継手(水栓接続側青銅製)を使用する。

4. 自動水栓　電源供給（※ ＡＣ１００Ｖ　・乾電池　・自己発電）　（5-1.1.7）
手動スイッチ（※ なし　・あり）

5. 温水洗浄便座　※ 温水洗浄便座　（5-1.1.13）
付加機能は標仕第５編１．２．１によるほか下記による。
（・温風乾燥機能　・擬音装置　・リモコン）
・普通便座（ソフト閉止付き、洗浄機能なし）

⑦ 給水設備

① 給水方式　・水道直結方式　・高置タンク方式　⊙加圧給水方式　・増圧直結方式

2. タンク　（1）受水タンク　材質は下記による。（5-1.4.1）
・ＦＲＰ製（・パネル形　・一体形）（※ 複合板　・単板）
・鋼板製　（・パネル形　・一体形）
・ステンレス鋼板製パネル（・ボルト組立形　・溶接組立形）保温（・あり　・なし）
形状及び寸法　（・標準図による　・図示による）
タンクに給水栓用配管の接続口　（・設ける　※ 設けない）
タンクに緊急遮断弁　（・設ける　※ 設けない）　（2-2.2.22）
水位センサ　（※ 電極棒　・電極帯）
（2）高置タンク　材質は下記による。
・ＦＲＰ製（・パネル形　・一体形）（※ 複合板　・単板）
・鋼板製　（・パネル形　・一体形）
・ステンレス鋼板製パネル（・ボルト組立形　・溶接組立形）保温（・あり　・なし）
形状及び寸法　（・標準図による　・図示による）
水位センサ（※ 電極棒　・電極帯）

3. 量水器　親メーター（※ 貸与　・買取）　（2-2.2.16）
子メーター（・貸与　※ 買取）
パルス式　（※ なし　・直読式＋パルス発信器　・湿式アナログ式＋パルス発信器）

4. 量水器桝　※ 標準図による。　・水道事業者の仕様による。（5-1.8.4）

5. 弁　水道直結部分は水道事業者の規定による他、下記による。（2-2.2.1 / 2-2.1.1）
ＪＩＳ又はＪＶ　（※ 0.98MPa　・　）管端防食コアを備えた弁
その他の部分はJIS又はJV（※ 0.49MPa　・0.98MPa）　管端防食コアを備えた弁

6. 弁桝　※ 標準図による。　・水道事業者の仕様による。

⑦ 配管材料　＜表 - 1＞「使用配管材料一覧表」のとおり。

8. 飲料水の水質の測定　※ 建築物における衛生的環境の確保に関する法律施行規則第4条による水質検査（１６項目＋残留塩素）の成績表を提出する。（2-1.3.2 / 2-1.3.2）
・水道法施行規則第１０条による水質検査(５１項目＋残留塩素)の成績表を提出する。
・省略する。

⑧ 排水設備

① 排水方式　建物内汚水と雑排水（※ 分流　⊙合流）
建物外放流先　汚水　⊙直放流下水道　・浄化槽　・既存し尿浄化槽
雑排水　⊙直放流下水道　・浄化槽　・排水管　・側溝

② 配管材料　＜表 - 1＞「使用配管材料一覧表」のとおり。

③ 衛生器具等の排水管　洗面器及び手洗器に直結する排水管寸法は器具トラップより１サイズアップとする。
既製流し台などの床上露出部の配管は硬質塩化ビニル管（ＶＰ）とする。洗面ユニットのトラップと排水管は専用アダプタを使用して接続する。排水管の接続は下記による。
（1）大便器　※ 塩ビ製フレキシブル継手　・鉛管
（2）小便器　※ ＶＰ　・鉛管
（3）洗面、手洗器　※ ＶＰ　・鉛管

4. 塩ビ立管の通気金物　エルボ返しに通気金物を下方から取付けてはならない。

5. ｲﾝﾊﾞｰﾄ桝、ため桝　※ 小口径塩ビ桝　・標準図による。　・下水道事業者指定品　（5-1.8.5）
※ 塩ビ桝蓋の場合は鎖付とする。（ただし、適合品がない場合は除く。）（5-1.8.6）

6. 満水試験継手　・図示の箇所に取付ける。※ 排水管が3階以上にわたる場合は各階ごとに取付ける。（2-2.4.8 / 2-2.2.8）

⑦ 試験　⊗ 通水試験　※ 満水試験　（2-2.9.4 / 2-2.7.4）

9 給湯設備

1. 配管材料　＜表 - 1＞「使用配管材料一覧表」のとおり。

2. 煙突煙道等　給湯ボイラー　煙突（・本工事　※ 別途工事）　煙道（・本工事　※ 別途工事）（3-1.1.9 / 3-2.1.4）
鋼板の厚さ　（※ ３．２mm・　mm）
ガス湯沸器　排気筒（※ 本工事　・別途工事）（5-1.3.8）
材質、厚さ（※ ＳＵＳ３０４、０．３mm以上　・図示による）
頂部の形状（※ ステンレス製防鳥網付排気トップ　・図示による）

10 消火設備

1. 消防設備等の種類　・屋内消火栓設備　（※易操作性１号　⊙１号　・広範囲形２号　・２号）
・スプリンクラー設備　・二酸化炭素消火設備　・泡消火設備
・粉末消火設備　・屋外消火栓設備　・連結送水管
・連結散水設備　・フード等用簡易自動消火設備

2. 配管材料　＜表 - 1＞「使用配管材料一覧表」のとおり。

⑪ ガス設備

① 種別　・都市ガス　（発熱量　MJ/m3）
⊙液化石油ガス　（発熱量　52.0　MJ/kg）

② 配管材料　＜表 - 1＞「使用配管材料一覧表」のとおり。

3. 土中埋設管の電気防食　※ 行わない　・行う

4. 集合装置　転倒防止用鎖　※ 本工事　・別途工事
ガスボンベ　※ 別途　（※ 50kg　・　kg）

5. ｶﾞｽﾒｰﾀｰ　※ 貸与品　・買取　※ マイコンメータ　ガス漏警報器と連動（・あり　・なし）（6-2.2.1 / 6-2.2.1）
計量方式（・実測式　・パルス式）

6. ｶﾞｽ漏警報連動遮断装置　※ あり　・なし　（6-2.1.3 / 6-2.2.1）（6-2.1.5 / 6-2.2.1）

7. ｶﾞｽ漏警報機　・取付ける　（※ 本工事　・別途工事）　外部端子（・あり　・なし）（6-2.1.3 / 6-2.2.1）
・取付けない

12 厨房機器設備

1. 機器の寸法　図示の寸法は参考とする。

2. 機器の固定等　下記の機器は標仕第5編1.6.1(b)を適用する。（5-1.6.1 / 5-2.2.6）
（　）
下記の機器はステンレス鋼板の厚さを1.2mm以上とする。（5-1.6.5）
（・流しの槽及び水切り　・作業台の甲板　・　）（5-1.6.6）
・流しの下部に設けるもの　（※ なし　・すのこ　・戸棚）（5-1.6.5）
・作業台の下部に設けるもの（※ なし　・すのこ　・戸棚）（5-1.6.5）

3. 制御・操作盤　製造者の標準形とする。

13 浄化槽（小規模合併処理）

1. 処理対象人員　・　人 JIS A 3302-2000類似用途別番号（　）建築用途（　）

2. 処理水量　・　m3/日

3. 放流水水質　BOD濃度　ppm以下　BOD除去率　%以上　（8-1.1.1）
COD濃度　ppm以下　T-N濃度　ppm以下

4. 処理種別　・嫌気ろ床接触ばっ気方式　・分離接触ばっ気方式　（8-1.1.1）
・脱窒ろ床接触ばっ気方式　・その他（　）

5. 型式　※ ユニット型（国土交通大臣型式適合認定品）　・その他（　）（8-1.1.1）

6. 施工範囲　ユニット型の底板及び上スラブ工事は（※ 本工事　・別途工事）
送風機室（※ 本工事　・別途工事）防護柵（※ 本工事　・別途工事）
土留工事（※ 本工事　・別途工事）杭工事（※ 本工事　・別途工事）
水替工事（※ 本工事　・別途工事）制御盤（※ 本工事　・別途工事）
一括故障表示用無電圧接点及び端子（※ 設ける　・設けない）

7. 消泡装置　・ノズル式　・消泡剤式

8. 管理備品　掻き揚げ用具、ビニールホース、デッキブラシ、ゴム手袋を備える。

14 空気調和設備

1. 空気調和方式　・空気調和　・ダクト方式（・定風量　・変風量）
・ファンコイルユニット ＋ ダクト併用方式
・輻射方式 ＋ ダクト併用方式
・冷暖房設備　・ファンコイルユニット ＋ 全熱交換器
・ヒートポンプエアコン（EHP）
・ガスエンジンヒートポンプエアコン（GHP）＋全熱交換器
・暖房設備　・ファンコンベクター方式　・FF温風暖房方式（・ガス・灯油）
・温水床暖房方式　・電気床暖房方式
・冷媒の種類　※HFC-R32　※ HFC-R410A　・HFC-R407C

2. 設計温湿度条件

区分	外気		室内					
			系統		系統		系統	
	乾球温度	相対温度	乾球温度	相対温度	乾球温度	相対温度	乾球温度	相対温度
夏期	℃	%	℃	%	℃	%	℃	%
冬期	℃	%	℃	%	℃	%	℃	%

3. 煙道等　煙道　※ 本工事　・別途工事　（3-1.1.9）
鋼板厚　※ 3.2mm　・4.5mm
ばい煙濃度計　（3-1.1.10）
※ 設ける（位置は図示による。）
電源はバーナー電源（2次側）から取り出すものとし、（3-1.1.10）
配管配線は（※ 本工事　・別途工事）とする。
ばいじん量測定口　（3-1.1.9）
※ 設ける（80φ、煙道直線部。）
・設けない
煙突　・本工事　※ 別途工事

4. 放熱器付属品　温水用には温水用放熱器弁及びレタンコックを取付ける。コンベクター及びベースボードヒーター用の弁及びトラップは（※ 内臓　・露出）とする。（3-1.10.8）

5. ﾀﾞｸﾄ　区分　※ 低圧ダクト　・高圧１ダクト　・高圧２ダクト　（3-2.2.1）
工法　※ コーナーボルト工法（長辺の長さ1,500mm以下）（3-2.2.3）
・共板フランジ工法　・スライドオンフランジ工法
・アングルフランジ工法（長辺の長さ1,500mm超）（3-2.2.2）

6. 吹出口及び吸込口　※ アルミニウム製　・鋼板製　（3-1.15.1 ～4）

7. 風量測定口　取付位置は下記による。（3-2.2.7）
・図示の位置　・外気取入れダクト
・送風機吐出ダクト又は吸込ダクト　・空調機出口チャンバーの分岐ダクト

8. 風量調節ﾀﾞﾝﾊﾟｰ　下記の使用区分のダンパーは耐塩仕様とする。（3-1.15.6）
使用区分（※ OAダクト　・SAダクト　・RAダクト　・　）
耐塩仕様　ダンパー軸（ステンレス棒鋼）　軸受（テフロン製）

9. 防煙ﾀﾞﾝﾊﾟｰ　自動閉鎖機構はソレノイド（瞬時通電式）又は電動式とし、自動復帰機構は電動式とする。（3-1.15.8）
定格入力はDC24V、0.7A以下とする。
煙感知器、連動制御機器及びこれに係る配線類は（・本工事　※ 別途工事）とする。
※ 遠隔復帰式（電気式）　・

10. ﾋﾟｽﾄﾝﾀﾞﾝﾊﾟｰ　※ 遠隔復帰式　・手動復帰式　（3-1.15.10）

⑪ 配管材料　＜表 - 1＞「使用配管材料一覧表」のとおり。

12. 計器類　取付け部は下表による。
＜計器類取付け一覧表＞

機器名	部位	温度計	圧力計	瞬間流量計	備考
冷凍機	冷水管及び冷却水管（出入口側）	※	※		
	冷水管及び冷却水管（出口側）			※	・固定型 ※着脱型
吸収冷温水器	冷温水管及び冷却水管（出入口側）	※	※		
	冷温水管及び冷却水管（出口側）			※	・固定型 ※着脱型
ボイラー	温水管（入口側）	※			
温水発生機	温水管（出入口側）	※			
	温水管（入口側）			※	・固定型 ※着脱型
空気調和機	冷温水管（出入口側）	※	※		
	冷温水管（出口又は入口側）			※	・固定型 ※着脱型
熱交換器	冷温水管（出入口側）	※	※		
冷温水ヘッダ	（往ヘッダー）及び各返り管	※			
	（・各送り管　・各返り管）			※	・固定型 ※着脱型
空気調和機（ﾊﾟｯｹｰｼﾞ形を含む）	サプライチャンバー、ダクト 外気取入れダクト及びレタンチャンバー	※			
温風暖房機	吐出ダクト、レタンダクト 外気取入れダクト及びレタンチャンバー	※			

温度計はバイメタル式温度計とし、目盛板外径は100mmとする。（2-2.3.2）
（ボイラー、貯湯タンクを除く）
圧力計は標仕第2編2.3.1による。(目盛板外径は100mm、コック・赤針(設置針)付とする。)（2-2.3.1）
瞬間流量計はピトー管方式によるもので止水コック付とする。（2-2.3.8）
なお、着脱型の支持部は下記を標準とする。
・20A～ 40A用　個　・50A～100A用　個　・125A～250A用　個

13. 消火器の設置　下記の箇所に消火器を設置する。
・ボイラー室　能力単位　×　個　格納箱（※ SS　・SUS）
・地下タンク貯蔵所　能力単位　×　個　格納箱（・SS　※ SUS）

一級建築士事務所　新潟県知事登録（リ）１３５９号
SSJKK　感謝・働き・真実
株式会社　関矢設計事務所
郵便番号 946-0111　新潟県魚沼市並柳182番地　℡ 025-799-2122
管理建築士　一級建築士　第228811号　関矢茂信

工事名称　4学工第12号　広神中学校校舎外部改修工事
日付　2022年3月
図面名称　機械設備工事仕様書（１）
縮尺　FREE
M - 1

15 換気設備

1. ﾀﾞｸﾄ
区分
※低圧ダクト　・高圧１ダクト　・高圧２ダクト　3-2.2.1
使用ダクト　3-2.2.2
※スパイラルダクト　（長方形ダクトとの使い分けは図示による）　3-2.2.3
・コーナーボルト工法ダクト　（長辺の長さ1,500mm以下）
※共板フランジ工法　・スライドオンフランジ工法
・アングルフランジ工法ダクト（長辺の長さ1,500mm超）
材質
※ 亜鉛鉄板
・ステンレス鋼板　（ ・ A工法　・ B工法 ）
・硬質塩化ビニル板　・ A工法　・ B工法）
・塩ビ被覆鋼板　（接厚　※0.2mm　・　mm）
下記のダクトは標準仕様書第３編表３．２．２よりも１番手厚いものを使用する。
・　・　厨房用排気ダクト　・　・　）
制気口およびダンパーは14. 空気調和設備による。

2. 多湿箇所の排気ﾀﾞｸﾄ　水抜き管　・　要　・　不要　3-2.2.1

16 排煙設備

1. ﾀﾞｸﾄ　※ 亜鉛鉄板製　・ 普通鋼板製　3-2.2.4　3-2.2.6
2. 排煙口の形式　・天井取付け（・スリット形　・スイング形）・壁取付け（・スリット形　・　）　3-1.15.5
3. 排煙口手動開放装置　・ワイヤー式　・電気式（遠隔操作　・要　・ 不要 ）
4. ~~排煙風量測定~~　建築設備定期検査業務指導書（日本建築設備安全センター）の排煙風量の検査方法に準ずる。

17 自動制御

1. 中央監視制御　・ あり（詳細は　　図参照）　・　なし
2. 総合調整　・ 総合試運転完了後、制御計測調整報告書を監督員に提出する。　4-2.4.2　4-2.4.2

18 追加特記事項

① 公共事業労務費調査　※ 協力する。
2. 工事監理方式　共同監理　・ あり　・　なし
③ 適用基準等　工事遂行マニュアル
・ 営繕工事電子納品要領（案）（国土交通省大臣官房官庁営繕部営繕計画課監修）
4. 総合図　※ 作成する　・作成しない
5. 工事成績評定　受注者は、工事成績評定の対象となる工事施工において、自ら立案した創意工夫や工事特性に関する項目、又は地域社会への貢献として評価できる項目について、工事完了までに所定の様式により提出することができる。（様式は工事遂行マニュアルによる。）
6. 負担金の支払区分　※ 本工事に含まない。
・ 本工事に含む。（　　）
⑦ アスベスト含有の建材　アスベスト含有の建材は使用しない。ただし、やむを得ずアスベスト含有建材を使用する場合は、事前に監督員と協議を行うこと。
8. 中間技術検査　低入札価格調査基準価格を下回った額で契約となった場合は、中間技術検査を１回実施する。検査時期については、工事現場着手前に監督員と協議すること。
⑨ 有価物について　当該工事における有価物については、下記の通り取り扱う。
（１）有価物は、原則として工事費（積算）に含めない。
（２）鉄くず等金属類及び電線等は、有価物として有価物引取り業者に持ち込むこと。
（３）有価物引取り業者は、手洗伝票を建設工事受注業者に発行する。
（４）建設受注業者は、計量伝票を根拠に有価物売り払い金清算を完了する。
（５）有価物売り払い金清算完了後、計量伝票を発注担当部署へ一括引き渡す。
（６）発注担当部署は、納入通知書を建設工事受注業者に発行し納めていただく。

<表 － 1>使用配管材料一覧表

名称	番号	備考	給水管 一般	給水管 地中埋設	給湯管	排水管 屋内	排水管 屋外	通気管	消火管 水系 一般	消火管 水系 埋設	ガス管 ガス系	油管 地中埋設	油管 一般	油管 暗渠内	備考（接合工法等）
【給水及び給湯管】															
水道用硬質塩化ﾋﾞﾆﾙﾗｲﾆﾝｸﾞ鋼管	JWWA K 116	SGP-VA	○												□ねじ　□ﾌﾗﾝｼﾞ　□ﾊｳｼﾞﾝｸﾞ
〃	〃	SGP-VB	●												■ねじ　□ﾌﾗﾝｼﾞ
〃	〃	SGP-VD			○										□ねじ　□ﾌﾗﾝｼﾞ
水道用耐熱性硬質塩化ﾋﾞﾆﾙﾗｲﾆﾝｸﾞ鋼管	JWWA K 140	SGP-HVA				○									□ねじ
水道用ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ粉体ﾗｲﾆﾝｸﾞ鋼管	JWWA K 122	SGP-PB	○												□ねじ　□ﾌﾗﾝｼﾞ
〃	〃	SGP-PD			○										□ねじ　□ﾌﾗﾝｼﾞ
一般配管用ｽﾃﾝﾚｽ鋼鋼管	JIS G 3448		●	○	●										■圧縮・ﾌﾟﾚｽ　■拡管式　□ﾊｳｼﾞﾝｸﾞ　□溶接（配管管にｽﾃﾝﾚｽ鋼管を使用する場合の保温材は、保温材メーカー推奨品とする。）
銅及び銅合金継目無管	JIS H 3300	硬質(M)	○		○										□熱溶着　□電気融着　□ﾒｶﾆｶﾙ
外面被覆銅管	JIS H3330		○		○										
保温付被覆銅管	JCDA 0008		○		○										JIS H 3300の外面に発泡断熱材（厚さ14mm以上）で被覆したもの
水道用硬質ﾎﾟﾘ塩化ﾋﾞﾆﾙ管	JIS K 6742	VP又はHIVP	○	○											□接着（TS）　□ｺﾞﾑ輪(RR)
水道用ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ二層管	JIS K 6762			○											□軟質管・ﾒｶﾆｶﾙ　□硬質管・ﾒｶﾆｶﾙ
水道配水用ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ管	JWWA K 144			○											□電気融着　□ﾒｶﾆｶﾙ
ﾎﾟﾘﾌﾞﾃﾝ管	JIS K 6778		○		○										
水道用ﾎﾟﾘﾌﾞﾃﾞﾝ管	JIS K 6792		○	○											□熱溶着　□電気融着　□ﾒｶﾆｶﾙ
【排水及び通気管】															
配管用炭素鋼鋼管	JIS G 3452	白管				○				○					□ねじ
配管用炭素鋼鋼管	JIS G 3452	白管								○					□ねじ　□ﾊｳｼﾞﾝｸﾞ　□溶接
排水用硬質塩化ﾋﾞﾆﾙﾗｲﾆﾝｸﾞ鋼管	WSP 042					○			○						□ねじ　□MD
排水用ﾉﾝｸﾞﾗｺｴﾎﾟｷｼ塗装鋼管	WSP 032					○			○						□ねじ　□MD
排水用塩化ﾋﾞﾆﾙｺｰﾃｨﾝｸﾞ鋼管						○			○						□ねじ　□MD
排水・通気用鉛管	SHASE-S203					○									
硬質ﾎﾟﾘ塩化ﾋﾞﾆﾙ管	JIS K 6741	VP				●	○	●							■接着（DV）　□ｺﾞﾑ輪（RR）
〃	〃	VU					○								□接着（VU）　□ｺﾞﾑ輪（RR）
排水用ﾘﾀｲﾔﾙ硬質ﾎﾟﾘ塩化ﾋﾞﾆﾙ管	AS － 58	REP-VU					○								□接着（VU）　□ｺﾞﾑ輪（RR）
ﾘﾀｲﾔﾙ硬質ﾎﾟﾘ塩化ﾋﾞﾆﾙ発泡三層管	JIS K 9798	RF-VP				○									□接着（DV）　□ｺﾞﾑ輪（RR）
ﾘﾀｲﾔﾙ硬質ﾎﾟﾘ塩化ﾋﾞﾆﾙ三層管	JIS K 9797	RS-VU					○								□接着（VU）　□ｺﾞﾑ輪（RR）
耐火二層管						●		○							■接着（DV）　□ｺﾞﾑ輪（RR）国土交通省認定品
ｺﾝｸﾘｰﾄ管	JIS A 5372	外圧管1種のB形					○								□ﾌﾟﾗｯﾄ接合（B形）
【消火管】															
配管用炭素鋼鋼管	JIS G 3452								○						□ねじ　□ﾊｳｼﾞﾝｸﾞ　□溶接
圧力配管用炭素鋼鋼管	JIS G 3454	STPG 370白管 Sch40							○						□ねじ　□ﾌﾗﾝｼﾞ　□ﾊｳｼﾞﾝｸﾞ　□溶接
消火用硬質塩化ﾋﾞﾆﾙ外面被覆鋼管	WSP 041	SGP-VS								○					□ねじ
一般配管用ｽﾃﾝﾚｽ鋼鋼管	JIS G 3448								○						□圧縮・ﾌﾟﾚｽ　□拡管式　□ﾊｳｼﾞﾝｸﾞ　□溶接
【ｶﾞｽ管及び油管】															
配管用炭素鋼鋼管	JIS G 3452	白管									○				□ねじ
ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ被覆鋼管	JIS G 3469	PLS									○	○			□ねじ　□溶接
〃	JIS G 3469	PLP										○			□溶接
ｶﾞｽ用ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ管	JIS K 6774											○			□熱溶着　□電気融着　□ﾒｶﾆｶﾙ
配管用炭素鋼鋼管	JIS G 3452	黒管											○		□ねじ　□溶接
ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ被覆鋼管	JIS G 3469	PLS											○	○	□ねじ　□溶接
〃	JIS G 3469	PLP												○	□溶接

（注）● 印及び■ 印を適用する。

名称	番号	備考	冷温水管	冷却水管	蒸気管	給気管	還管	油管 一般	油管 暗渠内	油管 地中埋設	ドレン排水管	冷媒管	補給水管	空気抜管	膨張管	備考（接合工法等）
【冷温水及び冷却水管】																
配管用炭素鋼鋼管	JIS G 3452	白管	○	○												□ねじ　□ﾊｳｼﾞﾝｸﾞ　□溶接
水道用硬質塩化ﾋﾞﾆﾙﾗｲﾆﾝｸﾞ鋼管	JWWA K 116	SGP-VA		○												□ねじ　□ﾌﾗﾝｼﾞ　□ﾊｳｼﾞﾝｸﾞ
一般配管用ｽﾃﾝﾚｽ鋼鋼管	JIS G 3448	SUS 304	○													□圧縮・ﾌﾟﾚｽ　□拡管式　□ﾊｳｼﾞﾝｸﾞ　□溶接（配管管にｽﾃﾝﾚｽ鋼管を使用する場合の保温材は、保温材メーカー推奨品とする。）
【蒸気管及び油管】																
配管用炭素鋼鋼管	JIS G 3452	黒管				○		○								□ねじ　□溶接
圧力配管用炭素鋼鋼管	JIS G 3454	STPG 370 黒管Sch40				○	○									□ねじ　□溶接
一般配管用ｽﾃﾝﾚｽ鋼鋼管	JIS G 3448	SUS 304					○									□溶接　□フランジ
ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ被覆鋼管	JIS G 3469	PLS						○	○	○						□ねじ
〃	JIS G 3469	PLP								○						□溶接
【冷媒管】																
断熱材被覆銅管	原管は、JIS H 3300による										○					液　管：□保温厚10mm以上　ｶﾞｽ　管：□保温厚10mm以上 □保温厚20mm以上
【空調ﾄﾞﾚﾝ排水管】																
配管用炭素鋼鋼管	JIS G 3452	白管										○				□ねじ　□MD
硬質ﾎﾟﾘ塩化ﾋﾞﾆﾙ管	JIS K 6741	VP										□				□接着（ＴＳ）　□ｺﾞﾑ輪（ＲＲ）
【補給水管】																
水道用硬質塩化ﾋﾞﾆﾙﾗｲﾆﾝｸﾞ鋼管	JWWA K 116	SGP-VA											○			□ねじ　□ﾌﾗﾝｼﾞ　□ﾊｳｼﾞﾝｸﾞ
【空気抜き管】																
配管用炭素鋼鋼管	JIS G 3452	白管												○		□ねじ　□ﾊｳｼﾞﾝｸﾞ　□溶接
【膨張管】																
配管用炭素鋼鋼管	JIS G 3452	白管													○	□ねじ　□ﾊｳｼﾞﾝｸﾞ　□溶接

（注）冷媒管で液管の呼び径9.52以下は、保温厚8mmとしてよい。
● 印及び■ 印を適用する。

<表 － 2>「発生材の処理等」

1．再生資材の利用
下記資材の使用に際し、再生資材を利用すること。

再生資材名	規格	使用箇所	再資源化施設名・所在地	備考
再生クラッシャラン	RC-40		桜井石材/魚沼市下倉	

2．建設発生土の利用
盛土等に使用する発生土は、下記の工事からの建設発生土を利用すること。

発注機関	工事名	発生場所	施工会社名・連絡先	備考

3．建設発生土の搬出
工事の施工により発生する建設発生土は、下記の場所に搬出すること。

受入工事名/施設名称	
工事場所/施設所在地	
連絡先	
仮置場所の有無	
備考	

④ 建設廃棄物の搬出
工事の施工により発生する廃棄物は、下記の場所に搬出するものとし積算している。

搬出する廃棄物名	金属くず	廃プラ、保温材GW		
処理施設名称	御渡辺鋼鉄店	㈱小出環境サービス		
施設所在地	魚沼市四日町381-1	魚沼市七日市416-1		
連絡先	025-792-6140	025-792-0208		
備考				

上表は積算上の条件であり、処理施設を指定するものではない。なお、請負者の提示する施設と異なる場合においても設計変更の対象としない。ただし、現場条件や数量の変更等、請負者の責によるものでない事項についてはこの限りではない。

⑤ 建設リサイクル法の対象建設工事は工事の規模に関係なくすべてを対象とする
発注者への説明、書面の交付、届出の提出等を行う
建設リサイクル法の対象建設工事において、特定建設資材廃棄物の再資源化等が完了したときは、同法第18条に基づき再資源化等完了報告書を提出すること

⑥ 自ら産業廃棄物を運搬・処分する以外は、委託契約書の写しを提出すること。

⑦ 再生資源利用計画書の必要の有無　（有）実施書は完了時にＣＤで提出すること
再生資源利用促進計画書の必要の有無　（有）実施書は完了時にＣＤで提出すること

⑧ 協議について
建設工事発注後に明らかになったやむを得ない事情により、上記の指定や条件によりがたい場合は、速やかに監督員に報告し、協議すること。

<表－3> 工事区分表
注）　原則○印を適用する。

項目		本工事	建築工事	電気工事
■躯体関係				
1．RC造（梁・壁・床）の貫通孔・開口部	貫通スリーブ材及び取付け	○		
	補強を要する型枠材及び取付け		○	
	補強を要しない型枠材及び取付け	○		
	貫通孔・開口部の埋出し	○		
	貫通孔・開口部の補強		○	
	スリーブ・型枠の穴埋め	○		
2．S・SRC造・梁貫通口	S・SRC造貫通鋼管スリーブ・補強		○	
	使用されたスリーブの穴埋め	○		
	予備スリーブの穴埋め	○		
3．設備機器の基礎	建築設計図に記入のあるもの		○	
	室内の基礎（建築設計図に記入のないもの）	○		
	屋外・屋上の基礎		○	
	屋上基礎で押えコンにアンカーしない軽微なもの	○		
	機器取付け用アンカー・架台	○		
	屋内受水タンク用の基礎		○	
■仕上げ関係				
軽鉄天井・壁下地	補強を要するボードの切り込み及び下地の補強		○	
	補強を要しないボードの切り込み	○		
	開口部の墨出し	○		
■電気関係				
電気配管配線	機器付属の制御盤以降の配管配線（接地線共）	○		
	機器付属の制御盤への電源供給配管配線			○
	機器と付属操作リモコン等の取付け及び渡り配管配線	○		
■その他（工事区分を特に間違えやすい項目）				
天井材の取外し再取付	各種配管配線作業用		○	
床はつり補修	各種配管配線作業用		○	
流し台、ガス台			○	
便所手洗い・カウンター	衛生陶器は衛生設備		○	
洗面化粧台		○		
ガス漏れ警報器		○		
24H換気扇連動スイッチ	機器納入	○		
	取付			○
湯沸器連動スイッチ	機器納入	○		
	取付			○

Ⅲ．改修特記仕様

① 一般共通事項

1. 工事現場管理　施工場所の設備機能停止に伴う非施工場所の代替え設備。　I-1.1.3
※設けない　・設ける（図示による）
天井解体の条件に従い、天井内の機器、配管及びダクト等を施工する。
天井解体の条件　※ 建築工事　・本工事（図示による）
工事車両の駐車場及び資機材置場については、次による。
※敷地内　・敷地外（受注者の手配による）

2. 再使用品　状態、性能及び機能等、取外し前に行う確認項目は、監督員と協議する。　I-1.4.3
取外した機器は、清掃又は洗浄等を行う。

3. 固定された備品、机・ﾛｯｶｰ等の移動　※別途工事　・本工事（図示による）　I-3.2.1

4. 本工事で設置する仮設　I-2.2.1
・ 足場
内部足場の種別　※ Ａ ～ Ｄ 種　・ Ｅ 種　・ Ｆ 種　・ Ｇ 種
外部足場の種別　※ Ａ、Ｃ 種　・ Ｂ 種　・ Ｄ 種　・ Ｅ 種
外部足場は枠組足場とする。
足場を設置する場合は、「手すり先行工法に関するガイドライン（厚生労働省　基発第０４２４０００１号平成２１年４月２４日）」の「手すり先行工法等に関するガイドライン」により、「働きやすい安心感のある足場に関する基準」に適合する手すり、中さん及び幅木の機能を有する足場とし、足場の組立て、解体又は変更の作業は、「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」の２の（２）手すり据置方式又は（３）手すり先行専用足場方式により行うこと。
・ 仮設開仕切り　※ Ａ 種　・ Ｂ 種　・ Ｃ 種

5. 養生　※別途工事　・本工事（図示による）　I-3.1.1

6. 内容物の回収　撤去前に内容物の回収を要する機器及び配管は図示による。　I-4.1.1
・冷媒　・吸収液　・廃油

7. 撤去跡の補修　壁付け付機器、床置き機器及び天井付け機器撤去跡の取付けボルト孔、壁面、天井面の変色等の補修及び床補修等は、次による。　I-4.2.4
・本工事（図示による）
※建築工事
床、壁及び天井等の撤去後の開口部について、補修の方法及び仕上げの仕様は、次による。
※建築工事　・本工事（図示による）

共通工事

① 既設配管の撤去　既設配管の撤去範囲は図示による。ただし、その位置で不具合と判断される場合は監督員と協議する。　2-2.8.2
2. 既設配管の搬出　下記の撤去材の集積場所は、監督員と協議する。　2-2.8.3
（　　）
3. 既設配管の再生　工法（　　）　2-2.2.11
調査箇所及びサンプリング個数は、図示による。
4. 埋設配管　・ 埋設する部分の舗装等のはつり及び復旧工事の施工範囲及び舗装仕様は、図示による。　2-2.5.1
・ 地盤対策は、図示による。
・ 越敷、芝生、舗装、石貼、タイル等の移植及び撤去、復旧並びに再利用品等は、図示による。
⑤ 試験　システム全体の試験　※行わない　・行う（　　）　2-2.7.1
既設配管を含む部分の試験方法は監督員と協議する。
⑥ はつり及び穴開け　はつり作業を行う場合は、埋設配管等に損傷を与えないように行う。　2-4.1.1
放射線透過検査　※行わない　・行う（　　）
・ 既存のコンクリート床及び壁等の配管貫通場所及び貫通口径は、図示による。　2-4.1.3
7. 既設基礎の解体はつり　・ 解体基礎の仕様（有筋・無筋、防水・非防水、寸法等）は、図示による。　2-4.1.5
・ 防水層等の補修は、図示による。
・ 基礎解体、撤去後の床面仕上げ及び補修は、図示による。
⑧ ｲﾝｻｰﾄ及びｱﾝｶｰ　既存のインサート及びアンカーボルトは原則として使用しない。やむを得ず既存のインサート及びアンカーボルトを再使用する場合は、状態及び強度をよく確認し、十分に清掃してから使用する。　2-5.1.1
引張強度の確認試験　※行わない　・行う（　　）
下記の機器に使用するアンカーは耐震計算を行い選定する。
（　　）
あと施工アンカーの試験は次による。
性能確認試験　※ 行わない　・ 行う（　　）
施工後確認試験　※ 行わない　・ 行う（　　）

追加特記事項

1. 給水設備　下記の露出配管の保温は、ワンタッチ保温材（硬質ウレタンフォーム２０ｍｍ）を使用する。
・ シャワー室
2. 給油設備　配管材料は、<表－１>「使用配管材料一覧表」のとおり。
弁は、マレアブル玉形弁とする。
（ディスクはテフロン製、パッキンはH350+H2200(灯油使用可能品 0.98MPa)）
試験は、空気圧縮試験とし、最大使用圧力の1.5倍の圧力とする。試験結果のチャートを提出する。
3. 空調設備　冷媒管は、新熱材被覆銅管（原管ＪＩＳ　Ｈ　３３００）とし、保温厚は以下による。
液管　※　１０ｍｍ以上（呼び径９．５２以下は８ｍｍとしてよい。）
ガス管　・　１０ｍｍ以上　※　２０ｍｍ以上

Ⅳ．改修工事概要
工事内容は下記のとおり、実施範囲、箇所及び数等は、図及び器具表に表記する。
○印が今回工事を示す。

1. 衛生器具設備
・ 既設の和風大便器を撤去して洋風便器を新設する。
・ 既設小便器の洗浄方式をハイタンク方式から個別感知フラッシュ弁方式に変更する。
・ 既存の洗面器を撤去する。
・ 既設洗面器、手洗器を取外し、排水トラップ及び止水栓等の付属金具を新品に取替え、器具本体は清掃後、再取付けする。
・ 既設掃除流しの排水トラップ外面を、錆落し、再塗装する。
・ 老朽化した木枠を撤去・新設する。
・ 便所内全面改修に伴い衛生器具を撤去、新設する。（範囲は図示による。）

② 給水設備
・ 給水管を撤去、新設する。（工事範囲の全て）
・ 給水管の一部を撤去又は残置し、必要な配管を新設する。
⊗ 給水管新設に伴い、保温、塗装、防食工事を行う。（範囲は図示による）

③ 排水設備
・ 器具の改修に伴う必要な配管を新設する。（範囲は図示による）
・ 便所内の床排水金具（ワン型トラップ）は、内部掃除及び防錆塗装の上、樹脂製ワンに取替える。
⊗ 既設コンクリート製流し及び人研流しの排水金具を取替える。
⊗ 排水管の一部を撤去又は残置し、必要な配管を新設する。
⊗ 不要となっている臭突管を撤去し、汚水蓋で処理する。（範囲は図示による）

4. 給湯設備
・ 給湯器を新設する。
・ 既設給湯器、湯沸器を取外し、再取付けを行う。
・ 給湯配管の一部を撤去し、必要な配管を新設する。

5. 消火栓設備
・ 工事に支障となる屋内消火栓箱を取外し、再塗装を施した後に再取付けを行う。
・ 屋内消火栓配管の一部を撤去、新設する。
・ 既設屋内消火栓ポンプ等を撤去し、新たにポンプユニット下を新設する。
・ 既設配管、充水槽等の汚れを落とし、再塗装を施す。
・ 屋内消火栓の外装塗装を施し、操作説明シールを貼付ける。

⑥ 給油設備
・ 既設給油口ボックス（埋込み型）を撤去し、露出型給油口ボックスを新設する。
・ 給油管の一部を撤去又は残置し、必要な配管を新設する。
・ 既設戸別タンクを撤去、新設する。
・ 既設オイルギアポンプを撤去、新設する。
⊗ 既設配管の汚れを落とし、再塗装を施す。

⑦ ｶﾞｽ設備
・ 既設ガス栓をヒューズコックに取替える。
⊗ 既設ガス配管のよごれを落とし、再塗装を施す。
・ ガス漏れ警報器、マイコンメーター等を更新する。

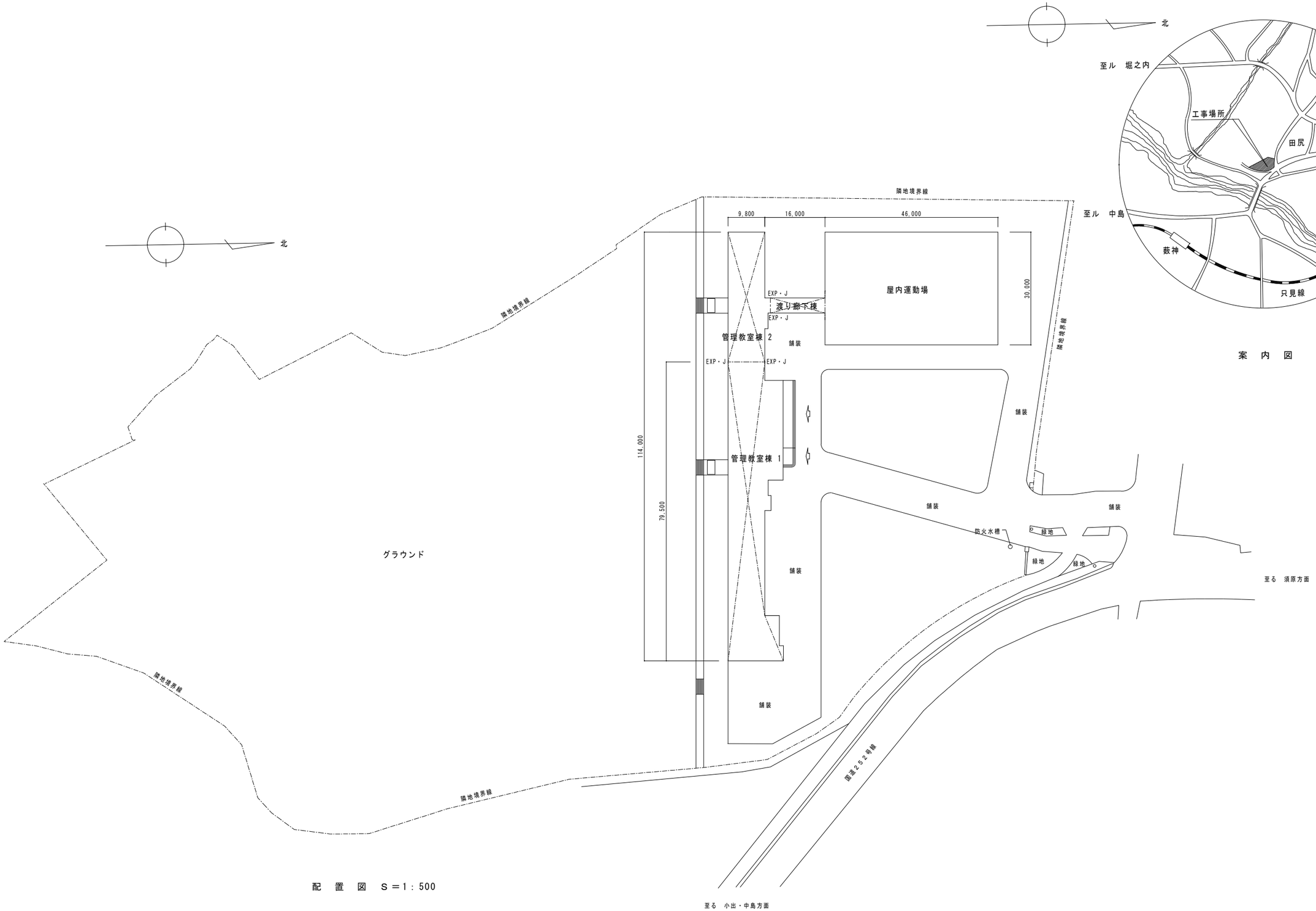
8. 空調設備
・ 外壁改修に伴い既設エアコン（屋外機、架台共）を取外し、再取付けを行う。
既設冷媒配管、ドレン管、制御配線は撤去廃棄し、再取付時に新設する。冷媒ガスは再利用するものとし、不足分を補充する。（範囲は図示による）
・ 工事に支障となるエアコン（屋内機）を取外し、再取付けを行う。（範囲は図示による）
・ 空冷エアコンを新設する。（範囲は図示による）
・ 工事期間中の教室使用によるエアコンの仮設工事を行う。

9. 換気設備
・ 既設換気扇を撤去、新設する。（１～３階　ＷＣ）
・ 原室に２４時間対応の換気扇を新設する。（２４時間スイッチは電気工事に支給する。）
・ 開放式ガス湯沸器を設置する場合は、湯沸器連動換気扇を新設する。（連動スイッチは電気工事に支給する。）
・
・

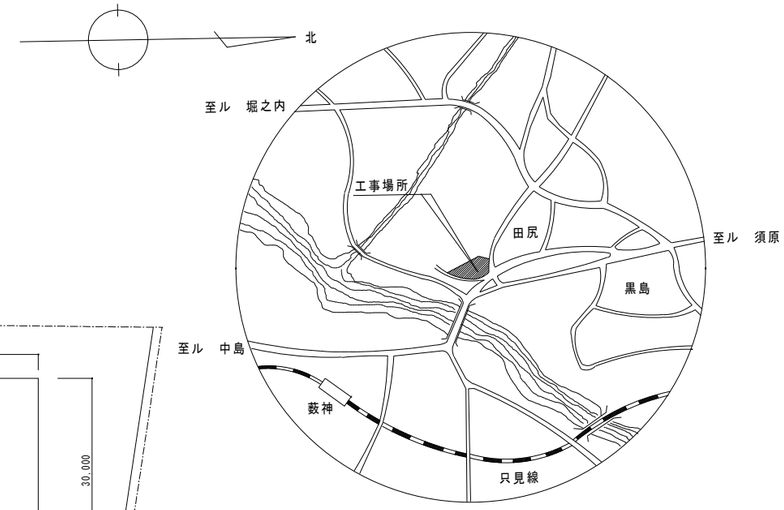
<用語の説明>
（１）「撤去」とは、既存物を壊し取ることを。
（２）「取外し」とは、再利用を考慮して、丁寧に外すこと。
（３）「撤去・新設」とは、既存物を撤去し、新たな物を設置すること。
（４）「取外し・再取付け」とは、既存物を取外し、同じ物を取付けること。
（５）「備品移動」とは、工事の施工に支障となる備品を一時別の場所に保管し、工事終了後に元の場所に戻すこと。
（６）「移動」とは、既存物を取外し、取付場所を変更して再取付すること。

一級建築士事務所　新潟県知事登録　（り）１３５９号
株式会社　関矢設計事務所
郵便番号　946-0111　新潟県魚沼市並柳182番地　℡　025-799-2122
管理建築士
一級建築士　第228811号
関　矢　茂　信

工事名称	日付	
4学工第12号　広神中学校校舎外部改修工事	2022年3月	M － 2
図面名称	縮尺	
機械設備工事仕様書（２）	FREE	

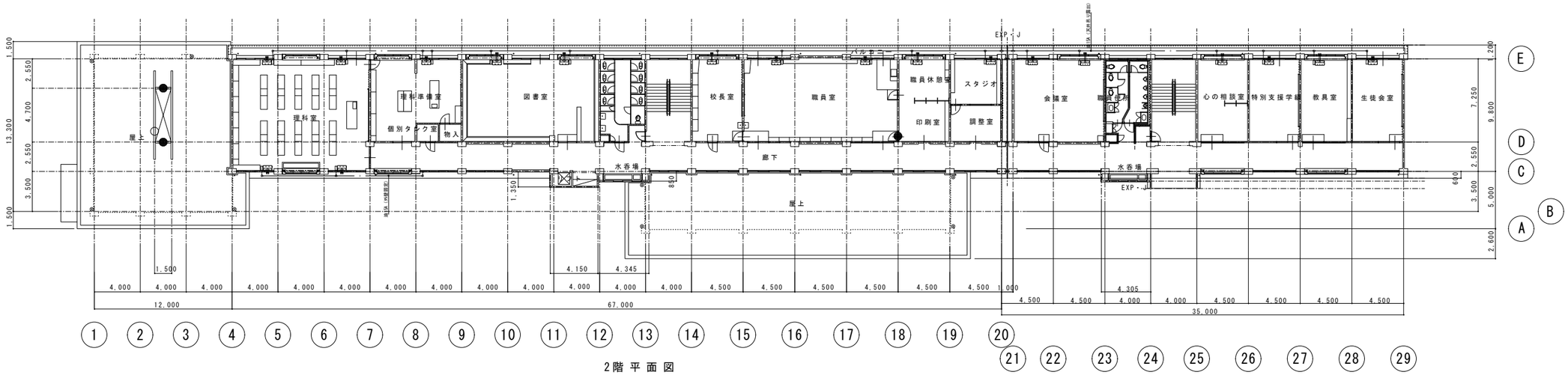


配　置　図　S＝1：500

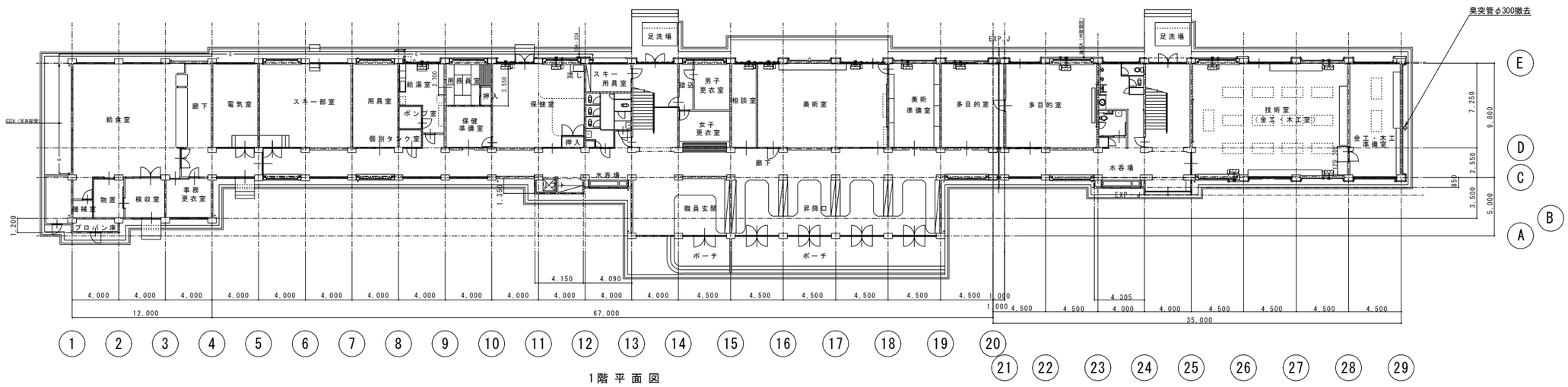


案　内　図

一級建築士事務所　新潟県知事登録　（リ）１３５９号 株式会社　関矢設計事務所 郵便番号　946-0111　新潟県魚沼市並柳182番地　℡　025-799-2122	管理建築士 一級建築士　第228811号 関　矢　茂　信	工事名称 4学工第12号　広神中学校校舎外部改修工事	日付 2022年3月	Ｍ－3
		図面名称 配　置　図　・　案　内　図	縮尺 1:500	

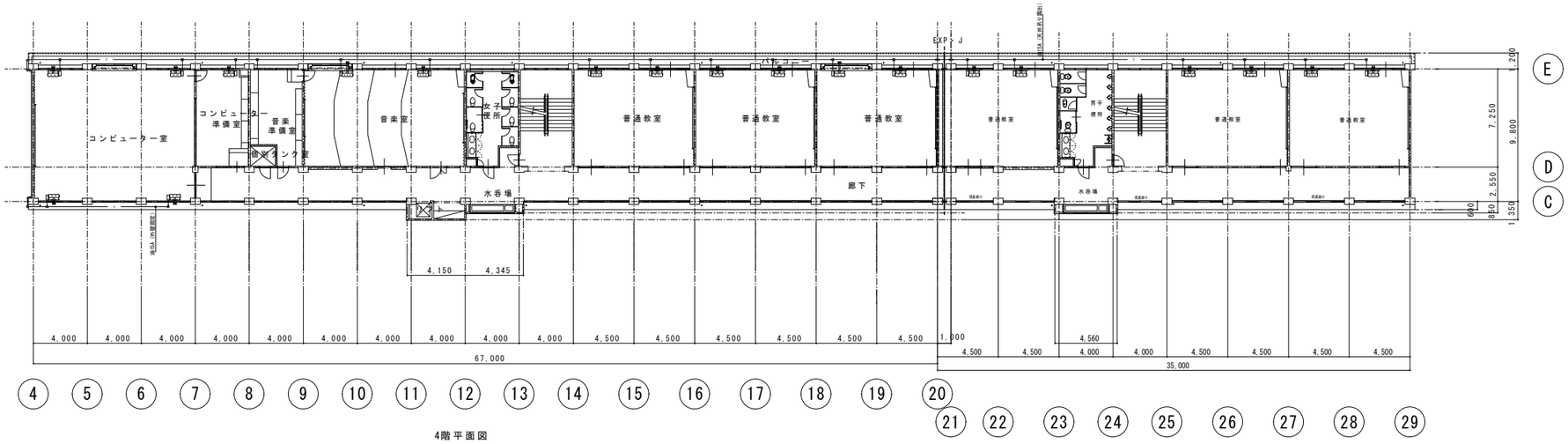


2階平面図

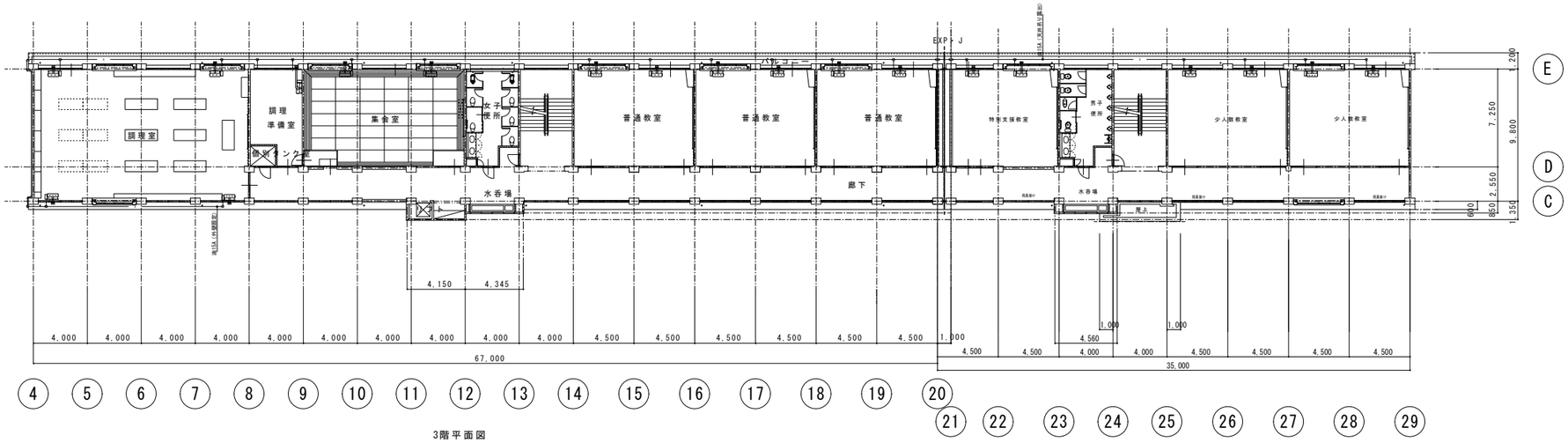


1階平面図

一級建築士事務所　新潟県知事登録　（り）１３５９号 株式会社　関矢設計事務所 郵便番号　946-0111　新潟県魚沼市並柳182番地　℡　025-799-2122	管理建築士 一級建築士　第228811号 関　矢　茂　信	工事名称 4学工第12号　広神中学校校舎外部改修工事	日付 2022年3月	M － 4
		図面名称 現況１・２階平面図	縮尺 1/200	



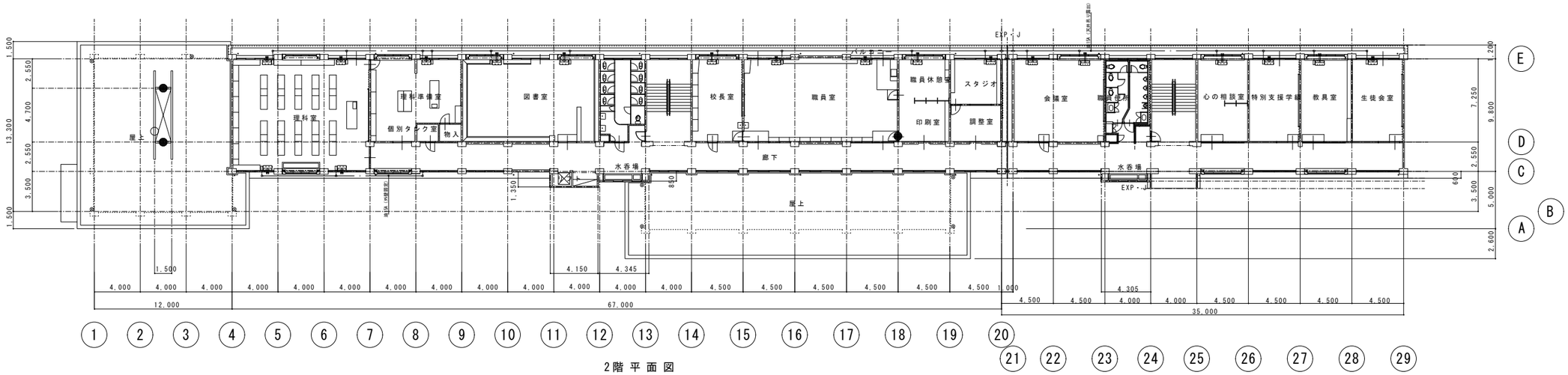
4階平面図



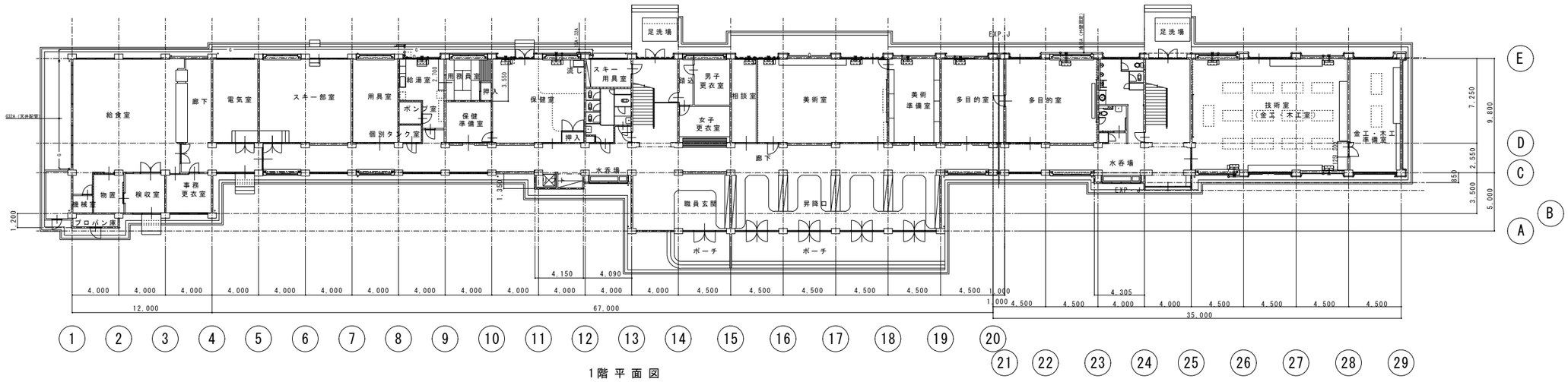
3階平面図

一級建築士事務所　新潟県知事登録　（り）１３５９号 株式会社　関矢設計事務所 郵便番号　946-0111　新潟県魚沼市並柳182番地　℡　025-799-2122	管理建築士 一級建築士　第228811号 関　矢　茂　信	工事名称 4学工第12号　広神中学校校舎外部改修工事	日付 2022年3月	M － 5
		図面名称 現況３・４階平面図	縮尺 1/200	

注）外壁露出送油管の再塗装を行う。
注）外壁露出送油管の支持金具更新を行う。
注）ルーフドレンベランダ貫通配管取外し再取付を行う。（詳細図参照）



2階平面図

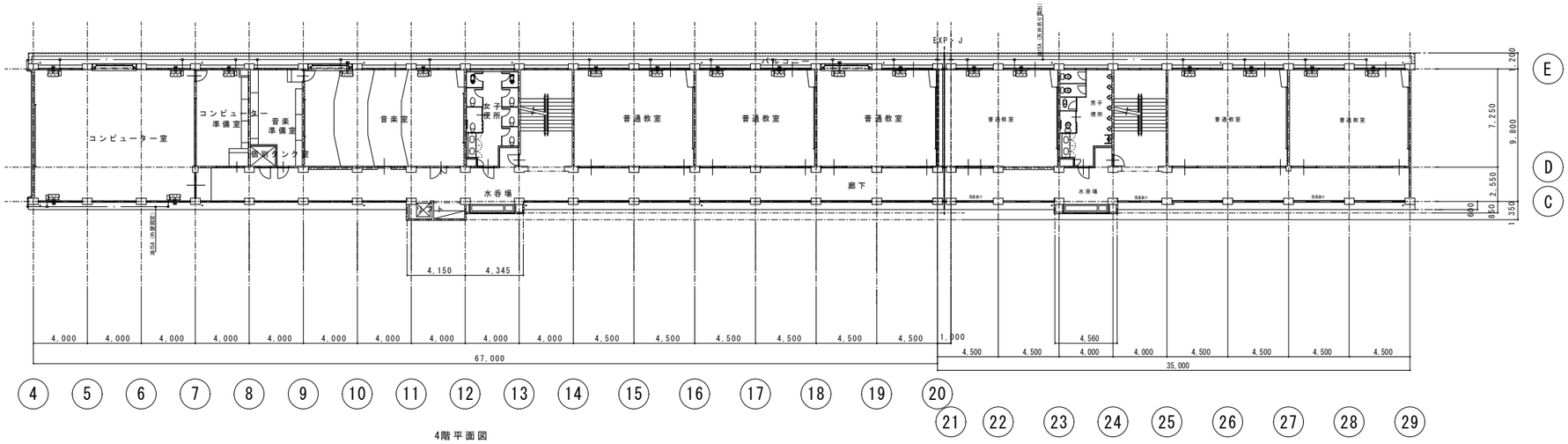


1階平面図

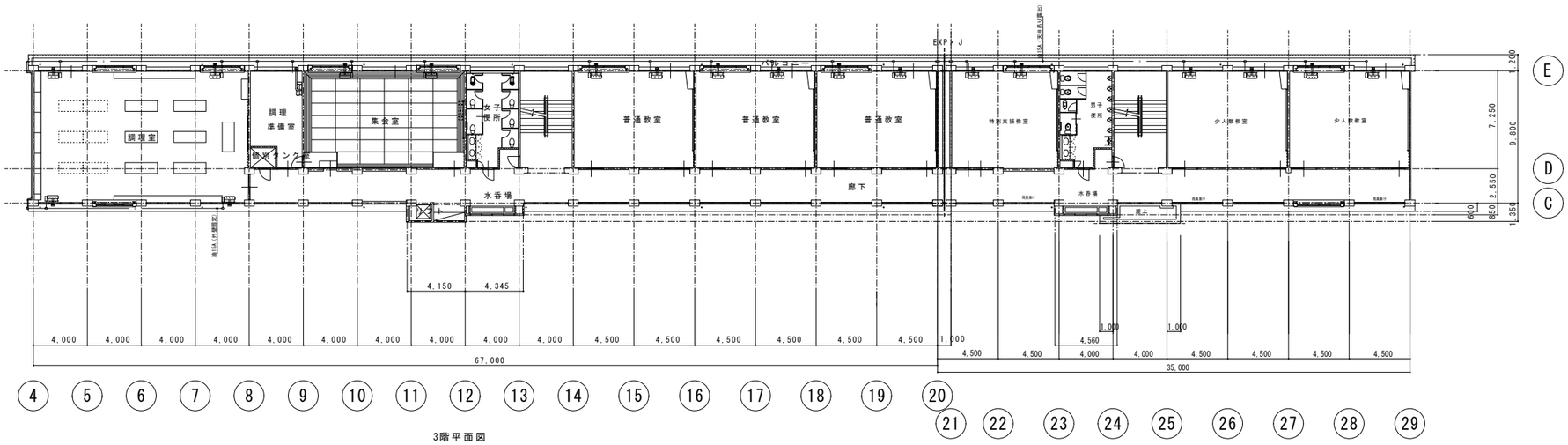
注）外壁露出ガス、送油管の再塗装を行う。
注）外壁露出ガス、送油管の支持金具更新を行う。
注）外壁露出臭突管を撤去し、汚水蓋処理を施す。

	一級建築士事務所　新潟県知事登録　（り）１３５９号 株式会社　関矢設計事務所 郵便番号　946-0111　新潟県魚沼市並柳182番地　℡　025-799-2122	管理建築士 一級建築士　第228811号 関　矢　茂　信	工事名称 4学工第12号　広神中学校校舎外部改修工事	日付 2022年3月	M － 6
			図面名称 改修後１・２階平面図	縮尺 1/200	

注）外壁露出送油管の再塗装を行う。
注）外壁露出送油管の支持金具更新を行う。
注）ルーフドレンベランダ貫通配管取外し再取付を行う。（詳細図参照）



4階平面図

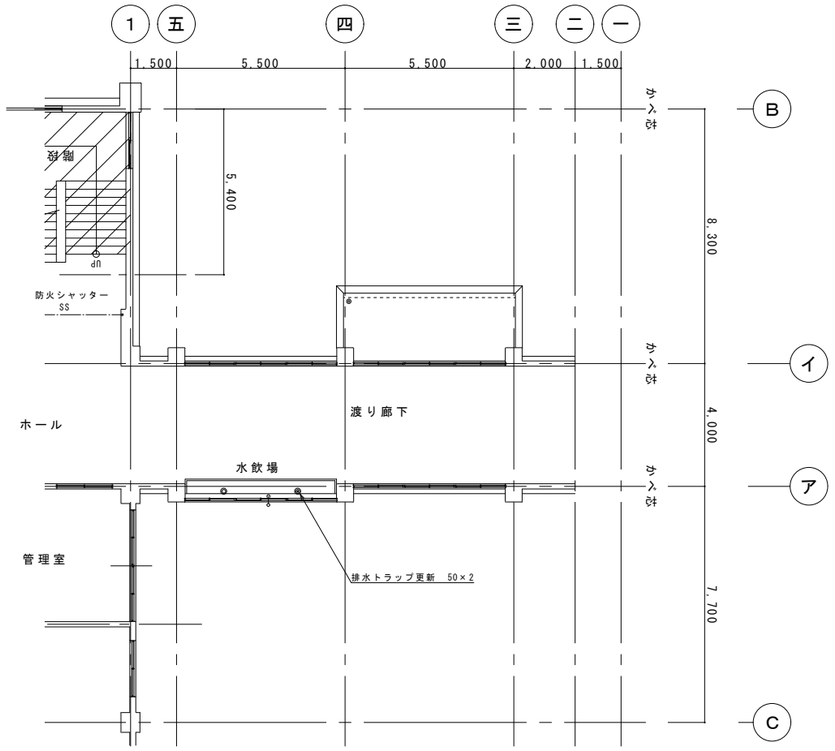


3階平面図

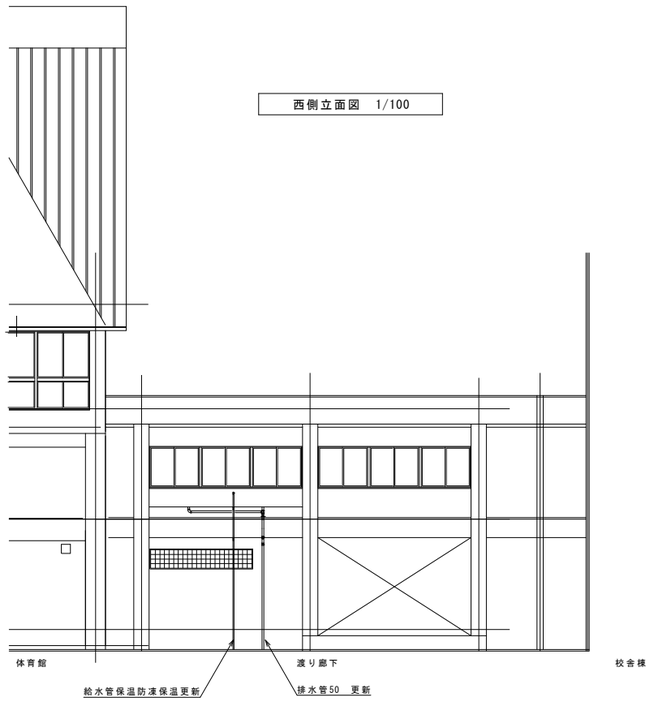
注）外壁露出送油管の再塗装を行う。
注）外壁露出送油管の支持金具更新を行う。
注）ルーフドレンベランダ貫通配管取外し再取付を行う。（詳細図参照）

	一級建築士事務所　新潟県知事登録　（り）１３５９号 株式会社　関矢設計事務所 郵便番号　946-0111　新潟県魚沼市並柳182番地　℡　025-799-2122	管理建築士 一級建築士　第228811号 関　矢　茂　信	工事名称 4学工第12号　広神中学校校舎外部改修工事	日付 2022年3月	M － 7
			図面名称 改修後３・４階平面図	縮尺 1/200	

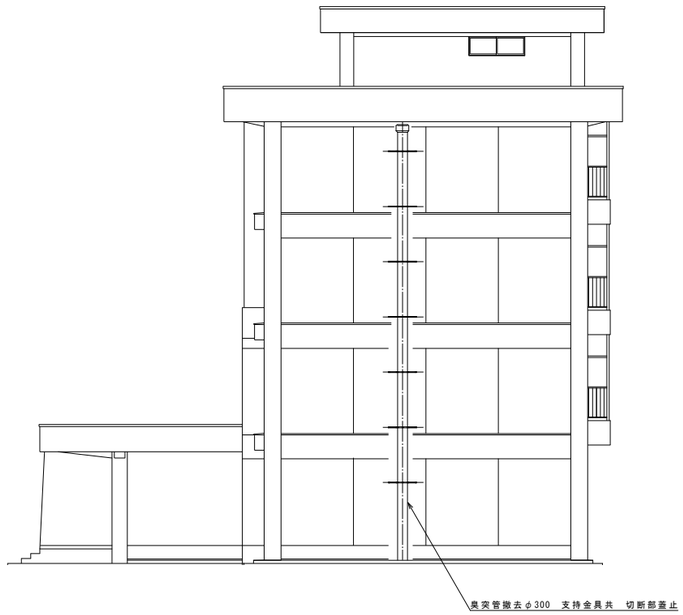
渡り廊下平面図　1/100

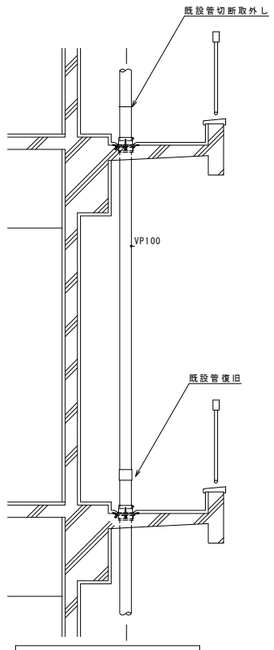


西側立面図　1/100

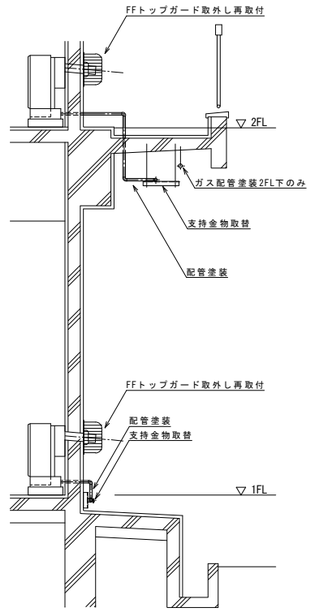


臭突管撤去西側立面図　1/100





ルーフドレン参考断面図　1/30



配管塗装参考断面図　1/30

一級建築士事務所　新潟県知事登録　（リ）１３５９号
株式会社　関矢設計事務所
郵便番号　946-0111　新潟県魚沼市並柳182番地　℡　025-799-2122
管理建築士
一級建築士　第228811号
関　矢　茂　信

工事名称	4学工第12号　広神中学校校舎外部改修工事	日付	2022年3月
図面名称	撤去・改修後　部分詳細図	縮尺	1/100　1/30

M － 8